FUJIFILM

ApeosPrint™

ApeosPrint 4560 S
ApeosPrint 3960 S
ApeosPrint 3360 S

リファレンスガイド

2026年10月　GM1696J1-3 第1版
©富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

目次

1 はじめに 6

2 お使いいただく前に 7

2.1 マニュアル体系 7
2.2 本書の表記 7
2.3 本機について 8
2.4 機械管理者情報の変更 8
2.5 各部の名称 9
本体 9
排出トレイモジュール（オプション） 11
操作パネル 12
2.6 本機で使用している記号 13

3 本機のセットアップ 15

3.1 電源について 15
電源を入れる 15
本機の初期設定をする 15
電源を切る 15
3.2 本機をコンピューターに接続する 16
有線 LAN で接続する 16
USB で接続する 17
無線 LAN で接続する 17
IP アドレスを設定する 20
Windows 用のソフトウェアをインストールする 22
Mac 用のソフトウェアをインストールする 24

4 本機の基本操作 27

4.1 操作パネルを使用する 27
ディスプレイの表示について 27
4.2 節電機能について 28
節電状態に移行する 28
節電状態から復帰する 28
節電機能を設定する 28
4.3 用紙について 29
弊社が推奨する用紙 29
各トレイの給紙性能 30
用紙の保管と取り扱い 31
4.4 用紙をセットする 31
用紙をさばく 31
トレイ 1 ～ 4（トレイ 2 ～ 4 はオプション）に用紙をセットする 32
手差しトレイに用紙をセットする 35
はがき / 往復はがきをセットする 37
封筒をセットする 38
長尺サイズの用紙をセットする 40

5 プリント 42

5.1 コンピューターからプリントする 42
Windows の場合 42
Mac の場合 42

5.2 プリントを中止する **42**
操作パネルで中止する 42
コンピューターで中止する 43
5.3 定形外サイズの用紙にプリントする **43**
定形外サイズの用紙をセットする 43
定形外サイズを登録する 43
定形外サイズの用紙にプリントする 45
5.4 はがき / 封筒にプリントする **45**
5.5 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント - **46**
サンプルプリントについて 46
サンプルプリントをする 46
5.6 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント - **47**
時刻指定プリントについて 47
時刻指定プリントをする 47
時刻指定プリントを中止する / 指定した時刻より前にプリントする 48
5.7 機密文書をプリントする - セキュリティープリント - **49**
セキュリティープリントについて 49
セキュリティープリントをする 49
5.8 機密文書をプリントする - プライベートプリント - **51**
プライベートプリントについて 51
プライベートプリントの設定をする 52
プライベートプリントをする 53
5.9 機密文書をプリントする - 認証プリント - **53**
認証プリントについて 53
認証プリントの設定をする 54
認証プリントをする 55
5.10 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント - **56**
メール受信プリントについて 56
メール受信プリントをするための設定 56
メールを受信してプリントする 56
メールを手動で受信してプリントする 58
5.11 その他のプリントサービス **58**
Universal Print 58

6 スマートフォン / タブレットからのプリント 59

6.1 本機をスマートフォン / タブレットと接続する **59**
Wi-Fi で接続する 59
Wi-Fi Direct で接続する 60
6.2 Print Utility を使ってプリントする **61**
6.3 その他のサービスを利用する **62**
AirPrint 62
Mopria プリントサービス 63

7 本体設定を変更する 65

7.1 仕様設定について **65**
[レポート / リスト] 66
[メーター確認] 69
[機械管理者メニュー] 70
[プリント言語の設定] 92
[言語切り替え] 95
7.2 消耗品メニューについて **95**
[シリアル番号] 95
[カスタムモード] 95

8 便利な使いかた 96

8.1 インターネットサービスを使う 96
8.2 本機のソフトウェアを使う 97
Print & Scan Hub (Windows) 97
ContentsBridge Utility (Windows) 97
Supply Monitor（Windows） 97
8.3 暗号化機能を設定する 98
証明書の種類 98
暗号化機能について 98
HTTP の通信を暗号化するための設定 99
IPsec を使用して暗号化するための設定 101
無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定 102
8.4 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について 103
認証 / 集計管理機能の概要 104
認証 / 集計管理機能を使用するための設定 104
IC カード読み取り装置を利用するための設定 106

9 日常管理 107

9.1 消耗品を交換する 107
トナーカートリッジ 107
ドラムカートリッジ 107
9.2 清掃する 108
本体外部を清掃する 108
本体内部を清掃する 109
9.3 出力したプリントページ数を確認する 118
総プリントページ数を確認する（メーター） 118
コンピューター別にプリントページ数を確認する（[集計レポート]） 118
機能別にプリントページ数を確認する（[機能別カウンターレポート]） 118
9.4 レポート / リストをプリントする 119
9.5 印字位置を調整する（[ペーパーレジ補正]） 119

10 困ったときには 122

10.1 紙詰まりに対処する 122
フロントカバー［A］での紙詰まり 123
リアカバー［B］での紙詰まり 130
トレイ 1 ～ 4 での紙詰まり 131
手差しトレイでの紙詰まり 134
排出トレイモジュールカバー［D］での紙詰まり 134
10.2 トラブルを解決する 135
機器本体のトラブル 135
プリントのトラブル 136
画質のトラブル 139
トレイや用紙送りのトラブル 147
ネットワーク関連のトラブル 148
10.3 エラーコード 149

11 オプション製品の取り付け 150

11.1 無線キットの取り付け 150
11.2 トレイモジュールの取り付け 151
プリンタードライバーでオプションの設定をする 155
11.3 フェイスアップトレイの取り付け 156
11.4 排出トレイモジュールの取り付け 157
11.5 専用キャスター台の取り付け 158
取り付け手順 158

11.6 ストレージの取り付け **161**
11.7 ソフトウェアオプションの有効化 **163**
11.8 セカンダリーイーサネットキットの取り付け **164**
11.9 地震対策キットの取り付け **166**
11.10地震対策キット（ゲルタイプ）の取り付け **168**

12付録 170

12.1 主な仕様 **170**
12.2 消耗品、定期交換部品の寿命について **173**
消耗品の寿命について 173
使用済み消耗品の回収 174
定期交換部品の寿命について 174
補修用性能部品について 174
12.3 最新ソフトウェアを入手する **174**
12.4 エミュレーションについて **174**
エミュレーションモード 174
プリント言語の切り替え 175
モードメニュー画面 175
使用できるフォント 175
ART IV、ESC/P エミュレーションについて 175
PC-PR201H エミュレーションについて 181
HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて 185
PCL エミュレーションについて 190
12.5 lpr コマンドでプリントする **192**
12.6 ライセンス **192**
12.7 使用権許諾条項 **193**
アドビ社ソフトウェア許諾条項 193

13操作メニュー一覧 195

13.1 操作パネルの基本的な使い方 **195**
13.2 仕様設定メニュー **195**
[レポート / リスト] 195
[メーター確認] 197
[機械管理者メニュー] 197
[プリント言語の設定] 248
[言語切り替え] 251
13.3 プリントメニュー **251**
13.4 消耗品メニュー **254**

14商品のお問い合わせ先について 255

1 はじめに

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

- このマニュアルのなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
- プリンターで紙幣をプリントしたり、有価証券などを不正にプリントしたりすると、そのプリント物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。
- 万一、本体の補助記憶装置に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータなどが消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 水、雨、蒸気などの水分によって、プリント面の画像がはがれることがあります。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

商標

Microsoft、Microsoft Entra、Outlook、Windows および Windows Server は、マイクロソフト グループの企業の商標です。

Adobe、PostScript、および PostScript3 は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

Apple, iPhone, AirPrint, iPad, Bonjour, macOS, and Mac are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

Android および Google Play は、Google LLC の商標です。

この製品は、eT-Kernel を利用しています。eT-Kernel は、イーソル株式会社の日本およびその他の国における商標です。

Mopria および Mopria ロゴは、Mopria Alliance, Inc. の米国およびその他の国における登録商標およびサービスマークです。無断使用は固く禁じられています。

その他の社名、または商品名などは、各社の登録商標、または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

ApeosPrint は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

2 お使いいただく前に

2.1 マニュアル体系

セットアップガイド

本機の基本的な操作手順や、本機を安全にご使用いただくための注意事項などについて説明しています。

リファレンスガイド （本書）

プリント機能の操作方法や、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、日常の管理方法などについて説明しています。

補足

- 本機ではオプション製品を用意しています。製品によっては設置手順などを説明したマニュアルが付属しています。

2.2 本書の表記

- お客様の設定内容によっては、本書に掲載している画面が実際の画面と異なる場合があります。
- 本書では、説明する内容に応じて、次のマークや記号を使用しています。

注記	操作の前に知っていただきたいことや、注意していただきたい重要事項を記述しています。
補足	補足事項を記述しています。
参照	参照先を記述しています。
「 」	• 本書内にある参照先を表しています。 • 機能の名称や入力文字などを表しています。 • 参照するマニュアルを表しています。
[ ]	• 本機のディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 • コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウインドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
〈 〉	操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
＞	操作パネルやコンピューターで順に項目を選ぶ手順を、省略して表しています。

- 本文中では、用紙の向きを次のように表しています。

  、たて置き：本機正面から見て、用紙をたて長にセットした状態を表しています。

  、よこ置き：本機正面から見て、用紙をよこ長にセットした状態を表しています。
- 本書では、オプション製品の、データ上書き消去キットとストレージ（SSD）を総称して「ストレージ」と表記します。
- 本書では、オプション製品の、IC カードリーダー D（外付け型）と IC カードリーダー B （外付け型）を総称して「IC カード読み取り装置」と表記します。

- 本書では特に断りのないかぎり、コンピューターを使った手順では、Microsoft Windows 10 および macOS 12 を例に説明しています。
- 本書では特に断りのないかぎり、ApeosPrint 4560 S のイラストを使って説明しています。
- 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。
- このマニュアルに記載しているプリントスピード、給紙容量などは、C^2 紙（70 g/m²）を使用した場合の値です。
- 「長尺」用紙とは、よこ：488.1 mm 以上の用紙を示します。

2.3 本機について

- 機能によっては、オプション製品が必要になります。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- 取り付けられているオプションによって、ディスプレイに表示される項目は異なります。
- ジョブ履歴利用時は次のことに注意してください。
  - ジョブ履歴で取得したページカウントと機械本体のメーターおよびカウンターは、一致しないことがあります。取得したデータは目安としてご利用ください。
  - 機械本体のトラブルやストレージの交換・初期化で、ジョブ履歴が消失する場合があります。消失したジョブ履歴は復旧できません。
  - 既定の数を超えると、古いジョブ履歴は削除されます。ジョブ履歴の取りこぼしを防ぐには、収集間隔を短くしてください。
- 最新の情報は、弊社公式サイトをご覧ください。

2.4 機械管理者情報の変更

本機の設定変更の抑止やセキュリティー確保のために、機械管理者のユーザー ID とパスワードの変更をおすすめします。

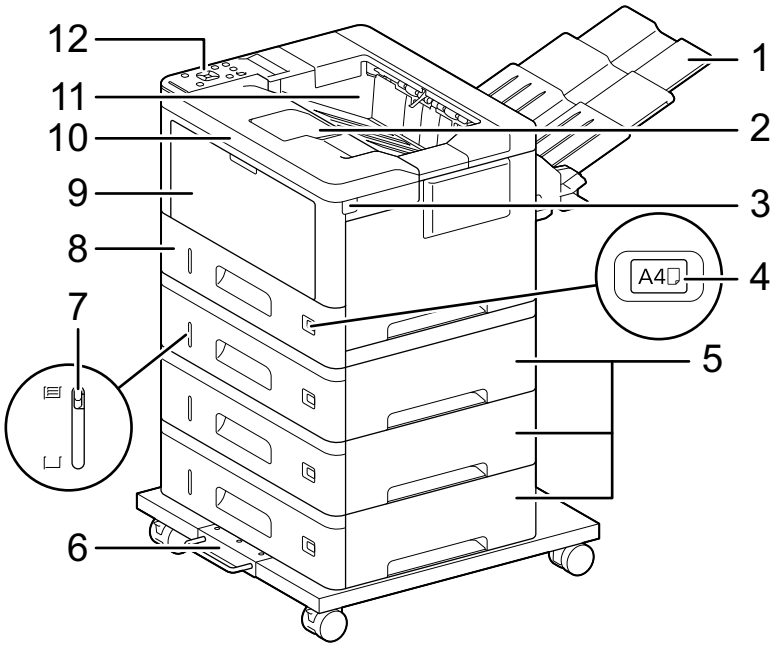
参照

- 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド 」を参照してください。
- 設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

2.5 各部の名称

本体

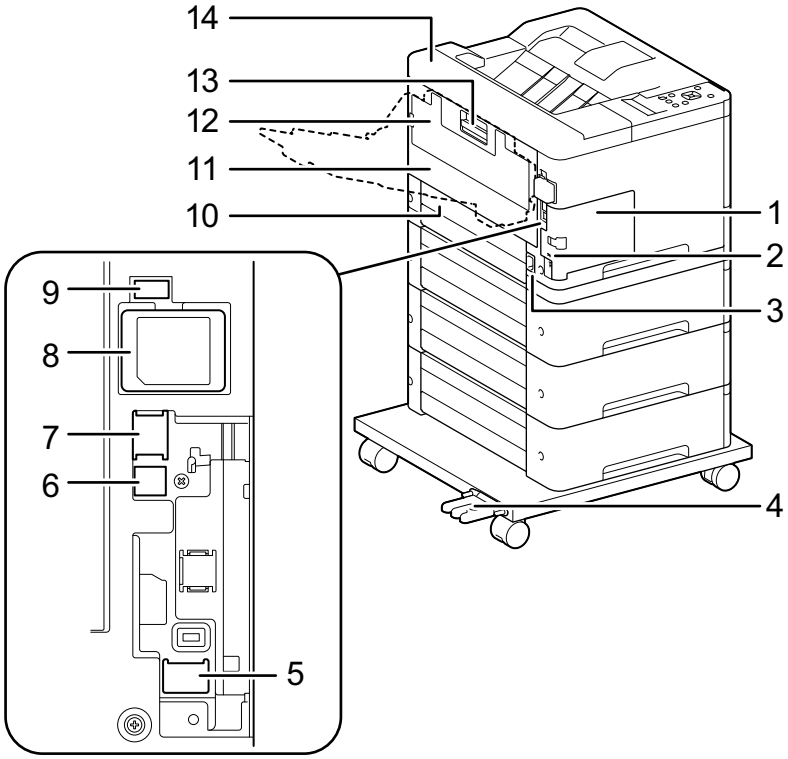
前面



イラストは、各種オプション製品を装着した状態のものです。

No.	名称	説明
1	フェイスアップトレイ（オプション）	プリント面を上にして用紙が排出されます。
2	排出延長トレイ	持ち上げて排出トレイを延長します。
3	A ボタン	フロントカバーを開けるときに押します。
4	用紙サイズ表示	トレイ内の用紙サイズ設定ダイヤルで設定した用紙サイズと向きが表示されます。
5	トレイ 2 ～ 4（トレイモジュール）（オプション）	用紙をセットします。
6	専用キャスター台（オプション）	移動時に使用します。設置後は、ロックしてください。
7	用紙残量表示	用紙トレイ内の用紙残量を確認できます。
8	トレイ 1	用紙をセットします。
9	手差しトレイ	トレイ 1 ～ 4 にセットしていない用紙、またはできない用紙（厚紙などの特殊用紙）にプリントするときに使用します。
10	フロントカバー	消耗品を交換するときや詰まった用紙を取り除くときに開けます。
11	排出トレイ	プリント面を下にして用紙が排出されます。
12	操作パネル	電源ボタン、操作に必要なボタン、ランプ、ディスプレイがあります。

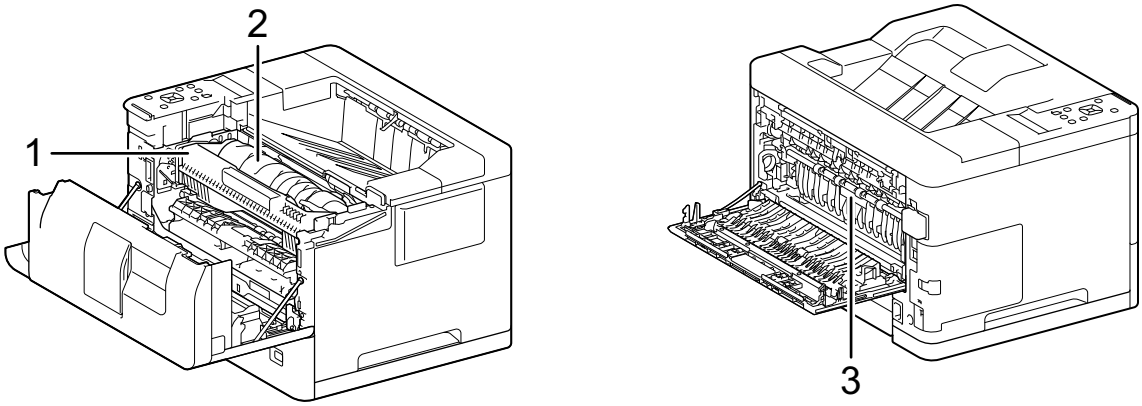
背面



イラストは、各種オプション製品を装着した状態のものです。

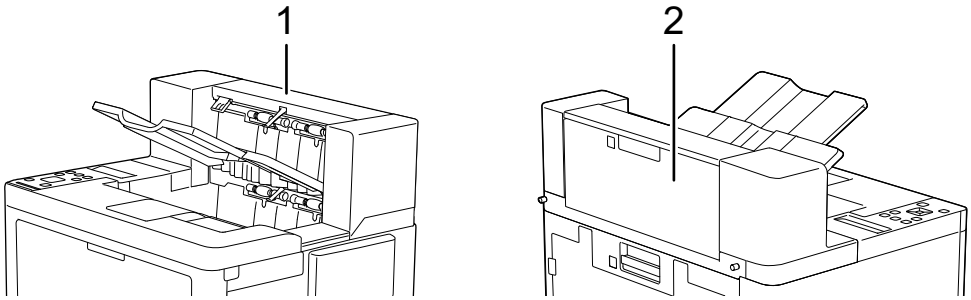
No.	名称	説明
1	左カバー	オプションのストレージなどを装着するときに開けます。
2	セキュリティロックスロット	セキュリティロックを取り付けます。
3	電源コード接続部	電源コードを接続します。
4	ケーブルフック	専用キャスター台（オプション）を装着している場合に、電源コードを巻きつけます。
5	セカンダリーイーサネットコネクター（オプション）	セカンダリーイーサネットキット（オプション）を装着している場合に、ネットワークケーブルを接続します。
6	USB コネクター（下側）	コンピューターに接続する USB ケーブルを接続します。
7	イーサネットインターフェイスコネクター	ネットワークケーブルを接続します。
8	無線キット（オプション）	本機を無線 LAN で接続するときに取り付けます。
9	USB コネクター（上側）	USB 接続オプションや関連商品のケーブルを接続します。
10	ダストカバー	トレイ 2 ～ 4（トレイモジュール）（オプション）を装着するときに取り外します。
11	リアカバー	紙詰まりを処理するときなどに開けます。
12	背面排出カバー	フェイスアップトレイ（オプション）を装着するときに取り外します。
13	B レバー	背面カバーを開けるときに押し下げます。
14	上カバー	排出トレイモジュール（オプション）（ApeosPrint 4560 S のみ）を装着するときに取り外します。

内部



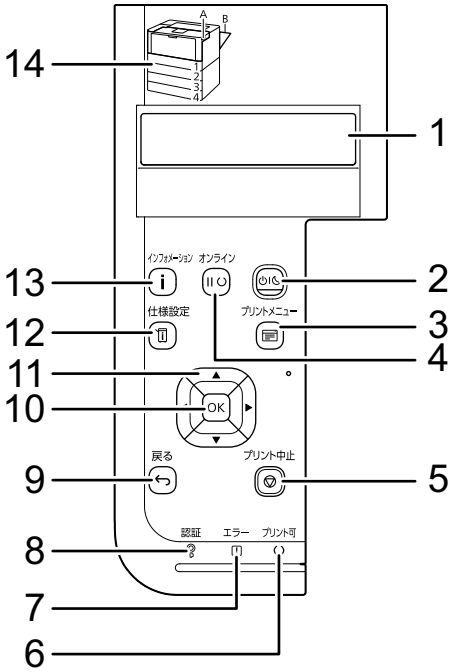
No.	名称	説明
1	ドラムカートリッジ	感光体がセットされています。
2	トナーカートリッジ	トナー（画像形成剤）が入っています。
3	定着ユニット	トナーを用紙に定着させます。高温なので触れないように注意してください。

排出トレイモジュール（オプション）



No.	名称	説明
1	排出トレイモジュール（オプション）（ApeosPrint 4560 S のみ）	プリント面を下にして用紙が排出されます。標準の排出トレイと排出先を分けることができます。
2	排出トレイモジュールカバー	紙詰まりを処理するときに開けます。

操作パネル



No.	名称	説明
1	ディスプレイ	設定項目、本機の状態、メッセージなどが表示されます。
2	⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタン	• 本機の電源を入れる / 切るときに押します。 • 節電状態を解除するとき、または節電状態にするときに押します。 • 本機が節電状態に入ると点灯します。 参照 • 電源を入れる / 切る方法については、「電源について」(P.15) を参照してください。 • 節電機能については、「節電機能について」(P.28) を参照してください。
3	〈プリントメニュー〉ボタン	セキュリティープリントやサンプルプリントなど、本機やサーバー内に蓄積されている文書をプリントするときに押します。
4	II〈オンライン〉ボタン	II〈オンライン〉ボタンを押すと、オフライン状態に移行します。オフライン中は、〈プリント可〉ランプが消灯し、プリント処理を行いません。再度押すと、オフライン状態が解除され、オンライン状態（プリント可能な状態）に移行します。
5	〈プリント中止〉ボタン	プリントを中止します。
6	〈プリント可〉ランプ	点灯中は、プリントが可能です。
7	〈エラー〉ランプ	本機に異常があるときに、ランプが点滅または点灯します。
8	〈認証〉ランプ	オプションの IC カード認証時に点灯します。
9	〈戻る〉ボタン	メニュー画面のとき、ひとつ前の項目に戻ります。
10	OKボタン	メニュー画面のとき、メニューの候補値を確定します。

No.	名称	説明
11	▲ ▼ ◀ ▶ボタン	メニュー画面のとき、ディスプレイに表示されたメニュー、項目、候補値の間を移行します。 補足 • ▲または▼ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、▲と▼ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。
12	〈仕様設定〉ボタン	仕様設定メニューが表示されます。
13	i〈インフォメーション〉ボタン	ディスプレイにiマークが表示されているときにこのボタンを押すと、詳細情報が表示されます。
14	外観図	エラーが発生したときに、メッセージに表示される各部の位置を確認できます。

2.6 本機で使用している記号

記号の意味については、次の表を参照してください。

記号	説明
	注意、危険、警告
	高温注意
	接触禁止
	分解禁止
	トナーカートリッジを火中に投じないこと
	ドラムカートリッジを直射日光に当てないこと
	ドラムカートリッジを火中に投じないこと
	電源オン / オフ
	折り目、しわ、カール紙を使用しないこと

記号	説明
	インクジェット紙を使用しないこと
	OHP フィルムを使用しないこと
	用紙
	用紙のプリント面を上にセット
	用紙のプリント面を下にセット
▼MAX▼	最大積載量
	用紙残量
	紙詰まり
	LAN
	USB

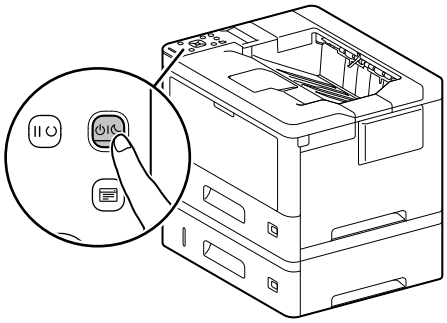
記号	説明
	トナー
	操作方向
	ロック
	ロック解除

3 本機のセットアップ

3.1 電源について

電源を入れる

1. ⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押します。



本機の初期設定をする

初めて電源を入れたときは、本機の初期設定をする画面が表示されます。表示言語と、暗証番号を設定してメニュー操作を制限するかどうかを設定します。

1. 表示する言語を設定し、OKボタンを押します。

［操作パネル制限］が表示されます。

2. ［する］が表示されるまで▼ボタンを押し、OKボタンを押します。

［暗証番号設定］が表示されます。

補足

- ［操作パネル制限］を［しない］に設定した場合は、手順 5 に進みます。

3. 暗証番号を入力しOKボタンを押します。

［もう一度入力］が表示されます。

4. 暗証番号を再度入力しOKボタンを押します。

［初期設定が完了 [OK] を押してください］が表示されます。

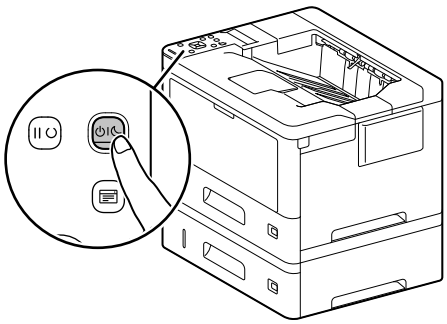
5. OKボタンを押します。

電源を切る

注記

- 操作パネルのディスプレイに、［お待ちください］が表示されているときは、電源を切らないでください。
- ⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押したあとも、しばらくの間は本機内部で電源を切るための処理をしています。電源コードをコンセントから抜くときは、操作パネルのディスプレイの表示と各ランプの点灯や点滅が消えてから行ってください。

1. ⏻I〈電源 / 節電〉ボタンを押します。



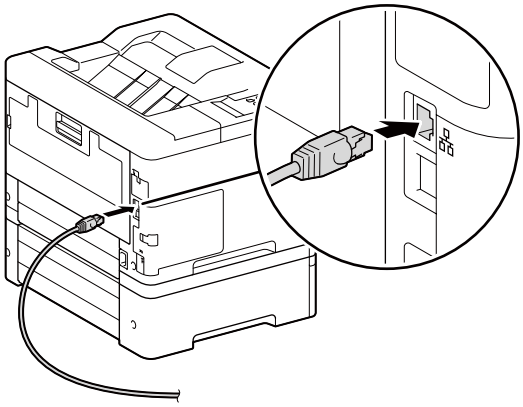
2. ディスプレイに［電源を切る］が表示されていることを確認し、OKボタンを押します。

3.2 本機をコンピューターに接続する

本機は有線 LAN 接続、USB による接続、および無線 LAN 接続に対応しています。接続したあとで、プリンタードライバーなど必要なソフトウェアをインストールします。

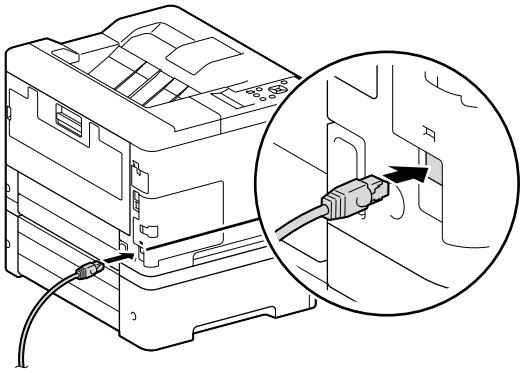
有線 LAN で接続する

1. ⏻I〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切ります。
2. ネットワークケーブルを本体のイーサネットコネクターに差し込みます。



補足

- セカンダリーイーサネットキット（オプション）を装着している場合は、セカンダリーイーサネットコネクターにケーブルを接続します。



3. ネットワークケーブルの他方のコネクターを、ハブなどのネットワーク機器に接続します。

4. ⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押し、電源を入れます。

5. 本機の IP アドレスを設定します。

参照

- IP アドレスの設定方法については、「IP アドレスを設定する」(P.20) を参照してください。

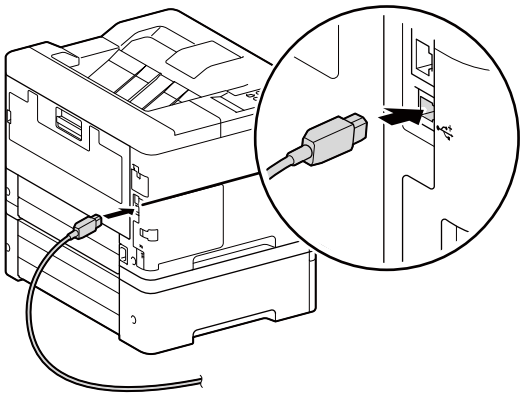
USB で接続する

1. ⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押し、電源を切ります。

2. USB ケーブルを本体の USB コネクター（下側）に差し込みます。

注記

- 本機を USB ハブに接続しないでください。



3. USB ケーブルの他方のコネクターを、コンピューターに接続します。

4. ⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を入れます。

5. プリンタードライバーなど必要なソフトウェアをインストールします。

補足

- USB 接続の場合、「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク（オプション）でプリンタードライバーをインストールするときは、［お好みインストール］＞［ドライバー］を選びます。詳しくは、「Windows 用のソフトウェアをインストールする」(P.22) を参照してください。

無線 LAN で接続する

無線 LAN を使うために必要な作業

無線 LAN を設定する前に、次の操作をしてください。

1. 無線キット（オプション）が本機に取り付けられていることを確認します。

参照

- 詳しくは、「無線キットの取り付け」(P.150) を参照してください。

無線 LAN 接続の設定方法は次のとおりです。

参照

- 無線 LAN の自動設定については、「無線 LAN に自動設定で接続する」(P.18) を参照してください。
- 無線 LAN の手動設定については、「無線 LAN に手動設定で接続する」(P.19) を参照してください。

無線 LAN に自動設定で接続する

本機は WPS（プッシュボタン方式）および WPS（PIN コード方式）を使用した無線 LAN 接続に対応しています。

- WPS（プッシュボタン方式）では、設定を操作パネルから行ったあと、お使いの無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを押して設定します。
- WPS（PIN コード方式）では、本機に割り当てられる PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力して設定します。

どちらの方法も無線 LAN アクセスポイントが WPS 方式に対応している必要があります。

参照

- 無線 LAN アクセスポイント側の WPS 操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

WPS（プッシュボタン方式）で接続する場合

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［TCP/IP 設定］が表示されます。
5. **［Wi-Fi 設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
6. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［Wi-Fi 接続状態］が表示されます。
7. **［WPS セットアップ］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
8. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［PBC 開始］が表示されます。
9. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［[OK] キーで接続］が表示されます。
10. **OK ボタンを押します。**
11. **無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを 2 分以内に押します。**
    設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

WPS（PIN コード方式）で接続する場合

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **▶または OK ボタンを押します。**
   ［TCP/IP 設定］が表示されます。
5. **［Wi-Fi 設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
6. **▶または OK ボタンを押します。**

［Wi-Fi 接続状態］が表示されます。

7. **［WPS セットアップ］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

8. **▶または OK ボタンを押します。**
［PBC 開始］が表示されます。

9. **［PINCode］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

10. **▶または OK ボタンを押します。**
表示される PIN コードをメモします。

11. **OK ボタンを押します。**

12. **PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力します。**
設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

参照
- PIN コードの入力方法については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

無線 LAN に手動設定で接続する

無線 LAN アクセスポイントを一覧から選ぶか、または SSID を指定して無線 LAN に接続します。

補足
- 無線 LAN アクセスポイントの SSID と、WEP キーまたはパスフレーズが必要になります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

無線 LAN アクセスポイントを一覧から選んで接続する場合

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**

2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

3. **▶または OK ボタンを押します。**
［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。

4. **▶または OK ボタンを押します。**
［TCP/IP 設定］が表示されます。

5. **［Wi-Fi 設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

6. **▶または OK ボタンを押します。**
［Wi-Fi 接続状態］が表示されます。

7. **［アクセスポイント検索］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

8. **▶または OK ボタンを押します。**
アクセスポイントの一覧が表示されます。

9. **▲または▼ボタンを押して、接続先の無線 LAN アクセスポイントを選び、OK ボタンを押します。**

10. **画面の指示に従って必要な情報を設定します。**
設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

SSID を手動で入力して接続する場合

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**

2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

3. **▶またはOKボタンを押します。**
［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。

4. **▶またはOKボタンを押します。**
［TCP/IP 設定］が表示されます。

5. **［Wi-Fi 設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

6. **▶またはOKボタンを押します。**
［Wi-Fi 接続状態］が表示されます。

7. **［SSID 直接入力］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

8. **▶またはOKボタンを押します。**

9. **SSID を入力し、▶またはOKボタンを押します。**
［セキュリティ］が表示されます。

10. **▼ボタンを押して、暗号化方式を選びます。**

11. **OKボタンを押します。**

12. **画面の指示に従って必要な情報を設定します。**
設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

IP アドレスを設定する

IP アドレスを設定する

IP アドレスの設定 / 確認方法について IPv4 を例に説明します。

本機の操作パネルから設定する

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**

2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

3. **▶またはOKボタンを押します。**
［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。

4. **▶またはOKボタンを押します。**
［TCP/IP 設定］が表示されます。

5. **▶またはOKボタンを押します。**
［IP 動作モード］が表示されます。

6. **▶またはOKボタンを押します。**
現在の設定値が表示されます。

7. **［IPv4］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

8. **OKボタンを押します。**

9. **↩〈戻る〉ボタンを押します。**
［IP 動作モード］が表示されます。

10. **［Ethernet］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

11. **▶または OK ボタンを押します。**
[IP アドレス取得方法] が表示されます。

12. **▶または OK ボタンを押します。**
現在の設定値が表示されます。

13. **IP アドレスの割り当て方法を選び、OK ボタンを押します。**
[手動] 以外を選んだ場合は、手順 14 に進みます。
[手動] を選んだ場合は、次の操作をします。

1) **[IP アドレス] を入力します。**

2) **〈戻る〉ボタンを押して、[IP アドレス取得方法] を表示します。**

3) **[サブネットマスク] と [ゲートウェイアドレス] をそれぞれ選び、入力します。**

14. **〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を終了します。**

IP アドレスを確認する

設定内容は、操作パネルの画面または機能設定リストで確認できます。

■ 操作パネルで確認する

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**

2. **[機械管理者メニュー] が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

3. **▶または OK ボタンを押します。**
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

4. **▶または OK ボタンを押します。**
[TCP/IP 設定] が表示されます。

5. **▶または OK ボタンを押します。**
[IP 動作モード] が表示されます。

6. **[Ethernet] が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

7. **▶または OK ボタンを押します。**
[IP アドレス取得方法] が表示されます。

8. **[IP アドレス (IPv4)] が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

9. **▶または OK ボタンを押します。**
IP アドレスが表示されます。

10. **〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

■ 機能設定リストで確認する

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
[レポート / リスト] が表示されます。

2. **▶または OK ボタンを押します。**
[機能設定リスト] が表示されます。

3. **▶または OK ボタンを押します。**
プリントを開始させる画面が表示されます。

4. **OKボタンでプリントします。**

レポートがプリントされます。

レポートに記載されている IP アドレスを確認します。

5. **〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

Windows 用のソフトウェアをインストールする

ソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。

次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

https://www.fujifilm.com/fb/download/

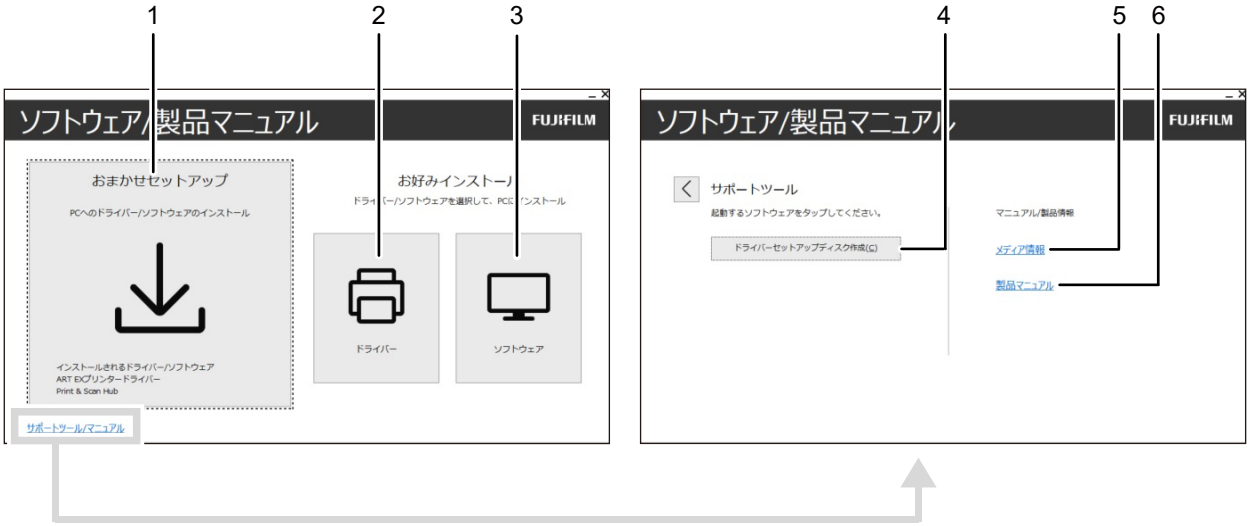
メニューの［ダウンロード］をクリックし、お使いの機種 /OS/ 必要なソフトウェアを選び、［使用許諾条件に同意しダウンロード］をクリックします。

補足

- 事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。
  - 「有線 LAN で接続する」(P.16)
  - 「USB で接続する」(P.17)
  - 「無線 LAN で接続する」(P.17)

「ソフトウェア / 製品マニュアル」を使う

「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク（オプション）の「ソフトウェア / 製品マニュアル」を使うと、次の機能を利用できます。



1 ［おまかせセットアップ］

本機で使用できる基本的なソフトウェアを、まとめてインストールできます。

インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- ART EX プリンタードライバー
- Print & Scan Hub
- Supply Monitor

参照

- インストール方法については、「［おまかせセットアップ］でインストールする」(P.24) を参照してください。
- Print & Scan Hub については、「Print & Scan Hub (Windows)」(P.97) を参照してください。

2 ［お好みインストール］＞［ドライバー］

必要なドライバーだけを選んでインストールできます。インストールできるドライバーは次のとおりです。

- ART EX プリンタードライバー
- PS ドライバー H3（Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）用）
- PS ドライバー J2（Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）用）

参照

- インストール方法については、「［お好みインストール］でインストールする」(P.24) を参照してください。

3 ［お好みインストール］＞［ソフトウェア］

必要なソフトウェアだけを選んでインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- Print & Scan Hub
- ContentsBridge Utility
- Supply Monitor

参照

- インストール方法については、「［お好みインストール］でインストールする」(P.24) を参照してください。
- ソフトウェアについては、「本機のソフトウェアを使う」(P.97) を参照してください。

4 ［サポートツール / マニュアル］＞［ドライバーセットアップディスク作成］

ドライバーのセットアップディスクを作成できます。複数のコンピューターに同じ設定でドライバーをインストールする場合に、作業負荷を軽減できます。

補足

- セットアップディスクは、ディスクを作成したコンピューターの OS と異なる OS のコンピューターでは使用できません。OS ごとにセットアップディスクを作成してください。

5 ［サポートツール / マニュアル］＞［メディア情報］

「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの収録内容を確認できます。

6 ［サポートツール / マニュアル］＞［製品マニュアル］

マニュアルを表示できます。

［おまかせセットアップ］でインストールする

1. **［おまかせセットアップ］をクリックします。**

2. **画面の指示に従ってインストールを完了します。**

［お好みインストール］でインストールする

1. **［ドライバー］または［ソフトウェア］をクリックします。**
［ソフトウェア］を選んだ場合は、手順 4 に進みます。

2. **［使用許諾契約の条項に同意する］を選び、［次へ］をクリックします。**

3. **お使いの接続方法を選び、［次へ］をクリックします。**

4. **画面の指示に従ってインストールを完了します。**

Mac 用のソフトウェアをインストールする

最新版の Mac 用のソフトウェアは、弊社公式サイトからダウンロードできます。
https://www.fujifilm.com/fb/download/

ソフトウェアをインストールする

1. ソフトウェアをコンピューターにダウンロードします。
2. ダウンロードした dmg ファイルをダブルクリックします。
3. フォルダー内にある pkg ファイルをダブルクリックします。
4. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

本機を Mac に登録する

USB 接続で本機を追加する

1. 本機の電源を入れます。
2. USB ケーブルで本機とコンピューターを接続します。
3. ［Apple］メニューから［システム環境設定］を開き、［プリンタとスキャナ］をクリックします。
4. ［プリンタ］に本機が表示されていれば、登録は完了です。
   本機が表示されない場合は、手順 5 以降に従って本機を追加します。
5. ＋をクリックします。
6. ［種類］列に［USB］と表示されている本機の名前を、［名前］から選びます。
7. ［ドライバ］から、本機に対応するドライバーを選びます。
8. ［追加］をクリックします。
9. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、［OK］をクリックします。
10. ［プリンタ］に本機が表示されていることを確認します。

LPD 接続で本機を追加する

1. 本機の電源を入れます。
2. 本機とコンピューターが接続されていることを確認します。
   有線 LAN 接続の場合は、本機を LAN ケーブルで接続します。
   無線 LAN 接続の場合は、本機とコンピューターの無線 LAN 接続が確立されていることを確認します。
3. ［Apple］メニューから［システム環境設定］を開き、［プリンタとスキャナ］をクリックします。
4. ＋をクリックします。
5. をクリックします。
6. ［プロトコル］から［LPD（Line Printer Daemon）］を選びます。
7. 本機の IP アドレスを［アドレス］に入力します。
8. ［ドライバ］から、本機に対応するドライバーを選びます。
9. ［追加］をクリックします。
10. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、［OK］をクリックします。
11. ［プリンタ］に本機が表示されていることを確認します。

Bonjour 接続で本機を追加する

1. **本機の電源を入れます。**
2. **本機とコンピューターが接続されていることを確認します。**
   有線 LAN 接続の場合は、本機を LAN ケーブルで接続します。
   無線 LAN 接続の場合は、本機とコンピューターの無線 LAN 接続が確立されていることを確認します。
3. **［Apple］メニューから［システム環境設定］を開き、［プリンタとスキャナ］をクリックします。**
4. **＋をクリックします。**
5. **［種類］列に［Bonjour］と表示されている本機の名前を、［名前］から選びます。**
6. **［ドライバ］から、本機に対応するドライバーを選びます。**
7. **［追加］をクリックします。**
8. **本機に装着済みのオプション製品を設定し、［OK］をクリックします。**
9. **［プリンタ］に本機が表示されていることを確認します。**

オプション製品の機能を有効にする

本機に装着済みのオプション製品をドライバーから設定し、関連する機能を有効にします。

1. **［Apple］メニューから［システム環境設定］を開き、［プリンタとスキャナ］をクリックします。**
2. **［プリンタ］から本機を選び、［オプションとサプライ］をクリックします。**
3. **［オプション］をクリックします。**
4. **本機に装着済みのオプション製品を選び、［OK］をクリックします。**

4 本機の基本操作

4.1 操作パネルを使用する

操作パネルは、ディスプレイ、状態表示ランプ、プリント可ランプ、〈電源 / 節電〉ボタン、〈プリントメニュー〉ボタン、〈戻る〉ボタンなどから構成されています。

参照

- 操作パネルについては、「操作パネル」(P.12) を参照してください。

ディスプレイの表示について

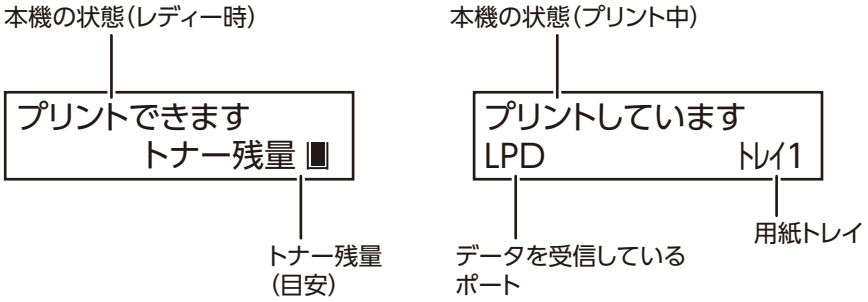
本機の状態を表す「プリント画面」と、本機の設定をするための「メニュー画面」があります。

補足

- 本機に取り付けられているオプションや、設定の状態によって、表示されるメッセージは異なります。
- ディスプレイにiマークが表示されているときに i〈インフォメーション〉ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。

プリント画面

本機の状態を表示します。レディー時またはプリント中は、プリント画面に次のように表示されます。



補足

- トナー残量マークは、次のように表示されます。トナー残量 0% の場合は、エラーメッセージが表示されます。

トナー残量 100 ～ 76%	トナー残量 75 ～ 51%	トナー残量 50 ～ 26%	トナー残量 25 ～ 1%

メニュー画面

本機の設定をする画面です。

操作パネルで、それぞれ次のボタンを押すと表示されます。

- 仕様設定メニュー：〈仕様設定〉ボタン
- プリントメニュー：〈プリントメニュー〉ボタン
- 消耗品メニュー：▼+OKボタン

参照

- 仕様設定メニューと消耗品メニューで設定できる項目については、「本体設定を変更する」(P.65) を参照してください。

4.2 節電機能について

本機には、機械の消費電力量を下げて電力を節約する、節電機能が搭載されています。

節電機能には、低電力モードとスリープモードがあります。

スリープモードは低電力モードより、さらに消費電力を下げますが、節電状態からの復帰時間が低電力モードより長くなります。

注記

- 定着ユニットの寿命は、通電時間などに大きく左右されます。節電状態への移行時間を長く設定すると、通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。

節電状態に移行する

次の場合に節電状態になります。節電状態になると⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンが点滅します。

- ⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押して、［節電モードに入る］を選ぶ
- 節電状態に移行する時間まで、本機を操作しなかったとき、ジョブが実行されなかったとき、プリントデータを受信しなかったとき

補足

- 紙詰まりや、消耗品交換などエラー表示中は、節電状態に移行しません。
- 次のようなときは、メッセージを表示するため、また、本機の性能を発揮するために、節電状態に移行しません。
  - 操作パネルで何らかの操作をしているとき
  - トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品のうち、１つでも交換メッセージが表示されているとき
  - 定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき
  - エラーが発生しているとき
  - ［暖機運転モード］が［有効］に設定されていて、本機が結露防止処理中のとき

参照

- 節電モードに移行するまでの時間を変更するには、「節電機能を設定する」(P.28) を参照してください。

節電状態から復帰する

節電状態からは、次の操作または状況により復帰します。

- ⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押したとき
- 本機がジョブを受信したとき

補足

- ディスプレイが消灯してすぐに⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押した場合や、本機が節電状態に完全に移行していない場合は、節電解除に時間がかかることがあります。本機が節電解除の操作を受け付ける状態になるまで待ってから、再度⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押してください。
- 節電状態のときにジョブが実行されると、設定した時間よりも早く節電状態に移行する場合があります。

節電機能を設定する

補足

- スリープモードに移行しないように設定することはできません。
- 低電力モードに移行するには、スリープモードに移行するまでの時間が低電力モードに移行するまでの時間より大きくなるように指定します。
- スリープモードに移行するまでの時間が低電力モードに移行するまでの時間と同じときは、低電力モードには移行せずにスリープモードに移行します。

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **［システム設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
5. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［音の設定］が表示されます。
6. **［低電力移行時間］または［スリープモード移行時間］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
7. **▶またはOKボタンを押して数値を設定します。**
8. **OKボタンを押します。**

4.3 用紙について

補足

- 使用できる用紙については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

弊社が推奨する用紙

警告

- **電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。**

より鮮明にプリントをするためには規格に合った用紙を使用してください。弊社では次の標準紙を推奨しています。

用紙名	用紙質量（g/m²）	用紙トレイに設定する用紙種類	用紙の画質処理
C^2	70	普通紙	[B]

その他の用紙については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

再生紙の利用について

本機で利用できる再生紙は次のとおりです。

用紙名	用紙質量（g/m²）	古紙パルプ配合率
G70	67	70
C^{2r}	70	70

各トレイの給紙性能

用紙トレイ	対応用紙質量（g/m² ）	用紙サイズ	セット可能枚数 *1
トレイ 1（ApeosPrint 4560 S ）	60 ～ 220	よこ：75 ～ 297 mm たて：148 ～ 432 mm	600 枚 補足 • はがき：230 枚 • 封筒：55 枚
トレイ 1（ApeosPrint 3960 S / ApeosPrint 3360 S ）			300 枚 補足 • はがき：100 枚 • 封筒：25 枚
トレイ 2 ～ 4（トレイモジュール（600））（オプション）	60 ～ 220	よこ：75 ～ 297 mm たて：148 ～ 432 mm	600 枚 補足 • はがき：230 枚 • 封筒：55 枚
トレイ 2 ～ 4（トレイモジュール（300））（オプション）			300 枚 補足 • はがき：100 枚 • 封筒：25 枚
手差しトレイ	60 ～ 220	よこ：70 ～ 297 mm たて：98 ～ 508 mm	110 枚 補足 • はがき：45 枚 • 封筒：10 枚

*1 :C2 紙の場合

補足

- 自動両面機能は次の用紙サイズと用紙質量のときに利用できます。
  よこ：100.0 mm ～ 297.0 mm
  たて：148.0 mm ～ 432.0 mm
  用紙質量：60 g/m² ～ 163 g/m²

使用できない用紙

故障の原因となるので、次の用紙は使用しないでください。

- インクジェット用紙
- 感熱紙 / 熱転写用紙
- 布地転写用紙
- 水転写紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 窓付きの封筒
- 凹凸や留め金のある封筒
- 表面に特殊コーティングされた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 定着時の熱で変質するインクが使用されている用紙

その他にも、使用できない用紙があります。詳しくは弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

用紙の保管と取り扱い

用紙の保管

- 用紙は、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙詰まりや画質不良の原因となります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。
- 用紙は、折れ曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
- 直射日光を避けて保管してください。

用紙の取り扱い

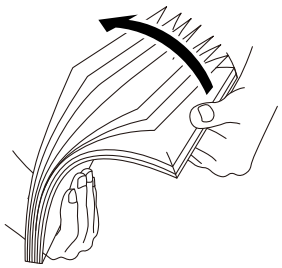
- 用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。
- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- ラベル用紙は紙詰まりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

4.4　用紙をセットする

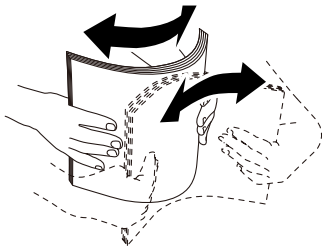
用紙をさばく

用紙は、セットする前によくさばいてください。

1. **用紙の一方を持ち、図のようにさばきます。**



2. **用紙の上下を逆にして、同様にさばきます。**
3. **用紙をほぐします。**



4. **上記の手順を数回繰り返し、最後に四辺を整えます。**

トレイ 1 ～ 4（トレイ 2 ～ 4 はオプション）に用紙をセットする

注記

- 用紙トレイに残っている用紙の上に、異なるサイズや種類の用紙を補給しないでください。紙詰まりやエラーの原因になることがあります。
- 用紙トレイからプリントをしているときに、用紙トレイに用紙を追加したり、用紙を取り除いたりしないでください。紙詰まりの原因になることがあります。

本機では、B4、A3、11x17" など、用紙の縦が A4（297 mm）よりも長い用紙をトレイにセットする場合は、トレイを引き伸ばします。

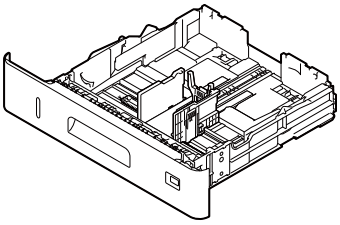
また、A5 や B5 などの用紙をセットする場合、A4 や 8.5x11" などの用紙をよこ置きでセットする場合は、トレイが伸びているとセットできないため、トレイを伸ばしているときはトレイの長さを元に戻します。

トレイを引き伸ばしたり縮めたりする方法は、次の手順 3 ～ 4 で説明しています。トレイの長さを変更する必要がない場合は、手順 3 ～ 4 は不要です。

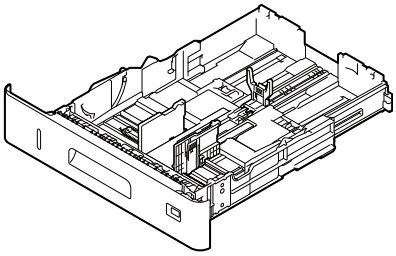
補足

- トレイを引き伸ばすと、本体の奥行きよりもトレイの長さが長くなるため、トレイが背面から突き出た状態になります。

通常のトレイの状態



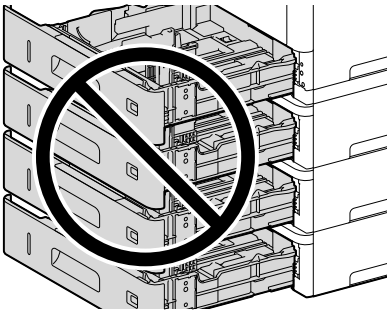
トレイを引き伸ばした状態



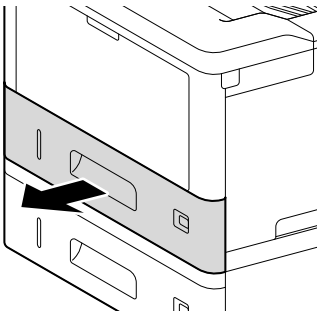
ここでは、トレイ 1 に用紙をセットする例で説明します。

注記

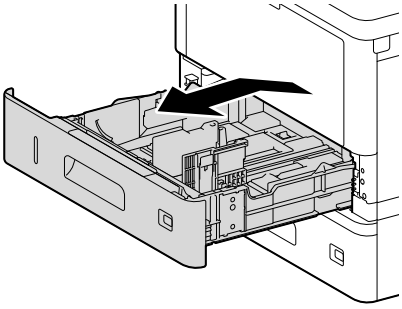
- 複数の用紙トレイを同時に引き出すと、機器全体が傾き、転倒などによりケガの原因となる恐れがあります。用紙トレイを引き出す場合は、必ず一段ずつ引き出してください。



1. **用紙トレイを引き出します。**

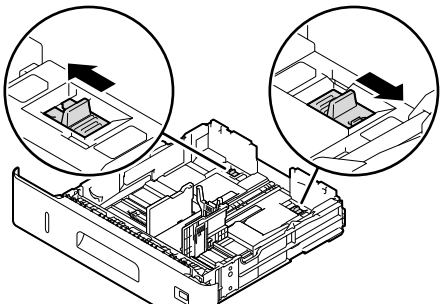


2. **用紙トレイを両手で持ち、少し正面を持ち上げて、本機から取り外します。**



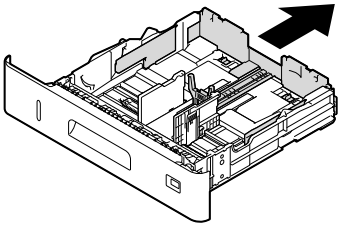
3. **トレイの長さを変更する必要がない場合は手順 5 に進みます。**

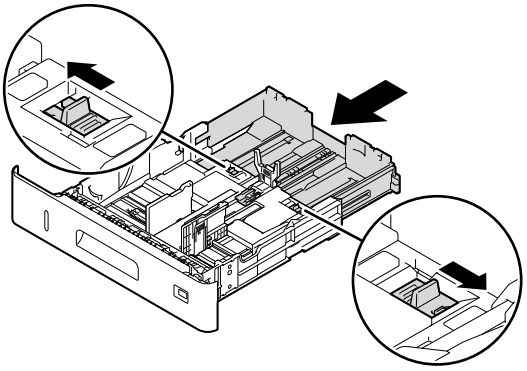
トレイの長さを変更する場合は、トレイの左右の突起部を外側に動かしてロックを解除します。



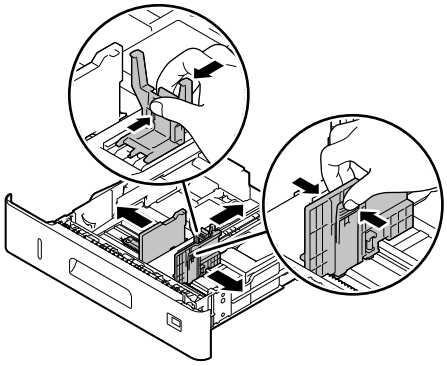
4. **用紙に合わせてトレイの長さを調節します。**

トレイの長さを変更する場合は、手順 3 で解除したロックが自動的にかかるまで、引き伸ばす、または縮めます。





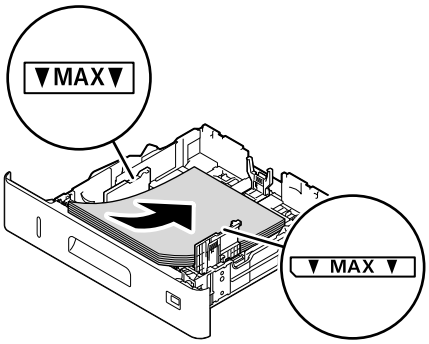
5. 2 か所の用紙ガイドをつまみながら、それぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。



6. 用紙をよくさばいてから、プリントする面を下にして、用紙の先端を手前側にそろえてセットします。

注記

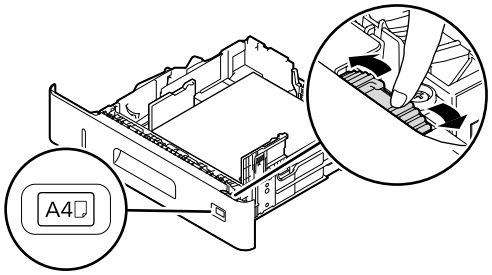
- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。



補足

- 用紙ガイドが用紙とずれていると紙詰まりの原因になります。用紙ガイドが用紙とずれている場合は、用紙ガイドを用紙サイズに合わせ直します。

7. セットした用紙に合わせて、用紙サイズ設定ダイヤルを回します。



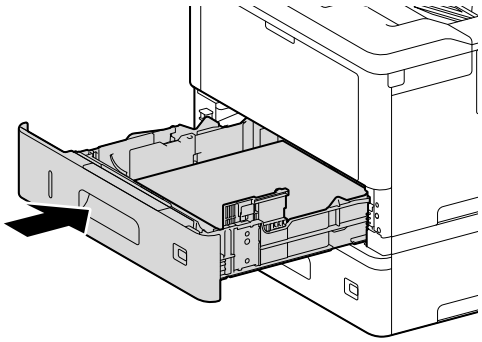
注記

- 用紙サイズ設定ダイヤルは、必ずセットした用紙のサイズと同じ用紙サイズに合わせてください。異なる用紙サイズに合わせると、用紙サイズを正しく認識できません。

参照

- 用紙サイズ設定ダイヤルにない定形サイズを使用するときは、用紙サイズ設定ダイヤルを［＊］に合わせ、「[ダイヤルスイッチ設定]」(P.89) で用紙サイズを設定してください。
- 定形外サイズを使用するときは、用紙サイズ設定ダイヤルを［＊］に合わせ、「[トレイの用紙サイズ設定]」(P.87) で［定形外］を設定してください。

8. **用紙トレイを本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**



9. **用紙種類を設定します。**

参照

- 詳しくは、「[トレイの用紙種類]」(P.87) を参照してください。

手差しトレイに用紙をセットする

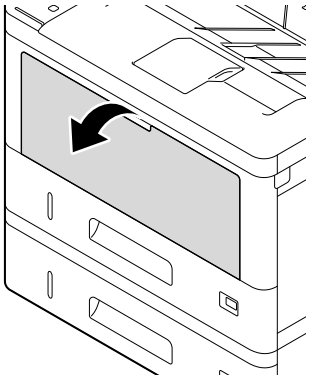
注記

- 手差しトレイからプリントをしているときに、手差しトレイに用紙を追加したり、用紙を取り除いたりしないでください。紙詰まりの原因となります。

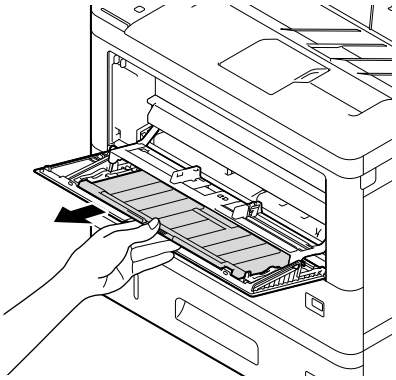
補足

- 用紙が詰まる場合は、用紙を 1 枚ずつセットしてください。

1. **手差しトレイを開きます。**

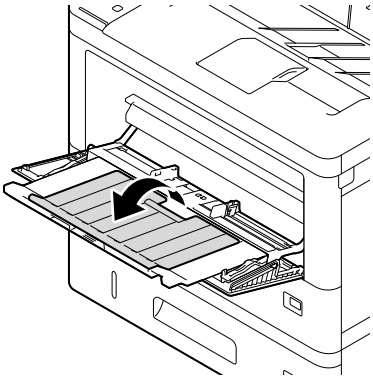


2. **トレイを浮かせて、引き出します。**

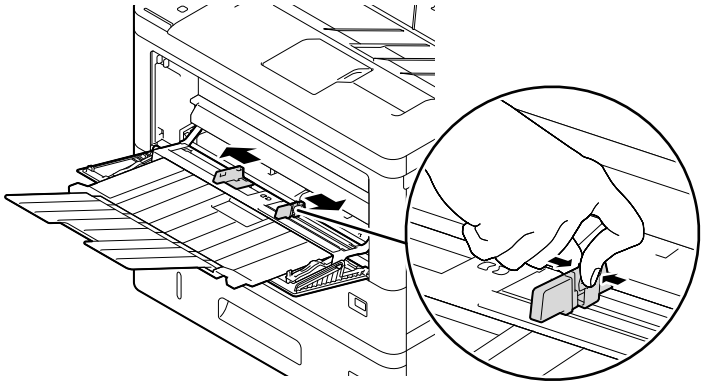


補足

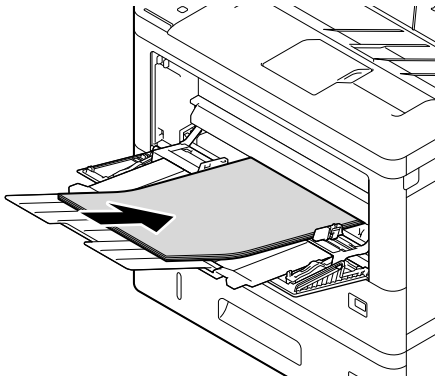
- 必要に応じて延長トレイを開きます。延長トレイを開くときは、ゆっくりと開いてください。



3. **用紙ガイドの上部をつまみながら、用紙サイズに合った位置まで移動します。**

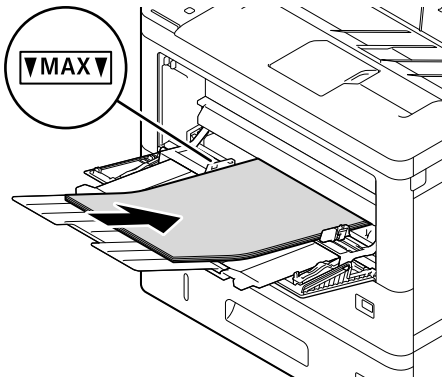


4. **プリントする面を上にして、用紙をそろえた状態で先端が軽く突き当たるまで差し込みます。**



注記

- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。



補足

- 用紙ガイドが用紙とずれていると紙詰まりの原因になります。用紙ガイドが用紙とずれている場合は、用紙ガイドを用紙サイズに合わせ直します。
- 非定形サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズに合うように、用紙ガイドの位置を微調整します。

5. **用紙種類を設定します。**

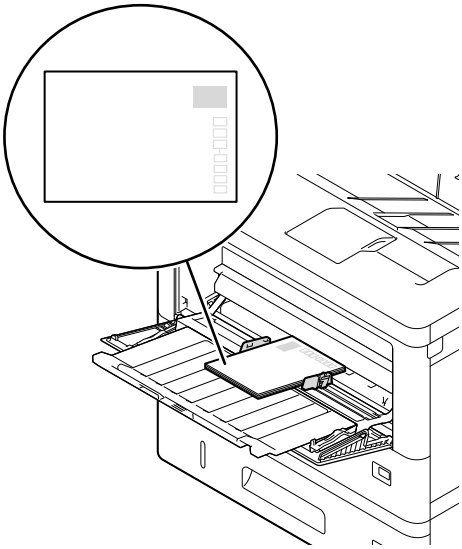
参照

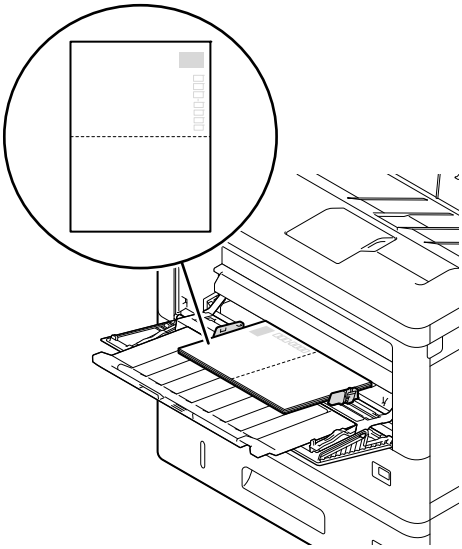
- 詳しくは、「[トレイの用紙種類]」(P.87) を参照してください。

はがき / 往復はがきをセットする

手差しトレイにセットする場合

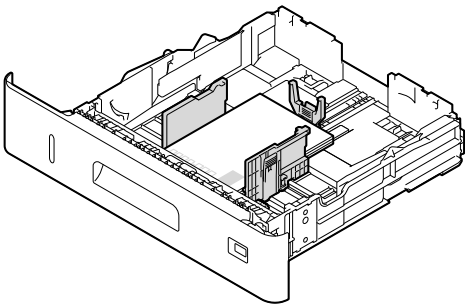
はがきをよくさばいてから、プリントする面を上にして、はがき / 往復はがきの上辺が先に本機に入るようにセットします。

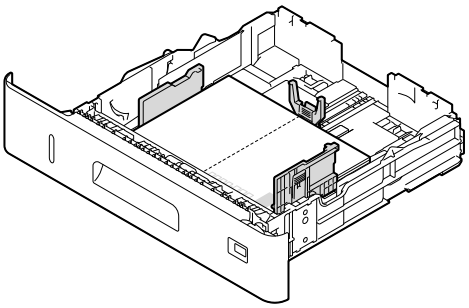




トレイ 1 ～ 4（トレイ 2 ～ 4 はオプション）にセットする場合

はがきをよくさばいてから、プリントする面を下にして、はがき / 往復はがきの上辺が手前側になるようにセットします。

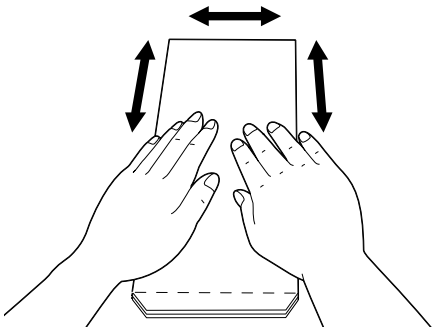




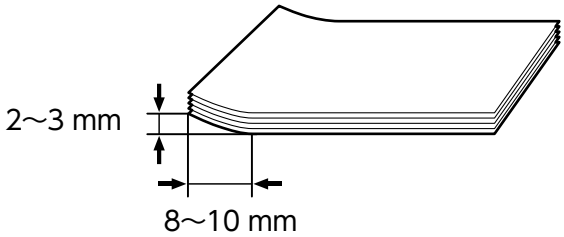
封筒をセットする

補足

- 封筒をパッケージから取り出してすぐにセットしない場合は、封筒が反る（カールする）ことがあります。紙詰まりを防止するため、セットする際には、次のように封筒全体をしっかり押さえて平らにしてください。



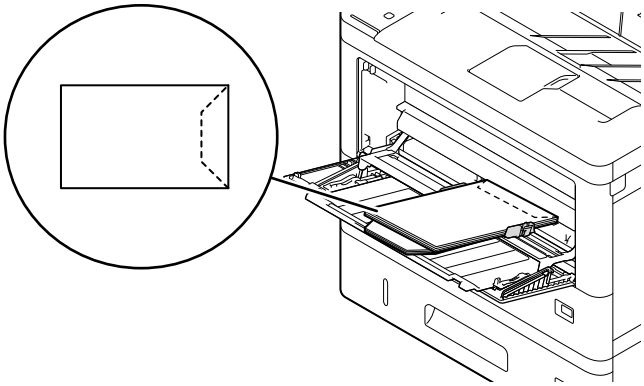
- 封筒が正しく給紙されない場合は、封筒の端を図のようにカールさせてください。カール幅は 2 ～ 3 mm をおすすめします。カールさせる領域は、封筒の先端から 8 ～ 10 mm です。カールをつけすぎたり、しわをつけたりしないようにしてください。



手差しトレイにセットする

のり / シール付きの封筒の場合

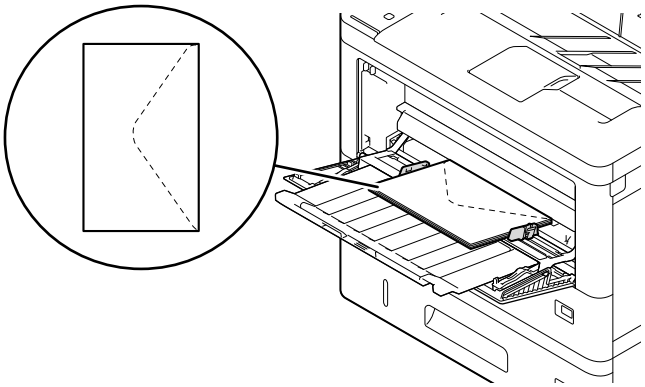
フラップを閉じて、プリント面を上にして、封筒の上辺が奥側になるようにセットします。



のり / シールがない封筒の場合

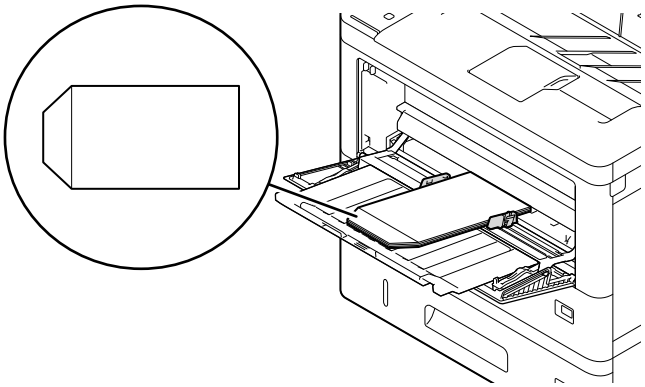
■ **洋形の封筒**

フラップを閉じて、プリントする面を上にして、封筒の上辺が奥側になるようにセットします。



■ **長形または角形の封筒**

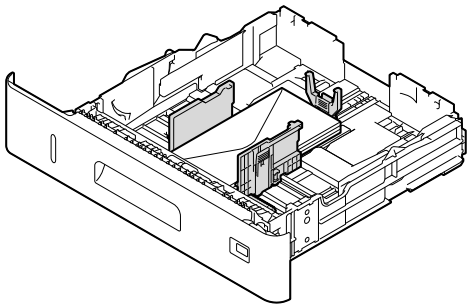
フラップを開き、プリントする面を上にして、封筒の上辺が手前側になるようにセットします。



トレイ 1 ～ 4（トレイ 2 ～ 4 はオプション）にセットする

洋形の封筒

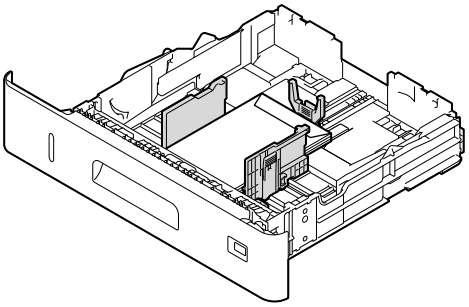
フラップを閉じて、プリント面を下にして、フラップが用紙トレイの左側を向くようにセットします。



長形または角形の封筒

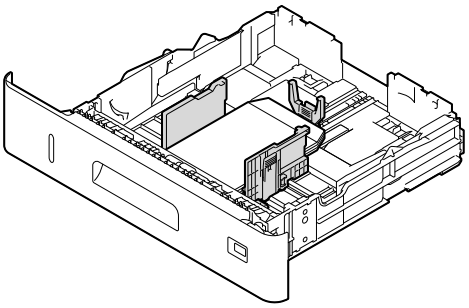
■ **のり / シール付きの封筒の場合**

フラップを閉じて、プリント面を下にして、封筒の上辺が奥側になるようにセットします。



■ **のり / シールがない封筒の場合**

フラップを開き、プリントする面を下にして、封筒の底面が手前側になるようにセットします。



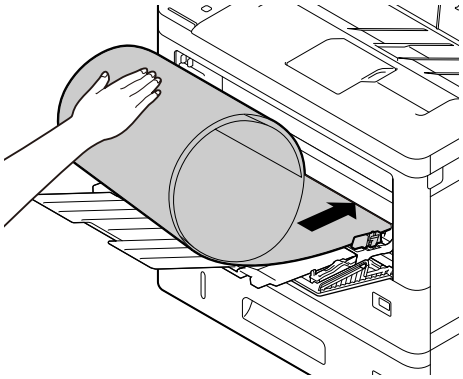
長尺サイズの用紙をセットする

長尺サイズの用紙は手差しトレイにセットします。

補足

- 設定できる用紙のサイズは、長尺紙（210 x 900 mm）、長尺紙 A（297 x 900 mm）、および長尺紙 B（297 x 1200 mm）です。

1. **長尺サイズの用紙のプリントする面を上にして、図のように後端をまるめて、手差しトレイにセットします**



補足

- 長尺サイズ用紙の後端は、用紙の差し込み口からできるだけ離れた位置で、まるめてください。差し込み口に近いと、まるめた用紙の後端が引き込まれるなど、用紙が折れたりしわの原因になることがあります。
- 用紙の先端は、手差しトレイの差し込み口にしっかり挿入してください。用紙の先端が正しく差し込まれないと紙詰まりの原因になります。
- 用紙は、1 枚ずつセットしてください。

2. **用紙ガイドを、長尺の用紙のサイズに合わせます。**

長尺サイズの用紙は長いので、排出された用紙が床に落ちないように、必ず 1 枚ずつ取り除いてください。

5 プリント

5.1 コンピューターからプリントする

ここでは代表的なプリント手順を説明します。

補足
- プリンタードライバーの設定内容は、操作パネルの設定より優先されます。プリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows の場合

1. **プリントするファイルを開きます。**
2. **［ファイル］メニューから［印刷］を選びます。**

   補足
   - アプリケーションによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。
3. **［プリンターの選択］から本機を選び、［詳細設定］をクリックします。**
4. **必要に応じて設定を変更し、［OK］をクリックします。**
5. **［印刷］をクリックします。**

Mac の場合

1. **プリントするファイルを開きます。**
2. **［ファイル］メニューから［プリント］を選びます。**

   補足
   - アプリケーションによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。
3. **［プリンタ］から本機を選び、必要に応じて設定を変更します。**
4. **［プリント］をクリックします。**

5.2 プリントを中止する

操作パネルで中止する

本機でプリント中 / 受信中のデータのプリントを中止する

操作パネルの〈プリント中止〉ボタンを押します。プリント中のページはプリントされます。

本機で受信したすべてのデータのプリントを中止する

大量の文書をプリント指示してしまった場合は、次の方法で、一度にすべてのデータのプリントを中止してください。

1. **操作パネルで || ◯〈オンライン〉ボタンを押します。**
   ディスプレイに［オフライン］と表示されます。
2. **▽〈プリント中止〉ボタンを押します。**
   中止の処理が開始され、完了すると、ディスプレイに［オフライン］と表示されます。
3. **|| ◯〈オンライン〉ボタンを押します。**
   プリント画面に戻ります。

コンピューターで中止する

1. **Windows のタスクバー上のプリンターのアイコンをダブルクリックします。**
2. **中止するドキュメント名を選び、〈Delete〉キーを押します。**

補足

- 中止するドキュメントがウィンドウ内に表示されていない場合は、操作パネルでプリントを中止してください。
- インターネットサービスの［ジョブ］タブで、プリントを中止することもできます。操作方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

5.3 定形外サイズの用紙にプリントする

定形外サイズの用紙をセットする

定形外サイズの用紙をセットする方法は、定形サイズの用紙をセットする方法と同じです。

参照

- 詳しくは、「用紙をセットする」(P.31) を参照してください。

定形外サイズを登録する

定形外サイズの用紙にプリントする場合は、事前に次の設定をします。

- プリンタードライバーで、定形外サイズをユーザー定義用紙として登録します。
- 定形外サイズの用紙をトレイ 1 ～ 4 (2 ～ 4 はオプション) にセットした場合は、操作パネルで［トレイの用紙サイズ設定］を設定します。

補足

- 長尺サイズの場合は、ユーザー定義用紙ではなく、［長尺紙 (210x900mm)］、［長尺紙 A (297x900mm)］または［長尺紙 B (297x1200mm)］を選ぶこともできます。
- ［原稿サイズ］で長尺紙を選ぶと、一部のアプリケーションで原稿の向きが正しくプリントされないことがあります。その場合は、プリントする長尺サイズを［ユーザー定義用紙］に登録してください。

プリンタードライバーの設定

1. **［スタート］＞［設定］＞［デバイス］＞［プリンターとスキャナー］をクリックします。**
2. **本機を選んで［管理］＞［印刷設定］をクリックします。**
3. **［基本］タブをクリックします。**

4. **［原稿サイズ］から［ユーザー定義用紙］を選びます。**

5. **［新しい用紙名で登録］にチェックマークを付け、定形外を登録する用紙名を［用紙名］に入力します。**

補足

- すでに登録している用紙のサイズを変更する場合は、用紙名を選びます。

6. **短辺と長辺の長さを指定します。**

7. **［登録］をクリックします。**

8. **［OK］をクリックします。**

9. **［OK］をクリックします。**

本機の設定

定形外サイズの用紙をトレイ 1 ～ 4（2 ～ 4 はオプション）にセットした場合は、本機の用紙サイズを定形外サイズに設定します。

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。**

2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

3. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。

4. **［プリント設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

5. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［用紙の置き換え］が表示されます。

6. **［トレイの用紙サイズ設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

7. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［トレイ 1］が表示されます。

8. **設定したいトレイが表示されるまで、▼ボタンを押したあと、▶またはOKボタンを押します。**
   現在の設定値が表示されます。

9. **［定形外］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

10. **OKボタンを押します。**
    ［たて (Y) 方向のサイズ］が表示されます。

11. **▶またはOKボタンを押します。**
    現在の設定値が表示されます。

12. **▲▼ボタンで、たて方向のサイズを入力し、OKボタンを押します。**

13. **◀または〈戻る〉ボタンで、［たて (Y) 方向のサイズ］に戻ります。**

14. **▼ボタンを押します。**
    ［よこ (X) 方向のサイズ］が表示されます。

15. **▶またはOKボタンを押します。**
    現在の設定値が表示されます。

16. **▲▼ボタンで、よこ方向のサイズを入力し、OKボタンを押します。**

17. **ほかのトレイも設定する場合は、◀または〈戻る〉ボタンを押して手順 8 に戻り、同様に設定します。**

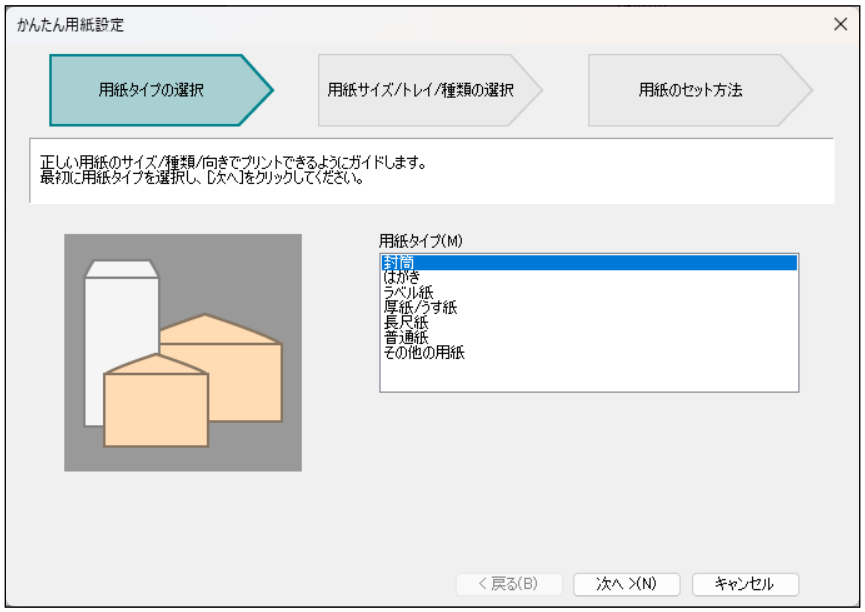
設定を終了する場合は、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

定形外サイズの用紙にプリントする

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。
3. ［基本］タブをクリックします。
4. ［原稿サイズ］から、任意の原稿サイズを選びます。
5. ［出力用紙サイズ］から、登録したユーザー定義サイズの用紙を選びます。
6. ［トレイ / 排出］タブをクリックします。
7. ［用紙トレイ選択］から、定形外サイズの用紙がセットされているトレイを選びます。
8. ［用紙トレイ選択］で［トレイ 5(手差し)］を選んだ場合は、［手差し用紙種類］と［手差し用紙の給紙方向］を設定します。
9. ［OK］をクリックします。
10. ［印刷］をクリックします。

5.4 はがき / 封筒にプリントする

1. ［ファイル］メニューから［印刷］を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。
3. ［基本］タブの［かんたん用紙設定］をクリックします。
4. ［封筒］または［はがき］を選び、［次へ］をクリックします。



5. 画面の指示に従って設定を進め、［完了］をクリックします。
6. ［OK］をクリックします。

7. ［印刷］をクリックします。

5.5 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -

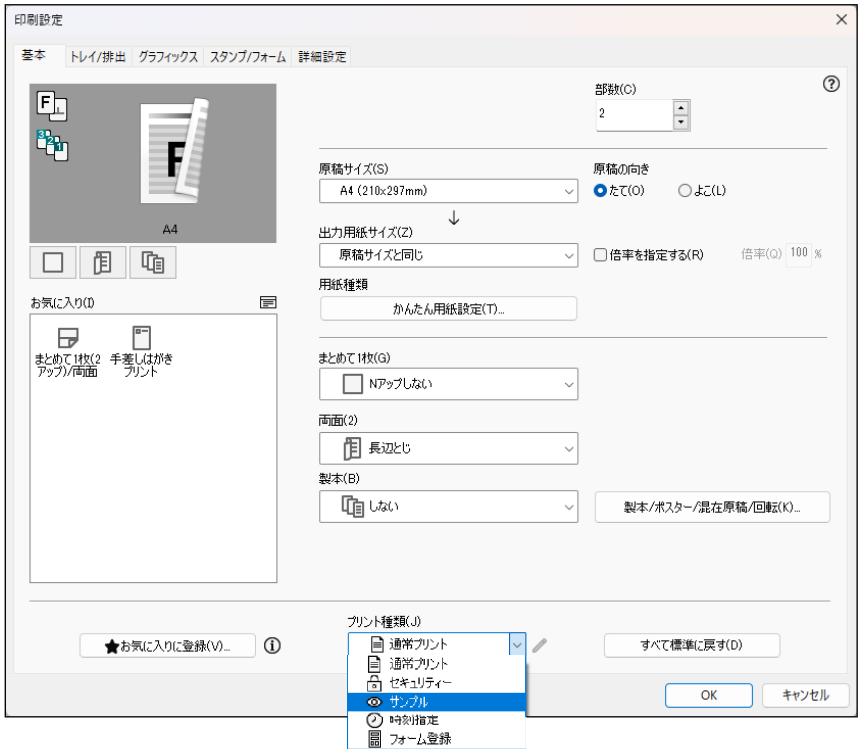
サンプルプリントについて

サンプルプリントとは、複数部数をプリントする場合に、本機にプリントデータを保存し、まず 1 部だけプリントし、プリント結果を確認してから、残りの部数のプリント開始を操作パネルで指示する機能です。

サンプルプリントをする

コンピューターでの操作

1. ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。
2. ［プリンターの選択］で本機を選び、［詳細設定］をクリックします。
3. ［基本］タブで、［部数］を 2 部以上に設定します。
4. ［プリント種類］から［サンプル］を選び、をクリックします。



5. ［ユーザー ID］と［蓄積する文書名］を設定し、［OK］をクリックします。
6. ［基本］タブで［OK］をクリックします。
7. ［印刷］をクリックします。

操作パネルでの操作

1. **操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。**
2. **［サンプルプリント］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   ユーザー ID が表示されます。
4. **対象のユーザー ID が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
5. **▶またはOKボタンを押します。**
   文書名が表示されます。
6. **対象の文書名が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
7. **▶またはOKボタンを押します。**
   プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

   補足
   - プリントをしないで削除する場合は、▼ボタンを押して、［削除する］を表示し、▶ボタン、OKボタンの順に押します。
8. **蓄積したデータをプリントする場合は、▶またはOKボタンを押します。**
   部数を入力する画面が表示されます。
9. **▼ボタンを押して部数を設定し、▶またはOKボタンを押します。**
   プリントを開始する画面が表示されます。
10. **OKボタンを押します。**
    プリントが開始されます。
11. **〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

5.6 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -

時刻指定プリントについて

時刻指定プリントとは、あらかじめ本機にプリントデータを保存しておき、指定した時刻に自動的にプリントする機能です。

保存できるプリントデータは、100 ジョブまでです。

補足
- 指定できる時刻は、プリント指示をしたときから 24 時間以内です。
- 指定したプリント時刻より前に本機の電源を切った場合、指定時刻が過ぎたジョブは、次に本機の電源を入れた直後にプリントされます。

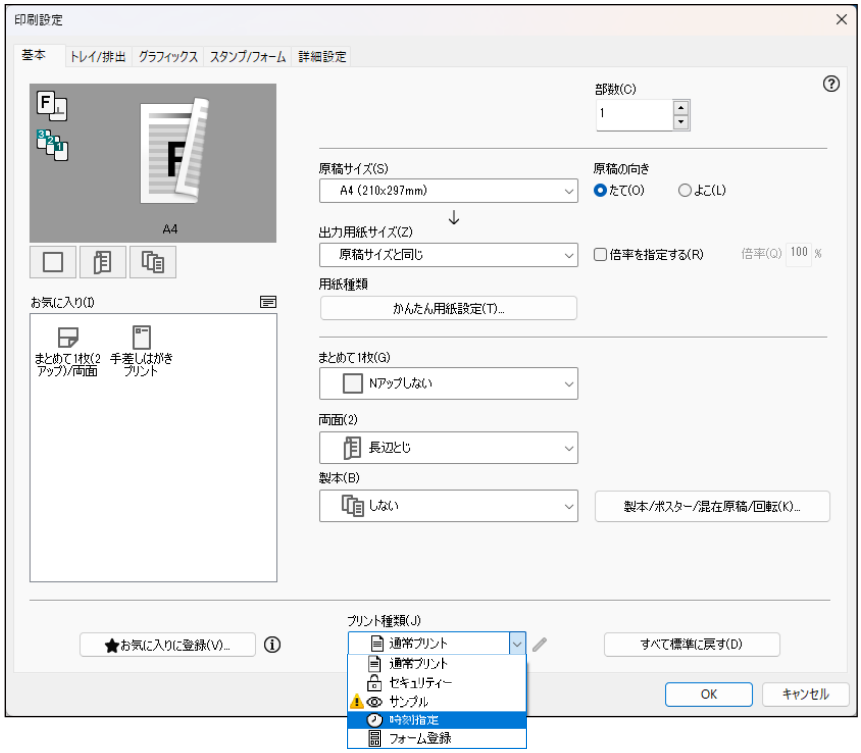
時刻指定プリントをする

コンピューターでの操作

1. **［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。**

2. ［プリンターの選択］で本機を選び、［詳細設定］をクリックします。

3. ［基本］タブで、［プリント種類］から［時刻指定］を選び、をクリックします。



4. ［プリント開始時刻］と［蓄積する文書名］を設定し、［OK］をクリックします。

補足

- ［プリント開始時刻］は 24 時間制で設定します。

5. ［基本］タブで［OK］をクリックします。

6. ［印刷］をクリックします。

指定した時刻になると、プリントが開始されます。

時刻指定プリントを中止する / 指定した時刻より前にプリントする

時刻指定プリントを中止する場合や、指定した時刻より前にプリントする場合は、操作パネルで操作します。

操作パネルでの操作

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。

2. ［時刻指定プリント］が表示されるまで、▼ボタンを押します。

3. ▶またはOKボタンを押します。

文書名が表示されます。

4. 対象の文書名が表示されるまで、▼ボタンを押します。

5. ▶またはOKボタンを押します。

すぐにプリントするか、プリントしないで削除するかを選ぶ画面が表示されます。

補足

- 蓄積したデータをプリントしないで削除する場合は、▼ボタンを押して、［削除する］を表示し、▶ボタン、OKボタンの順に押します。

6. **すぐにプリントする場合は、▶またはOKボタンを押します。**

プリントを開始させる画面が表示されます。

7. **OKボタンを押します。**

プリントが開始されます。

8. **〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

5.7 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -

セキュリティープリントについて

プリンタードライバーでユーザー ID と暗証番号を設定してプリントを指示したデータを本機に蓄積し、プリントしたいときに本機の操作でプリントします。プリンタードライバーで［セキュリティー］を選んだプリントジョブだけ本機に蓄積されます。

項目	内容
プリント指示	プリンタードライバーで任意のユーザー ID と暗証番号を設定してプリントを指示します。
蓄積方法	文書は本機にユーザー ID ごとに蓄積されます。
出力方法	本機でユーザー ID を選び、暗証番号を入力してプリントする文書を選びます。

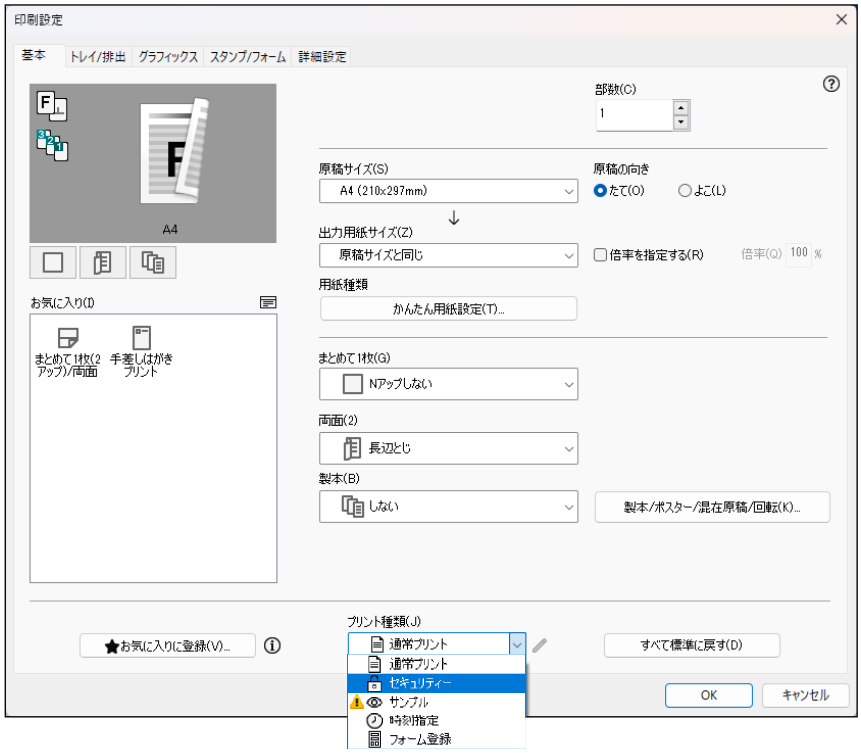
セキュリティープリントをする

コンピューターでの操作

1. **［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。**

2. **［プリンターの選択］で本機を選び、［詳細設定］をクリックします。**

3. ［基本］タブで、［プリント種類］から［セキュリティー］を選び、をクリックします。



4. ［ユーザー ID］と［蓄積する文書名］を設定し、［OK］をクリックします。

補足

- 必要に応じて［暗証番号］を設定します。

5. ［基本］タブで［OK］をクリックします。

6. ［印刷］をクリックします。

操作パネルでの操作

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。

［セキュリティープリント］が表示されます。

2. ▶またはOKボタンを押します。

ユーザー ID が表示されます。

3. 対象のユーザー ID が表示されるまで、▼ボタンを押します。

4. ▶またはOKボタンを押します。

暗証番号を設定した場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を設定していない場合は、手順 6 に進みます。

5. 暗証番号を入力します。

補足

- 暗証番号は、プリンタードライバーの［セキュリティープリント］ダイアログボックスで設定した［暗証番号］を入力します。

6. OKボタンを押します。

文書名が表示されます。

7. 対象の文書名が表示されるまで、▼ボタンを押します。

8. **▶または OK ボタンを押します。**

プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

補足

- プリント後にデータを本機から自動で削除したい場合は、▼ボタンを押して、［プリント後削除する］を表示し、▶ボタン、OK ボタンの順に押します。
- プリント後も、データを本機に残しておく場合は、▼ボタンを押して、［プリント後削除しない］を表示し、手順 9 に進みます。

9. **▶または OK ボタンを押します。**

部数を入力する画面が表示されます。

10. **▼ボタンを押して部数を設定し、▶または OK ボタンを押します。**

プリントを開始する画面が表示されます。

11. **OK ボタンを押します。**

プリントが開始されます。

12. **〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

5.8 機密文書をプリントする - プライベートプリント -

プライベートプリントについて

プライベートプリントとは、プリントを指示するときにユーザー ID を設定し、本機で認証操作を行うことで、自分がプリント指示した文書だけを出力できる機能です。

プリンタードライバーで設定したユーザー ID と、本機や外部認証サーバーで登録した認証情報が一致した場合に、コンピューターでプリントを指示したデータは本機に蓄積され、IC カードで認証したあとに、本機の操作でプリントできます。セキュリティープリントとは異なり、すべてのプリントジョブが本機に蓄積されます。

項目	内容
プリント指示	プリンタードライバーでユーザー ID を設定してプリント指示します。
蓄積方法	文書は本機にユーザー ID ごとに蓄積されます。
出力方法	本機で IC カードを認証してプリントします。

補足

- プライベートプリントを設定した場合、プリンタードライバーから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントは使用できません。
- 本機能は、IC カード読み取り装置（オプション）が接続されている場合に表示されます。

参照

- 詳しくは、IC カード読み取り装置のマニュアルを参照してください。

プライベートプリントの設定をする

操作パネルでの設定

認証機能を有効にする

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。
2. ［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。
3. ▶またはOKボタンを押します。
4. ［システム設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。
5. ▶またはOKボタンを押します。
6. ［認証 / 集計の設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。
7. ▶またはOKボタンを押します。
   ［認証 / 集計の設定］が表示されます。
8. ［本体認証 / 集計］、［ネット認証 / 集計］、または［外部認証 / 集計］を選びます。
9. OKボタンを押します。
10. 〈仕様設定〉を押し、プリント画面に戻ります。
    本機が再起動します。

プライベートプリントを有効にする

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。
2. ［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。
3. ▶またはOKボタンを押します。
4. ［システム設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。
5. ▶またはOKボタンを押します。
6. ［認証の設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。
7. ▶またはOKボタンを押します。
8. ［認証プリントの設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。
9. ▶またはOKボタンを押します。
10. ［受信制御］が表示されるまで、▼ボタンを押します。
11. ▶またはOKボタンを押します。
12. ［プライベートプリント保存］が表示されるまで、▼ボタンを押します。
13. OKボタンを押します。
14. 〈仕様設定〉ボタンを押し、プリント画面に戻ります。
    本機が再起動します。

コンピューターでの設定

1. ［スタート］＞［設定］＞［デバイス］＞［プリンターとスキャナー］をクリックします。
2. 本機を選んで［管理］＞［プリンターのプロパティ］をクリックします。
3. ［プリンター構成］タブで［認証設定］をクリックします。
4. ［使用する認証情報］から［User ID と Account ID］を選びます。
5. ［常に同じ認証情報を使用する］を選び、プライベートプリントをするユーザーの認証情報を設定します。

   補足
   - ［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］を選ぶこともできます。その場合は、プリント指示をするときにユーザーの認証情報を設定します。

6. ［OK］をクリックします。
7. ［プリンター構成］タブで［OK］をクリックします。

プライベートプリントをする

コンピューターでの操作

1. ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。
2. ［プリンターの選択］から、プライベートプリントの設定をした本機を選びます。
3. ［印刷］をクリックします。

操作パネルでの操作

1. 操作パネルに［プリントできます］が表示されている状態で、IC カードをタッチし、認証します。

   認証に成功すると、自動的に認証ユーザーの文書がプリントされます。

5.9 機密文書をプリントする - 認証プリント -

認証プリントについて

コンピューターでプリントを指示したデータを蓄積用ユーザー ID ごとに本機に蓄積し、プリントしたいときに本機の操作でプリントできます。セキュリティープリントとは異なり、すべてのプリントジョブが本機に蓄積されます。

項目	内容
プリント指示	プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID と暗証番号を設定してプリント指示します。
蓄積方法	文書は本機に蓄積用ユーザー ID ごとに蓄積されます。ユーザー ID なしのジョブは［7001.(no userID)］に保存されます。
出力方法	本機で蓄積用ユーザー ID を選び、プリントジョブを選びます。

補足

- プライベートプリントには保存できない、ユーザー ID なしのジョブ（プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID が設定されていないジョブ、ContentsBridge やインターネットサービスを使用したプリント、メール受信プリントなど）も本機に蓄積してプリントできます。
- 認証プリントを設定した場合、プリンタードライバーから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントは使用できません。
- 本機能は、IC カード読み取り装置（オプション）が接続されている場合に表示されます。

参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.96) を参照してください。

認証プリントの設定をする

操作パネルでの設定

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
4. **［システム設定］が表示されるまで▼ボタンを押します。**
5. **▶またはOKボタンを押します。**
6. **［認証の設定］が表示されるまで▼ボタンを押します。**
7. **▶またはOKボタンを押します。**
8. **［認証プリントの設定］が表示されるまで▼ボタンを押します。**
9. **▶またはOKボタンを押します。**
10. **［受信制御］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
11. **▶またはOKボタンを押します。**
12. **［認証プリントに保存］を選びます。**
13. **OKボタンを押します。**
14. **〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

    本機が再起動します。

コンピューターでの設定

1. **［スタート］＞［設定］＞［デバイス］＞［プリンターとスキャナー］をクリックします。**
2. **本機を選んで［管理］＞［プリンターのプロパティ］をクリックします。**
3. **［プリンター構成］タブで［認証設定］をクリックします。**
4. **［使用する認証情報］から［蓄積用ユーザー ID］を選びます。**
5. **［常に同じ認証情報を使用する］を選び、［蓄積用ユーザー ID］を設定します。**

補足

- ［ジョブごとに認証の入力画面を表示する］を選ぶこともできます。その場合は、プリント指示をするときに蓄積用ユーザー ID を設定します。

6. ［OK］をクリックします。

補足

- 必要に応じて ［暗証番号］を設定します。

7. ［プリンター構成］タブで［OK］をクリックします。

認証プリントをする

コンピューターでの操作

1. ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。
2. ［プリンターの選択］から、認証プリントの設定をした本機を選びます。
3. ［印刷］をクリックします。

操作パネルでの操作

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。
2. ［認証プリント］が表示されるまで、▼ボタンを押します。
3. ▶またはOKボタンを押します。

   ［IC カードで認証してください］と表示されます。
4. IC カードをタッチして認証します。

   認証に成功すると、［ユーザー ID を選択］と表示されます。
5. 対象のユーザー ID が表示されるまで、▼ボタンを押します。

   補足

   - 蓄積用ユーザー ID が設定されていない文書をプリントする場合は、［ユーザー ID を選択］画面で［7001.(no userID)］を選びます。
6. ▶またはOKボタンを押します。

   暗証番号を設定した場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を設定していない場合は、手順 8 に進みます。
7. 暗証番号を入力します。

   補足

   - 暗証番号は、プリンタードライバーで設定した［暗証番号］を入力します。
8. OKボタンを押します。

   文書名が表示されます。
9. 対象の文書名が表示されるまで、▼ボタンを押します。
10. ▶またはOKボタンを押します。

    プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

    補足

    - プリントをしないで削除する場合は、▼ボタンを押して［削除する］を表示し、▶ボタン、OKボタンの順に押します。
    - プリント後もデータを本機に残しておく場合は、▼ボタンを押して［プリント後削除しない］を表示し、手順 11 に進みます。

11. **▶または[OK]ボタンを押します。**

12. **▼ボタンを押して部数を設定し、▶または[OK]ボタンを押します。**

プリントを開始する画面が表示されます。

13. **[OK]ボタンを押します。**

プリントが開始されます。

14. **〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

5.10 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -

メール受信プリントについて

ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合は、コンピューターや携帯電話などから本機あてにメールを送信したり、転送したりできます。受信したメールは、本機の設定に応じて自動的にプリントされます。

この機能を「メール受信プリント」といいます。

メール受信プリントをするための設定

メール受信プリントを設定するためには、インターネットサービスの POP3/SMTP でサーバーアドレスと本体のメールアドレスを設定する必要があります。

参照

- 設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

メールを受信してプリントする

メールを受信する

ここでは、本機がコンピューターからメールを受信する方法を説明します。

1. **お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。**

補足

- メール本文には、テキスト形式および HTML 形式を使用できます。HTML 形式の場合は、テキスト部分のみプリントされます。なお、HTML 形式でもテキスト部分が送信されない場合、本文はプリントされません。
- 添付文書の拡張子が「.tif」、「.tiff」、「.pdf」、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」、「.jfif」、「.xps」、「.xdw」、「.xbd」以外の場合は、正しくプリントされないことがあります。
- 添付文書の拡張子が「.txt」の場合は、Content-Type に「text/plain」が指定され、charset に「us-ascii」または「iso-2022-jp」が指定されているときだけ、プリントされます。
- 添付文書の拡張子は、大文字 / 小文字の違いは区別されず、同一とみなされます。
- 31 文書まで添付できます。
  なお、本機でプリントできない形式の文書は、添付文書数にカウントされません。
- Web メールの場合、送信方法によっては正しくプリントされないことがあります。

2. **宛先に本機のメールアドレスを入力します。**

3. **メールを送信します。**

ジョブ属性を指定してメール受信プリントをする

コンピューターや携帯電話などから、本機にメールを送信または転送するときにジョブ属性を指定すると、用紙サイズなどを設定してメール受信プリントできます。

設定できるジョブ属性、項目、およびその指定方法は次のとおりです。

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
カラーモード	モノクロ	mono
両面 / 片面	片面	simp
	両面（長辺とじ）	dup
	両面（短辺とじ）	tumble
N-up*1*2 （まとめて一枚）	1 アップ*3	1up
	2 アップ	2up
	4 アップ	4up
用紙サイズ	A3	a3
	B4	b4
	A4	a4
	B5	b5
	レター（8.5×11")	letter
	リーガル	legal

*1 :添付文書の拡張子が「.pdf」の文書は、操作パネルの［PDF］＞［プリント処理モード］を［PS］に設定している場合、N-up 指定は無効となります。1 アップ以外を指定しても 1 アップでプリントされます。
*2 :メールヘッダー、メール本文、および添付文書の拡張子が「.txt」の場合、指定は無効となります。
*3 :1 アップを指定した場合は、出力サイズにプリント内容が収まるように原稿を自動的に拡大縮小してプリントされます。

補足

- 本文と添付文書のジョブ属性は、個別に設定できません。転送メールの場合、本文とその添付文書、転送メールの本文とその添付文書のジョブ属性を個別に設定できません。添付文書は本文の設定に従ってプリントされます。
- 原稿サイズと用紙サイズが異なる場合、添付文書の種類により、拡大縮小されるものとされないものがあります。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。

2. メールの件名の前に「@@ ジョブ属性 @@」と入力します。

3. ジョブ属性を複数指定する場合は、カンマ（,）で区切り、「@@ ジョブ属性（, ジョブ属性）（, ジョブ属性）@@」と入力します。

指定例

メールの件名に次のように入力します。

例：件名が「参考資料」で、モノクロ、両面（長辺とじ）、2up でプリントする

@@mono,dup,2up@@ 参考資料

補足

- ジョブ属性を指定するときに、大文字 / 小文字の違いは区別されず、同一とみなされます。
- ジョブ属性、カンマ（,）、およびアットマーク（@）は、半角を使用してください。

参照

- メール本文のプリントは、インターネットサービスの［受信メールシートのプリント］でも設定できます。設定方法については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

4. **メールの件名を確認し、送信します。**

補足

- ジョブ属性を件名のあとに入力したり、本機がサポートしていないジョブ属性を指定したり、ジョブ属性を指定しないでメールを送信した場合、メール本文と添付文書は、次の設定でプリントされます。定義されたジョブ属性以外の文字列が指定された場合も、次の設定でプリントされます。
  - TIFF または JPEG 形式の添付文書：インターネットサービスの［エミュレーション設定］にある、［TIFF/JPEG］の［使用するメモリー設定］で設定されている論理プリンターの設定値。
  - PDF 形式の添付文書：操作パネルの［PDF］の設定値。操作パネルの［PDF］の［プリント処理モード］を［PS］に設定していて、インターネットサービスの［エミュレーション設定］にある［PostScript3］のデフォルト論理プリンターを設定している場合は、論理プリンターの設定値が操作パネルの［PDF］の設定値に優先して適用されます。
  - XPS（XML Paper Specification）ファイルの添付文書：XPS（XML Paper Specification）に含まれる PrintTicket の設定（操作パネルの［XPS］の設定によって動作は異なります）
  - XDW または XBD 形式の添付文書：操作パネルの［XDW(DocuWorks)］で設定されている設定値。

メールを手動で受信してプリントする

メールを受信すると自動的にプリントされますが、操作パネルから手動でメールを受信し、プリントすることもできます。この機能は、POP メール受信時のみ使用できます。

補足

- この機能は、インターネットサービスの［ネットワーク］＞［プロトコル設定］＞［POP3］が有効になっている場合に使用できます。

1. **操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。**

2. **［メール受信プリント］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

3. **▶または OK ボタンを押します。**

受信を開始させる画面が表示されます。

4. **OK ボタンを押します。**

メールの受信が始まります。受信後、文書がプリントされます。プリントが終わると、自動的にプリント画面に戻ります。

5.11 その他のプリントサービス

Universal Print

Universal Print は、Microsoft が提供するクラウド型のプリントサービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、Microsoft Entra ID の認証を使用して、どこからでも本機でプリントできます。

参照

- Universal Print の設定を有効にする方法は、インターネットサービスのヘルプ『設定・操作編』の「Universal Print」を参照してください。
- プリントの方法については、Microsoft 社の公式サイトを参照してください。

6 スマートフォン / タブレットからのプリント

6.1 本機をスマートフォン / タブレットと接続する

スマートフォン / タブレットなどのモバイル機器を本機に接続し、文書、写真などを素早く簡単にプリントできます。

本機能は、無線 LAN アダプタ（オプション）が本機に取り付けられている場合に利用できます。

次のどちらかの方法で、本機をモバイル機器と接続します。

- Wi-Fi 接続
  本機とモバイル機器を無線 LAN アクセスポイント経由で接続します。
- Wi-Fi Direct 接続
  無線 LAN アクセスポイントを経由せず、本機とモバイル機器を直接接続します。

Wi-Fi で接続する

本機の設定

1. 本機が無線 LAN に接続されていることを確認します。

参照
- 接続方法については、「無線 LAN で接続する」(P.17) を参照してください。

モバイル機器の設定

補足
- 操作方法はモバイル機器の機種によって異なります。詳しくは、お使いのモバイル機器の取扱説明書を参照してください。

1. モバイル機器の Wi-Fi 機能を有効にします。

2. 本機が接続しているネットワーク（SSID）を選びます。

3. 暗号化キーを入力し、接続を完了します。

補足
- 暗号化キーは無線 LAN アクセスポイント本体に記載されている場合があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi Direct で接続する

Wi-Fi Direct を設定する

Wi-Fi Direct を使用するには、はじめに本機の操作パネルで Wi-Fi Direct を設定します。次に本機の SSID をモバイル機器上の画面で選び、該当するパスフレーズを入力すると、Wi-Fi Direct 経由で本機に接続できます。

本機の設定をする

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［TCP/IP 設定］が表示されます。
5. **［Wi-Fi Direct］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
6. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ポートの起動］が表示されます。
7. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［停止］が表示されます。
8. **［起動］が表示されるまで▼ボタンを押します。**
9. **OKボタンを押します。**
10. **これで、設定は終了です。**
    〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
    設定を変更した場合は、自動的に本機が再起動します。
11. **本機の再起動後、手順 1 ～ 6 の操作をします。**
    ［ポートの起動］が表示されます。
12. **［グループロール］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
13. **▶またはOKボタンを押します。**
    ［グループオーナー］が表示されます。
14. **OKボタンを押します。**
15. **◀または↩〈戻る〉ボタンで［グループロール］に戻ります。**
16. **［SSID］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
17. **▶またはOKボタンを押します。**
18. **無線ネットワーク名を入力し、OKボタンを押します。**
19. **↩〈戻る〉ボタンで［SSID］に戻ります。**
20. **［パスコード入力］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**
21. **▶またはOKボタンを押します。**

[ASCII で入力] が表示されます。

22. **▶または OK ボタンを押します。**

23. **パスコードを入力し、OK ボタンを押します。**

24. **〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

本機とモバイル機器を接続する

参照

- 詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

1. **モバイル機器の無線 LAN 機能を有効にします。**

2. **本機の SSID を選びます。**

3. **パスフレーズを入力します。**

Wi-Fi Direct を停止する

本機で Wi-Fi Direct を停止すると、モバイル機器との接続が切断されます。

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**

2. **[機械管理者メニュー] が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

3. **▶または OK ボタンを押します。**

[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

4. **▶または OK ボタンを押します。**

[TCP/IP 設定] が表示されます。

5. **[Wi-Fi Direct] が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

6. **▶または OK ボタンを押します。**

[ポートの起動] が表示されます。

7. **▶または OK ボタンを押します。**

[起動] が表示されます。

8. **[停止] が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

9. **OK ボタンを押します。**

10. **〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

本機が再起動します。

補足

- 接続中のモバイル機器からも、そのモバイル機器と本機との Wi-Fi Direct の接続を切断できます。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

6.2 Print Utility を使ってプリントする

Print Utility はスマートフォン / タブレット用のアプリケーションです。スマートフォン / タブレットからプリントできます。NFC 機能を搭載する機器をお使いの場合は、本機の NFC タッチエリアに機器をかざすだけでプリントを開始できます。App Store や Google Play からダウンロードできます。

6.3 その他のサービスを利用する

AirPrint

AirPrint は、Apple Inc. が提供するプリントサービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad/iPhone などの iOS 搭載機器や Mac のコンピューターから指示した文書を、お使いの機械でプリントできます。

補足

- 認証 / 集計管理機能を有効にしているときは、インターネットサービスの［認証 / 集計 / 権限］＞［権限設定］＞［アクセス制限設定］＞［ユーザー指定なしプリント］を［制限しない］に設定する必要があります。

AirPrint の設定を有効にする

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。

参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.96) を参照してください。
- 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する」(P.21) を参照してください。

2. 画面右上の［ログイン］をクリックします。

3. 機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。

参照

- 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド 」を参照してください。

4. 画面上部の［ネットワーク］をクリックします。

5. ［モバイルプリント設定］の［AirPrint］をクリックします。

6. ［有効］にチェックマークを付けます。

補足

- USB で接続しているときは、［AirPrint］の［USB 接続］にもチェックマークを付けます。

7. ［保存］をクリックします。

8. ［今すぐ再起動］をクリックします。

9. **本機の再起動が完了したら［再表示］をクリックします。**

AirPrint でプリントする

ここでは、iOS を使った手順を例に説明します。

1. **プリントするメール、写真、ウェブページ、または文書を開きます。**

2. **のアイコンをタップします。**

3. **［プリント］をタップします。**

4. **本機を選び、プリント設定をします。**

5. **［プリント］をタップします。**

Mopria プリントサービス

Mopria プリントは Android 搭載のスマートフォンやタブレット（Android 5.0 以降）から、Mopria 認証を受けたプリンターに接続してプリントできるサービスで、特別な設定をすることなく利用できます。

はじめに、Google Play ストアから Mopria プリントサービスのアプリケーションを、お使いの Android 機器にダウンロードしてインストールします。

プリント時はモバイル機器を本機と同じネットワークに接続するか、Wi-Fi Direct 機能を使って本機に接続します。

補足

- 認証 / 集計管理機能を有効にしているときは、インターネットサービスの［認証 / 集計 / 権限］＞［権限設定］＞［アクセス制限設定］＞［ユーザー指定なしプリント］を［制限しない］に設定する必要があります。

本機に Mopria プリントサービスを設定する

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

参照

- 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する」(P.21) を参照してください。

2. **画面右上の［ログイン］をクリックします。**

3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

参照

- 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド 」を参照してください。

4. **画面上部の［ネットワーク］をクリックします。**

5. **［モバイルプリント設定］の［Mopria®］をクリックして、チェックマークを付けます。**

6. **［今すぐ再起動］をクリックします。**

Mopria プリントサービスでプリントする

参照

- 詳しくは、「https://mopria.org/ja」を参照してください。

7 本体設定を変更する

7.1 仕様設定について

ここでは、操作パネル上の〈仕様設定〉ボタンを押すと表示される項目について説明します。

項目	内容	詳細説明の参照先
[レポート / リスト]	各種レポート / リストをプリントします。	「[レポート / リスト]」(P.66)
[メーター確認]	プリントした枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。	「総プリントページ数を確認する（メーター）」(P.118)
[機械管理者メニュー]	[ネットワーク / ポート設定] コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類およびその通信に必要な条件を設定します。	「[ネットワーク / ポート設定]」(P.70)
	[システム設定] 本機の基本的な動作に関する設定をします。	「[システム設定]」(P.79)
	[プリント設定] 自動トレイ選択や用紙トレイについて設定します。	「[プリント設定]」(P.86)
	[メモリー設定] 各インターフェイスのメモリーやフォームメモリーの容量を変更します。	「[メモリー設定]」(P.89)
	[画質補正] プリント画質が悪いときに、本機を調整します。	「[画質補正]」(P.90)
	[初期化 / データ削除] 本機の設定値やストレージ（オプション）の初期化、フォームデータの削除をします。	「[初期化 / データ削除]」(P.91)
	[エンジンクリーニング] 本機の内部をクリーニングします。	「[エンジンクリーニング]」(P.92)
	[トナーリフレッシュ] トナーと現像剤のバランスを適正にします。	「[トナーリフレッシュ]」(P.92)
[プリント言語の設定]	[201H] PC-PR201H エミュレーションモードの設定をします。	「PC-PR201H エミュレーションについて」(P.181)
	[ESCP] ART IV、ESC/P エミュレーションモードの設定をします。	「ART IV、ESC/P エミュレーションについて」(P.175)
	[HPGL] HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定をします。	「HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」(P.185)
	[PDF] PDF ファイルを直接プリントするための設定をします。	「[PDF]」(P.92)
	[PCL] PCL エミュレーションモードの設定をします。	「PCL エミュレーションについて」(P.190)

項目	内容	詳細説明の参照先
	[PostScript] PostScript に関する設定をします。	「[PostScript]」(P.93)
	[XPS] XPS(XML Paper Specification) ファイルを直接プリントするための設定をします。	「[XPS]」(P.94)
	[XDW(DocuWorks)] DocuWorks ファイルを直接プリントするための設定をします。	「[XDW(DocuWorks)]」(P.94)
[言語切り替え]	操作パネルの表示言語を切り替えます。	「[言語切り替え]」(P.95)

[レポート / リスト]

各種レポート / リストをプリントします。

補足

- レポート / リストは、[プリント設定] > [基本の用紙サイズ] に設定されている用紙サイズでプリントされます。設定したサイズが用紙トレイにセットされていない場合は、一番近い用紙サイズでプリントされます。

参照

- レポート / リストをプリントする方法については、「レポート / リストをプリントする」(P.119) を参照してください。

[機能設定リスト]

ネットワーク設定や搭載オプションなど、本機の設定情報や構成情報の一覧をプリントします。

[ジョブ履歴レポート]

本機で実行されたプリントのジョブ履歴をプリントします。リストには最新の 50 件のジョブが記載されます。

[エラー履歴レポート]

紙詰まりや重大なエラーなどの詳細なリストをプリントします。

[集計レポート] (プリンター集計レポート)

コンピューター別(ジョブオーナー別)に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数の情報がプリントされます。

集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。

補足

- [集計レポート] (プリンター集計レポート)は、[認証 / 集計の設定] が [認証しない] に設定されている場合にプリントされます。

[集計レポート] (プリンター集計管理レポート)

認証 / 集計管理機能を使用している場合は、登録ユーザー別に、今までプリントした累積ページ数、プリントに使用した用紙の累積枚数が確認できます。

補足

- [集計レポート] (プリンター集計管理レポート)は、[認証 / 集計の設定] が [本体認証 / 集計]、[ネット認証 / 集計]、[外部認証 / 集計] に設定されている場合にプリントされます。

参照

- 集計機能については、「ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」(P.103) を参照してください。

[フォントリスト]

本機で使用できるフォントがプリントされます。

[PCL フォントリスト]

PCL で使用できるフォントがプリントされます。

[PS フォントリスト]

PostScript で使用できるフォントがプリントされます。

補足

- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[ユーザー定義リスト]

ART IV、ESC/P、および PC-PR201H プリントモードで登録されたフォーム、ロゴ、パターンの登録内容がプリントされます。

[プリント言語]

[ART EX フォームリスト]

オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書がプリントされます。

[PS 登録リスト]

登録されている PostScript 論理プリンターの設定がプリントされます。

補足

- 論理プリンターの設定は、インターネットサービスで行います。各項目については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。
- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[201H 設定リスト]

PR201H エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

[201H 登録リスト]

PR201H エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

[ESC/P 設定リスト]

ESC/P エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

[ESC/P 登録リスト]

ESC/P エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

[HP-GL/2 設定リスト]

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードの各設定がプリントされます。

[HP-GL/2 登録リスト]

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードのメモリー登録の各設定がプリントされます。

[TIFF/JPEG 設定リスト]

TIFF および JPEG プリンターモードでの各設定がプリントされます。

[TIFF/JPEG 登録リスト]

TIFF および JPEG プリンターモードで作成した論理プリンターがプリントされます。

[PDF 設定リスト]

PDF プリンターモードでの各設定がプリントされます。

[PCL 設定リスト]

PCL の各設定がプリントされます。

[PCL マクロリスト]

PCL 用に登録したフォームがプリントされます。

[DocuWorks 設定リスト]

DocuWorks ダイレクトプリントのための設定がプリントされます。

[蓄積文書リスト]

セキュリティープリント / サンプルプリント / 時刻指定プリントで、本機に蓄積された文書の一覧がプリントされます。

参照

- セキュリティープリントについては、「機密文書をプリントする - セキュリティープリント -」(P.49) を参照してください。
- サンプルプリントについては、「出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -」(P.46) を参照してください。
- 時刻指定プリントについては、「指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -」(P.47) を参照してください。

[ドメイン制限リスト]

送受信を許可 / 拒否するドメインの登録状況がプリントされます。

補足

- この項目は、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- 送受信を許可するドメインを設定するか、拒否するドメインを設定するかは、インターネットサービスで設定します。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

[製品回収シート]

使用済みの本機の回収を依頼する場合に、情報シートがプリントされます。お客様から弊社プリンターサポートデスクまたは販売店に本機の情報を通知していただくことによって、本機の回収経路が決定します。

補足

- 使用済み製品回収情報シートの記入欄は、お客様にご記入いただく必要はありません。

[機能別カウンターレポート]

機能別、用紙サイズ別の出力枚数や、レディー時間、低電力モード時間、スリープモード時間などの累計がプリントされます。

[隠し印刷サンプル]

複製管理機能で作成する隠し印刷のサンプルがプリントされます。

補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）と、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[ペーパーセキュリティーサンプル]

複製管理機能のペーパーセキュリティーで作成するデータのサンプルがプリントされます。

補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）と、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[バーコードサンプル]

GS1-128 バーコードのサンプルがプリントされます。

[ネットワークプロトコルレポート]

ネットワークプロトコルの設定がプリントされます。

[メーター確認]

これまでにプリントした総ページ数を確認できます。

白紙ページがプリントされた場合、メーターはカウントされます。

補足

- プリンタードライバーで白紙節約を設定すると、描画のない白紙ページはプリントされません。
  ただし、次の場合は、白紙ページがプリントされることがあります。
  - ページ内に改行だけが存在する場合
  - ページ内にスペース（空白）だけが存在する場合
  - ページ内に改行およびスペースだけが存在する場合
  - その他、アプリケーションから白い背景描画命令などが渡された場合

[現在のカウント]

補足

- 両面プリントで出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

[メーター 1]

プリントの総数が表示されます。

[締め時カウント]

EP-BB 設置時に表示されます。毎月、設定した日時に、機械が自動的に弊社に通知します。

[機械管理者メニュー]

[ネットワーク / ポート設定]

[TCP/IP 設定]

補足

- [Ethernet1] と [Ethernet2] は、セカンダリーイーサネットキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- Wi-Fi に関する項目は、無線キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ **[IP 動作モード]**

IP 動作モードを設定します。

補足

- [IPv6] モードに設定されている場合は、Wi-Fi Direct を使用できません。

■ **[Ethernet]、[Ethernet1]、[Ethernet2]、[Wi-Fi]**

- **[IP アドレス取得方法]**
  IP アドレスを取得する方法を設定します。
- **[IP アドレス (IPv4)]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]**
  自動で取得されたアドレスを確認する場合や、手動で IP アドレスを設定する場合に使用します。

■ **[Wi-Fi Direct]**

- **[IP アドレス (IPv4)]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]**
  自動で取得されたアドレスを確認する場合に使用します。

■ **[Ping 接続確認 -IPv4]**

設定した条件で、本機とお使いのコンピューターが正しく通信できるかを確認します。

[Wi-Fi 有効 / 無効]

Wi-Fi 通信を設定します。

補足

- [有効] / [無効] の設定後、再起動する必要があります。

[Wi-Fi 設定]

補足

- この項目は、無線キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- Wi-Fi 通信を [有効] に設定後、再起動する必要があります。

■ **[Wi-Fi 接続状態]**

Wi-Fi 通信の状態を表示します。

■ **[リンクチャネル]**

Wi-Fi 通信で使用するチャネルが表示されます。

■ **[帯域]**

周波数帯域を設定します。

■ **[アクセスポイント検索]**

無線 LAN アクセスポイントを検索し、電波強度の強い順に SSID を表示します。最大 5 台まで表示します。

■ **[SSID 直接入力]**

無線 LAN アクセスポイントの識別名称を入力します。

■ **[WPS セットアップ]**

WPS を使用して無線 LAN の設定をします。

■ **[設定解除]**

- **[接続一時解除]**

  無線 LAN アクセスポイントへの接続を一時的に解除します。

- **[ネットワーク設定を消去]**

  設定した接続情報を消去します。

[Wi-Fi Direct]

補足

- この項目は、無線キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- Wi-Fi 通信を［有効］に設定後、再起動する必要があります。

■ **[ポートの起動]**

電源を入れたときに、Wi-Fi Direct ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。

補足

- 次のどれかの設定になっている場合は、［ポートの起動］を［起動］に設定できません。
  - ［帯域］が［5GHz］
  - ［IP 動作モード］が［IPv6］

■ **[接続数]**

現在接続されている Wi-Fi モバイル端末の数を表示します。

■ **[グループロール]**

本機のグループロールを設定します。

- ［自動］

  本機のグループロールを自動的に設定します。

- ［グループオーナー］

  本機を Wi-Fi Direct ネットワークのグループオーナーに設定します。

  グループオーナーに設定すると、無線 LAN アクセスポイントとして機能し、モバイル機器から本機を検出できます。

補足

- iOS 端末など、Wi-Fi Direct に対応していない機器を接続する場合は、［グループオーナー］に設定する必要があります。

■ **[デバイス名]**

Wi-Fi Direct ネットワークで識別する本機の名称を入力します。モバイル機器から接続先のプリンター名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。

■ **[SSID]**

Wi-Fi Direct ネットワークで識別するネットワークの名称を「DIRECT-**」に続く部分について入力します。モバイル機器から接続先のプリンター名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。

■ **[パスコード入力]**

パスフレーズを入力します。モバイル機器から Wi-Fi Direct ネットワークに接続するときは、ここに表示されるパスフレーズを入力します。

■ ［接続メニュー］

モバイル機器からの接続要求があった場合に設定します。

PBC 方式で接続要求があった場合は、接続許可の可否を設定します。PIN コード方式で接続要求があった場合は、PIN コードを確認してから OK ボタンを押して接続します。

［LPD］

■ ［ポートの起動］

LPD を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ ［プリントモード指定］

プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

補足

- ［PS］は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ ［PJL］

コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。

■ ［コネクションタイムアウト］

プリントデータの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を設定します。

■ ［TBCP フィルター］

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。

補足

- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ ［ポート番号］

ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

■ ［セッション数］

本機に、LPD で同時に接続できるクライアントの最大数を設定します。

■ ［プリント順序］

プリントデータの順序について設定します。

補足

- この項目は、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［IPP］

■ ［ポートの起動］

IPP を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ [プリントモード指定]

プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

補足

- [PS] は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [PJL]

コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。

■ [アクセス権制御]

プリントジョブの中止や削除、本機を一時停止状態にするときや一時停止状態の解除をするときに、アクセス権で制御する場合は［有効］に設定します。

■ [追加ポート番号]

追加ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD（Web Services on Devices）ポートは、同じポート番号を共有できます。

■ [タイムアウト]

プリントデータの受信中、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を設定します。

■ [TBCP フィルター]

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。

補足

- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[Bonjour]

■ [ポートの起動]

Bonjour を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。
- Multicast DNS 機能を使う場合は［起動］にしてください。また、Bonjour を使用して検出したプリンターでプリントするためには、LPD ポートも起動します。

[USB]

■ [ポートの起動]

USB を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- メモリーが不足した場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ [プリントモード指定]

プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

補足

- [PS] は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [PJL]

コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。

■ [自動排出時間]

データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的にプリントして排出する時間を設定します。

また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。

■ [Adobe 通信プロトコル]

PostScript の通信プロトコルを設定します。

- [標準]
  通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。
- [バイナリー]
  データに対して特別な処理を必要としない場合に使用します。データによってはプリント処理が［標準］に比べて速くなることがあります。
- [TBCP]
  通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。
- [RAW]
  通信プロトコルが Raw 形式のときに設定します。Macintosh から、USB 経由で EPS 形式のファイルが正しくプリントできない場合に選びます。

補足

- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。
- ここでの設定は、PostScript でプリントされる場合にだけ有効です。
- 通常は、初期値の［標準］で使用してください。

■ [PS 印刷待ちタイムアウト]

PostScript のプリント待ち時間を設定します。

- [無効]
  [USB］の［自動排出時間］を使用します。
- [有効]
  PostScript プリンタードライバーの［印刷待ちタイムアウト］を使用します。

補足

- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [ポートの固定]

USB デバイスに通知するシリアルナンバーを 10 桁の固定値にするか、お使いのプリンター固有のシリアルナンバーにするかを設定します。

- [無効]
  USB デバイスに通知するシリアルナンバーを 10 桁の固定値にするときに設定します。
- [有効]
  USB デバイスに通知するシリアルナンバーをお使いのプリンター固有の値にするときに設定します。

[Port9100]

■ [ポートの起動]

Port9100 を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ ［プリントモード指定］

プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。

補足

- ［PS］は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ ［PJL］

コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。

■ ［コネクションタイムアウト］

プリントデータの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を設定します。

■ ［ポート番号］

ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

■ ［TBCP フィルター］

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。

補足

- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［UPnP］

■ ［ポートの起動］

UPnP を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ ［ポート番号］

ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するポート（インターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD（Web Services on Devices））は、同じポート番号を共有できます。

［WSD］

■ ［ポートの起動］

WSD（Web Services on Devices）プリントを使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ ［ポート番号］

ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するポート（インターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD（Web Services on Devices））は、同じポート番号を共有できます。

[SOAP]

■ [ポートの起動]

SOAP ポートを使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ [ポート番号]

ポート番号を設定します。

[ThinPrint]

補足

- この項目は、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ThinPrint 機能を使用する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

■ [ポートの起動]

ThinPrint を使用するときは［起動］に設定します。

■ [ポート番号]

ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

■ [SSL/TLS 通信]

SSL を使用した暗号化通信を有効にするかどうかを設定します。

補足

- SSL 通信では、クライアント証明書が必要です。適切な証明書を本機に設定してください。

[SNMP 設定]

補足

- SNMP の設定は、複数台のプリンターをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンターの情報は SNMP で管理されていて、アプリケーションは SNMP からプリンターの情報を収集します。

■ [ポートの起動]

SNMP を使用するときは［起動］に設定します。

補足

- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

[DNS サーバー]

補足

- ［DNS サーバー設定 -1］と［DNS サーバー設定 -2］は、セカンダリーイーサネットキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ［DNS サーバー設定 Wi-Fi］は、無線キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ ［DNS サーバー設定］、［DNS サーバー設定 -1］、［DNS サーバー設定 -2］、［DNS サーバー設定 Wi-Fi］

- ［DHCP からアドレス取得］

  DNS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかどうかを設定します。

  補足
  - ［する］から［しない］に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。
  - IP アドレスの取得方法が手動に設定されている場合は、［しない］で固定です。

- ［DNS サーバー IP アドレス］

  この項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。

［インターネットサービス］

■ ［ポートの起動］

インターネットサービスを使用するときは［起動］に設定します。［起動］に設定すると、インターネットサービスを利用し、Web ブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。

補足
- ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリー設定］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ ［ポート番号］

ポート番号を設定します。

補足
- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。HTTP プロトコルを使用するポート（インターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD（Web Services on Devices））は、同じポート番号を共有できます。

［EP プロキシサーバー設定］

■ ［サーバー指定方法］

EP プロキシサーバーの指定方法を設定します。

■ ［HTTPS サーバー名］、［HTTP サーバー名］

HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーのサーバー名を入力します。

■ ［HTTPS ポート番号］、［HTTP ポート番号］

HTTPS、HTTP で使用するポート番号を設定します。

補足
- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

■ ［HTTPS 認証］、［HTTP 認証］

HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーの認証機能を有効にするか、無効にするかを設定します。

■ ［HTTPS ログイン名］、［HTTP ログイン名］

HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーのログイン名を入力します。

■ ［HTTPS パスワード］、［HTTP パスワード］

HTTPS、HTTP で使用する EP プロキシサーバーのパスワードを入力します。

[Ethernet]

補足

- [Ethernet 設定 -1] と [Ethernet 設定 -2] は、セカンダリーイーサネットキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [Ethernet 設定]、[Ethernet 設定 -1]、[Ethernet 設定 -2]

Ethernet インターフェイスの通信速度やコネクターの種類を設定します。

[受付制限設定]

補足

- [受付制限 (IPv4)-1] と [受付制限 (IPv4)-2] は、セカンダリーイーサネットキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- Wi-Fi Direct 経由の通信には適用されません。

■ [受付制限 (IPv4)]、[受付制限 (IPv4)-1]、[受付制限 (IPv4)-2]、[Wi-Fi(IPv4)]

ネットワークまたはデバイスから受信する情報を制限するかどうかを設定します。

- **[受付 IP アドレス制限]**

  IP アドレスを使って受付制限をするかどうかを設定します。

- **[受付 IP アドレス設定]**

  プリントを受け付ける IP アドレスを制限する場合に、受け付ける IP アドレスを登録します。登録した IP アドレスには、フィルターアドレスを設定します。

  たとえば、[IP アドレス]：192.0.2.1、[フィルターアドレス]：255.255.255.0 と設定した場合、プリントを受け付ける IP アドレスは、192.0.2.xxx です。xxx は 1 ～ 254 までの数値です。

[SNTP 設定]

■ [NTP サーバーとの同期]

NTP サーバーと同期して、本機のシステム時計の時刻を合わせるかどうかを設定します。

■ [接続間隔]

NTP サーバーに接続する間隔を設定します。

■ [NTP サーバー IP アドレス]

NTP サーバーの IP アドレスを設定します。

[HTTP-SSL/TLS 通信]

補足

- SSL/TLS プロトコルを使用して、HTTP の通信データを暗号化する場合に設定します。この項目は、本機に証明書が登録されている場合に表示されます。
- HTTP の通信の暗号化および本機に必要なサーバー証明書については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.99) を参照してください。

■ [HTTPS/HTTP の設定]

HTTPS/HTTP、HTTPS のみを使用するかどうかを設定します。

■ [ポート番号]

ポート番号を設定します。

補足

- ほかのポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

[IPsec 通信]

コンピューターからネットワーク上の本機にデータを送るときに、データをパケット単位で暗号化して送信するかどうかを設定します。

参照

- IPsec の設定方法については、「IPsec を使用して暗号化するための設定」(P.101) を参照してください。

[IEEE 802.1x]

補足

- [IEEE 802.1x 設定 -1] と [IEEE 802.1x 設定 -2] は、セカンダリーイーサネットキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ **[IEEE 802.1x 設定]、[IEEE 802.1x 設定 -1]、[IEEE 802.1x 設定 -2]**

- **[802.1x 認証使用 -1]、[802.1x 認証使用 -2]**

  IEEE 802.1x 認証を使用するかどうかを設定します。

- **[認証方式 -1]、[認証方式 -2]**

  IEEE 802.1x の認証方式を設定します。

  補足

  - [EAP-TLS] は、クライアント証明書が必要です。

- **[サーバー証明書検証 -1]、[サーバー証明書検証 -2]**

  サーバー証明書の検証をするかどうかを設定します。

[プライマリネット選択]

優先して接続するネットワーク接続の種類を設定します。

補足

- 無線キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[システム設定]

[音の設定]

ジョブの終了や機械の異常などを知らせる音の設定をします。

[操作パネル設定]

■ **[操作パネル制限]**

暗証番号を設定して、メニュー操作を制限するかどうかを設定します。

■ **[暗証番号設定]**

操作パネル制限を設定している場合に暗証番号を変更できます。

■ **[認証エラーアクセス拒否]**

認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するかどうかを設定します。

■ **[認証回数]**

認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するまでのエラー回数を設定します。

補足

- [認証エラーアクセス拒否] が [しない] に設定されている場合は、[しない] と表示されます。

[自動リセット]

メニューが表示された状態を自動的に解除するかどうかを設定します。

[暖機運転モード]

本機内の結露を防止または軽減する［暖機運転モード］に移行するかどうかを設定します。

注記

- ［暖機運転モード］を［有効］に設定したときは、定着ユニットの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。

補足

- ［暖機運転モード］終了後は、自動的に［スリープモード］に移行します。

[節電移行時間短縮]

他の設定に関わらず、30 秒後に、スリープモードに移行するかどうかを設定します。スリープに移行できない場合は、低電力モードに移行します。

参照

- 低電力モードとスリープモードの設定については、「節電機能を設定する」(P.28) を参照してください。

[低電力移行時間]

低電力モードに移行するまでの時間を設定します。

注記

- 定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間などに大きく左右されます。低電力モードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。

補足

- ［節電移行時間短縮］の設定が［有効］になっている場合は、［低電力移行時間］を設定できません。

参照

- 低電力移行時間については、「節電機能について」(P.28) を参照してください。

[スリープモード移行時間]

スリープモードに移行するまでの時間を設定します。

注記

- 定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間などに大きく左右されます。スリープモードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。

補足

- ［節電移行時間短縮］の設定が［有効］になっている場合は、［スリープモード移行時間］を設定できません。

参照

- スリープモード移行時間については、「節電機能について」(P.28) を参照してください。

[電源自動オフ設定]

設定した時刻になると電源が自動的に切れるように設定できます。

補足

- 自動オフ時刻が設定されていても、本機に紙詰まりなどの異常が発生している場合や、ジョブや割り込みなどの処理を行っている場合は、電源は自動的に切れません。

[自動ジョブ履歴]

50 件のジョブが終了するごとに、ジョブ履歴レポートを自動的にプリントするかどうかを設定します。

[ジョブの表示設定]

■ [実行中 / 待ちジョブ]

プリントを実行中またはレディー時のジョブの情報表示について設定します。

■ **[完了ジョブ]**

完了ジョブの情報表示について設定します。

- **[ジョブの表示]**

  完了したジョブの表示方法について設定します。

- **[認証中の表示対象]**

  完了したジョブについて、すべてのユーザーのジョブを表示するか、認証ユーザーのみの情報を表示するかを設定します。

- **[表示情報の制限]**

  完了ジョブの表示情報を制限するかを設定します。

[レポート両面プリント]

レポート / リストをプリントするときに、片面にプリントするか両面にプリントするかを設定します。

[プリント可能領域]

プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。エミュレーション（HP-GL/2、ESC/P、PCL）や PostScript でプリントする場合に有効です。

■ **[標準]**

用紙の上下左右の端から余白（4.1 mm）を除いた領域にプリントします。

■ **[拡張]**

印字領域を広げてプリントします。

A3 以下	用紙の前後上下の端から画像欠け幅を除いた領域
長尺用紙	最大：293.0 mm × 1194.0 mm

参照

- プリンタードライバーでの設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

[バナーシート設定]

■ **[バナーシート出力]**

バナーシートを出力するかどうかを設定します。

■ **[バナーシートトレイ]**

バナーシート用の用紙を給紙するトレイを設定します。

■ **[ドライバーの設定]**

プリンタードライバーでのバナーシートの設定を有効にするかどうかを設定します。

[セキュリティープリント操作]

セキュリティープリントのプリントを、操作パネルから実行できるようにするかどうかを設定します。

[選択文書のプリント順]

セキュリティープリント機能、プライベートプリント機能、および認証プリント機能を使ってプリントする場合に、選択文書のプリント順を設定します。

[システム時計]

日付や時刻、日付と時刻の表示切り替え、タイムゾーン、サマータイムを設定します。

[紙づまり時の処理]

プリント中に紙詰まりが発生した場合に、紙詰まりの処置を終了したあと、正常に排出された次のページから自動的にプリントを再開するか、プリントを中止して、そのプリントジョブを削除するかを設定します。

[ドラム寿命動作]

ドラムカートリッジの交換時期になったとき、プリントを停止するかどうかを選びます。

[ミリ / インチ切り替え]

操作パネルに表示される数値の単位を設定します。

[データ暗号化]

注記

- [データ暗号化] の設定を変更した場合、ストレージが初期化されます。

補足

- この項目は、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ストレージにデータを書き込むときに、すべてのデータに対して自動的に暗号化します。

■ [暗号化処理]

システム内部（ストレージ）のデータの暗号化をするかどうかを設定します。

[ストレージ上書き消去]

補足

- この項目は、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

ストレージ内のデータを上書き消去するかどうか、上書き消去する場合は、その回数を設定します。

[プリントジョブの追越]

本機が何らかの原因で実行開始できない（プリントを開始しようとしたときに、用紙トレイの用紙がなくなったなど）場合、ほかに実行開始できるジョブがあるときに、ジョブの追い越しを許可するか、禁止するかを設定します。

補足

- この項目は、[異常終了プリント処理] が [自動的に再開] に設定されている場合に表示されます。
- セキュリティープリントやサンプルプリントなどの蓄積文書は、追い越し許可の対象外です。
- [許可] に設定した場合、[異常終了プリント処理] は設定できません。

[異常終了プリント処理]

プリント中にエラーが発生した場合に、エラージョブをキャンセルして後続ジョブのプリントを自動的に継続するか、エラーを確認する画面を表示してユーザー操作で後続ジョブのプリントを再開するかを設定します。

補足

- この項目は、[プリントジョブの追越] が [許可] の場合は設定できません。

[ソフトウェアダウンロード]

ファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）のダウンロードを許可するかどうかを設定します。

[認証 / 集計の設定]

認証と集計の方式を設定します。

■ [認証しない]

認証や集計機能を利用しません。

■ [本体認証 / 集計]

本機に登録されたユーザー情報を、認証と集計に使用します。

補足

- [本体認証 / 集計] から、[認証しない] 、または [外部認証 / 集計] に変更した場合、本機に登録されているユーザー情報がすべて削除されます。

■ [ネット認証 / 集計]

外部サービスで管理されているユーザー情報を本機に登録して認証と集計に使用します。

補足

- 集計が必要なサービスを利用しようとしたときに表示される認証画面で、「Account ID」を入力します。

■ [外部認証 / 集計]

外部認証サーバーに登録されたユーザー情報を認証に使用します。

補足

- この項目は、外部認証キット L（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- 外部認証に使用したユーザー情報は、本機に保存されます。外部認証サーバーが起動していなくても、本機に保存されたユーザー情報を利用してユーザーを認証し、本機を使用できます。
- 外部認証に使用したユーザー情報を本機に保存させない場合は、[外部認証情報保存] を [しない] に設定してください。[外部認証情報保存] については、「[認証の設定]」(P.83) を参照してください。
- インターネットサービスで、[認証システム] が [Authentication Agent] の場合、認証サーバーで集計管理ができます。

[認証の設定]

■ [認証情報設定]

- **[認証失敗の記録]**

  不正なアクセスを検知するための、認証回数を設定します。所定時間（10 分）以内に、ここで設定した回数の認証に失敗したときに、エラーとして記録します。

- **[外部認証情報保存]**

  外部認証に使用したユーザー情報を本機に保存するかどうかを設定します。保存に設定して外部認証を行うと、ユーザー情報が本機に保存され、外部認証時に外部認証サーバーが起動していなくても、本機に保存されたユーザー情報を利用してユーザーを認証し、本機を使用できます。

  補足

  - この項目は、IC カード読み取り装置（オプション）、外部認証キット L（オプション）が取り付けられていて、[認証 / 集計の設定] で [外部認証 / 集計] が設定されているときに表示されます。

- **[外部認証情報削除]**

  本機に保存した外部認証のユーザー情報を、削除するかどうかを設定します。

  補足

  - この項目は、ストレージ（オプション）、外部認証キット L（オプション）が取り付けられていて、[認証 / 集計の設定] で [外部認証 / 集計] が設定されているときに表示されます。

- **[IC カードの使用]**

  IC カードを使用するかどうかを設定します。

- **[非接触型 IC カード]**

  非接触型 IC カードを使った認証について設定します。

■ [認証プリントの設定]

認証登録ユーザー情報を使った認証プリントについて設定します。

- **[受信時の PJL 命令]**

  PJL 命令で、外部からのプリント受信を制御できます。[制御しない] を選んだときまたは PJL 命令がないときは、[受信制御] の設定を使用します。

- **[出力時の PJL 命令]**

  PJL 命令で、外部からのプリントジョブのプリントを制御できます。

- **[受信制御]**

  受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。

  補足

  - この項目は、IC カード読み取り装置（オプション）が接続されている場合に表示されます。
  - [プライベートプリント保存] および [認証プリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。

  - [プリントの認証に従う]
  - [プライベートプリント保存]

    認証機能を利用しているいないにかかわらず、User ID が付いたジョブをすべてプライベートプリントに保存します。

  - [認証プリントに保存]

    認証機能を利用しているいないにかかわらず、受信したジョブをすべて認証プリントに保存します。

  注記

  - [認証プリントに保存] に設定すると、認証に成功してもしなくても、プリントジョブはすべて保存されます。不要なプリントジョブを増やさないためには、保存期間を設定して保存期間を過ぎたプリントジョブを自動的に削除するように設定するか、手動で削除してください。保存期間を設定する方法については、「[保存文書設定]」(P.84) を参照してください。

- **[ジョブ認証時の処理]**

  プリントジョブを受信した際の処理方法について設定します。

  補足

  - この項目は、IC カード読み取り装置（オプション）が接続されている場合に表示されます。

[保存文書設定]

■ [文書の保存期間]

蓄積文書の保存期間を設定します。設定した期間が経過すると、蓄積文書は自動的に削除されます。

■ [保存期間 (日数)]

保存期間（日数）を設定します。

■ [経過後の削除時刻]

文書を削除する時刻を設定します。

補足

- [システム設定] > [システム時計] > [時刻表示切り替え] の設定によって、12 時間表示または 24 時間表示で設定します。

■ [保存期間 (時間)]

保存期間（時間）を設定します。

■ [電源切 / 入時に削除]

電源を切って再度入れたとき、保存期間にかかわらず、蓄積文書を削除するかどうかを設定します。

[ソフトウェア オプション]

機械に取り付けたソフトウェアオプションを有効にします。

補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）、または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）を有効にするときに表示されます。
- セキュリティ拡張キット（オプション）の機能を利用するには、ストレージ（オプション）が必要です。

- 一度、［有効化］に設定すると、取り付けているソフトウェアオプションは、ほかの機械で使用できません。
- 機能をクリアしたり、無効にしたい場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

［イメージログ管理設定］

注記

- イメージログ管理機能を使用したい場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

補足

- この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）とストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ ［イメージログ管理］

イメージログ管理機能を使用するかどうかを設定します。通常は［しない］で固定されています。イメージログ管理機能を使用する場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

■ ［イメージログ作成］

イメージログを作成するかしないかを設定します。

■ ［ログの作成保証レベル］

ジョブに対して、イメージログが確実に作成されるかどうかのレベルを設定します。

- ［低］

  本機のパフォーマンスを優先し、可能な範囲で作成します。そのため、イメージログが抜けてしまうことがあります。

- ［高］

  イメージログを漏れなく作成します。そのため、本機の動作・運用に影響が出ることがあります。

■ ［イメージログ転送］

- **［転送機能］**

  イメージログをログ管理サーバーに転送するための機能について設定します。

  イメージログの転送機能を使用するかどうかを設定します。

- **［転送動作］**

  自動転送の設定をします。

  補足

  - ［ジョブ単位で転送］は、［ログの作成保証レベル］が［高］のときに表示されます。

- **［転送タイミング］**

  イメージログの転送タイミングを設定します。それぞれについて［無効］または［有効］を設定します。

- **［転送保証レベル］**

  ログ管理サーバーにデータを転送するときの保証レベルを設定します。

  補足

  - ［高］に設定すると漏れなくデータを転送しますが、データ転送の間は本機のパフォーマンスの低下や、一時停止が発生することがあります。

［ソフトウェア手動更新］

インターネットを使った EP システムを利用している場合、本機のファームウェアを最新のものに更新することができます。

補足

- この項目は、EP システムを利用している場合に表示されます。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
- EP システムは、一部の地域で利用できないことがあります。適用については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

[ソフトウェア日時更新]

インターネットを使った EP システムを利用している場合、設定した日時に自動的に、本機のファームウェアを最新のものに更新することができます。

補足

- この項目は、EP システムを利用している場合に表示されます。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
- EP システムは、一部の地域で利用できないことがあります。適用については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

[WEP 設定]

補足

- この項目は、EP システムを利用している場合に表示されます。詳しくは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

■ [EP 診断 / 修理依頼]

インターネットを使った EP システムを利用している場合、本機の点検や修理が必要となったときに、本機を使って弊社プリンターサポートデスクに連絡できます。連絡を受けると、必要に応じてカストマーエンジニアが訪問します。

補足

- EP システムは、一部の地域で利用できないことがあります。適用については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

- **[EP 診断]**

  EP 診断を依頼します。

- **[修理依頼]**

  修理を依頼します。

■ [EP 通信確認]

EP システムを利用して弊社プリンターサポートデスクに連絡したときの通信状態を確認できます。

■ [EP 設置]

- **[BB 設置]**

  EP-BB に関する設定をします。

- **[EPA-Server 設置]**

  EPA サーバーに関する設定をします。

■ [EP リモートメンテナンス]

弊社のカストマーコンタクトセンターからの操作で本機の診断データなどを取得することを許可します。不具合や故障の問い合わせがあったときに対応が効率化されます。

[静音モード設定]

プリント時の稼働音が気になる場合に稼働音を抑えることができます。

補足

- ApeosPrint 4560 S 、ApeosPrint 3960 S の場合に有効な機能です。
- 静音モードにすると、プリント速度が遅くなります。

[プリント設定]

[プリント設定] では、自動トレイ選択や用紙トレイについて設定します。

補足

- 自動トレイ選択とは、プリンタードライバーで [トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にしてプリントした場合、原稿のサイズや用紙種類によって自動的にトレイが選択されることです。

[用紙の置き換え]

■ [給紙モード]

自動トレイ選択でプリントしたとき、指定した用紙サイズの用紙がセットされたトレイがない場合に、ほかのサイズの用紙に置き換えてプリントするかどうかを設定します。

補足

- プリンタードライバー側から指定があった場合は、プリンタードライバー側の指定が優先されます。

■ [ページレイアウト]

用紙を置き換える場合のレイアウトを指定します。

[用紙種類エラーの処理]

プリンタードライバーなどでプリント時に指定された用紙種類と、用紙トレイにセットされている用紙種類が一致しない場合の処理を設定します。

[トレイの用紙種類]

用紙種類を設定します。

[トレイの用紙色]

用紙の色を設定します。

[用紙の優先順位]

プリンタードライバーで［トレイ / 排出］タブの［用紙トレイ選択］を［自動］にしてプリントした場合の、用紙種類の優先順位を設定します。優先順位が高い用紙がセットされているトレイが選択されます。

［設定しない］を設定した種類の用紙がセットされたトレイは、自動トレイ選択の対象になりません。

補足

- 異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択されるトレイは、［トレイの優先順位］によって決定します。

[トレイの優先順位]

プリンタードライバーで［トレイ / 排出］タブの［用紙トレイ選択］を［自動］にしてプリントした場合の、トレイの優先順位を設定します。

補足

- 手差しトレイには最も低い優先順位だけが設定できます。手差しトレイを最優先したい場合は、［手差しトレイ］を設定します。

[手差し優先]

プリンタードライバーで［トレイ / 排出］タブの［用紙トレイ選択］を［自動］にしてプリントした場合、手差しトレイを最優先で選ぶかどうかを設定します。

- ［トレイの優先順位］で［手差しトレイ］が優先設定されている場合、プリントジョブで指定している用紙サイズと用紙種類が手差しトレイにセットされている用紙と一致するとき、手差しトレイから給紙されます。
- ［トレイの優先順位］で［手差しトレイ］が［自動トレイ切替対象外］に設定されている場合、プリントジョブで指定している用紙サイズと用紙種類が手差しトレイにセットされている用紙と一致していなくても手差しトレイから給紙されます。

[トレイの用紙サイズ設定]

用紙サイズを設定します。

[用紙の画質処理]

用紙種類ごとに、画質の処理方法を設定します。

本機は、プリントをするとき、［用紙の画質処理］で設定している用紙の種類と、その用紙種類に設定されている画質処理によって、画質をコントロールします。

- ［A］
  81 ～ 105 g/m² の上質紙に適しています。
- ［B］
  一般的に使われているオフィス用紙に適しています。
- ［C］
  再生紙に適しています。
- ［D］
  白黒のみをプリントする場合に適しています。
- ［ラベル 1］、［ラベル 2］
  ［ラベル紙］を選んだときに表示されます。通常、変更の必要はありません。

［用紙種類名称設定］

［用紙の優先順位］、［トレイの用紙種類］、［用紙の画質処理］などに表示される［1. ユーザー 1］～［5. ユーザー 5］を、任意の名称に変更できます。

［用紙色名称設定］

［トレイの用紙色］に表示される［1. ユーザー 1］～［5. ユーザー 5］を任意の名称に変更できます。

［ID 印字機能］

特定の位置に、ユーザー ID をプリントします。

［奇数ページの両面］

両面プリント時の、奇数ページ原稿の最終ページに対するプリント方法を設定します。

- ［両面］
  最終ページは片面のみのデータですが、両面プリント時と同じく両面プリントを行うための給紙動作を行います。用紙に上下または左右の区別がある用紙（穴あき用紙など）にプリントする場合は、プリントの向きをそろえることができます。
- ［片面］
  片面分の最終ページを、片面プリント時と同じく両面プリントを行うための給紙動作をしないでプリントします。両面のプリント動作をしないため、高速にプリントできます。

［未登録フォームへ印字］

プリント時に指定されたフォームが未登録だった場合に、プリントを中止するか、データのみプリントするかを設定します。

［基本の用紙サイズ］

レポート / リストなどの出力用紙サイズ指定のないプリントデータの用紙サイズの初期値を設定します。

［サイズ検知切り替え］

用紙を検知するときの用紙サイズグループを設定します。

［OCR フォントのグリフ］

ART IV または ESC/P での OCR-B のグリフコード 0x5c を切り替えることができます。

［サイズ不一致時処理］

［トレイの用紙サイズ設定］または用紙サイズ設定ダイヤルの設定と異なるサイズの用紙が、トレイにセットされている場合にプリントしたときの処理を設定します。手差しトレイの場合、［トレイの用紙サイズ設定］を設定していないときは、プリンタードライバーで設定した用紙サイズと、トレイにセットされている用紙サイズが異なる場合の処理になります。

- ［プリントする］
  設定が異なっても中止せずプリントします。
- ［確認画面を表示する］（初期値）
  プリントを中止し、エラーを表示します。

補足

- 本設定を［プリントする］に設定した場合は、次の現象が発生する可能性があります。
  - 用紙サイズが原稿サイズより小さいときに用紙の裏面が汚れる。
  - プリントに時間がかかる。
  - 両面印刷したときに印字がずれる。
  - 設定した用紙サイズと、セットした用紙のサイズが大きく異なる場合、紙詰まりが発生する。

［ダイヤルスイッチ設定］

各トレイで、用紙サイズ設定ダイヤルにない定形サイズを使用するときに設定します。用紙サイズを設定した後は、トレイの用紙サイズ設定ダイヤルを回し、［＊］にあわせてください。

［メモリー設定］

注記

- メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。

■ ［PS 使用メモリー］

PostScript の使用メモリー容量を指定します。

補足

- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ ［ART EX フォームメモリー］

ART EX でフォームを使用するときの作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

■ ［ART IV フォームメモリー］

ART IV、ESC/P、201H でフォームを使用するときの作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

■ ［ART IV ユーザ定義メモリ］

ART IV のユーザーが定義するデータ（外字、フォーム、線パターンフォームなど）を格納するメモリー容量を指定します。

■ ［HPGL オートレイアウトメモリー］

HP-GL および HP-GL/2 のオートレイアウト機能を使用するときの、作業用メモリー領域を設定します。ストレージ（オプション）が取り付けられているときは、ストレージ（オプション）が指定され、変更できません。ストレージ（オプション）が取り付けられていない場合は、作業用メモリー領域を指定します。

■ ［ジョブチケット用メモリー］

ジョブチケット（ジョブの出力部数や後処理などを記述したもの）の処理に使用するメモリー容量を指定します。

■ ［受信バッファ容量］

インターフェイスごとに、コンピューターから送信されるデータをスプールするかしないかを指定します。

補足

- この項目は、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ポートが停止している場合は、対応する各項目は表示されません。

- **[LPD スプール]**
  スプールするかしないかを設定します。
- **[IPP スプール]**
  スプールするかしないかを設定します。

[画質補正]

[ペーパーレジ補正]

補足

- [おもて面の補正]、[うら面の補正]、[チャート出力 (片面)]、[チャート出力 (両面)] は、トレイ 1 ～手差しトレイの各々のトレイに対応して表示されます。
- おもて面 / うら面の垂直方向（リードレジ）と水平方向（サイドレジ）の補正はトレイごとに設定でき、それぞれ個別の値になります。おもて面とうら面の直角度はトレイごとに設定できますが、すべて同一の値になります。

参照

- ペーパーレジ補正については、「印字位置を調整する（[ペーパーレジ補正]）」(P.119) を参照してください。

■ [おもて面の補正]

おもて面の垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置、および直角度を補正します。

■ [うら面の補正]

うら面の垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置、および直角度を補正します。

■ [チャート出力 (片面)]

おもて面の垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置、および直角度を補正するときに使用するチャートを出力します。

■ [チャート出力 (両面)]

うら面の垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置、および直角度を補正するときに使用するチャートを出力します。

■ [用紙サイズ設定]

手差しトレイからチャートを出力するときの用紙サイズを設定します。

■ [用紙種類設定]

手差しトレイからチャートを出力するときの用紙種類を設定します。

[転写電圧オフセット調整]

次のような症状が頻繁に発生する場合は、プリントする用紙に合った用紙種類が正しく設定されているかを確認してください。正しい用紙種類が設定されていても症状が発生するときは、転写電圧の設定が適切でないことがあります。その場合に調整します。

- 画像の一部が白点になる（転写電圧をマイナス方向に変更する）
- 画像周辺にトナーが飛び散る（転写電圧をプラス方向に変更する）

[定着温度調整]

次のような症状が頻繁に発生する場合は、定着温度の設定が適切でないことがあります。次のように調整します。

- 指でこするとかすれる（定着温度をプラス方向に変更する）

- トナーが定着しない（定着温度をプラス方向に変更する）
- トナーで用紙が汚れる（定着温度をマイナス方向に変更する）
- 用紙がカールする（定着温度をマイナス方向に変更する）

[高地使用設定]

本機の設置場所の高度を設定します。高度を正しく設定することで、印字品質が維持され、トナー残量が正しく表示されます。

[画像濃度補正]

補正濃度を設定します。

[初期化 / データ削除]

■ [NV メモリー初期化]

NV メモリーを初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。

補足

- NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。

■ [ストレージ初期化]

ストレージ（オプション）を初期化します。

初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV、PCPR201H、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データです。

補足

- ストレージを初期化しても、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書やログは消去されません。
- この項目は、ストレージ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ [証明書初期化]

証明書を一括削除し、初期化します。

登録した証明書が破損し、使用できない場合に行ってください。

■ [データ一括削除]

NV メモリー、ストレージ（オプション）のデータを一括して初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。また、ストレージを初期化すると、追加フォント、PCPR201H、ART EX、ART IV、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データ、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書が消去されます。

注記

- ストレージが取り付けられている場合、処理に時間がかかることがあります（約 1 時間以上）。処理中は、操作パネルのランプが点滅します。処理中は、電源を切らないようにしてください。

■ [集計レポート初期化]

集計レポートを初期化します。初期化すると、集計値が 0 になります。

■ [機能別カウンター初期化]

機能別カウンターや稼働状況別時間カウンターなどを初期化します。初期化すると、カウンターの値が 0 になります。

■ [フォーム / マクロの削除]

登録されているフォームやマクロを削除します。

■ [フォント削除]

登録されているフォントを削除します。

■ ［セキュリティー文書削除］/［プライベート文書削除］

セキュリティープリントやプライベートプリントとして蓄積されている文書を削除します。

［エンジンクリーニング］

プリント上にカブリがあったり、トナー汚れなどが連続してつくときに、本機の内部をクリーニングします。

［トナーリフレッシュ］

トナーと現像剤のバランスを適正にします。画像が薄かったり、出力結果がぼやけているときに実施します。

補足

- この機能はトナーを使用するため、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジの寿命が縮まることがあります。

［プリント言語の設定］

使用するページ記述言語、エミュレーションモードで使用する言語の設定をします。

［201H］

このメニューで設定できる項目については、「PC-PR201H エミュレーションについて」(P.181) を参照してください。

［ESCP］

このメニューで設定できる項目については、「ART IV、ESC/P エミュレーションについて」(P.175) を参照してください。

［HPGL］

このメニューで設定できる項目については、「HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」(P.185) を参照してください。

［PDF］

PDF ファイルを直接本機に送信してプリントする場合の設定をします。

補足

- ［部数］、［両面］、［印刷モード］、［ソート］、［用紙サイズ］、［レイアウト］の設定は、ContentsBridge Utility（富士フイルムビジネスイノベーション株式会社製のソフトウェア）を使用しないで PDF ファイルをプリントする場合に有効になります。

［プリント処理モード］

PDF ファイルのプリント処理モードを設定します。

- ［PDF Bridge］
  PDF ファイルを、本機搭載の PDF Bridge 機能を使用して処理します。
- ［PS］
  PDF ファイルを PostScript の機能を使用して処理します。

補足

- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ［PDF Bridge］を選んだ場合と［PS］を選んだ場合では、プリント結果が異なることがあります。

[部数]

プリントする部数を設定します。

[両面]

両面プリントについて設定します。

[印刷モード]

画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。

[パスワード]

PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。
プリントする PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけプリントできます。

[ソート]

複数部数を、1 部ごとにソートしてプリントするかどうかを設定します。

[用紙サイズ]

プリントする用紙サイズを設定します。

[レイアウト]

プリントするときのレイアウトについて設定します。

補足

- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられていて、［プリント処理モード］を［PS］に設定している場合は表示されません。

[PCL]

このメニューで設定できる項目については、「PCL エミュレーションについて」(P.190) を参照してください。

[PostScript]

PostScript に関する設定をします。

補足

- この項目は、Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[用紙選択モード]

PostScript の DMS（Deferred Media Selection）機能を有効にするかどうかを設定します。

- ［トレイから選択］
  DMS（Deferred Media Selection）機能を無効にします。用紙トレイから選択されます。
- ［自動］
  DMS（Deferred Media Selection）機能を有効にします。

[フォント未搭載時処理]

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合の処理を設定します。

- ［プリントを中止］
  プリントを中止します。
- ［フォントを置き換え］

ジョブで指定されたフォントを置き換えてプリントします。置き換えられるフォントは Courier です。

置き換えられたフォントが日本語の場合は、正しくプリントされません。日本語フォントでプリントする場合は［フォントを置き換え］で［ATCx を使用する］を選んでください。

ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えてプリントする機能です。

[フォント置き換え]

ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合、フォントの置き換えで ATCx を使用するかどうかを設定します。

ATC x 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えてプリントする機能です。

[XPS]

XPS（XML Paper Specification）に関する設定をします。

[PrintTicket 処理]

XPS PrintTicket を読み込んだ時の本機の動作を設定します。

- ［無効］

  PrintTicket 処理をしません。本機以外の機種用に生成された XPS(XML Paper Specification) 文書を処理したときに PrintTicket エラーが発生するような場合に、本設定にすることで出力できます。
- ［標準モード］

  PrintTicket を処理します。本機用のほかのプリンタードライバーからの出力に近い結果が得られます。
- ［準拠モード］

  指示がない時の代替設定や、無効な指示があった場合は Microsoft の仕様に準拠した処理を行います。本機以外の機種で XPS(XML Paper Specification) 文書を出力した結果と合わせたい場合に設定します。

補足

- PrintTicket とは、Microsoft 社が規定した XPS(XML Paper Specification) 文書内部に格納されているプリント設定です。

[XDW(DocuWorks)]

DocuWorks ファイルを直接本機に送信してプリントする場合の設定をします。

[部数]

プリントする部数を設定します。

補足

- ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。

[両面]

両面プリントについて設定します。

[印刷モード]

画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。

[パスワード]

DocuWorks ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。プリントする DocuWorks ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけプリントできます。

[ソート]

複数部数を、1 部ごとにソートしてプリントするかどうかを設定します。

[レイアウト]

プリントするときのレイアウトについて設定します。

補足

- [自動倍率] や [2 アップ] 、[4 アップ] では、付箋を含まない原稿サイズで倍率が設定されます。

[用紙サイズ]

プリントする用紙サイズを設定します。

[言語切り替え]

操作パネルの表示言語を設定します。

7.2 消耗品メニューについて

ここでは、操作パネル上の▼+OKボタンを同時に押すと表示される項目について説明します。

[シリアル番号]

本機のシリアル番号を確認できます。

[カスタムモード]

カスタムモードでプリンターを使用したい場合に設定します。
対応したトナー / ドラムでご使用ください。

注記

- カスタムモードは品質保証外のモードであり、所定の機能、性能は保たれないことがあります。そのまま使い続けると、プリンターが故障する原因となることがあります。
- カスタムモードでは、「[ドラム寿命動作]」(P.82) の設定が無視されます。また、トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量表示が行われません。

補足

- カスタムモードを一度でもオンにしたことがある場合は、カスタムモードを [オフ] にすると [機能設定リスト] の [カスタムモード] の項目に [*] が表示されます。

8 便利な使いかた

8.1 インターネットサービスを使う

インターネットサービスは、Web ブラウザーを使用して、本機の状態やジョブの履歴を表示したり、本機の設定を変更したりするためのサービスです。

TCP/IP 環境で、本機とネットワーク接続されたコンピューターで使用できます。

補足

- 操作パネルの操作中は、インターネットサービスで設定を変更できません。
- 各画面で設定できる項目の詳細については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。をクリックすると表示されます。ヘルプを参照するにはインターネット接続が必要です。

1. Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレスまたは URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

補足

- ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。ポート番号は、［機能設定リスト］で確認できます。
- ユーザー ID とパスワードを一定回数以上間違えるとログインできなくなります。その場合は本機を再起動してから、正しいユーザー ID とパスワードを入力してください。
- 機械管理者でログインする場合は、画面右上の［ログイン］をクリックし、機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力してください。機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド 」を参照してください。
- 機械管理者のユーザー ID とパスワードを忘れた場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

参照

- 本機の IP アドレスを確認する方法については、「IP アドレスを確認する」(P.21) を参照してください。

8.2　本機のソフトウェアを使う

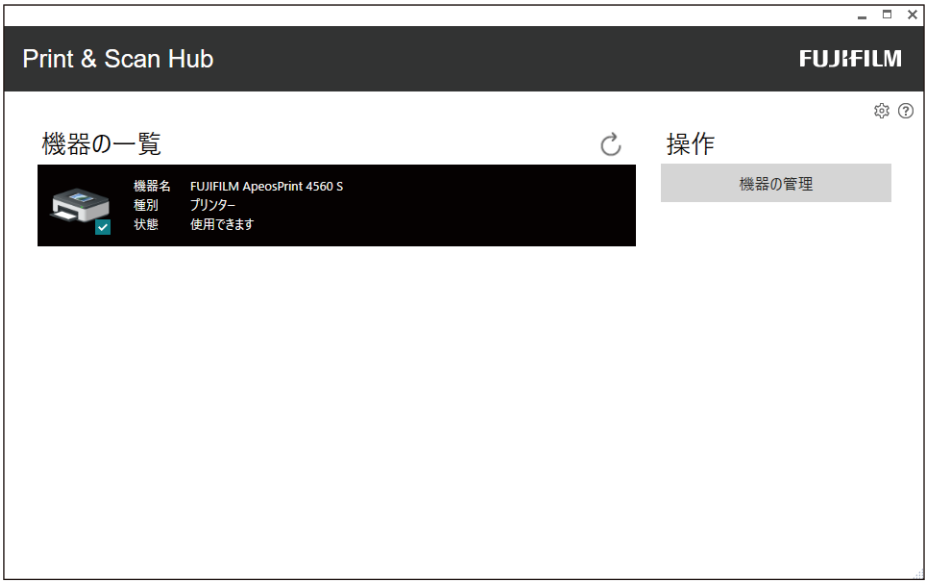
次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

https://www.fujifilm.com/fb/download/

Print & Scan Hub (Windows)

本機の状態を確認するソフトウェアです。本機や本機の消耗品の状態を表示、プリントジョブの完了やエラーを通知します。

Print & Scan Hub を起動するには、[スタート] > [FUJIFILM Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。



ContentsBridge Utility (Windows)

コンピューター上のファイルを直接プリンターに送って印刷するためのソフトウェアです。PDF ファイルや、TIFF ファイル、XPS（XML Paper Specification）ファイルをプリントすることができます。

ContentsBridge Utility を起動するには、デスクトップにある ContentsBridge のショートカットをダブルクリックします。

Supply Monitor（Windows）

ネットワーク上のプリンターや、USB 接続されたプリンターを監視し、プリンター情報や消耗品情報を取得するソフトウェアです。消耗品の残量が少なくなったときは、Supply Monitor をインストールしたコンピューターにアラート情報を表示したり、指定したメールアドレスにメールで通知したりできます。

また、Supply Monitor の画面に表示されるオンラインショップ、イー・クイックスへのリンク、またはメール内に記載されたイー・クイックスへのリンク先の URL をクリックすると、インターネットで消耗品を注文できます。

Supply Monitor を起動するには、[スタート] > [FUJIFILM Supply Monitor] > [Supply Monitor] をクリックします。

補足

- お使いの Supply Monitor のバージョンや設定によっては、イー・クイックスへのリンクが表示されません。

8.3 暗号化機能を設定する

証明書の種類

本機で暗号化機能を利用するには、証明書が必要です。

使用できるデバイス証明書は次の 2 種類です。

- インターネットサービスを使用して作成した自己証明書
- 認証局（CA）によって署名された証明書

参照

- 証明書のインポートについては、インターネットサービスのヘルプを参照してください。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.96) を参照してください。

暗号化の種類により使用できるデバイス証明書は次のとおりです。

○：使用可　×：使用不可

暗号化の種類	自己証明書	認証局（CA）によって署名された証明書
コンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化する（SSL/TLS サーバー）	○	○
本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する（SSL/TLS クライアント）	×	○
IPsec を使用して暗号化する	×	○ *1

*1 ：[IKE 認証方式］が［デジタル署名］の場合に使用します。

暗号化機能について

コンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化する（SSL/TLS サーバー）

本機の SSL/TLS 通信機能を有効にすることで、本機とネットワーク上のコンピューター間での HTTP 通信を暗号化できます。

通信を暗号化するには、自己証明書または認証局（CA）によって署名された証明書のどちらかのデバイス証明書を使用します。

補足

- HTTP の通信を暗号化すると、IPP ポートでプリントするときに通信データを暗号化（SSL 暗号化通信）できます。

本機から外部サーバーへの HTTP の通信を暗号化する（SSL/TLS クライアント）

外部サーバーと本機との HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。

通常、証明書を設定する必要はありませんが、外部サーバーが SSL クライアント証明を要求する設定の場合には、認証局（CA）によって署名された証明書を使用できます。

また、サーバー証明書の検証を有効にして外部サーバーの SSL/TLS サーバー証明書を検証する場合には、その証明書パスに含まれる上位の認証局の証明書をインターネットサービスを使用して本機にインポートす必要があります。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.96) を参照してください。

IPsec を使用して暗号化する

IPsec を使用して本機と暗号化通信ができます。

インターネットサービスの［IKE 認証方式］が ［デジタル署名］の場合は、認証局（CA）によって署名されたデバイス証明書が必要です。［IKE 認証方式］が［事前共有鍵］の場合は、デバイス証明書は必要ありません。

また、通信相手装置を検証する場合には、相手側のほかの認証局で作成された証明書（上位の CA 証明書）を本機にインポートしておく必要があります。インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.96) を参照してください。

HTTP の通信を暗号化するための設定

証明書の準備

HTTP の通信を暗号化するための証明書を用意します。自己証明書（SSL サーバー用）を生成する方法と、認証局（CA）によって署名された証明書をインポートする方法があります。

補足

- ［デバイス証明書］または［その他の証明書］のどちらかのカテゴリーに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。

自己証明書（SSL サーバー用）を生成する場合

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

   参照

   - 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する」(P.21) を参照してください。

2. **画面右上の［ログイン］をクリックします。**
3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

   参照

   - 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド 」を参照してください。

4. **［システム］＞［セキュリティー設定］＞［証明書設定］をクリックします。**
5. **［新規作成］＞［自己署名証明書の作成］をクリックします。**
6. **［デジタル署名の方式］を必要に応じて設定します。**
7. **［公開鍵のサイズ］を必要に応じて設定します。**
8. **［発行者］を必要に応じて設定します。**
9. **［有効期間（日数）］を必要に応じて設定します。**
10. **［実行］をクリックします。**
11. **生成が終了したら、［閉じる］をクリックします。**

認証局（CA）によって署名された証明書を本機にインポートする場合

認証局（CA）によって署名された証明書を本機にインポートする前に、自己証明書を生成し、HTTP 通信を暗号化するよう設定します。

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

   参照

   - 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する」(P.21) を参照してください。

2. **画面右上の［ログイン］をクリックします。**

3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

   参照
   - 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド 」を参照してください。

4. **［システム］＞［セキュリティー設定］＞［証明書設定］をクリックします。**

5. **［インポート］をクリックします。**

6. **［選択］をクリックし、インポートするファイルを指定します。**

7. **［パスワード］にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。**

8. **［パスワードの再入力］に同じパスワードを入力します。**

9. **［実行］をクリックします。**

10. **インポートが終了したら、［閉じる］をクリックします。**

証明書の設定

サーバー用の証明書を本機に設定します。

補足
- 本項目の設定を行っていない状態では、自己生成した証明書がサーバー用として自動的に設定されます。

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

   参照
   - 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する」(P.21) を参照してください。

2. **画面右上の［ログイン］をクリックします。**

3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

   参照
   - 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド 」を参照してください。

4. **［システム］＞［セキュリティー設定］＞［SSL/TLS 設定］をクリックします。**

5. **［本体の証明書 - サーバー］で証明書を選びます。**

   補足
   - 証明書を選べないときは、［システム］＞［セキュリティー設定］＞［証明書設定］にデバイス証明書が登録されていることを確認してください。

6. **［HTTP - SSL/TLS 通信ポート番号］を必要に応じて設定します。**

   注記
   - ほかのポートと同じポート番号にしないでください。

7. **［保存］をクリックします。**

8. **［今すぐ再起動］をクリックします。**

コンピューターから本機へのアクセス方法

Web ブラウザーと本機の通信を暗号化する場合には、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

IPP の通信（インターネット印刷）を暗号化する場合は、コンピューターでプリンターを追加するときに、プリンターの URL に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

IPsec を使用して暗号化するための設定

IPsec 通信で IKE 認証方式を［デジタル署名］にするときは、本機に証明書を設定します。IPsec 用証明書をインポートします。インポート後、IPsec の設定をします。

IKE 認証方式が事前共有鍵の場合には、「証明書の準備」(P.101) は不要です。「IPsec の設定」(P.102) を行ってください。

補足

- ［デバイス証明書］または［その他の証明書］のどちらかのカテゴリーに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。
- IPsec 用証明書としてインポートする証明書に V3 拡張 (KeyUsage) がある場合には、デジタル署名のビットがオンに設定されている必要があります。

証明書の準備

インターネットサービスで証明書を設定するには、HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、認証局（CA）によって署名された証明書を本機にインポートして、IPsec 用証明書として設定します。

補足

- 本機にインポート可能な証明書の公開鍵は、RSA 公開鍵 4096 ビットまで、または ECC 公開鍵の P-256/P-384/P-521 のどちらかとなります。
- IPsec 用には、インターネットサービスで作成した自己証明書は使用できません。

参照

- HTTP の通信を暗号化する設定方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.99) を参照してください。

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。

参照

- 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する」(P.21) を参照してください。

2. 画面右上の［ログイン］をクリックします。

3. 機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。

参照

- 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド 」を参照してください。

4. ［システム］＞［セキュリティー設定］＞［証明書設定］をクリックします。

5. ［インポート］をクリックします。

6. ［選択］をクリックし、インポートするファイル名を指定します。

補足

- インポートするファイルのパスを直接入力することもできます。

7. ［パスワード］にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。

8. ［パスワードの再入力］に同じパスワードを入力します。

9. ［実行］をクリックします。

10. インポートが終了したら、［閉じる］をクリックします。

IPsec の設定

本機の操作パネルを使用して、IPsec の設定をする手順について説明します。

1. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**
2. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで▼ボタンを押します。**
3. **▶またはOKボタンを押します。**
   ［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。
4. **▶またはOKボタンを押します。**
5. **［IPsec 通信］が表示されるまで▼ボタンを押します。**
6. **▶またはOKボタンを押します。**
7. **［有効］に設定し、OKボタンを押します。**
8. **〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**
   本機が再起動します。

通信先機器の設定

通信する相手機器の設定について説明します。

通信先機器では次の設定を行う必要があります。

- IP セキュリティポリシーの作成
- ポリシーの割り当て

参照

- 設定方法は、通信先機器のヘルプを参照してください。

無線 LAN で IEEE 802.1X を使用するための設定

インターネットサービスで HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートします。

参照

- HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.99) を参照してください。

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

   参照

   - 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する」(P.21) を参照してください。

2. **画面右上の［ログイン］をクリックします。**
3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

   参照

   - 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド 」を参照してください。

4. **証明書をインポートします。**

   1) **［システム］＞［セキュリティー設定］＞［証明書設定］をクリックします。**

   2) **［インポート］をクリックします。**

   3) **［選択］をクリックし、インポートするファイル名を指定します。**

4) ［パスワード］にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。

5) ［パスワードの再入力］に、同じパスワードを入力します。

6) ［実行］をクリックします。

7) Web ブラウザーの再読み込みを行います。

5. Wi-Fi 接続の設定をします。

1) ［ネットワーク］をクリックします。

2) ［Wi-Fi］をクリックして、［有効］にチェックマークを付けます。

3) ［SSID］に接続先の SSID を入力します。

6. セキュリティーの設定をします。お使いの環境の認証方式によって、設定方法が異なります。

ここでは、Enterprise 向けのデータ暗号化の説明をします。

1) ［セキュリティー設定］の［暗号化設定］で、［WPA3 Enterprise］、［WPA2/WPA3 Enterprise］、［WPA2 Enterprise］または［WPA/WPA2 Enterprise］を選びます。

2) ［認証方式］を選びます。

3) 選択した認証方式を設定します。

認証方式が EAP-TLS の場合

［クライアント証明書］で、インポートしたクライアント証明書を選びます。

認証方式が PEAPv0 MS-CHAPv2、EAP-TTLS/PAP、EAP-TTLS/CHAP、EAPTTLS/MS-CHAPv2 の場合

［ユーザー名］、［パスワード］および［パスワードの再入力］に WPAEnterprise 認証用のログインユーザー名およびパスワードを入力します。

4) ［ルート証明書］で、インポートした CA 証明書を選びます。

5) ［Identity］に EAP-Identity の値を入力します。

補足

- EAP-Identity については、RADIUS サーバー管理者に確認してください。

6) ［保存］をクリックします。

7) ［今すぐ再起動］をクリックします。

8.4 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について

本機には、あらかじめ登録しておいたユーザー情報を使って、利用できる機能に制限をかける認証機能と、その認証機能を元にして、各機能の利用状況を管理する集計管理機能があります。

ここでは、機械管理者を対象に、認証 / 集計管理機能の概要と、使用する場合に必要な設定について説明します。

注記

- 文書が蓄積された状態で、集計モードを変更しないでください。
  集計モードを変更するときは、蓄積されている文書をすべてプリントまたは削除してください。

認証 / 集計管理機能の概要

制限される機能

インターネットサービスへのアクセス

Web ブラウザーを使って本機にアクセスするときに、認証画面が表示され、ユーザー ID やパスワードなどの入力が必要です。本機に登録されているユーザーまたは機械管理者以外は、インターネットサービスを使用できません。

コンピューターからのプリント

ジョブの種類によって、次のようにプリントが制限されます。

ジョブの種類	制限される機能
本機用プリンタードライバーを使用したプリント	プリンタードライバーで、ユーザー ID やパスワードなどの認証情報を設定する必要があります。本機に送信されたジョブのうち、認証情報が本機に登録された内容と一致する場合だけ、プリントできます。プリント上限ページ数が設定されている場合は、使用量が制限に達すると、以降のプリントはできません。
本機用プリンタードライバーを使用しない場合（メール受信プリントなど）	ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合だけ、プリントできます。

集計機能

認証 / 集計管理機能を利用すると、「プリンター集計レポート」に代わって、「プリンター集計管理レポート」が出力されます。

ユーザー別に、今までプリントした累積ページ数、プリントに使用した用紙の累積枚数が確認できます。

また、本レポートは、データを初期化した時点からのカウントになります。

参照

- データの初期化については、「[初期化 / データ削除]」(P.91) を参照してください。

認証 / 集計管理機能を使用するための設定

集計管理の運用の設定

認証 / 集計管理機能を有効にするには、操作パネルの［機械管理者メニュー］で、次の設定をします。

- ［システム設定］＞［認証 / 集計の設定］＞［本体認証 / 集計］に設定します。

本機へのユーザー情報の登録

操作パネルで［本体認証 / 集計］の設定をすると、インターネットサービスで、利用ユーザーを登録できるようになります。

参照

- 各項目については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。

参照

- 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する」(P.21) を参照してください。

2. 画面右上の［ログイン］をクリックします。

3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

参照
- 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド 」を参照してください。

4. **画面上部の［認証 / 集計 / 権限］をクリックします。**
5. **［ユーザーアカウント一覧］＞［設定］をクリックします。**
6. **［ユーザーの登録］をクリックし、［ユーザー ID］、［パスワード］および［パスワードの再入力］を入力します。**
7. **［登録］をクリックします。**

権限グループの登録とユーザーとの関連付け

操作パネルで［本体認証 / 集計］の設定をすると、インターネットサービスで、権限グループを登録し、ユーザーと関連付けることができます。

強制印字の一時解除を許可された権限グループを登録し、ユーザーとその権限グループを関連付けることで、そのユーザーが強制印字を一時解除する権限を持つことができます。

参照
- 各項目については、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

1. **本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、インターネットサービスを起動します。**

参照
- 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する」(P.21) を参照してください。

2. **画面右上の［ログイン］をクリックします。**
3. **機械管理者の［ユーザー ID］と［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリックします。**

参照
- 機械管理者のユーザー ID およびパスワードの初期値については、本機に付属の「セットアップガイド 」を参照してください。

4. **画面上部の［認証 / 集計 / 権限］をクリックします。**
5. **［権限設定］＞［権限グループ設定］をクリックします。**
6. **登録する権限グループ No. をクリックします。**

補足
- 次のユーザーは、No.00 の「DefaultGroup（標準)」（デフォルト権限グループ）に属します。
  - 新規作成したユーザー
  - 認証する前のユーザー
- デフォルト権限グループもほかの権限グループと同様に変更できます。

7. **［グループ名］にグループの名称を入力します。**
8. **必要に応じて、［強制印字の一時解除］を設定します。**
9. **［保存］＞［OK］をクリックします。**
10. **［ユーザーアカウント一覧］で登録するユーザーをクリックします。**
11. **［ユーザーの権限］＞［設定］をクリックします。**
12. **［権限グループ］をクリックします。**
13. **登録されている権限グループ No. をクリックします。**

14. **［保存］をクリックします。**

補足

- 複数のユーザーを登録する場合は、手順 10 ～ 14 を繰り返します。

プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。このユーザー ID とパスワードが、本機に登録されている認証情報と一致しないとプリントできません。

参照

- プリンタードライバーの各項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. **［スタート］＞［設定］＞［デバイス］＞［プリンターとスキャナー］をクリックします。**

2. **本機を選んで［管理］＞［プリンターのプロパティ］をクリックします。**

3. **［プリンター構成］タブで、［認証設定］をクリックします。**

4. **［認証管理］ダイアログボックスで各項目を設定し、［OK］をクリックします。**

5. **プロパティダイアログボックスの［OK］をクリックします。**

IC カード読み取り装置を利用するための設定

オプションの IC カード読み取り装置を設置すると、IC カードに登録された情報によって認証したり、IC カードに登録された情報と本機に登録されているユーザー情報を使って、利用できる機能に制限をかけたり、利用状況を集計管理することができます。

参照

- 詳しくは、IC カード読み取り装置のマニュアルを参照してください。

9 日常管理

9.1 消耗品を交換する

次の消耗品を交換品として用意しています。

- トナーカートリッジ
- ドラムカートリッジ

消耗品の交換時期が近づくと、ディスプレイにメッセージが表示されます。

交換手順については新しい消耗品が入っていた箱を参照してください。

トナーカートリッジ

メッセージ	処置
[プリントできます ❶トナー予備用意]	すぐに交換する必要はありませんが、トナーカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数は、次のとおりです。*1 • お買い上げ時のトナーカートリッジ：約 750 枚 • トナーカートリッジ（6K）：約 1500 枚 • トナーカートリッジ（10K）：約 2500 枚 • トナーカートリッジ（15K）（ApeosPrint 4560 S /ApeosPrint 3960 S 専用）：約 3750 枚
[❶トナーカートリッジを交換してください]	トナーがなくなりました。本機は停止し、プリントできなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

*1 ：プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品、定期交換部品の寿命について」(P.173) を参照してください。

ドラムカートリッジ

メッセージ	処置
[プリントできます ❶ドラム予備用意]	すぐに交換する必要はありませんが、ドラムカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数は、約 8000 ページ *1 です。
[プリントできます ❶ドラム交換時期]	まもなくドラムカートリッジの交換時期になります。 残りのプリント可能ページ数は、約 4000 ページ *1 です。新しいドラムカートリッジを用意してください。
[❶ドラムカードリッジを交換してください]	ドラムカートリッジの寿命です。 本機は停止し、プリントできなくなります。新しいドラムカートリッジに交換してください。
[プリントできます ❶ドラム交換]	操作パネルで、[ドラム寿命動作] を [プリント停止しない] *2 に設定しているとき、ドラムカートリッジの寿命となった場合に表示されます。しばらくはプリントを継続できますが品質が保証できませんので、新しいドラムカートリッジに交換することをおすすめします。

*1 :プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品、定期交換部品の寿命について」(P.173) を参照してください。

*2 :この場合は、［プリントできます ドラム交換］のまま、メッセージは移行しません。設定については、［機械管理者メニュー］の「［ドラム寿命動作］」(P.82) を参照してください。

警告

- **こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本機内およびトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。**
- **ドラムカートリッジやトナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。**

注意

- **ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。**
- **ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。**
- **次の事項に従って、応急処置をしてください。**
  - **トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。**
  - **トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。**
  - **トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。**
  - **トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。**

9.2 清掃する

警告

- **本機の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。**

注意

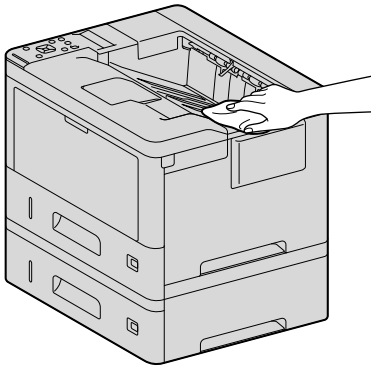
- **本機の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに本機の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。**

本体外部を清掃する

注記

- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- 水でぬらしすぎると、機械が故障するおそれがあるので注意してください。

1. **水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側を拭きます。**



注記

- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

補足

- 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

2. **柔らかい布で、水分を拭き取ります。**

本体内部を清掃する

用紙送りローラーの清掃

用紙送りが正しくないと、紙詰まりが起こります。トラブルを防ぐため、手差しトレイ、トレイ 1、トレイ 2 ～トレイ 4（トレイモジュール）（オプション）の用紙送りローラーを、定期的に清掃します。

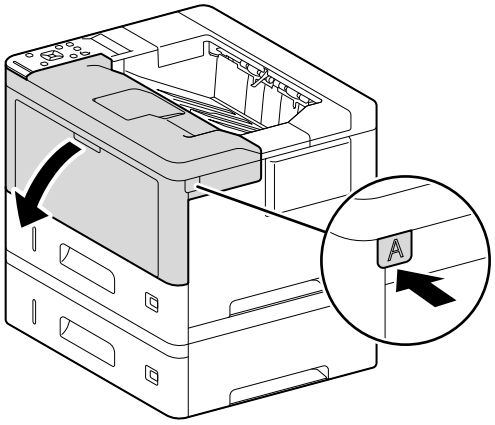
手差しトレイの用紙送りローラーとリタードローラーの清掃

1. **本機の電源を切ります。**

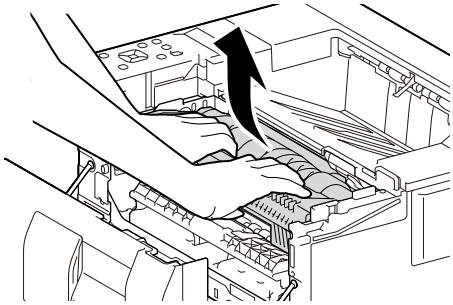
参照

- 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.15) を参照してください。

2. **A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。**



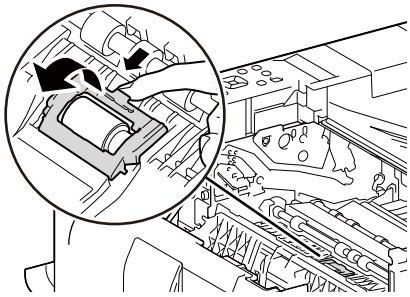
3. **ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。**



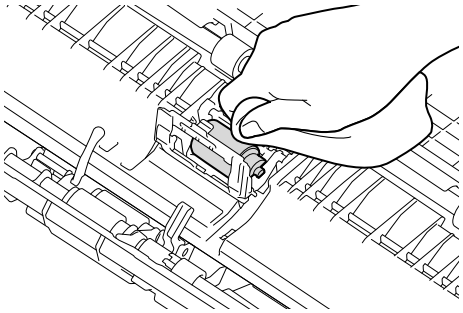
4. **A1 部を手前に開きます。**

A1 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。

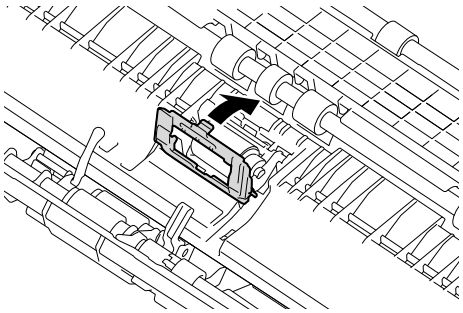
5. **リタードローラーのカバーの突起を押しながら手前に開きます。**



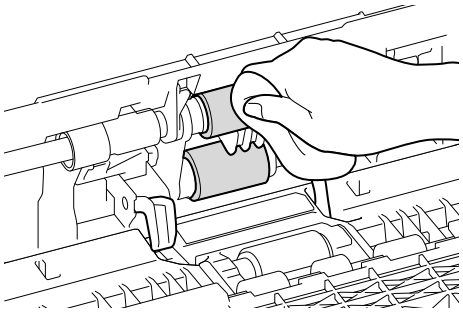
6. **リタードローラーを水で湿らせた柔らかい布で拭きます。**



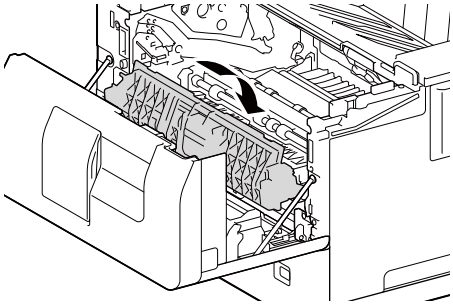
7. リタードローラーのカバーを閉じます。



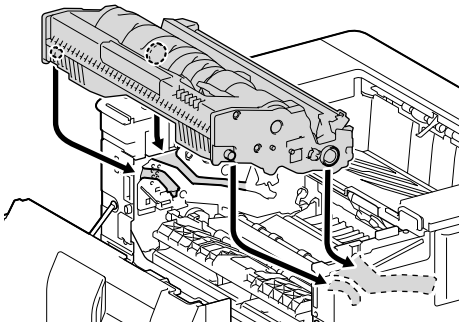
8. 水で湿らせた柔らかい布で A1 部の裏側にあるゴム部分を拭きます。



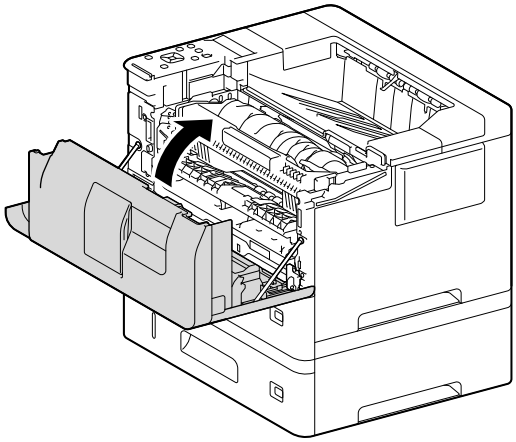
9. A1 部を閉じます。



10. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。



11. フロントカバーを閉じます。



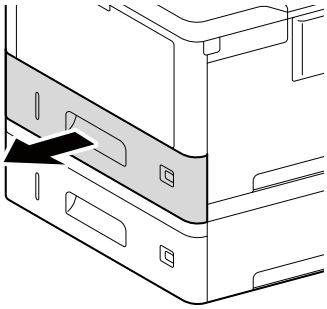
トレイ 1 の用紙送りローラーの清掃

1. 本機の電源を切ります。

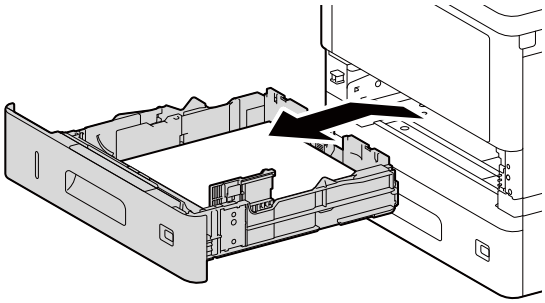
参照

- 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.15) を参照してください。

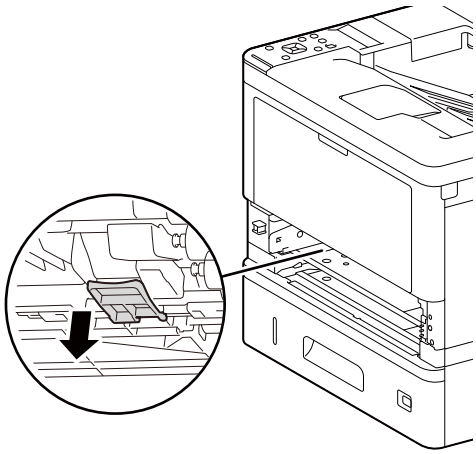
2. トレイ 1 を引き出します。



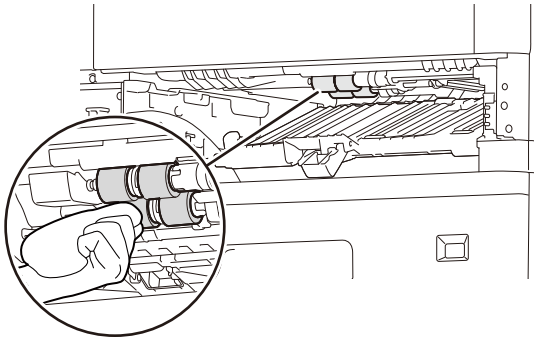
3. トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



4. **図の位置にある青色のレバーを押し下げ、両面シュートを下ろします。**



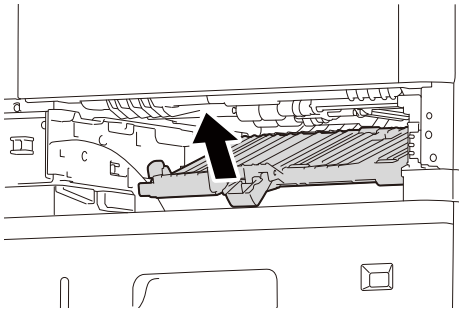
5. **水で湿らせた柔らかい布でゴム部分を拭きます。**



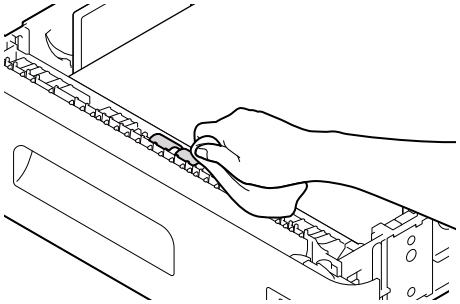
補足

- 本機を横にしないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。
- 本機内部のほかの部品には触れないでください。本機が損傷するおそれがあります。

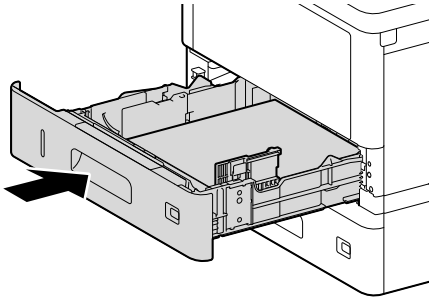
6. **両面シュートを戻します。**



7. **引き抜いたトレイ内側の用紙送りローラーを水で湿らせた柔らかい布で拭きます。**



8. **トレイ 1 を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**



トレイモジュール（トレイ 2 ～ 4）（オプション）の用紙送りローラーの清掃

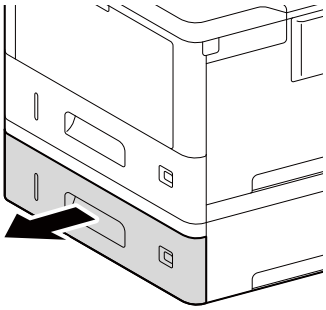
ここでは、トレイ 2 を例に説明します。

1. **本機の電源を切ります。**

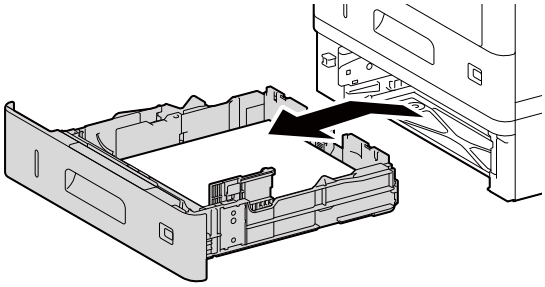
参照

- 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.15) を参照してください。

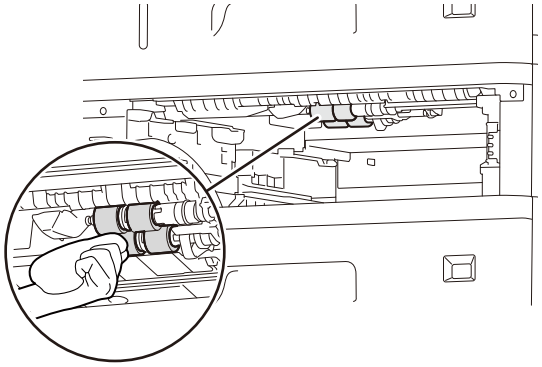
2. **トレイ 2 を引き出します。**



3. **トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。**



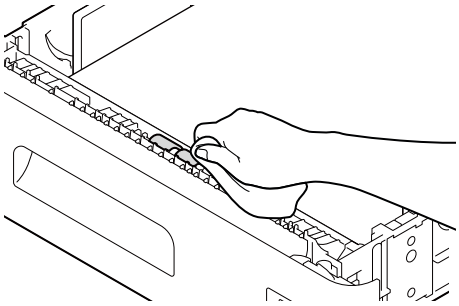
4. **水で湿らせた柔らかい布でゴム部分を拭きます。**



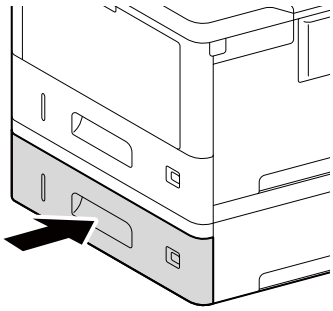
補足

- 本機を横にしないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。
- 本機内部のほかの部品には触れないでください。本機が損傷するおそれがあります。

5. **引き抜いたトレイ内側の用紙送りローラーを水で湿らせた柔らかい布で拭きます。**



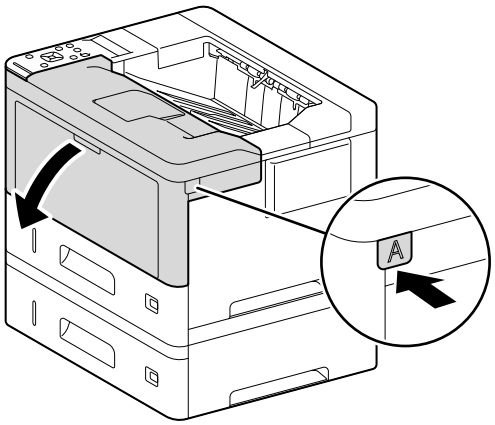
6. **トレイ 2 を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**



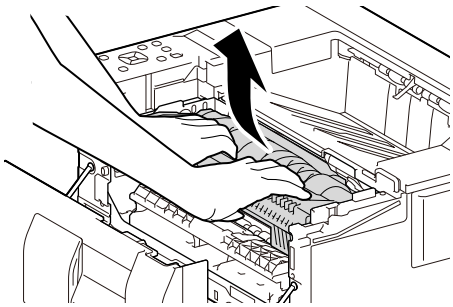
LED プリントヘッドの清掃

プリントに筋がでるなど画質に影響がある場合は、LED プリントヘッド部を清掃してください。

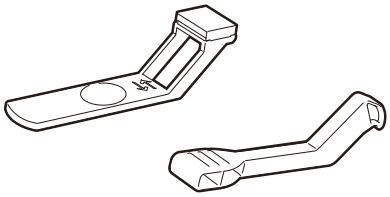
1. **A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。**



2. **ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。**



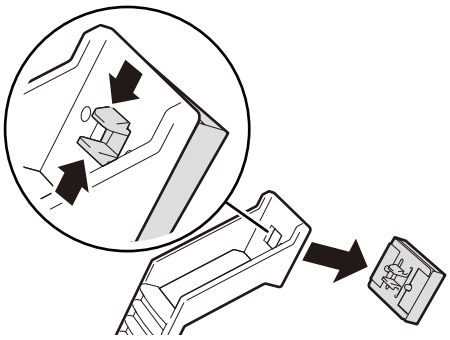
3. **本機に付属の清掃棒と昇降レバーを用意します。**



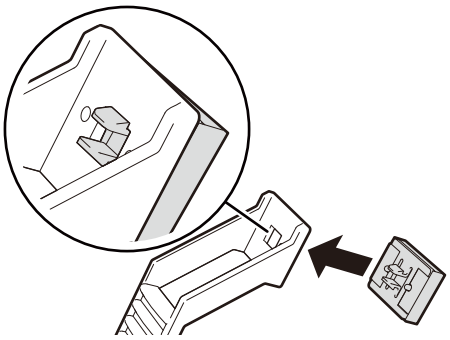
補足

- 使用後は、無くさないよう大切に保管してください。

4. **清掃棒の清掃パッドを交換します。**



取り外し

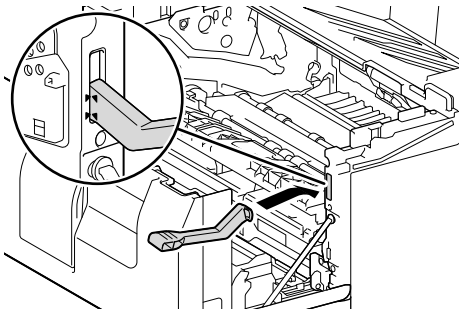


取り付け

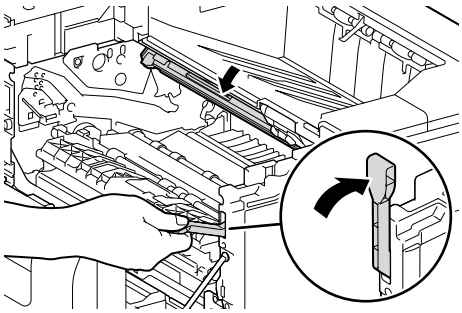
補足

- 清掃パッドは交換用のドラムカートリッジに同梱されています。

5. **本機の▲マークと合わせながら、昇降レバーを挿入します。**

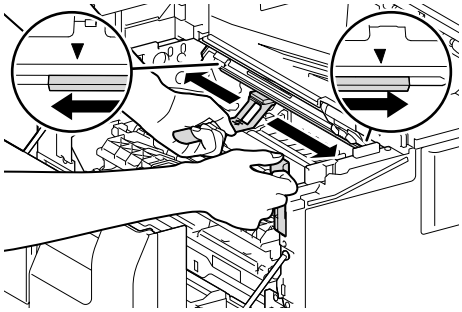


6. **昇降レバーを上げて、プリントヘッド部を下げます。**



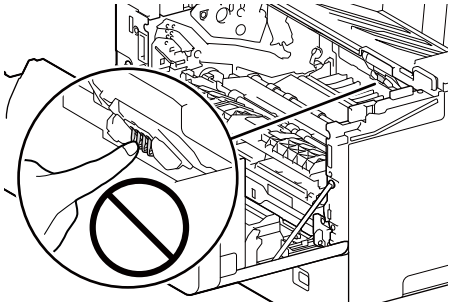
7. **清掃棒のパッド部分を LED プリントヘッド（黒いガラス部の下側）にあて、左右に一往復させて軽く拭きます。**

清掃後は、昇降レバーを取り外します。

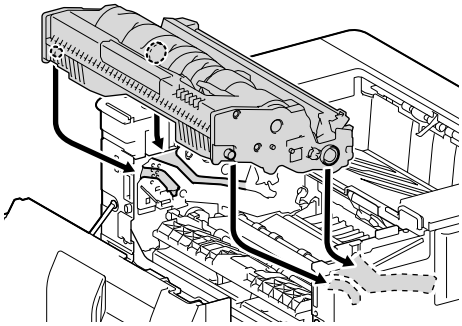


注記

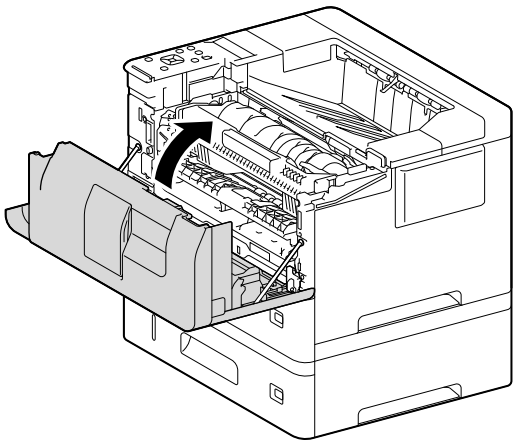
- 端子部には触らないでください。ドラムカートリッジを正しく認識できなくなる場合があります。



8. **ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。**



9. フロントカバーを閉じます。



9.3 出力したプリントページ数を確認する

これまでにプリントしたページ数は、そのカウントの仕方によって確認方法が異なります。

総プリントページ数を確認する（メーター）

操作パネルのディスプレイの表示で、プリントしたページ数を確認できます。

参照

- 詳しくは、「[メーター確認]」(P.69) を参照してください。

コンピューター別にプリントページ数を確認する（[集計レポート]）

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数が、[集計レポート] で確認できます。[集計レポート] は、データを初期化した時点からのカウントになります。

[集計レポート] のプリントやデータの初期化は、操作パネルから行います。

補足

- 認証 / 集計管理機能を使用している場合は、[集計レポート] （プリンター集計レポート）はプリントできません。代わりに、[集計レポート] （プリンター集計管理レポート）がプリントされます。[集計レポート] （プリンター集計管理レポート）に切り替わると、それまでのプリンター集計のカウントは初期化されます。

参照

- 集計レポートについては、「[レポート / リスト]」(P.66) を参照してください。
- 初期化については、「[初期化 / データ削除]」(P.91) を参照してください。

機能別にプリントページ数を確認する（[機能別カウンターレポート]）

両面プリントなどの機能別、および用紙サイズ別に、プリントページ数やプリント枚数を確認できます。

参照

- 機能別カウンターレポートについては、「[レポート / リスト]」(P.66) を参照してください。

9.4 レポート / リストをプリントする

レポート / リストは、操作パネルからプリントを指示します。ここでは、［機能設定リスト］をプリントする場合を例に説明します。ほかのレポート / リストも同様の手順でプリントできます。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

［レポート / リスト］が表示されます。

2. ▶またはOKボタンを押します。

［機能設定リスト］が表示されます。

補足

- ほかのレポート / リストをプリントする場合は、該当するレポート / リストが表示されるまで、▼ボタンを押します。

3. ▶またはOKボタンを押します。

プリントを開始させる画面が表示されます。

4. OKボタンでプリントします。

レポートがプリントされます。

5. プリントが終わったら、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

9.5 印字位置を調整する（［ペーパーレジ補正］）

プリント位置がずれる場合、垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置と直角度を操作パネルから補正します。

補足

- ペーパーレジを補正するためのチャートをプリントするときは、A3、A4、11×17"、8.5×11"の用紙を用紙トレイまたは手差しトレイにセットしてください。［トレイの用紙サイズ設定］は、定形サイズを設定してください。
- 垂直方向（リードレジ）と水平方向（サイドレジ）の補正は、トレイごとに設定でき、それぞれ個別の値になります。おもて面とうら面の直角度の補正はトレイごとに設定できますが、すべて同一の値になります。

ここでは、トレイ 1 のおもて面（片面）のペーパーレジ補正をする例で説明します。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. ［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。

3. ▶またはOKボタンを押します。

［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。

4. ［画質補正］が表示されるまで、▼ボタンを押します。

5. ▶またはOKボタンを押します。

［ペーパーレジ補正］が表示されます。

6. ▶またはOKボタンを押します。

［トレイ 1］が表示されます。

7. 補正するトレイを▼ボタンで選びます。

8. ▶またはOKボタンを押します。

［おもて面の補正］が表示されます。

9. ［チャート出力 (片面)］が表示されるまで、▼ボタンを押します。

10. **OKボタンを押します。**

部数を入力する画面が表示されます。

11. **▲または▼ボタンを押して部数を設定し、▶またはOKボタンを押します。**

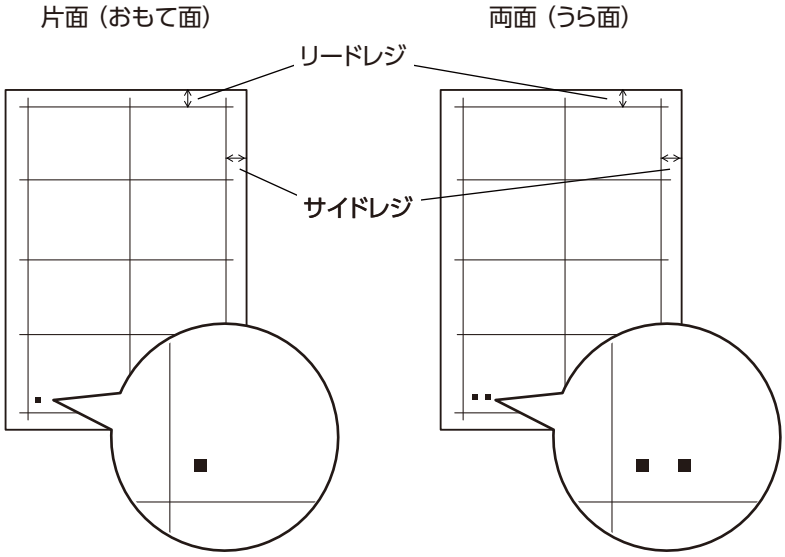
プリントを開始する画面が表示されます。

12. **OKボタンを押します。**

プリントが開始されます。

13. **出力されたチャートには■（黒い四角のマーク）がプリントされます（表面は■が 1 か所、うら面は■が 2 か所）。**

用紙に対するプリント位置のずれ（垂直方向 / 水平方向）を確認します。



14. **［チャート出力 (片面)］が表示されるまで、◀または↩〈戻る〉ボタンを押します。**

15. **［おもて面の補正］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

16. **▶またはOKボタンを押します。**

［リードレジ補正］が表示されます。

17. **▶またはOKボタンを押します。**

現在の垂直方向の補正値（リードレジ）が表示されます。

18. **現在の設定値に、手順 13 で確認した垂直方向にずれた量を加えた値を設定し、OKボタンを押します。**

プリント画像を下方向に移動する場合は＋（プラス）の値を設定し、上方向に移動する場合は－（マイナス）の値を設定します。

19. **◀または↩〈戻る〉ボタンを押します。**

20. **［サイドレジ補正］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

21. **▶またはOKボタンを押します。**

現在の水平方向の補正値（サイドレジ）が表示されます。

22. **現在の設定値に、手順 13 で確認した水平方向にずれた量を加えた値を設定し、OKボタンを押します。**

プリント画像を左方向に移動する場合は＋（プラス）の値を設定し、右方向に移動する場合は－（マイナス）の値を設定します。

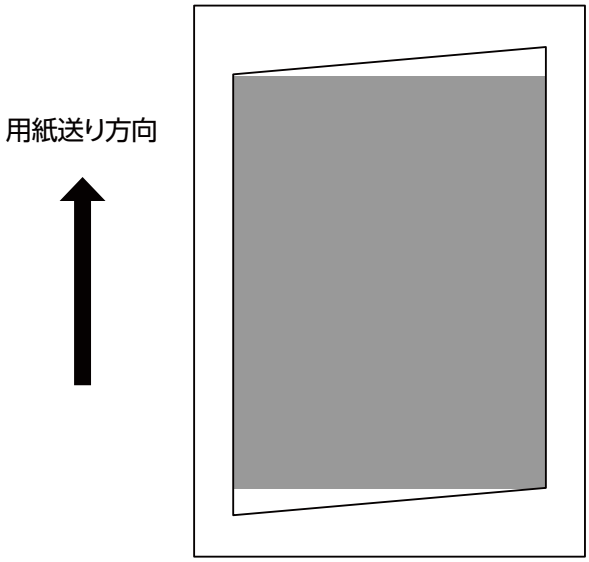
23. **◀または↩〈戻る〉ボタンを押します。**

24. **［直角度補正］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

25. **▶または[OK]ボタンを押します。**

現在の直角度の補正値が表示されます。

26. **用紙に対するプリント位置のずれ（直角度）を確認します。**



27. **現在の設定値に、手順 26 で確認したプリント位置のずれた量を加えた値を設定し、[OK]ボタンを押します。用紙送り方向を上にした時に、右上がりの平行四辺形を長方形に補正したい場合は正の値を、左上がりの平行四辺形を長方形に補正したい場合は負の値を指定します。**

28. **必要に応じて、チャートを再度プリントして、正しく設定されているかを確認します。**

29. **設定が終わったら、[i]〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。**

10 困ったときには

10.1 紙詰まりに対処する

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。操作パネルの[!]〈エラー〉ランプが点灯して、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに表示されている紙詰まりの位置を操作パネルの左上にある外観図で確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、自動的に用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。

メッセージに表示されている紙詰まりの位置	外観図の表示	紙詰まりの処置
カバー A	A	「フロントカバー［A］での紙詰まり」(P.123)
カバー B	B	「リアカバー［B］での紙詰まり」(P.130)
トレイ 1 ～ 4	1 ～ 4	「トレイ 1 ～ 4 での紙詰まり」(P.131)
手差しトレイ	5	「手差しトレイでの紙詰まり」(P.134)
排出トレイモジュールカバー D	-	「排出トレイモジュールカバー［D］での紙詰まり」(P.134)

警告

- **本機内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。**
  特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

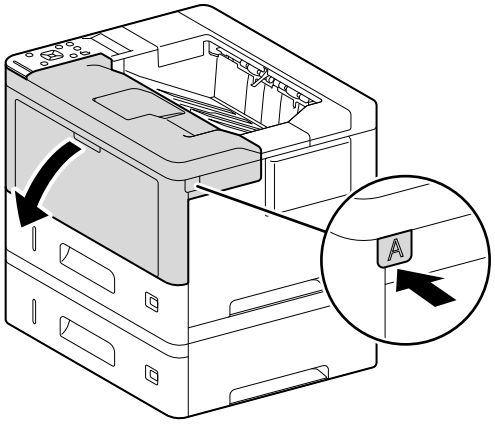
注記

- 紙詰まりが発生したとき、紙詰まり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙詰まりの位置を確認してから処置をしてください。
- 紙片が本機内に残っていると、紙詰まりの表示は消えません。
- 紙詰まりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

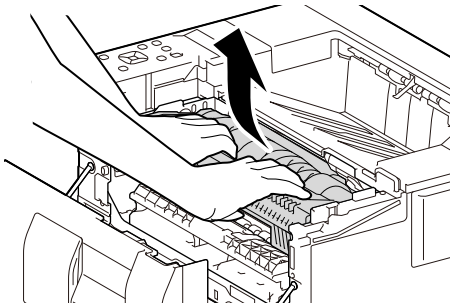
フロントカバー［A］での紙詰まり

奥側に用紙が詰まっている場合

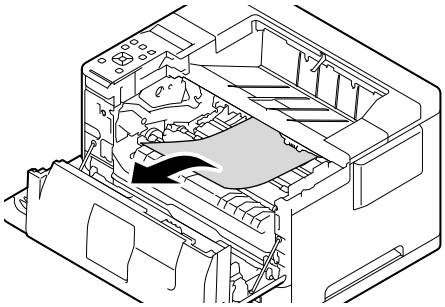
1. **A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。**



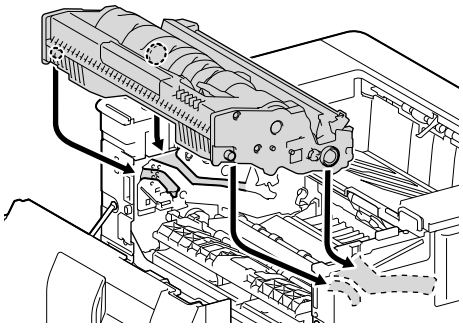
2. **ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。**



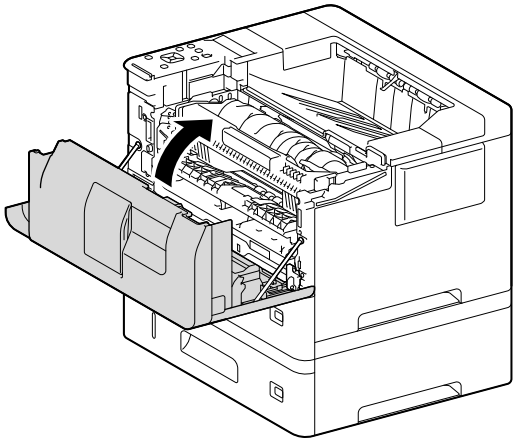
3. **詰まっている用紙を取り除きます。**



4. **ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。**

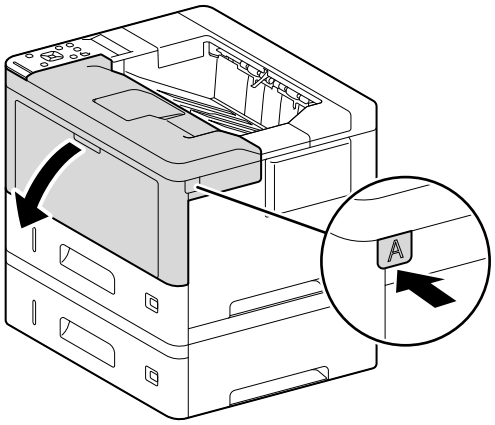


5. フロントカバーを閉じます。

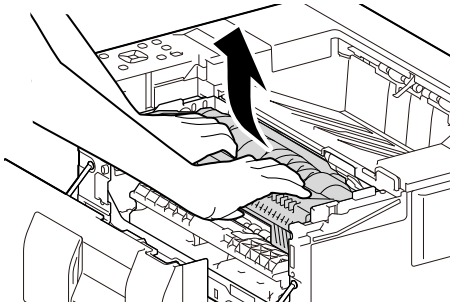


A1 部に用紙が詰まっている場合

1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



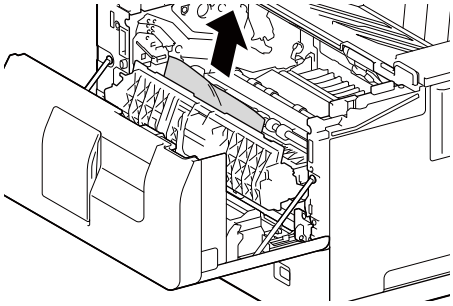
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。



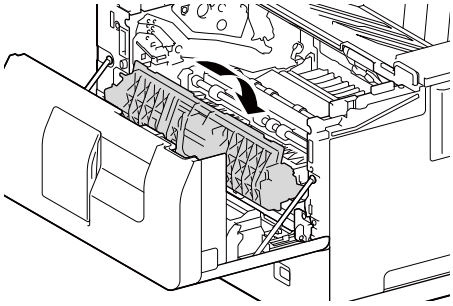
3. A1 部を手前に開きます。

A1 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。

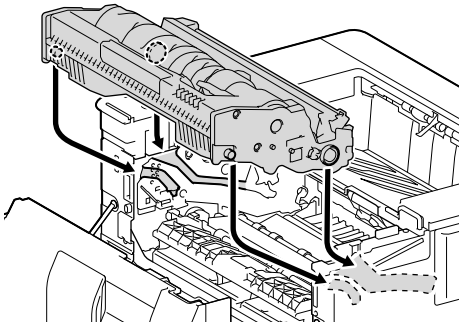
4. **詰まっている用紙を取り除きます。**



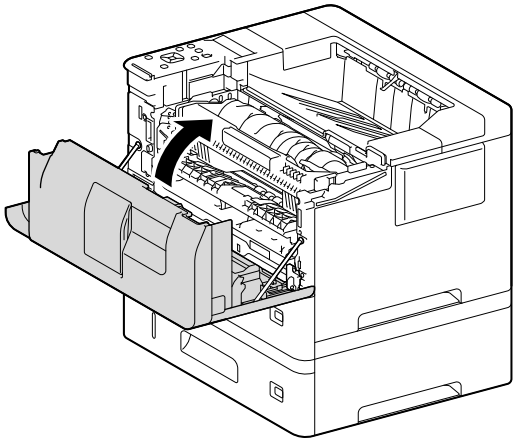
5. **A1 部を閉じます。**



6. **ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。**

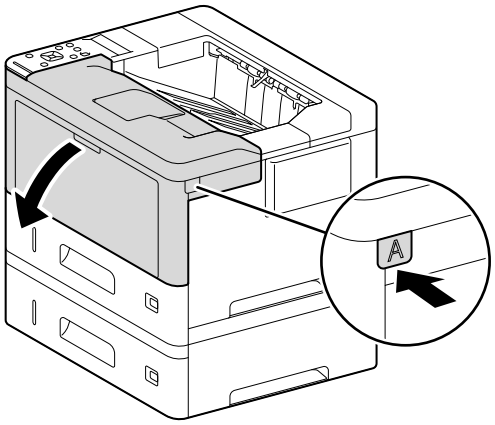


7. フロントカバーを閉じます。

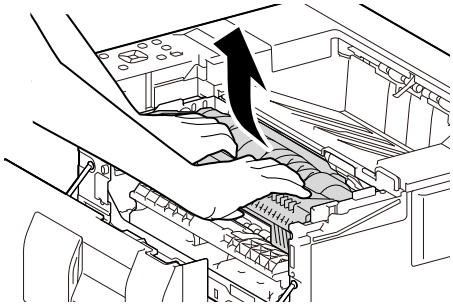


A2 部の下に用紙が詰まっている場合

1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



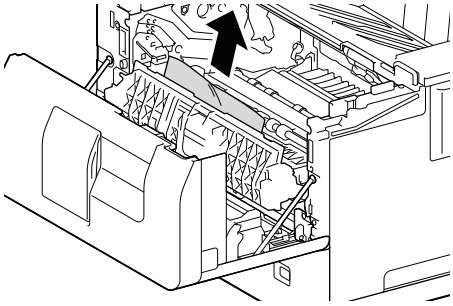
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。



3. A2 部を手前に開きます。

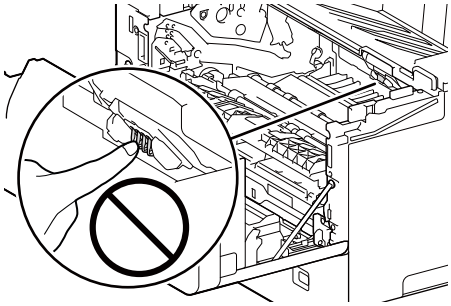
A2 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。

4. 詰まっている用紙を取り除きます。

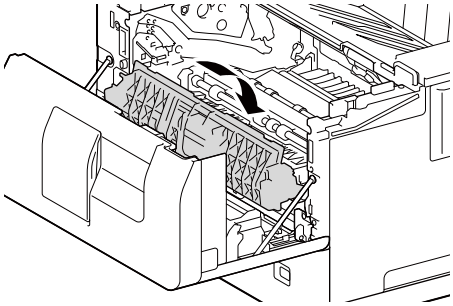


注記

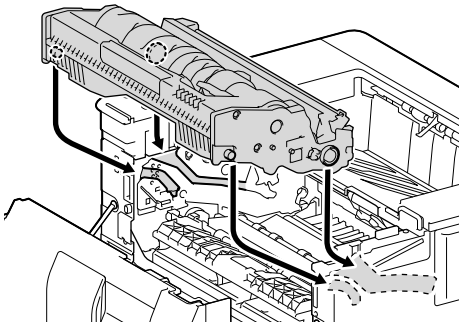
- 端子部には触らないでください。ドラムカートリッジを正しく認識できなくなる場合があります。



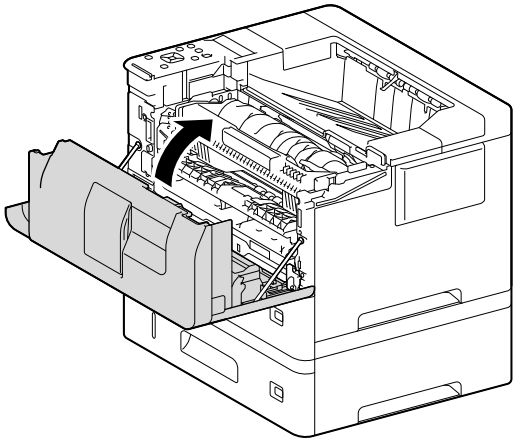
5. A2 部を閉じます。



6. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。

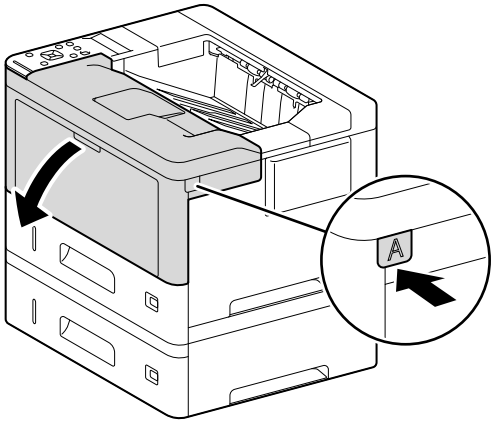


7. フロントカバーを閉じます。

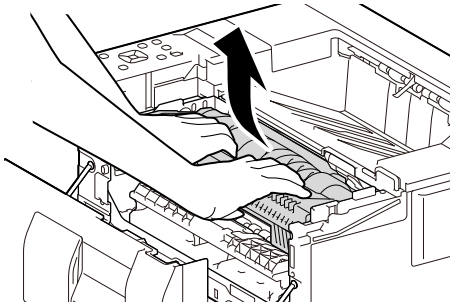


用紙送りローラーに用紙が詰まっている場合

1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。

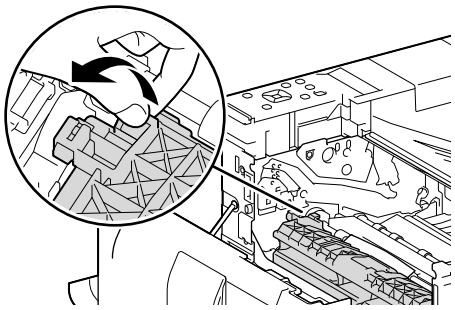


2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。

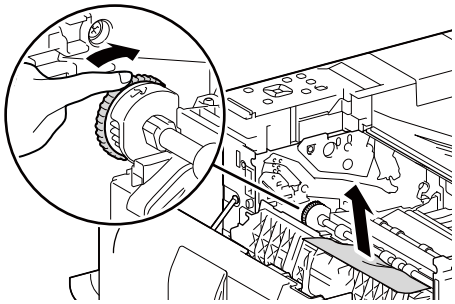


3. **A2 部を手前に開きます。**

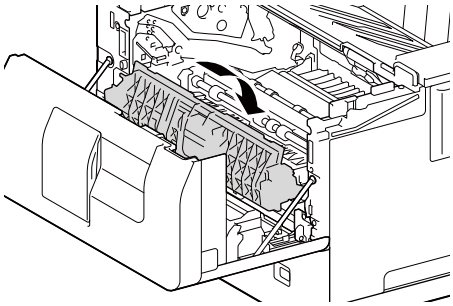
A2 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。



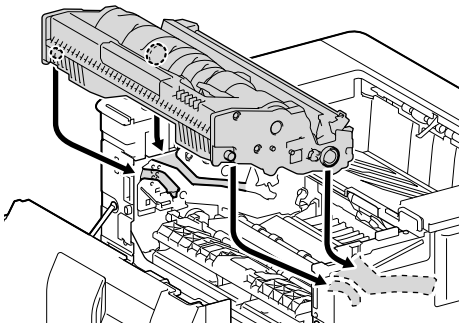
4. **図の位置にある青色のホイールを奥側に回し、詰まっている用紙を引き出して取り除きます。**



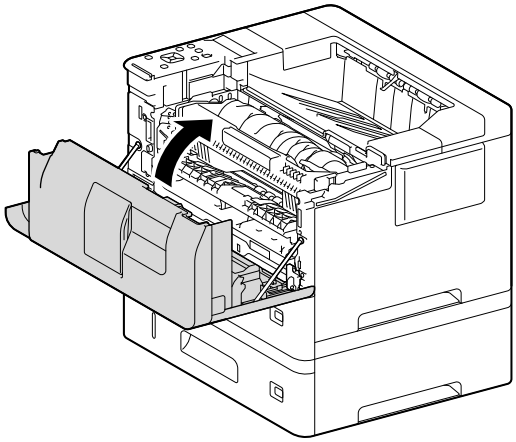
5. **A1 部を閉じます。**



6. **ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。**

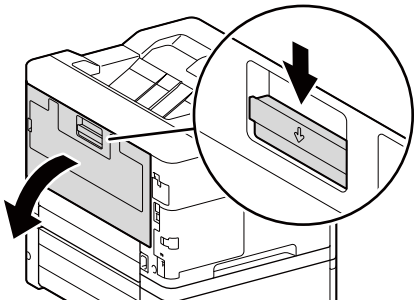


7. **フロントカバーを閉じます。**



リアカバー［B］での紙詰まり

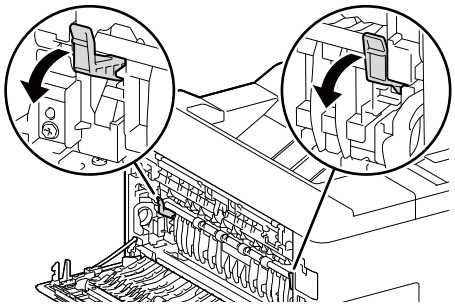
1. **B レバーを押して、リアカバーを開きます。**



注記

- フェイスアップトレイ（オプション）を装着している場合は、リアカバーを開ける前に取り外してください。詳しくは、「フェイスアップトレイの取り付け」(P.156) を参照してください。

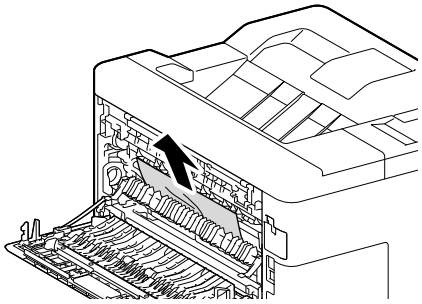
2. **定着ユニットの両端にある青色のレバーを下げます。**



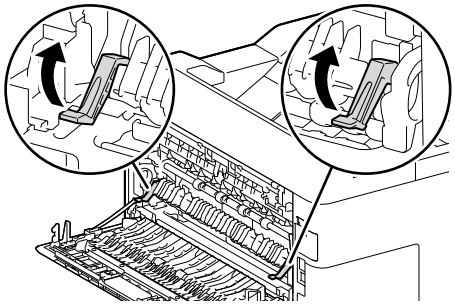
注記

- 定着ユニットは高温になっています。触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

3. **詰まっている用紙を取り除きます。**



4. **青色のレバーを戻します。**



5. **リアカバーを閉じます。**

トレイ 1 ～ 4 での紙詰まり

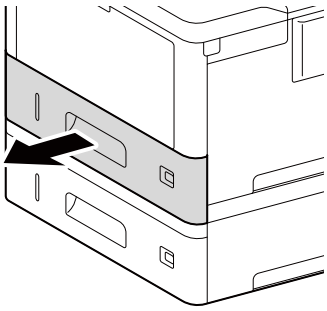
補足

- トレイ 2 ～ 4 はオプションです。

両面シュートに用紙が詰まっている場合

1. **トレイ 1 を引き出します。**

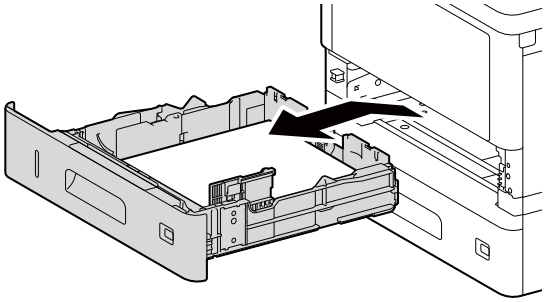
メッセージに複数のトレイが表示されている場合は、下のトレイから順に確認してください。



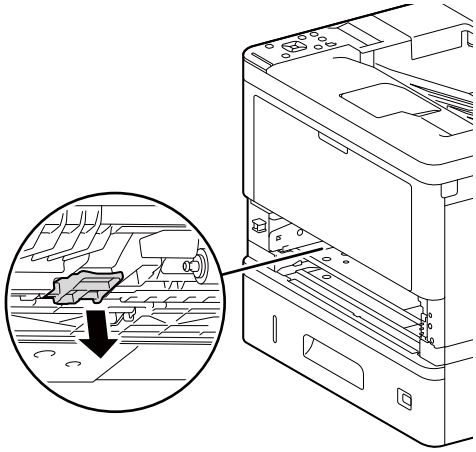
注記

- 2 つ以上のトレイを同時に引き出さないでください。本機が転倒する可能性があります。

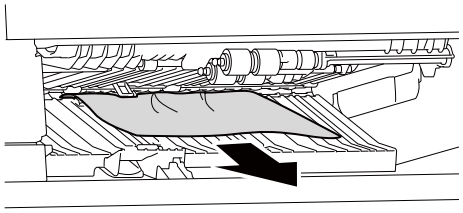
2. トレイ 1 の両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



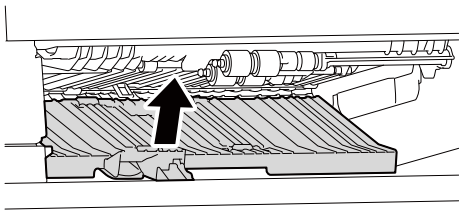
3. 図の位置にある青色のレバーを押して両面シュートを下ろします。



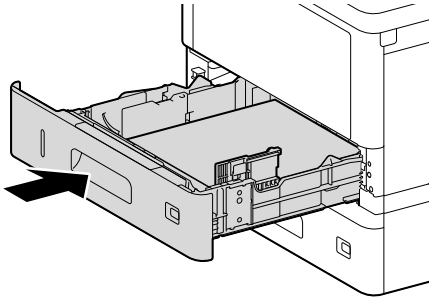
4. 詰まっている用紙を取り除きます。



5. 両面シュートを戻します。

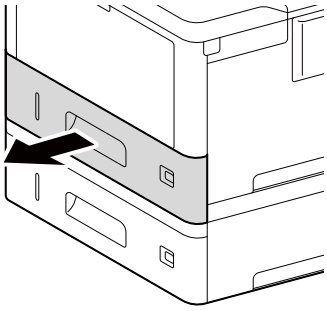


6. トレイ 1 を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。



用紙トレイ内に用紙が詰まっている場合

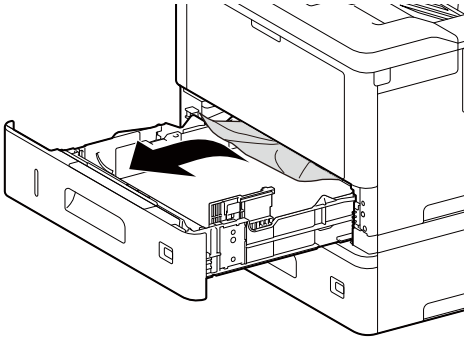
1. 用紙が詰まっている用紙トレイを引き出します。



注記

- 紙詰まりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、ディスプレイで紙詰まりの位置を確認してから処置をしてください。

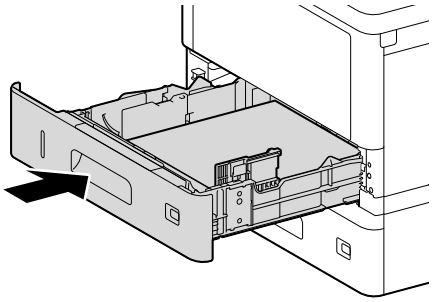
2. 詰まっている用紙を取り除きます。



補足

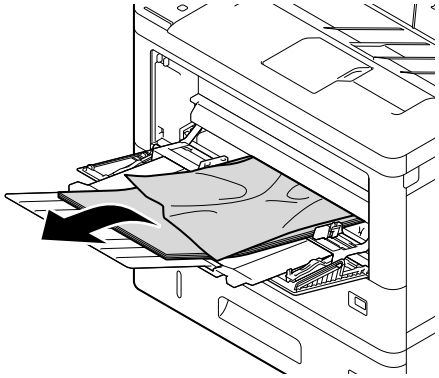
- 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

3. 用紙トレイを本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。



手差しトレイでの紙詰まり

1. **手差しトレイから、詰まっている用紙とセットしてある用紙を取り除きます。**



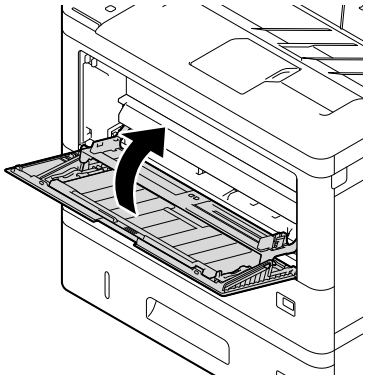
注記

- 用紙を複数枚セットしていたときは、いったんすべての用紙を取り出してください。

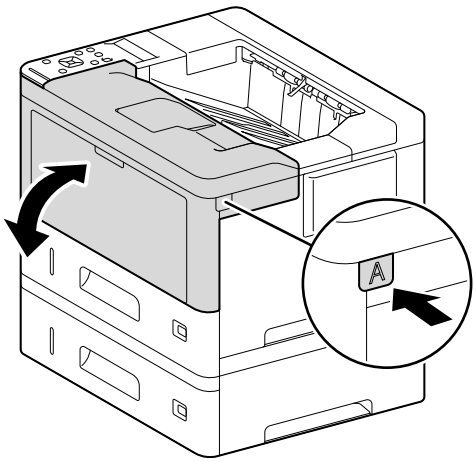
補足

- 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

2. **手差しトレイを閉じます。**



3. **A ボタンを押してフロントカバーを開け、閉じます。**

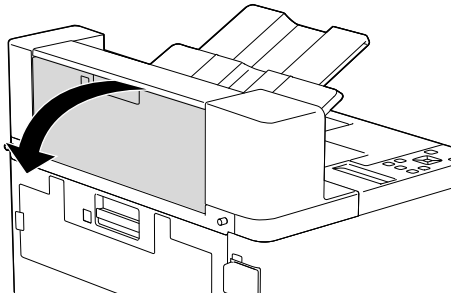


排出トレイモジュールカバー［D］での紙詰まり

補足

- 排出トレイモジュールはオプションです。

1. **排出トレイモジュールカバーを開きます。**



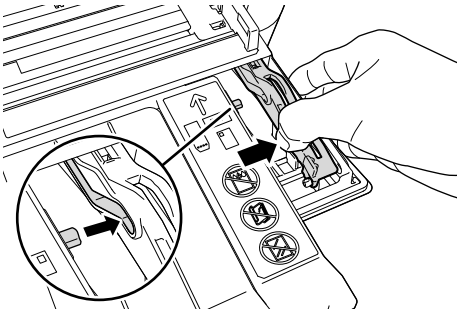
2. **詰まっている用紙を取り除きます。**
3. **排出トレイモジュールカバーを閉じます。**

10.2　トラブルを解決する

本機にトラブルが発生した場合の処置について説明します。

機器本体のトラブル

症状	原因 / 処置
電源が入らない	電源コードが抜けていたり、またはゆるんでいたりする可能性があります。 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントと本機に差し込み直してください。そのあとで、本機の電源を入れてください。 それでも改善されない場合は、機械の故障かもしれません。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	本機を、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに接続してください。
パネルに何も表示されない	節電状態になっている可能性があります。操作パネルの⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押して、節電状態を解除してください。 それでも改善されない場合は、機械の故障かもしれません。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
異常な音がする	本機を安定した平面の上に移動してください。
	トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機内部に異物が入っている可能性があります。 電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
本機内部に結露が発生する	スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま約 60 分間放置してください。機械内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで［暖機運転モード］を［有効］に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。 参照 • スリープモードに移行する時間については、「[スリープモード移行時間]」(P.80) を参照してください。 • 暖機運転モードについては、「[暖機運転モード]」(P.80) を参照してください。
節電状態に移行しない	次のようなときは、本機に発生している現象をお客様にお知らせするため、また、本機の性能を発揮するために低電力モードやスリープモードに移行しません。 • 操作パネルで何らかの操作をしているとき • トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品のうち、１つでも交換メッセージが表示されているとき • 定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき • 紙詰まり、カバーオープンなどお客様の操作を必要としているとき • 故障などによりエラーが発生しているとき • ［暖機運転モード］が［有効］に設定されていて、本機が結露防止処理中のとき
手差しトレイの延長トレイが外れた	手差しトレイの延長トレイは、斜めに力を加えると外れる場合があります。 外れた場合は、手差しトレイのレール部分を外側に押しながら、延長トレイの突起部分を溝に入れてください。 

プリントのトラブル

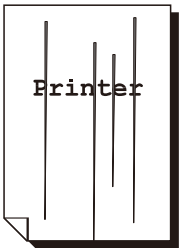
症状	原因 / 処置
ⓘ〈エラー〉ランプが点滅している	お客様自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。 参照 • 詳しくは、「エラーコード」(P.149) を参照してください。
ⓘ〈エラー〉ランプが点灯している	操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。 参照 • 詳しくは、「エラーコード」(P.149) を参照してください。

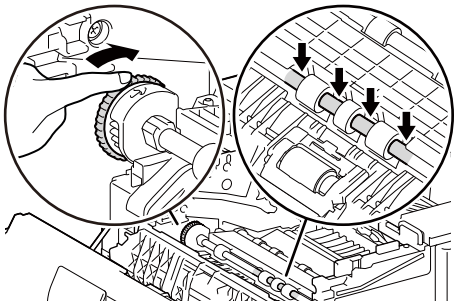
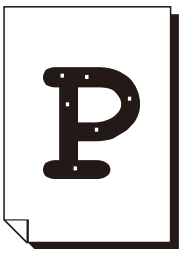
症状	原因 / 処置
プリントを指示したのに〈プリント可〉ランプが点滅、点灯しない	インターフェイスケーブルが抜けている可能性があります。 いったん電源を切り、インターフェイスケーブルの接続を確認してください。
	本機がオフライン状態になっている可能性があります。 〈オンライン〉ボタンを押してください。
	メニューを設定している状態になっている可能性があります。 〈仕様設定〉ボタンを押してプリント画面を表示してください。
	使用するポートが起動されているかを確認してください。また、インターネットサービスでプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。 **参照** • ポートについては、「[ネットワーク / ポート設定]」(P.70) を参照してください。 • プロトコルについては、インターネットサービスのヘルプを参照してください。
〈プリント可〉ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	データが本機内部に残っています。プリントの中止、または残っているデータの強制排出をします。 〈オンライン〉ボタンを押してオフライン状態にしてから、プリントを中止する場合は〈プリント中止〉ボタンを、データを強制排出する場合は、OKボタンを押してください。中止または強制排出が終わったら、もう一度〈オンライン〉ボタンを押して、本機をオンライン状態にします。 **補足** • USB ポートを使用している場合、〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによっては、ジョブデータの受信が途切れることがあります。ジョブデータの受信が途切れた場合、それ以降のプリントデータはOKボタンを押したあとに、新しいプリントジョブとして認識され、最後にオフラインを解除したあとにプリントされます。またそのとき、正常にプリントされないことがあります。
プリントできない	本機の IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。 **参照** • 詳しくは、「IP アドレスを設定する」(P.20) を参照してください。
	受信制限の設定を確認してください。 **参照** • 詳しくは、「[受付制限設定]」(P.78) を参照してください。
	1 度に送信されるプリントデータの容量が、本機の受信容量の上限を超えている可能性があります。 受信バッファ容量の設定をメモリースプールにしている場合に、この現象が発生することがあります。 プリントデータを本機の受信容量上限より小さいサイズに分割してください。 プリントデータが複数ある場合は、1 度にプリントするファイルの量を減らしてプリントしてください。

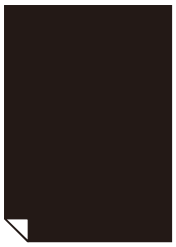
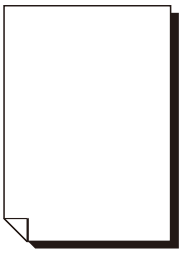
症状	原因 / 処置
プリントに時間がかかる	受信バッファ容量の不足が考えられます。解像度の高い文書をプリントするときは、操作パネルの［メモリー設定］で使用しない項目のメモリー容量を減らし、受信バッファ容量が大きくなるようにしてください。 受信バッファ容量を増やすと、プリント処理が速くなることがあります。 プリントデータの容量に応じて、受信バッファ容量を調整してください。 また、使用していないポートを停止して、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをおすすめします。 **参照** • 詳しくは、「［メモリー設定］」(P.89) を参照してください。
	プリンタードライバーの［印刷モード］の設定で、［グラフィックス］タブの［印刷モード］の設定を［標準］に変更すると、プリントにかかる時間を短縮できることがあります。 **参照** • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
	TrueType フォントのプリント方法によっては、プリントに時間がかかることがあります。プリンタードライバーの［詳細設定］タブにある［フォントの設定］で、TrueType フォントのプリント方法を変更してください。 **参照** • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
プリントを指示していないのに、［プリントしています］が表示される (USB インターフェイス使用時)	本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れた場合は、〈プリント中止〉ボタンを押して、プリントを中止してください。 **補足** • 本機の電源を入れるときは、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。
印字された文書の上部が欠ける 思った位置にプリントされない	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 **参照** • 詳しくは、「用紙をセットする」(P.31) を参照してください。
	プリンタードライバーで余白の設定が正しいかどうかを確認してください。 **参照** • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

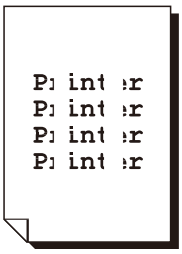
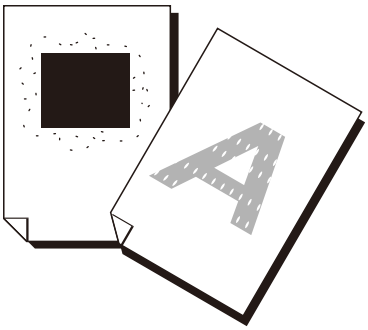
画質のトラブル

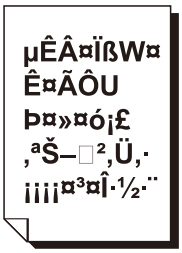
症状	原因 / 処置
プリントがうすい (かすれる、不鮮明) 	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 **参照** • 詳しくは、「弊社が推奨する用紙」(P.29) を参照してください。
	ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。
	正しい用紙がセットされていることを確認してください。 **参照** • 詳しくは、「用紙について」(P.29) を参照してください。
	定着温度が適切でない可能性があります。操作パネルで定着温度を調整してください。 **参照** • 詳しくは、「[定着温度調整]」(P.90) を参照してください。
	トナーセーブ機能が有効になっています。プリンタードライバーの［グラフィックス］タブの［トナー節約］で、［しない］を選んでください。 **参照** • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
	LED プリントヘッドが汚れています。LED プリントヘッドを清掃してください。 **参照** • 詳しくは、「LED プリントヘッドの清掃」(P.115) を参照してください。
	［エンジンクリーニング］を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** • 詳しくは、「[エンジンクリーニング]」(P.92) を参照してください。

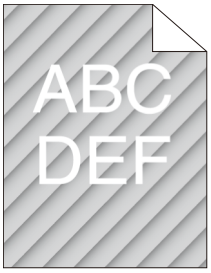
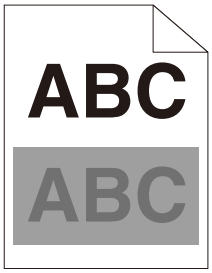
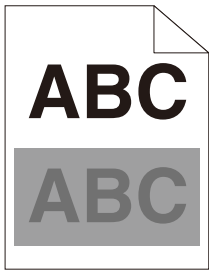
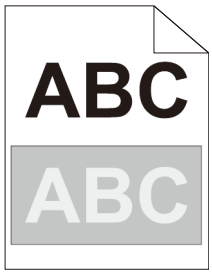
症状	原因 / 処置
	［トナーリフレッシュ］を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** • 詳しくは、「［トナーリフレッシュ］」(P.92) を参照してください。 **補足** • この機能を使うとトナーを消費するので、トナーカートリッジおよびドラムカートリッジの交換時期が早くなることがあります。 • 出力結果が十分に改善されていない場合は、繰り返し実施することをおすすめします。
黒点や黒線または色線がプリントされる 等間隔に汚れが発生する  	用紙搬送路に汚れが付着している場合があります。数枚プリントしてください。
	ドラムカートリッジを一度取り外し、再度取り付けてください。 その後、［エンジンクリーニング］を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **補足** • 出力結果が十分に改善されていない場合は、繰り返し実施することをおすすめします。 **参照** • 詳しくは、「［エンジンクリーニング］」(P.92) を参照してください。
	ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

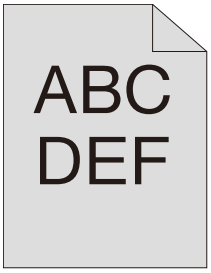
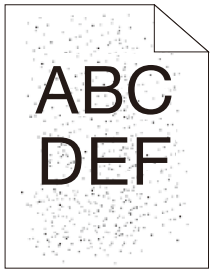
症状	原因 / 処置
用紙の後端あたりが汚れる 	機械内部が汚れています。機械内部を清掃してください。 **1.** 清掃するときは、「用紙送りローラーに用紙が詰まっている場合」(P.128) の手順 1 ～ 2 を実行します。 **2.** 青色のホイールを奥側に回しながら、図で示した部分をやわらかい布で拭いてください。  **3.** 清掃が終わったら、「用紙送りローラーに用紙が詰まっている場合」(P.128) の手順 6 ～ 7 を実行します。
黒くぬりつぶされた部分に白点が現れる 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 **参照** • 詳しくは、「用紙をセットする」(P.31) を参照してください。
	[転写電圧オフセット調整] で転写電圧を変更して、出力結果を確認してみてください。 **参照** • 詳しくは、「[転写電圧オフセット調整]」(P.90) を参照してください。
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。新しいドラムカートリッジと交換してください。
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる 	選択されているトレイの用紙種類が適切ではありません。別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 **参照** • 詳しくは、「弊社が推奨する用紙」(P.29) を参照してください。
	定着ユニットが劣化または損傷しています。 定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	定着温度が適切でない可能性があります。操作パネルで定着温度を調整してください。 **参照** • 詳しくは、「[定着温度調整]」(P.90) を参照してください。

症状	原因 / 処置
用紙全体がぬりつぶされてプリントされる 	ドラムカートリッジが劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
何もプリントされない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています。用紙をよくさばいてからセットし直してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。
	高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
白抜けや白筋が出る 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 • 詳しくは、「弊社が推奨する用紙」(P.29) を参照してください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。
	ドラムカートリッジが正しくセットされていません。 正しくセットし直してください。
	本機内部に結露が発生している可能性があります。 操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。約 1 時間放置し、機械内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。 また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで［暖機運転モード］を［有効］に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。 参照 • 詳しくは、「[暖機運転モード]」(P.80) 、「[スリープモード移行時間]」(P.80) を参照してください。
	ドラムカートリッジまたは定着ユニットが、劣化または損傷しています。 ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	現像器が劣化または損傷しています。現像器の状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	LED プリントヘッドが汚れている場合があります。LED プリントヘッドを清掃してください。 参照 • 詳しくは、「LED プリントヘッドの清掃」(P.115) を参照してください。
画像の一部が抜けて白点になる 画像の一部が白く抜ける 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みがかっている 	別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。
	転写電圧を調整してください。白点になる / 白く抜ける場合は、転写電圧の値を下げます。 トナーが飛び散る場合は、転写電圧の値を上げます。 参照 • 詳しくは、「[転写電圧オフセット調整]」(P.90) を参照してください。
	定着温度が適切でない可能性があります。操作パネルで定着温度を調整してください。 参照 • 詳しくは、「[定着温度調整]」(P.90) を参照してください。

症状	原因 / 処置
文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 • 詳しくは、「弊社が推奨する用紙」(P.29) を参照してください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	本機内部に結露が発生している可能性があります。 操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。約 1 時間放置し、機械内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。 また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで［暖機運転モード］を［有効］に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。 参照 • 詳しくは、「[暖機運転モード]」(P.80) 、「[スリープモード移行時間]」(P.80) を参照してください。
文字化けする 画面表示とプリント結果が一致しない  	TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっていませんか？ プリンタードライバーの、［詳細設定］タブにある［フォントの設定］で、TrueType フォントのプリント方法を［常に TrueType フォントを使う］に設定してください。 参照 • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
斜めにプリントされる 	用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 • 詳しくは、「用紙をセットする」(P.31) を参照してください。
はがきや封筒にきれいにプリントされない	本機で使用できない種類のはがきや封筒がセットされています。適切な用紙をセットしてください。
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されているか確認してください。 参照 • 詳しくは、「[トレイの用紙種類]」(P.87) を参照してください。

症状	原因 / 処置
斜線が入る  	トナーカートリッジの残量が少ないか、交換の必要がある可能性があります。トナーカートリッジの残量を確認してください。
	［エンジンクリーニング］を実行してください。 参照 • 詳しくは、「［エンジンクリーニング］」(P.92) を参照してください。
文字や画像の残像が写る  	**1.** 残像の種類を特定します。 濃い残像が写る場合  薄い残像が写る場合  残像の種類が特定できない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。 **2.** 残像の種類に合わせて、転写電圧を調整します。 a. 〈仕様設定〉ボタンを押します。 b. ▲または▼ボタンを押して、［機械管理者メニュー］を選び、OKボタンを押します。 c. ▲または▼ボタンを押して、［画質補正］を選び、OKボタンを押します。 d. ▲または▼ボタンを押して、［転写電圧オフセット調整］を選び、OKボタンを押します。 e. 使用している用紙を選択し、濃い残像が写る場合は値を上げ、薄い残像が写る場合は、値を下げます。
	正しい用紙が使用されていることを確認します。 参照 • 詳しくは、「用紙について」(P.29) を参照してください。
	ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。

症状	原因 / 処置
ぼやけている  	全体が薄く印字される場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
	［エンジンクリーニング］を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** • 詳しくは、「［エンジンクリーニング］」(P.92) を参照してください。
	［トナーリフレッシュ］を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** • 詳しくは、「［トナーリフレッシュ］」(P.92) を参照してください。 **補足** • この機能を使うとトナーを消費するので、トナーカートリッジおよびドラムカートリッジの交換時期が早くなることがあります。
	弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用してる場合は、［カスタムモード］を［オン］にします。 **参照** • 詳しくは、「［カスタムモード］」(P.95) を参照してください。
	弊社が推奨するトナーカートリッジを使用してる場合は、ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。
	弊社が推奨するトナーカートリッジに交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。
ビーズ状の小さな点がある  	本機が高度（標高）の高い場所に設置されている場合は、設置場所の高度を設定し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。 **参照** • 詳しくは、「［高地使用設定］」(P.91) を参照してください。
	ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。
Windows 用の PostScript プリンタードライバーを使用してプリントしたときに、文字または図形と背景の境界が目立つことがある	プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの［グラフィックス］タブにある［ハーフトーン］の設定を、［自動］および［原稿要素ごとに設定する］以外を選んでプリントしてみてください。

トレイや用紙送りのトラブル

症状	原因 / 処置
用紙が送られない 紙詰まりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわがつく	用紙を正しくセットしてください。また、ラベル紙、はがきなどの厚い紙、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、よく紙をさばいてください。
	用紙が湿気を含んでいる可能性があります。 新しい用紙と交換してください。
	使用できる用紙をセットしてください。用紙の種類や用紙の状態によっては、用紙にしわがつくことがあります。 参照 • 詳しくは、「弊社が推奨する用紙」(P.29) を参照してください。
	用紙の表裏反転または前後方向の変更を行い、もう一度セットしてください。
	トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機を安定した平面の上に移動してください。
	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 • 詳しくは、「用紙をセットする」(P.31) を参照してください。
	トレイにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足さないで、セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
トレイ 1 ～ 4 からトレイが正しく選択されない	用紙ガイドの位置がずれていると、本機はセットされている用紙のサイズを正しく検知できないことがあります。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、トレイの設定、用紙サイズ、および用紙種類が適切に設定されているかを確認してください。 参照 • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
用紙の角が折れる	用紙が反って（カールして）いると、角が折れることがあります。次の対処をしても改善しない場合は、新しい用紙と交換してください。 • 反りが直るように、用紙を平らにならしてください。 • 用紙を裏返してください。 • トレイ 1 ～ 4 を使用している場合は、手差しトレイを使用してください。
手差しトレイから用紙が送られない	プリンタードライバーの［トレイ / 排出］タブで［用紙トレイ選択］を［自動］にしていませんか。［トレイ 5(手差し)］を選択するか、［自動］の場合は手差しトレイを自動選択トレイの対象に設定してください。 参照 • 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • 詳しくは、「[プリント設定]」(P.86) を参照してください。

ネットワーク関連のトラブル

無線 LAN 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
無線 LAN 接続が設定できない	［Wi-Fi 設定］が有効になっていることを確認してください。 参照 • 詳しくは、「［Wi-Fi 設定］」(P.70) を参照してください。
	コンピューターのファイアウォール設定により、本機との通信が遮断されている可能性があります。ファイアウォールを無効にしてください。
	無線 LAN アクセスポイントが IEEE 802.11b/g/n に準拠し、2.4 GHz 帯で使用可能か確認してください。
WPS で無線 LAN 接続が設定できない	無線 LAN アクセスポイントのセキュリティー設定が WPA または WPA2 であることを確認してください。WEP は、WPS では対応していません。
WPS-PBC（プッシュボタン方式）で無線 LAN 接続が設定できない	本機の WPS 操作を開始してから 2 分以内に無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンを押してください。 参照 • 無線 LAN アクセスポイントの操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください
WPS-PIN（PIN コード方式）で無線 LAN 接続が設定できない	無線 LAN アクセスポイントに入力した PIN コードが正しいことを確認してください。 参照 • PIN コードの入力方法については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi Direct 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
モバイル機器から本機を検出できない	本機が Wi-Fi Direct を使用して別のモバイル機器と接続されている可能性があります。本機と別のモバイル機器の接続を切断してください。
モバイル機器と本機を接続できない	Android 機器の Wi-Fi Direct 機能を使って本機と接続する場合は、本機の［グループロール］を［グループオーナー］にしてください。 参照 • 詳しくは、「［Wi-Fi Direct］」(P.71) を参照してください。
本機からモバイル機器を切断できない	モバイル機器が本機に自動的に再接続している可能性があります。 Wi-Fi Direct のパスフレーズを初期化し、モバイル機器を切断してください。
Wi-Fi Direct のポートを起動できない	ネットワークモードがインフラストラクチャーモードになっていることを確認してください。
	［IP 動作モード］が［IPv6］以外のモードに設定されていることを確認してください。

IPv6 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
IPv6 ネットワークを介してプリントした場合、ペーパーセキュリティーが正しく動作しない	IPv4 環境で運用してください。 IPv6 環境ではペーパーセキュリティーは正しく動作しません。

10.3　エラーコード

エラーが発生して操作が正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、操作パネルのディスプレイにメッセージとエラーコード（***-***）が表示されます。

エラーコードが表示されたときはエラーコードを公式サイトで確認してください。

1. **弊社公式サイトにアクセスします。**

https://www.fujifilm.com/fb/

2. **ページ上部の検索ボックスにエラーコードを入力して検索します。**

3. **ページ内の指示に従って設定し、［エラーコード検索］をクリックします。**

11 オプション製品の取り付け

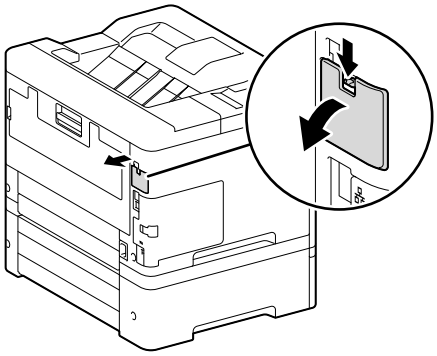
オプション製品の最新情報については、弊社公式サイトをご覧ください。
https://www.fujifilm.com/fb/

11.1 無線キットの取り付け

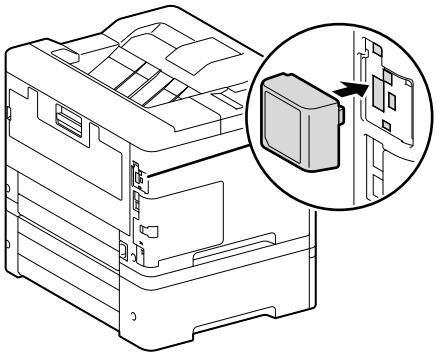
1. **本機の電源を切ります。**

参照
- 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.15) を参照してください。

2. **無線キットソケットのカバーを取り外します。**

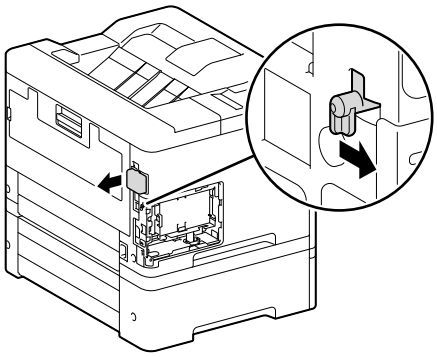


3. **無線キットのコネクターを無線キットソケットに差し込みます。**



補足

- 無線キットを取り外す場合は、左カバーを取り外し、ロックレバーを引いて、無線キットを取り外してください。



4. **〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。**

補足

- ［機能設定リスト］をプリントすると、無線キットが正しく取り付けられたかどうかを確認できます。

5. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。**

6. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

7. **▶またはOKボタンを押します。**

［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。

8. **▶またはOKボタンを押します。**

［TCP/IP 設定］が表示されます。

9. **［Wi-Fi 有効 / 無効］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

10. **▶またはOKボタンを押します。**

［Wi-Fi 有効 / 無効］が表示されます。

11. **［有効］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

12. **OKボタンを押します。**

13. **〈仕様設定〉ボタンを押します。**

本機が自動的に再起動します。

11.2 トレイモジュールの取り付け

ここでは、トレイモジュールを 3 段（トレイ 2 ～ 4）取り付ける場合を例に説明します。

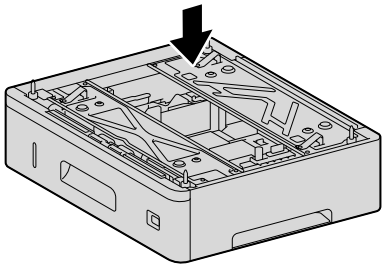
補足

- トレイモジュールは 3 段まで本機に取り付けられます。
- トレイモジュール（600）の下段に、トレイモジュール（300）は設置できません。

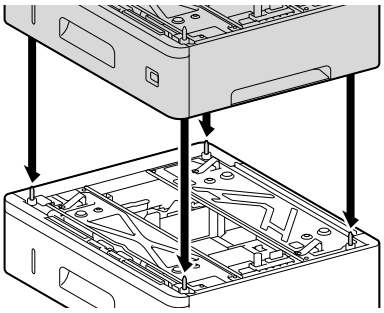
1. **〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。**

2. **一番下になるトレイモジュールを設置場所に置きます。**

トレイモジュールを 1 段だけ取り付ける場合は、手順 11 に進みます。



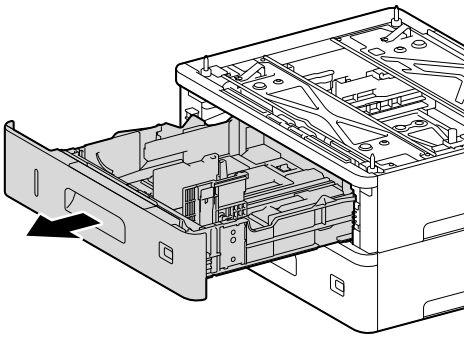
3. **上下のトレイモジュールの角を合わせ、下のトレイモジュールのガイドピン 4 か所が上のトレイモジュールの底面にある穴に入るように静かに下ろします。**



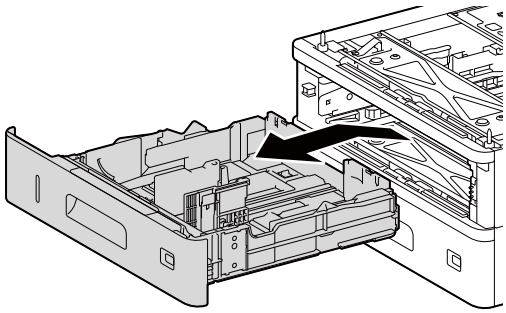
注記

- トレイモジュールを下ろすときに、指を挟まないように注意してください。

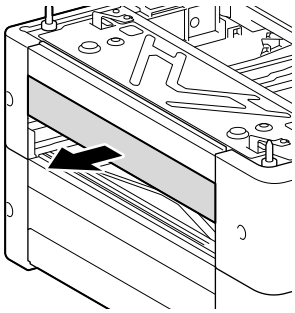
4. **上のトレイモジュールから用紙トレイを引き出します。**



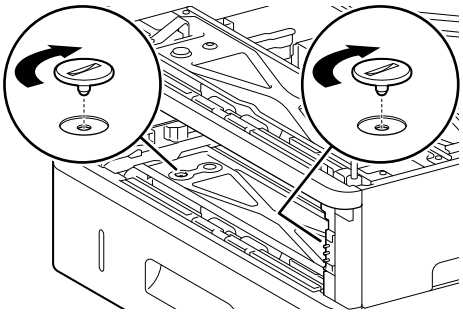
5. **用紙トレイを両手で持ち、少し正面を持ち上げて、トレイモジュールから取り外します。**



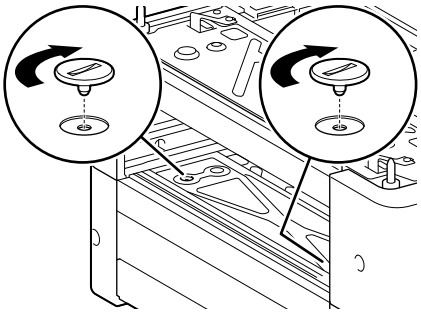
6. **上のトレイモジュールからダストカバーを取り外します。**



7. **トレイモジュールに付属のネジ 4 本を、上のトレイモジュールの内側にある 4 つの穴に差し込み、コインなどでしっかり締め、上のトレイモジュールを下のトレイモジュールに固定します。**



正面側

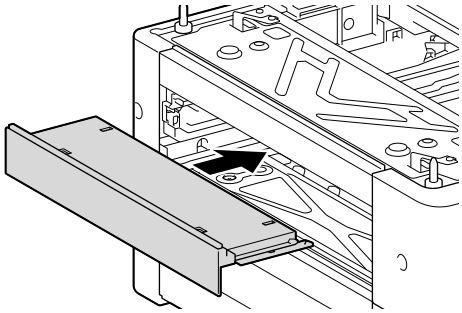


背面側

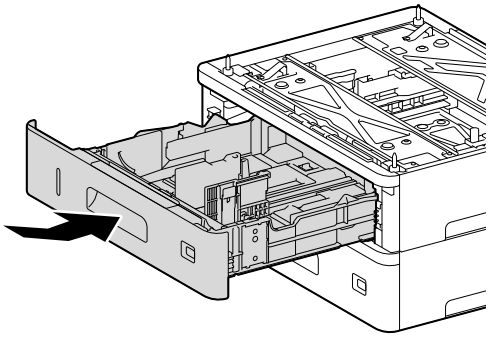
補足

- ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。

8. **ダストカバーをトレイモジュールに取り付けます。**



9. **用紙トレイをトレイモジュールに差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**

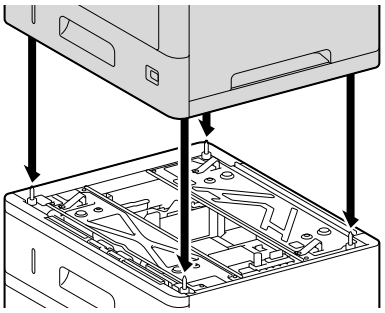


注記

- 用紙トレイを押し込むとき、トレイとトレイの間に指を挟まないように注意してください。

10. さらにトレイモジュールを取り付ける場合は、手順 3 ～ 9 を繰り返します。

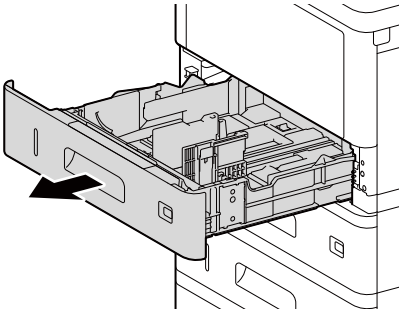
11. 本機を持ち上げ、トレイモジュールのガイドピン 4 か所が本機底面の穴に入るように、ゆっくりと下ろします。



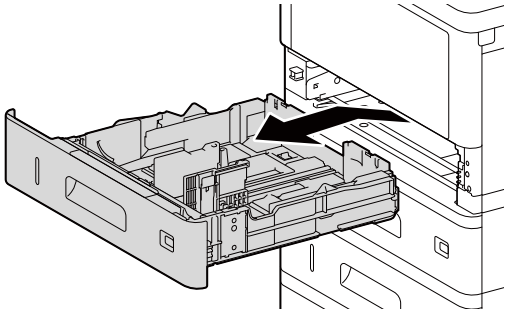
注記

- 本機は、必ず 2 人以上で持ち上げてください。
- 本機を下ろすときに、指を挟まないように注意してください。

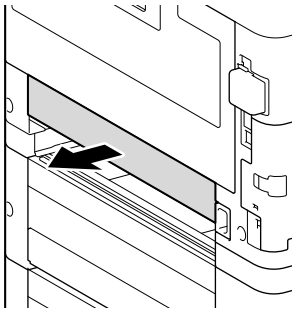
12. トレイ 1 を引き出します。



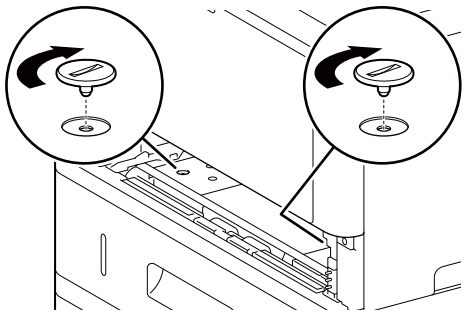
13. トレイ 1 を両手で持ち、少し正面を持ち上げて、本機から取り外します。



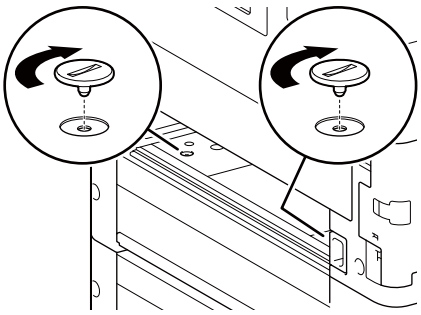
14. トレイ 1 のダストカバーを取り外します。



15. **トレイモジュールに付属のネジ 4 本を、トレイ 1 の内側にある 4 つの穴に差し込み、コインなどでしっかり締め、本機をトレイモジュールに固定します。**



正面側

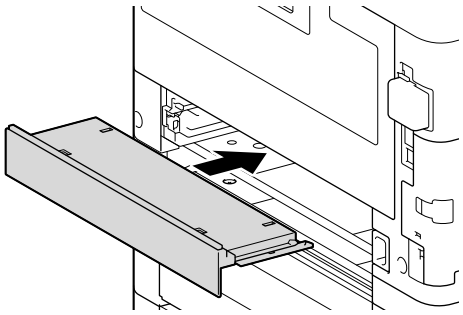


背面側

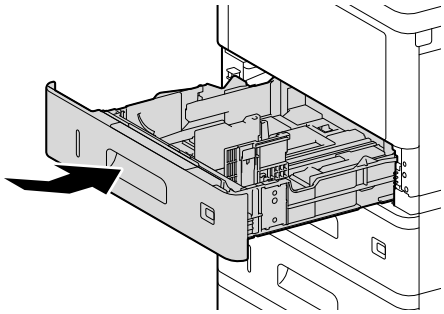
補足

- ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。

16. **ダストカバーをトレイ 1 に取り付けます。**



17. **トレイ 1 を本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**



注記

- 用紙トレイを押し込むとき、トレイとトレイの間に指を挟まないように注意してください。

18. **電源コードを接続します。**

19. **⏻I〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。**

補足

- ［機能設定リスト］をプリントすると、トレイモジュールが正しく取り付けられたかどうかを確認できます。

プリンタードライバーでオプションの設定をする

ネットワーク接続されているプリンターのオプションや用紙トレイの情報を、プリンタードライバーの設定に反映します。

1. ［スタート］＞［設定］＞［デバイス］＞［プリンターとスキャナー］をクリックします。
2. 本機を選んで［管理］＞［プリンターのプロパティ］をクリックします。
3. ［プリンター構成］タブをクリックし、［プリンターとの通信設定］＞［プリンター本体から情報を取得］＞［OK］をクリックします。
4. ［適用］＞［OK］をクリックします。

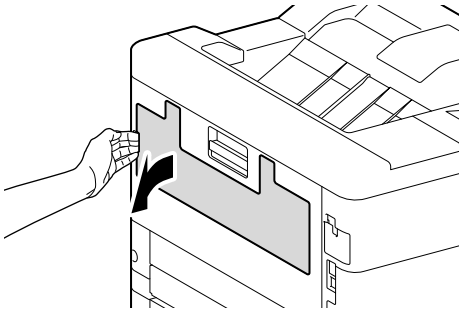
補足
- ［プリンター本体から情報を取得］をクリックしてもプリンターの情報が更新されない場合は、［プリンター構成］タブ＞［オプションの設定］で設定してください。

11.3 フェイスアップトレイの取り付け

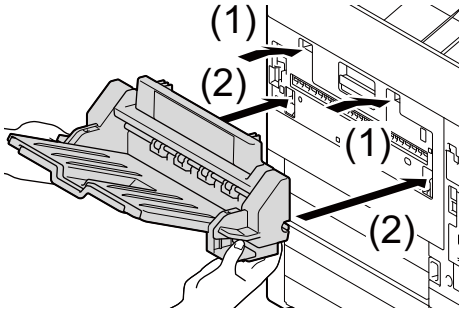
1. 本機の電源を切ります。

参照
- 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.15) を参照してください。

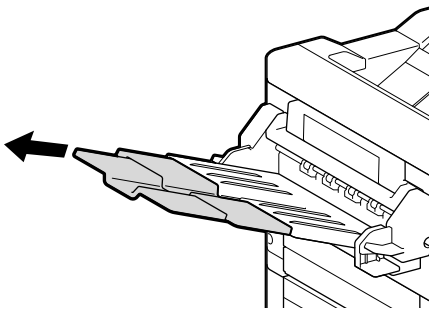
2. 本機背面の背面排出カバーを取り外します。



3. フェイスアップトレイの両端のグリップを持ち、本機の背面の穴に上側のツメから差し込み（1）、下側のツメもカチッと音が鳴るまで差し込みます（2）。



補足
- 必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイは 2 段階に引き出せます。



4. ⏻I〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。

補足

- ［機能設定リスト］をプリントすると、フェイスアップトレイが正しく取り付けられたかどうかを確認できます。
- フェイスアップトレイの取り付けが完了したら、プリンタードライバーのプロパティでプリンター構成を変更してください。変更方法については、「プリンタードライバーでオプションの設定をする」(P.155) を参照してください。

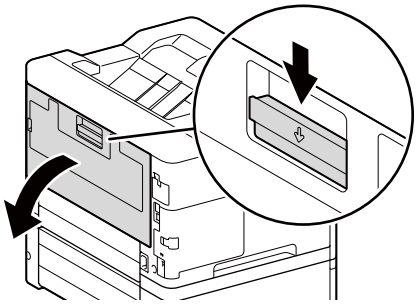
11.4 排出トレイモジュールの取り付け

1. 本機の電源を切ります。

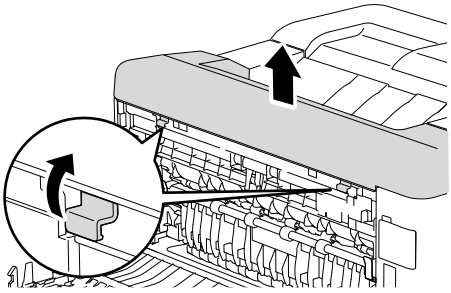
参照

- 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.15) を参照してください。

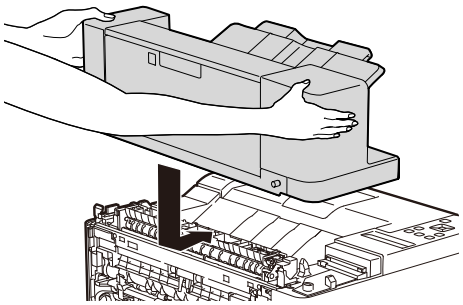
2. B レバーを押して、リアカバーを開きます。



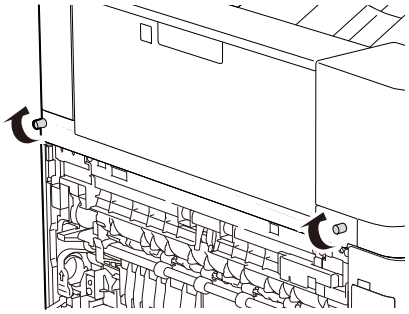
3. 上カバー下側の取っ手 2 か所を持って、上カバーを取り外します。



4. 排出トレイモジュールの側面を持ちながらゆっくりと下ろし、フロント側 2 か所のフックを本体側の穴に差し込みます。



5. **付属のネジ 2 本を締め、排出トレイモジュールを固定します。**



6. **リアカバーを閉じます。**

11.5 専用キャスター台の取り付け

注記

- 本機の設置後に専用キャスター台を取り付ける場合は、必ず取り付ける前に本機の電源を切り、電源コードを抜き、本機背面からすべてのケーブルを抜いてください。

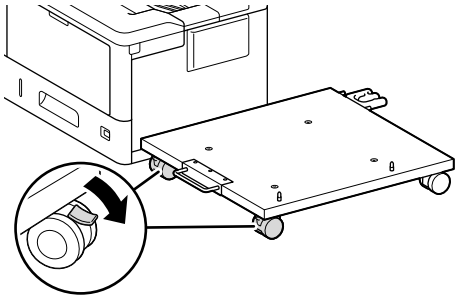
取り付け手順

トレイモジュール（オプション）に専用キャスター台を取り付ける場合を例に説明します。

本機の直下に取り付ける場合も、手順は同じです。以下の手順の「トレイモジュール」を「本機」に読み替えてください。

1. **⏻I〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。**

2. **専用キャスター台を平らな場所に置き、前面のキャスターについている、移動防止用ストッパーをロックします。**



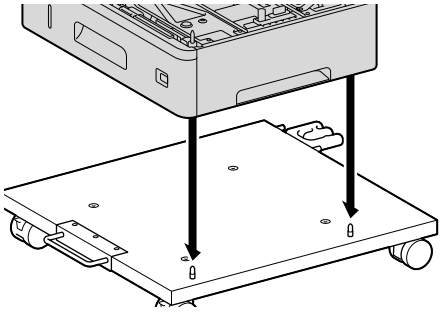
注記

- ストッパーをロックしないと思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

補足

- 専用キャスター台は、取っ手が付いているほうを前面にしてください。

3. **トレイモジュールと専用キャスター台の角を合わせ、専用キャスター台の 2 つのガイドピンが、トレイモジュールの底面にある穴に入るように静かに下ろします。**

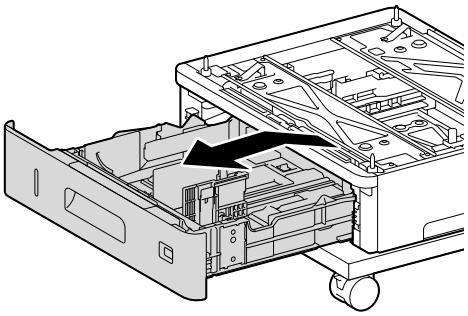


注記

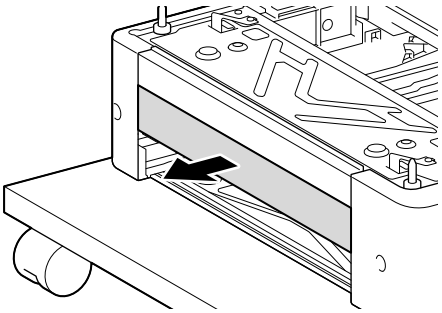
- トレイモジュールを専用キャスター台の上に下ろすときに、指を挟まないように注意してください。

4. **トレイモジュールのトレイを引き出します。**

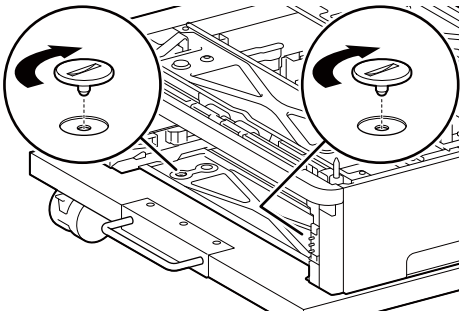
5. **用紙トレイを両手で持ち、少し正面を持ち上げて、トレイモジュールから取り外します。**



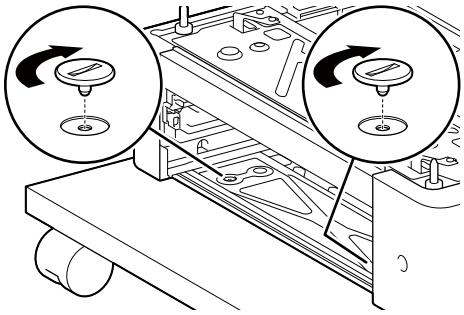
6. **トレイモジュールの背面から、ダストカバーを取り外します。**



7. **専用キャスター台に付属のネジ 4 本を、トレイモジュールの内側にある 4 つの穴に差し込み、コインなどでしっかり締め、トレイモジュールを専用キャスター台に固定します。**



正面側

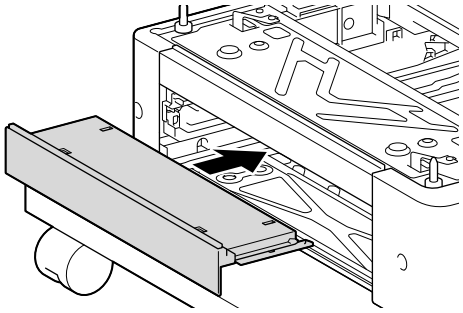


背面側

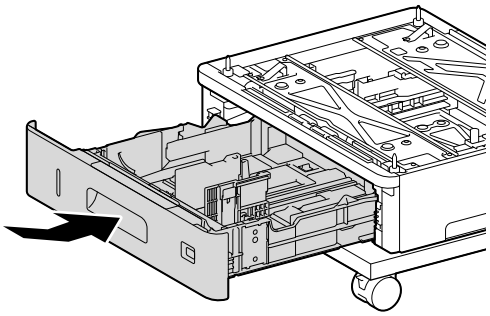
補足

- ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。

8. **トレイモジュールの背面に、ダストカバーを戻します。**



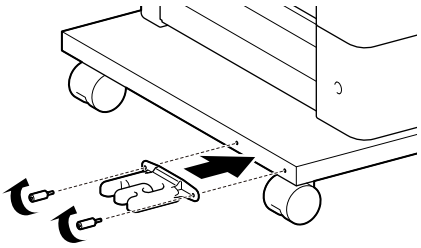
9. **用紙トレイをトレイモジュールに差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**



注記

- 用紙トレイを押し込むとき、トレイとトレイの間に指を挟まないように注意してください。

10. **ケーブルフックを、付属のネジで専用キャスター台の背面に取り付けます。**



11. **トレイモジュール（2 段以上取り付ける場合）、または本機を取り付けます。**

注記

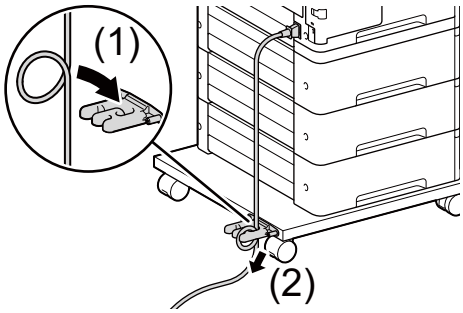
- 本機は、必ず 2 人以上で持ち上げてください。

参照

- 取り付け手順については、「トレイモジュールの取り付け」(P.151) を参照してください。

12. **電源コードを、本機背面の電源コード接続部に差し込みます。**

13. **電源コードで輪を作り、ケーブルフックの溝に通し（1）、電源コードがたるまないように軽く引きます（2）。**



14. **電源コードのもう片方を、コンセントに差し込みます。**

15. **⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。**

11.6　ストレージの取り付け

ストレージを取り付けると、次の機能が利用できます。

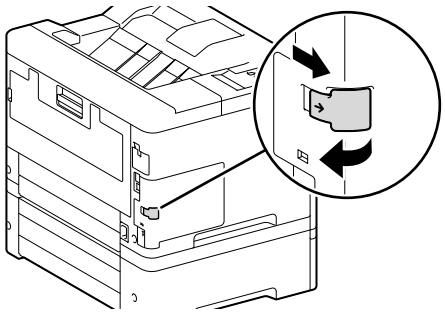
増設すると有効になる機能	増設すると機能が向上する機能
• フォントダウンロード • セキュリティ拡張キット（ペーパーセキュリティー機能、イメージログ管理機能） • IPSec の証明書機能 • 外部認証の認証情報キャッシュ機能 • ThinPrint 機能 • Microsoft 社のユニバーサルプリント	• フォームなどの登録数 • スプール容量 • ログ採取数 • 電子ソート

注記

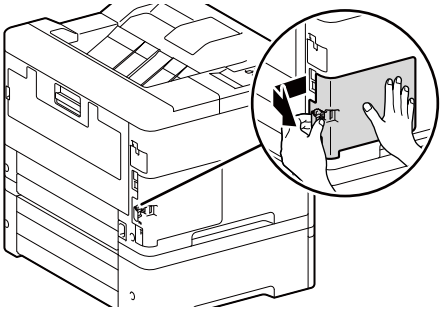
- 一度取り付けたストレージは、情報漏洩を防ぐため、そのプリンター専用のストレージになります。取り外して、ほかのプリンターに取り付けることはできません。

1. **⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。**

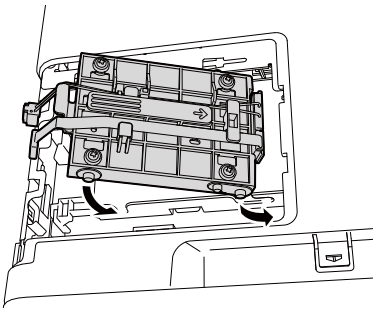
2. **ラッチを右にスライドさせ、手前に開きます。**



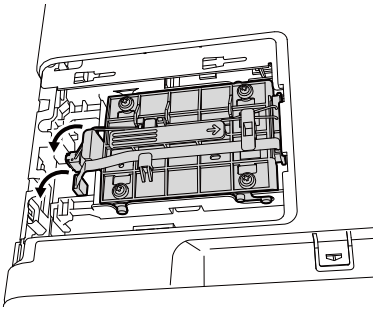
3. 左カバーを片方の手で押さえながら、もう一方の手でラッチを手前に引き、左カバーを取り外します。



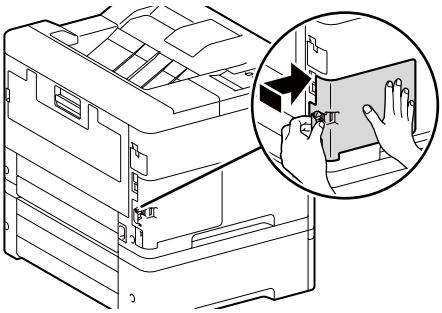
4. ストレージの突起部をフレームのくぼみに正しくはめ（1）、コネクターケーブルを外側にして、コントローラーボード上のフレームに差し込みます（2）。



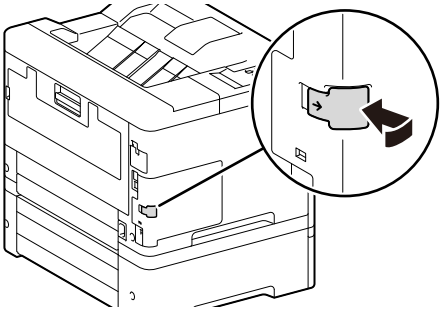
5. ストレージのコネクターケーブルを、コントローラーボード上のコネクターに接続します。



6. 左カバーを取り付け、左カバーを本機の前方向にスライドさせます。

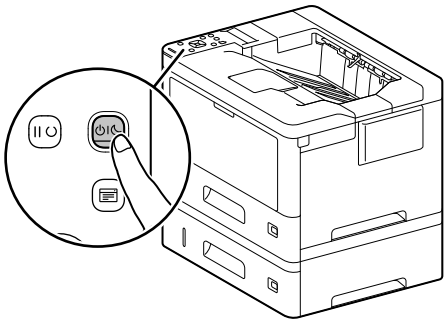


7. **ラッチを本機の前方向に倒してから左にスライドさせ、カバーをロックします。**



8. **電源コードを接続します。**

9. **⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。**



補足

- ［機能設定リスト］をプリントすると、ストレージが正しく取り付けられたかどうかを確認できます。
- ストレージの取り付けが完了したら、プリンタードライバーのプロパティでプリンター構成を変更してください。変更方法については、「プリンタードライバーでオプションの設定をする」(P.155) を参照してください。

11.7　ソフトウェアオプションの有効化

本機は次のソフトウェアオプション製品を利用できます。

- セキュリティ拡張キット
- Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）
- Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）
- 外部認証キット L

補足

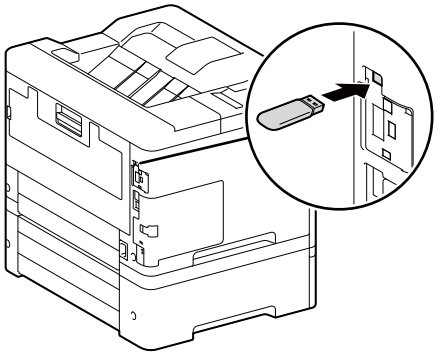
- セキュリティ拡張キットの機能を利用するには、ストレージ（オプション）が必要です。

ここでは、セキュリティ拡張キットを取り付ける場合を例に説明します。

1. **⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。**

2. **セキュリティ拡張キットを用意します。**

3. **キャップを外し、本機背面の USB コネクターの上側（タイプ A）に挿入します。**



注記

- 挿入したセキュリティ拡張キットは、設定が完了するまで取り外さないでください。

4. **電源コードを接続します。**

5. **⏻I〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。**

6. **操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。**

7. **［機械管理者メニュー］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

8. **▶または OK ボタンを押します。**

［ネットワーク / ポート設定］が表示されます。

9. **［システム設定］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

10. **▶または OK ボタンを押します。**

［音の設定］が表示されます。

11. **［ソフトウェア オプション］が表示されるまで、▼ボタンを押します。**

12. **▶または OK ボタンを押します。**

［有効化］が表示されます。

補足

- ［設定できるオプションはありません］と表示された場合は、セキュリティ拡張キットが正しく取り付けられていません。セキュリティ拡張キットを取り付け直してください。

13. **OK ボタンを押します。**

［[OK] で有効化開始］が表示されます。

14. **OK ボタンを押します。**

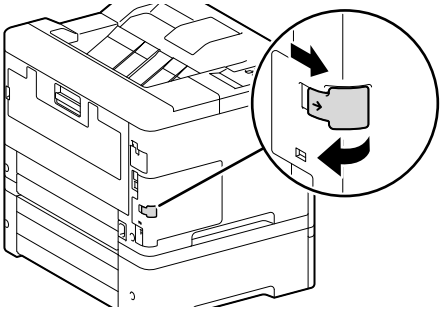
有効化処理が終了すると、［有効化しました］と表示され、自動的に本機が再起動します。

15. **セキュリティ拡張キットを取り外します。**

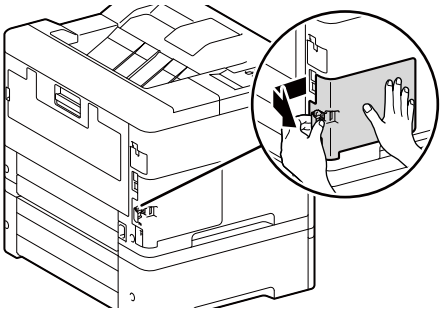
11.8 セカンダリーイーサネットキットの取り付け

1. **⏻I〈電源 / 節電〉ボタンを押して電源を切り、電源コードをコンセントおよび本機から抜きます。**

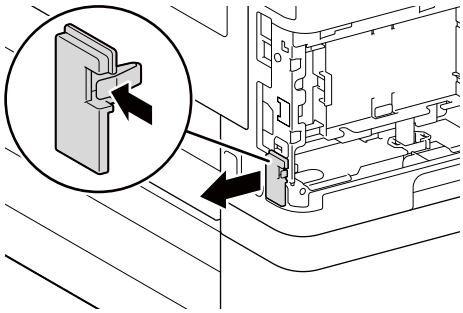
2. ラッチを右にスライドさせ、手前に開きます。



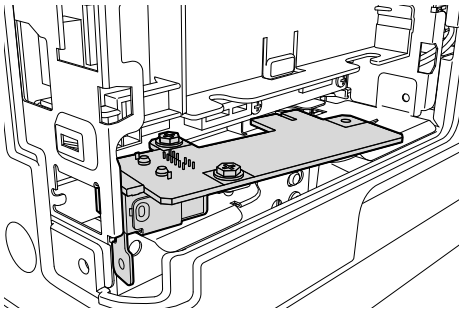
3. 左カバーを片方の手で押さえながら、もう一方の手でラッチを手前に引き、左カバーを取り外します。



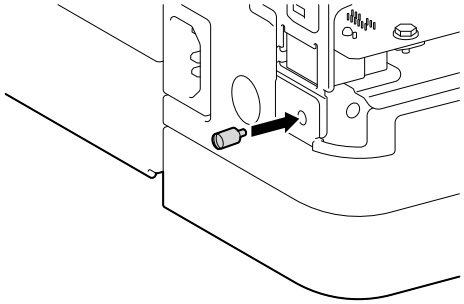
4. つまみを押しながら、イーサネットコネクターカバーを取り外します。



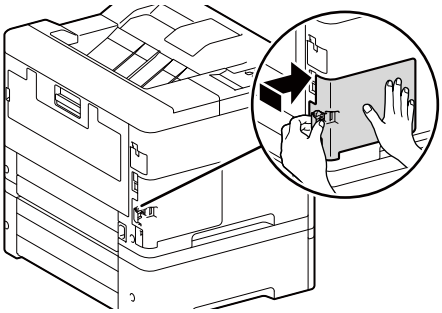
5. セカンダリーイーサネットキットをコントローラーボードのコネクターに差し込みます。



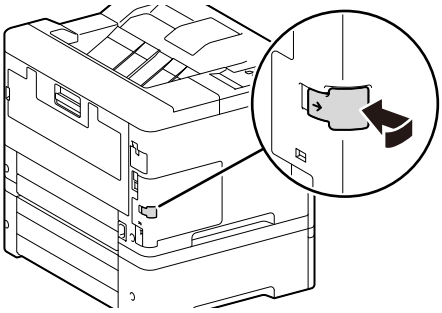
6. 付属のネジを締め、セカンダリーイーサネットキットを固定します。



7. 左カバーを取り付け、左カバーを本機の前方向にスライドさせます。



8. ラッチを本機の前方向に倒してから左にスライドさせ、カバーをロックします。



9. 電源コードを接続します。

10. ⏻I☾〈電源 / 節電〉ボタンを押して、電源を入れます。

補足

- ［機能設定リスト］をプリントすると、セカンダリーイーサネットキットが正しく取り付けられたかどうかを確認できます。

11.9 地震対策キットの取り付け

1. 本機の設置場所を決めます。

2. 本機の電源を切ります。

参照

- 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.15) を参照してください。

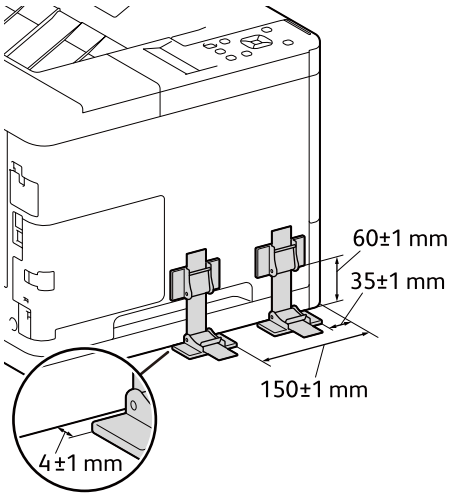
3. 本機と接地面の、留め具を取り付ける面を乾いた柔らかい布で拭きます。

4. 留め具の粘着パッドの剥離紙をはがします。

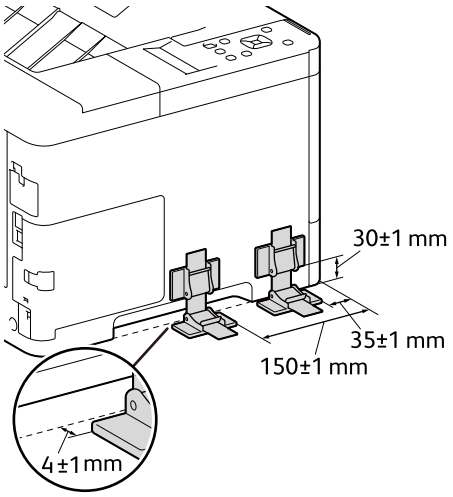
5. 接地面側に留め具を貼り付けます。

本機に取り付ける場合

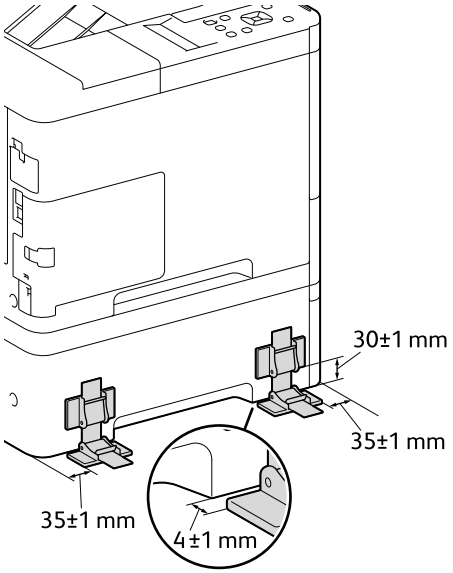
ApeosPrint 4560 S



ApeosPrint 3960 S /ApeosPrint 3360 S

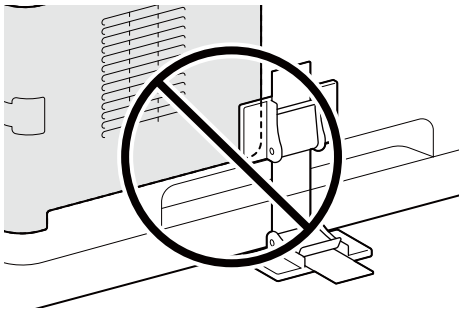


トレイモジュール（オプション）に取り付ける場合



注記

- 左カバーをふさがないように貼り付けてください。



6. ベルトがたるまないようにして、本機側にもう一方の留め具を貼り付けます。

補足

- ベルトがたるんだ場合は、本機側の留め具のロックレバーを解除してベルトを引っ張り、再度留め具を固定します。

7. **手順 4 ～ 6 を繰り返し、本機の右側面と左側面の合計 4 か所で固定します。**

8. **留め具を強く押してしっかり接着し、24 時間放置します。**

補足

- 留め具の使用期限を守ってください。使用期限を超えた場合は、新品と交換してください。

11.10 地震対策キット（ゲルタイプ）の取り付け

1. **本機の設置場所を決めます。**

2. **本機の電源を切ります。**

参照

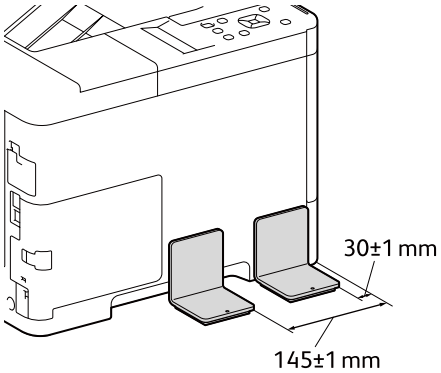
- 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.15) を参照してください。

3. **本機と接地面の、ゲルを取り付ける面を乾いた柔らかい布で拭きます。**

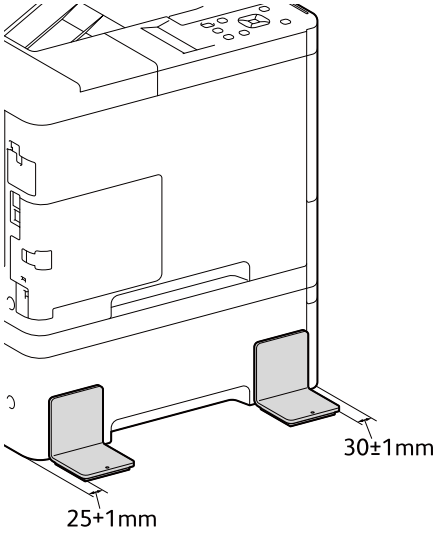
4. **ゲルの剥離紙をはがします。**

5. **次の位置にゲルを貼り付けます。マークがあるほうを本機側に貼り付け、本機の左側面と右側面の合計 4 か所で固定します。**

本機に取り付ける場合

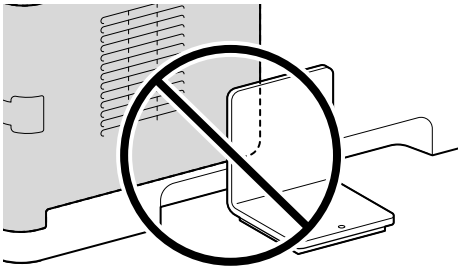


トレイモジュール（オプション）に取り付ける場合



注記

- 左カバーをふさがないように貼り付けてください。



6. ゲルを強く押してしっかり接着し、24 時間放置します。

補足

- ゲルの使用期限を守ってください。使用期限を超えた場合は、新品と交換してください。

12 付録

12.1 主な仕様

項目		内容		
		ApeosPrint 4560 S	ApeosPrint 3960 S	ApeosPrint 3360 S
商品コード		N3300053	N3300054	N3300055
形式		デスクトップ		
プリント方式		LED 電子写真		
ウォームアップ時間 *1		19 秒以下（電源投入時：室温 23 ℃）（スリープモード時は 16 秒以下）		19 秒以下（電源投入時：室温 23 ℃）（スリープモード時も同じ）
連続プリント速度 *2	片面印刷時	A4▭: 45 枚 / 分 A3：25.7 枚 / 分	A4▭: 39 枚 / 分 A3：23 枚 / 分	A4▭: 33 枚 / 分 A3：18.2 枚 / 分
	両面印刷時	A4▭: 31.7 ページ / 分 A3：15.4 ページ / 分		A4▭: 22.4 ページ / 分 A3：10.8 ページ / 分
ファーストプリント時間 *3		A4▭: 6.0 秒		A4▭: 7.5 秒
解像度	標準	【ART EX ドライバー】 標準：600×600 dpi、高精細：1200×1200 dpi		
	オプション	【Adobe® PostScript® 3™ ドライバー】 標準：600×600 dpi、高精細：1200×1200 dpi		
階調		256 階調		
用紙サイズ *4	標準トレイ	A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、リーガル、レター、11×17"、郵便はがき（日本郵便製）、往復はがき（日本郵便製）、封筒（長形 3 号、長形 4 号、角形 2 号、角形 3 号、角形 6 号）、ユーザー定義用紙（幅 75 ～ 297 mm× 長さ 148 ～ 432 mm）		
	手差しトレイ	A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、リーガル、レター、11×17"、郵便はがき（日本郵便製）、往復はがき（日本郵便製）、封筒（長形 4 号、長形 3 号、洋長形 3 号、角形 2 号、角形 3 号、角形 6 号、洋形 2 号、洋形 3 号、洋形 4 号）、ユーザー定義用紙（幅 70 ～ 297 mm× 長さ 98 ～ 508 mm）、幅 210× 長さ 900 mm、幅 297× 長さ 900 mm、幅 297× 長さ 1200 mm		
	オプション	トレイモジュール（300）/ トレイモジュール（600）：A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、リーガル、レター、11×17"、郵便はがき（日本郵便製）、往復はがき（日本郵便製）、封筒（長形 3 号、長形 4 号、角形 2 号、角形 3 号、角形 6 号）、ユーザー定義用紙（幅 75 ～ 297 mm× 長さ 148 ～ 432 mm）		
	両面印刷	A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、リーガル、レター、11×17"、郵便はがき（日本郵便製）、ユーザー定義用紙（幅 100 ～ 297 mm× 長さ 148 ～ 432 mm）		
	像欠け幅	先端 / 後端 / 左右端：4.1 mm		

項目		内容		
		ApeosPrint 4560 S	ApeosPrint 3960 S	ApeosPrint 3360 S
用紙坪量 *4	標準トレイ	60 ～ 220 g/m²		
	手差しトレイ	60 ～ 220 g/m²		
	オプション	トレイモジュール（300）：60 ～ 220 g/m²、トレイモジュール（600）：60 ～ 220 g/m²		
	両面印刷	60 ～ 163 g/m²		
給紙容量 *5	標準	標準トレイ：600 枚 手差しトレイ：110 枚	標準トレイ：300 枚 手差しトレイ：110 枚	
	オプション	トレイモジュール（300）：300 枚、トレイモジュール（600）：600 枚		
	最大	2510 枚 標準＋トレイモジュール（600）×3 段	2210 枚 標準＋トレイモジュール（600）×3 段	
出力トレイ容量 *5	標準	600 枚（フェイスダウン）	270 枚（フェイスダウン）	
	オプション	排出トレイモジュール：600 枚（フェイスダウン） フェイスアップトレイ：200 枚	フェイスアップトレイ：200 枚	
両面機能		標準		
CPU		ARM Dual Core 1.3 GHz		
メモリー容量		2 GB （最大 2 GB）		
ストレージ容量		オプション：82 GB*6		
搭載フォント	標準	【ART-EX】 日本語 2 書体（平成明朝体 TM W3、平成角ゴシック体 TM W5）、欧文 21 書体、OCR-B フォント *7、バーコードフォント *7*8		
	オプション	【Adobe® PostScript® 3TM キット（平成 3 書体）】 日本語 3 書体（平成明朝体 TM W3、平成丸ゴシック体 TM W4、平成角ゴシック体 TM W5）、欧文 136 書体、OCR-B フォント *7 【Adobe® PostScript® 3TM キット（モリサワ 2 書体）】 日本語 2 書体（リュウミン L-KLTM、中ゴシック BBBTM）、欧文 136 書体、OCR-B フォント *7		
ページ記述言語	標準	ART EX		
	オプション	Adobe® PostScript® 3TM		
エミュレーション		ART IV、ESC/P、PCL5、PCL6、PC-PR201H、HP-GL*9、HP-GL/2*9、TIFF、JPEG、PDF*10、XPS（XML Paper Specification）、DocuWorks 文書（XDW）		

項目		内容		
		ApeosPrint 4560 S	ApeosPrint 3960 S	ApeosPrint 3360 S
対応OS*11	標準	【ART EX ドライバー】 Windows 11（64 ビット） Windows Server 2025（64 ビット） Windows Server 2022（64 ビット） Windows Server 2019（64 ビット） Windows Server 2016（64 ビット）		
		【macOS ドライバー】 macOS 26 / 15 / 14 / 13 / 12		
	オプション	【Adobe® PostScript® 3™ ドライバー】 Windows 11（64 ビット） Windows Server 2025（64 ビット） Windows Server 2022（64 ビット） Windows Server 2019（64 ビット） Windows Server 2016（64 ビット） macOS 26 / 15 / 14 / 13 / 12		
インターフェイス	標準	Ethernet 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T、USB3.0		
	オプション	Ethernet 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T、IEEE802.11 a / b / g / n / ac		
対応プロトコル		TCP/IP（IPv4/IPv6、lpd、Port9100、IPP、ThinPrint、WSD）		
電源*12		AC100 V±10 %、15 A、50/60 Hz 共用		AC100 V±10 %、12 A、50/60 Hz 共用
騒音*13	稼働時（本体のみ）	7.17 B、54 dB（A）*14	7.09 B、54 dB（A）*14	7.00 B、51 dB（A）
	レディー時（本体のみ）	5.30 B、16 dB（A）		
最大消費電力*15	最大	1200 W		910 W
	平均	レディー時：73 W 稼動時：609 W スリープモード時：0.3 W*16	レディー時：73 W 稼動時：576 W スリープモード時：0.3 W*16	レディー時：62 W 稼動時：455 W スリープモード時：0.3 W*16
エネルギー消費効率*17		109 kWh/ 年、区分：プリンター C	98 kWh/ 年、区分：プリンター C	75 kWh/ 年、区分：プリンター C
外形寸法		幅 499.4× 奥行 388.0*18× 高さ 320.0 mm	幅 499.4× 奥行 388.0*18× 高さ 262.5 mm	
質量		約 20.2 kg（消耗品含む） 約 18.2 kg（消耗品含まず）	約 18.6 kg（消耗品含む） 約 16.6 kg（消耗品含まず）	
使用環境*19		温度：10 ～ 32 ℃ 湿度：15 ～ 85 %（結露による障害は除く）		
商品寿命（耐久性）*20		180 万 ページまたは 5 年の早い方		120 万 ページまたは 5 年の早い方

*1 :当社測定基準による測定値。ご使用条件、画質制御によってはさらに時間がかかる場合があります。
*2 :同一原稿連続プリント時。郵便はがき（日本郵便製）等の用紙種類、サイズやプリント条件によっては速度が低下します。また、画質調整のため、速度が低下する場合があります。
*3 :本体給紙トレイから給紙した場合。数値は出力環境によって異なります。
*4 :推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズ等）によっては、正しく印刷できない場合があります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用用紙は使用しないでください。絵

入りはがきや年賀状などの再生紙はがきは使用できない場合があります。使用済用紙の裏面および事前印刷用紙への印刷や、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合があります。また、用紙の種類や環境条件により印刷品質に差異が生じる場合がありますので、事前に印刷品質の確認を推奨します。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、販売店もしくはプリンターサポートデスク（0120-66-2209）までお問い合わせください。

*5 :当社 C^2 紙（70 g/m²）。
*6 :実際のストレージ容量と異なる場合があります。
*7 :OCR-B 相当印刷やバーコード印刷の読み取りに関しては、あらかじめご確認されることを推奨します。
*8 :バーコードフォントの種類は、CODE39、JAN、NW-7（CODABAR）、CODE128、ITF（Interleaved 2 of 5）ベアラーバーなし、Industrial 2 of 5、Matrix 2 of 5、カスタマバーコード、QR コードに対応。OCR-B フォント、バーコードフォントは ART IV、ESC/P エミュレーションで対応。
*9 :HP-GL は HP7586B を、HP-GL/2、HP RTL は HP Designjet 750C Plus を、それぞれエミュレーションしていますが、全てのコマンドには対応していませんので事前の出力検証を推奨します。
*10:ダイレクト印刷に対応。
*11:最新の対応 OS については、当社公式サイトをご覧ください。
*12:推奨コンセント容量。機械側最大電流は、ApeosPrint 4560 S / ApeosPrint 3960 S は 14 A。ApeosPrint 3360 S は 11 A。
*13:ISO7779 に基づいた測定。単位 B：音響パワーレベル（LWAd）、単位 dB：放射音圧レベル（バイスタンダ位置）。
*14:静音モード時は 51 dB（A）。
*15:最大消費電力はフル構成時。
*16:標準構成時。
*17:省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値。
*18:A4 使用時。A3 使用時は、517.8 mm となります。
*19:使用直前の温度、湿度の環境、プリンター内部が設置環境になじむまで、使用される用紙の品質によってはプリント品質の低下を招く場合があります。
*20:印刷可能ページ数は、A4 サイズの普通紙を連続片面印刷した場合の目安であり、使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンター電源投入頻度等により変動します。なお、商品の性能維持のためには定期交換部品の交換が必要です。

12.2 消耗品、定期交換部品の寿命について

消耗品の寿命について

品名	プリント可能ページ数
トナーカートリッジ（6K）	約 6000 ページ
トナーカートリッジ（10K）	約 10000 ページ
トナーカートリッジ（15K） (ApeosPrint 4560 S /ApeosPrint 3960 S 専用)	約 15000 ページ
ドラムカートリッジ（ApeosPrint 3360 S 専用）	約 40000 ページ
ドラムカートリッジ (ApeosPrint 4560 S /ApeosPrint 3960 S 専用)	約 40000 ページ

注記

- トナーカートリッジについて
  JIS X 6932（ISO/IEC 19798）に基づく公表値です。実際のプリント可能ページ数は、プリント内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。
- ドラムカートリッジについて
  プリント可能ページ数は、A4▭、片面プリント、像密度 5%、1 度にプリントする枚数を平均 4 枚（ApeosPrint 4560 S の場合。ApeosPrint 3960 S は 3 枚、ApeosPrint 3360 S は 2 枚）として連続プリントした使用条件における参考値です。実際のプリント可能ページ数は、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境により変動し、参考値の半分以下になることがあります。
- 弊社が推奨する消耗品は、本機に適した規格で作られています。弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、機械本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。

補足

- 本機購入時に同梱されているトナーカートリッジのプリント可能ページ数は、約 3000 ページです。

使用済み消耗品の回収

回収したトナーカートリッジやドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。不要となったトナーカートリッジやドラムカートリッジは、適切な処理が必要です。

詳しくは、次の URL を参照してください。

https://fujifilm.com/fb/support/cru/printer/

定期交換部品の寿命について

プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。これを定期交換部品といいます。詳しくは、弊社公式サイトを参照してください。

補修用性能部品について

弊社は、本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

12.3　最新ソフトウェアを入手する

プリンタードライバー、ユーティリティー、ファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）などの、最新版のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。次の URL にアクセスし、ダウンロードしてください。

https://www.fujifilm.com/fb/download/

12.4　エミュレーションについて

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータをプリントするときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。

エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
ESC/P エミュレーションモード（ESC/P モード）	VP-1000
201H エミュレーションモード（201H モード）	PC-PR201H
HP-GL エミュレーションモード（HP-GL モード）	7586B または DJ750C Plus
HP-GL/2 エミュレーションモード（HP-GL/2 モード）	DJ750C Plus
PCL エミュレーションモード（PCL モード）	HP-CLJ5500（カラー機）、HP-LJ4200（モノクロ機）

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

プリント言語を切り替える方法は次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定して切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。モードメニュー画面を表示するには、〈仕様設定〉ボタンを押し、［プリント言語の設定］で表示するエミュレーションモードを選んでください。

補足

- ART IV には、モードメニュー画面はありません。

使用できるフォント

使用できるフォントは、［フォントリスト］および［PCL フォントリスト］で確認できます。

ART IV、ESC/P エミュレーションについて

エミュレーションモードでのプリント機能

N アップ（ESC/P）

N アップは、複数ページを縮小して、1 枚の用紙にプリントする機能です。

ESC/P エミュレーションモードでは、2 アップを利用できます。

フォーム合成

あらかじめフォームをプリンターに登録しておき、プリントデータに合成してプリントできます。ESC/P エミュレーションモードからは、ESC/P および ART IV のフォームが使用でき、操作パネルから、合成するフォームを指定します。

バーコード

ESC/P および ART Ⅳエミュレーションモードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は次のとおりです。

- Code39
- JAN-8
- JAN-13

- Code 128
- NW7（CODABAR）
- ITF（Interleaved 2 of 5）
- IDF（Industrial 2 of 5）
- Post（Japanese postal Customer Code）
- QR Code
- Matrix 2 of 5

フォームについて

ART IV または ESC/P を使用して定形のフォームを登録できます。

登録できるフォームの数は次のとおりです。

	ART IV	ESC/P
ストレージなし	64	64
ストレージあり	2048	64

補足

- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。
  フォームが登録されたかどうかは、［ユーザー定義リスト］で確認してください。

ART IV および ESC/P に関連する設定メニュー

［ネットワーク / ポート設定］

［機械管理者メニュー］＞［ネットワーク / ポート設定］で、エミュレーションモードで使用するポートを設定をします。

- ポートの起動（LPD/IPP/USB/Port9100）
  エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- プリントモード指定（LPD/IPP/USB/Port9100）
  各ポートのプリントモード指定を、ART IV または ESC/P エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして［ART EX］や［ESC/P］、［自動］などを指定できます。初期値は、すべてのポートで［自動］です。

補足

- ［プリントモード指定］では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで［ART EX］や［ESC/P］を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.175) で説明している「自動切り替え」は、できなくなります。

［メモリー設定］

［機械管理者メニュー］＞［メモリー設定］で、ART IV のフォームおよびユーザー定義で使用するメモリー容量を指定します。

- ART IV フォームメモリー
  128 ～ 2048 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［128 KB］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。ストレージ（オプション）が取り付けられている場合は、［ストレージ］と表示されます。
- ART IV ユーザー定義メモリー
  32 ～ 2048 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［32 KB］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

[フォーム / マクロの削除]

[機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォーム / マクロの削除] で、本機に登録されているフォームを削除します。登録されているフォームがない場合は、[フォーム登録はありません] と表示されます。

ESC/P 設定項目一覧

[プリント機能メニュー]

■ [用紙トレイ]

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

■ [用紙サイズ]

プリントする用紙のサイズを設定します。[用紙トレイ] の設定が [自動] または [手差しトレイ] の場合に設定できます。

補足

- [用紙トレイ] を、[トレイ 1] ～ [トレイ 4] のどれかに設定しているときは、[用紙サイズ] を設定できません。設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。

■ [原稿サイズ]

クライアントで作成された原稿のサイズと向きを設定します。

■ [プリント部数]

- [部数の入力]

  プリントする部数を設定します。

  補足

  - クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。LPD ポートから指定された部数は、プリント後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。
  - ▼または▲ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。

- [部数の優先指定]

  プリント部数の指定方法を設定します。

■ [倍率]

- [固定倍率]

  設定されている [原稿サイズ] と [用紙サイズ] から倍率が自動算出され、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じなら、100%（等倍）印字となります。また、2 アップが設定されている場合は、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

- [任意倍率]

  任意の倍率値を設定します。

- [カット紙全面]

  カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。カット紙全面とは、設定されている原稿サイズと、用紙サイズから自動算出される倍率のことです。設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが、用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

■ [両面]

両面プリントを設定します。

■ [2 アップ]

2 アップとは、2 ページ分のデータを 1 ページに印字する機能です。

■ [排出先]

プリントした用紙の排出先トレイを設定します。

■ [手差し確認待ち]

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作（OKボタンを押す）によって、プリントを開始する機能です。

■ [フォント]

- [漢字書体]

  2 バイト系文字（漢字）の書体を、[明朝] または [ゴシック] から選びます。なお、2 バイト系半角文字も、この書体が適用されます。

- [英数字書体]

  1 バイト系文字（ANK）の書体を、[ローマン] または [サンセリフ] から選びます。

補足

- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

■ [用紙位置]

カットシートフィーダー設定の有無による用紙位置を設定します。

[CSF なし]

カットシートフィーダー設定を無効にし、印字データに改ページ（FF）が含まれた場合、ページ長設定に従って、紙送りをします。

[CSF あり]

カットシートフィーダー設定を有効にし、印字データに改ページ（FF）が含まれた場合、用紙を排出します。

■ [位置補正]

データをプリントする位置を縦または横方向に移動し、余白の位置を変えます。

■ [罫線]

2 バイト系罫線の印字方法を設定します。

[イメージ]

2 バイト系罫線をイメージでプリントします。罫線とイメージデータのずれがなくなります。

[フォント]

2 バイト系罫線をプリンター内蔵のフォントでプリントします。選択した書体と統一した罫線が印字されます。

■ [印字制御]

- [漢字コード表]

  使用する漢字コード表（2121 ～ 287E）を設定します。

  [エプソン]

  セイコーエプソン株式会社の VP-1000 のコード体系に設定します。

  [東芝]

  株式会社東芝の J-3100 のコード体系に設定します。

- [白紙節約]

  改ページだけのデータのように、プリントするデータがまったくない場合に、白紙を排出するかどうかを設定します。

- [イメージエンハンス]

  イメージエンハンスとは、白黒の境めを滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

  イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。

- [印字桁範囲]

右マージンの位置を拡張できます。

[標準]

右マージン位置を 10cpi で 136 桁位置に設定します。

[範囲拡張]

印字倍率の設定によって、10cpi で 136 桁位置の右側に余白がある場合に右マージン位置を拡張し、その領域にも印字します。

補足

- [印字桁範囲] を [範囲拡張] から [標準] に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されます。
- コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。

- [文字コード]

  日本語表記に使用する文字コードを設定します。

- [キャラクターモード]

  キャラクターモードとは、通常 16 進数で表記されるプリンター用コマンドを、キャラクターで記述してプリンターに送信して制御する機能です。IBM のホストコンピューターから、キャラクターモード対応のコンピューターを経由して、プリンター制御コマンドを直接送る場合は、開始宣言文字列に「&$%$」、「$?!#」のどちらかを設定します。

  [オフ]

  キャラクターモードを設定しません。

  [&$%$Entry]

  開始宣言文字列に「&$%$」を使用します。

  [$?!#Entry]

  開始宣言文字列に「$?!#」を使用します。

■ [ESCP スイッチ]

補足

- [文字品位]、[縮小文字]、[文字コード表]、[ページ長] および [1 インチ ミシン目スキップ] の各設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

- [文字品位]

  文字の印字品質モードを選びます。

補足

- 設定状態の変更で、実際の印字は変化しません。
- 本設定は、文字品位選択コマンドに影響します。
  文字品位選択コマンドについては、商品マニュアルの「リファレンスマニュアル（ESC/P 対応）」を参照してください。

- [縮小文字]

  1 バイト系の英数字を印字する場合、文字を縮小して印字することができます。

- [文字コード表]

  1 バイト系の英数字を印字する場合のコード表の種類を設定します。

  国内版アプリケーションをお使いの場合は [カタカナ] に、海外版アプリケーションをお使いの場合は [拡張グラフィックス] に設定してください。

- [ページ長]

  1 ページの長さ（印字エリア）を選びます。

- [1 インチ ミシン目スキップ]

  ページとページの間を、1 インチ空けるか空けないかを設定します。

- [給紙位置]

  印字開始位置を、用紙の上端からの長さで設定します。

- [CR の機能]

  CR コマンド受信時の動作を設定します。

  [復帰]

  印字復帰だけを行います。

［復帰 / 改行］

印字復帰し、直後に改行を行います。

- ［0 の字体］

  数字の 0 の字体を設定します。

- ［バーコードモード］

  バーコードをプリントするときは、バーコードモードに設定することで、よりバーコードに適したプリントができます。

■ ［拡張子指定］

指定した拡張子を有効にするかどうかを設定します。弊社の拡張コマンドを使用している場合は、［有効］に設定してください。

補足

- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く；（セミコロン＝ 3BH））のことです。

■ ［拡張子文字］

弊社の拡張コマンドを使用している場合は、実際に使用しているデータに合わせて適切なコードを設定してください。有効コードは、0x21 ～ 0x7d です。

補足

- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く；（セミコロン＝ 3BH））のことです。

■ ［フォーム合成］

ESC/P および ART IV モードで登録されているフォーム名（各モード No.01 ～ 64）を選ぶと、常にフォーム合成を行います。

補足

- この項目は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- フォームを選んだあとで、フォームが削除された場合でも、再び本メニューを表示したときは、そのフォーム名が表示されます。その表示状態から▼または▲ボタンで表示を変更すると、削除されたフォームは表示されなくなります。この場合は、［しない］に設定されます。

  フォームが登録されていない状態で、フォーム合成を選んだ場合は、［フォーム登録はありません］というメッセージが表示されます。

［メモリーメニュー］

NV メモリー（No.01 ～ 20）に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

■ ［立ち上げメモリー］

［立ち上げメモリー］とは、あらかじめ［メモリー登録］で登録しておいた NV メモリー（No.01 ～ 20）を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

■ ［メモリー呼び出し］

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

■ ［メモリー登録］

メモリーには、工場出荷時の設定内容と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー（No.01 ～ 20）があります。

メモリー登録では、NV メモリー（No.01 ～ 20）にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容を、ひとまとめにして登録します。

■ ［メモリー削除］

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

PC-PR201H エミュレーションについて

エミュレーションモードでのプリント機能

PC-PR201H エミュレーションモードで使用できる、本機のプリント機能について説明します。

N アップ

N アップは、複数ページを縮小して、1 枚の用紙にプリントする機能です。

フォーム合成

PC-PR201H エミュレーションモードでは、あらかじめフォームをプリンターに登録しておき、プリントデータに合成してプリントできます。PC-PR201H および ART IV のフォームが使用できます。

操作パネルから、合成するフォームを指定できます。

フォームについて

PC-PR201H を使用して定形のフォームを登録できます。フォームは、64 ファイルまで登録できます。

補足

- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。
  フォームが登録されたかどうかは、［ユーザー定義リスト］で確認してください。

PC-PR201H に関連する設定メニュー

［ネットワーク / ポート設定］

［機械管理者メニュー］＞［ネットワーク / ポート設定］で、エミュレーションモードで使用するポートを設定をします。

- ポートの起動（LPD/IPP/USB/Port9100）
  201H エミュレーションを使用するポートを起動します。
- プリントモード指定（LPD/IPP/USB/Port9100）
  各ポートのプリントモード指定を、PC-PR201H エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして［201H］や［自動］を指定できます。初期値はすべてのポートで［自動］です。

補足

- ［プリントモード指定］では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで［201H］を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.175) で説明している「自動切り替え」はできなくなります。

［フォーム / マクロの削除］

Windows 10（32 ビット）

- 201H フォーム削除
  201H 用のフォームを削除します。

201H 設定項目一覧

補足

- 取り付けられているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

[プリント機能メニュー]

■ [用紙トレイ]

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

■ [用紙サイズ]

プリントする用紙のサイズを設定します。[用紙トレイ] の設定が [自動] または [手差しトレイ] の場合に設定できます。

補足

- [用紙トレイ] を、[トレイ 1] ～ [トレイ 4] のどれかに設定しているときは、設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。[用紙サイズ] は設定できません。セットされている用紙サイズが不明なときは、[不明] と表示されます。

■ [原稿サイズ]

クライアントで作成された原稿のサイズと向きを設定します。

補足

- ここで設定する方向は、原稿の向きです。トレイ内の用紙のセットの方向には、影響しません。

■ [プリント部数]

- [部数の入力]

  プリントする部数を設定します。

  補足

  - クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。LPD ポートから指定された部数は、プリント後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。

- [部数の優先指定]

  プリント部数の指定方法を設定します。

■ [倍率]

- [固定倍率]

  設定されている [原稿サイズ] と [用紙サイズ] から倍率が自動算出され、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じなら、100%（等倍）印字となります。また、2 アップが設定されている場合は、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

- [任意倍率]

  任意の倍率値を設定します。

- [カット紙全面]

  カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。

  カット紙全面とは、設定されている原稿サイズと、用紙サイズから自動算出される倍率のことです。設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが、用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

■ [両面]

両面プリントを設定します。

■ [2 アップ]

2 アップ印字をするか、1 ページごとに印字するかを設定します。

■ [排出先]

プリントした用紙の排出先トレイを設定します。

■ [手差し確認待ち]

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作（OKボタンを押す）によって、プリントを開始する機能です。

■ ［フォント］

- ［漢字書体］
  2 バイト系文字（漢字）の書体を、［明朝］または［ゴシック］から選びます。なお、2 バイト系半角文字も、この書体が適用されます。
- ［英数字書体］
  1 バイト系文字（ANK）の書体を、［ローマン］、［サンセリフ］のどちらかに設定します。

補足

- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合は反映されません。

■ ［用紙位置］

用紙位置およびシートフィーダー設定の有無を設定します。

［左］

カットシートフィーダー設定を無効にし、印字する文字を 1 桁めに設定します。

［中央］

カットシートフィーダー設定を無効にし、印字する文字を 68 桁めと 69 桁めの中央に設定します。

［S 左］

カットシートフィーダー設定を有効にし、印字する文字を 1 桁めに設定します。

［S 中央］

カットシートフィーダー設定を有効にし、印字する文字を 68 桁めと 69 桁めの中央に設定します。

■ ［位置補正］

データをプリントする位置を上下または左右方向に移動し、余白の位置を変えます。

■ ［罫線］

2 バイト系罫線の印字方法を設定します。

［イメージ］

2 バイト系罫線をイメージでプリントします。罫線とイメージデータのずれがなくなります。

［フォント］

2 バイト系罫線をプリンター内蔵のフォントでプリントします。選択した書体と統一した罫線が印字されます。

■ ［印字制御］

- ［白紙節約］
  改ページだけのデータのように、プリントするデータがまったくない場合に、白紙を排出するかどうかを設定します。
- ［イメージエンハンス］
  イメージエンハンスとは、白黒の境めを滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。
  イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。
- ［印字桁範囲］
  右マージンの位置を拡張できます。
  候補値は次のとおりです。
  ［標準］
  右マージン位置を 10cpi で 136 桁位置に設定します。
  ［範囲拡張］
  印字倍率の設定によって、10cpi で 136 桁位置の右側に余白がある場合に右マージン位置を拡張し、その領域にも印字します。

補足

- ［印字桁範囲］を［範囲拡張］から［標準］に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されます。
- コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。

■ [201H スイッチ]

- [国別文字]
  使用する文字を設定します。
- [自動改行]
  右マージン位置を超えたときの自動改行の動作を設定します。
  候補値は次のとおりです。
  [CR]
  印字復帰だけを行います。
  [CR/LF]
  印字復帰後に改行を行います。
- [印字指令]
  印字指令のコマンドを設定します。
  候補値は次のとおりです。
  [CR]
  印字指令のコマンドを CR のみとします。
  [すべて]
  印字指令のコマンドを CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b とします。
- [CR の機能]
  CR コマンド受信時の動作を設定します。
  候補値は次のとおりです。
  [復帰]
  印字復帰だけを行います。
  [復帰 / 改行]
  印字復帰し、直後に改行を行います。
- [0 の字体]
  数字の 0 の字体を設定します。
- [グラフィックドット数]
  ドット対応のグラフィックドット数の種類を設定します。

補足
- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- この設定は、8 ビットドットイメージ印字コマンドの印字結果に影響します。

- [データサイズ]
  データのビットサイズを設定します。
- [ページ長]
  1 ページの長さ（印字エリア）を設定します。

補足
- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

■ [拡張子指定]

指定した拡張子を有効にするかどうかを設定します。弊社の拡張コマンドを使用している場合は、[有効] に設定してください。

補足
- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く；（セミコロン＝ 3BH））のことです。

■ [拡張子文字]

弊社の拡張コマンドを使用している場合は、実際に使用しているデータに合わせて適切なコードを設定してください。有効コードは、0x21 ～ 0x7d です。

補足

- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く；（セミコロン＝ 3BH））のことです。

■［フォーム合成］

201H および ART IV モードで登録されているフォーム名（各モード No.01 ～ 64）を選ぶと、常にフォーム合成を行います。

補足

- この項目は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- フォームを選んだあとで、フォームが削除された場合でも、再び本メニューを表示したときは、そのフォーム名が表示されます。その表示状態から▼または▲ボタンで表示を変更すると、削除されたフォームは表示されなくなります。この場合は、［しない］に設定されます。
- フォームが登録されていない状態で、フォーム合成を選んだ場合は、［フォーム登録はありません］というメッセージが表示されます。

［メモリーメニュー］

NV メモリー（No.01 ～ 05）に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

■［立ち上げメモリー］

［立ち上げメモリー］とは、あらかじめ［メモリー登録］で登録しておいた NV メモリー（No.01 ～ 05）を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

■［メモリー呼び出し］

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

■［メモリー登録］

メモリーには、工場出荷時の設定内容と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー（No.01 ～ 05）があります。

メモリー登録では、NV メモリー（No.01 ～ 05）にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容をひとまとめにして登録します。

■［メモリー削除］

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて

HP-GL、HP-GL/2 に関連する設定メニュー

［ネットワーク / ポート設定］

［機械管理者メニュー］＞［ネットワーク / ポート設定］で、エミュレーションモードで使用するポートを設定します。

- ポートの起動（LPD/IPP/USB/Port9100）
  エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- プリントモード指定（LPD/IPP/USB/Port9100）
  各ポートのプリントモード指定を、HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして［HP-GL/2］や［自動］を指定できます。初期値は、すべてのポートで［自動］です。

補足

- ［プリントモード指定］では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで［HP-GL/2］を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.175) で説明している「自動切り替え」はできなくなります。

［メモリー設定］

［機械管理者メニュー］＞［メモリー設定］で、HP-GL/2 のオートレイアウトメモリーで使用するメモリー容量を指定します。

- ［HPGL オートレイアウトメモリー］
  オートレイアウト実行時、プリントデータを格納するメモリーの容量を設定できます。

参照

- HPGL オートレイアウトメモリーについては、「［メモリー設定］」(P.89) を参照してください。

HP-GL、HP-GL/2 設定項目一覧

補足

- 取り付けられているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

［プリント機能メニュー］

■ ［用紙トレイ］

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

■ ［用紙サイズ］

プリントする用紙のサイズを設定します。［用紙トレイ］の設定が［自動］または［手差しトレイ］の場合に設定できます。

■ ［原稿サイズ］

クライアントで作成された、原稿のサイズを設定します。

■ ［座標回転］

プリントするときの用紙方向を設定します。

■ ［階調モード］

階調モードを設定します。

■ ［オートレイアウト］

オートレイアウトを使用するかしないかを設定します。

補足

- ［する］は、［原稿サイズ］で［自動］が選択されている場合にだけ表示されます。
- ［しない］を選ぶと、［スケールモード］の設定は、［用紙サイズ］に変更されます。

■ ［パレット優先指定］

使用するパレットを設定します。

■ ［プリント部数］

- ［部数の入力］
  プリントする部数を設定します。

  補足

  - クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。LPD ポートから指定された部数は、プリント後に操作パネルの設定を書き換えることはありません。

- ［部数の優先指定］
  プリントする部数の指定方法を設定します。

■ **[両面]**

両面プリントを設定します。

■ **[排出先]**

プリントした用紙の排出先トレイを設定します。

■ **[よこ原稿 180 度回転]**

よこ原稿を 180 度回転してプリントします。

■ **[手差し確認待ち]**

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作（OKボタンを押す）によってプリントを開始します。

■ **[フォント]**

- [漢字書体]
  2 バイト系文字（漢字）の書体を、[明朝]、[ゴシック]、[ストローク] の中から設定します。
- [英数字書体]
  1 バイト系文字（ANK）の書体を、[ストローク]、[ローマン]、[サンセリフ] の中から設定します。

■ **[位置補正]**

データをプリントする位置を縦または横方向に移動し、余白の位置を変えます。

■ **[印字制御]**

- [HP-GL モード]
  グラフィックス言語の変更ができます。この設定は、HP-GL コマンドの IW、OW、UC コマンドに影響します。

  補足
  - BP コマンドがない HP-GL/2 データをプリントする場合は、[HP-GL/2] に設定してください。
- [ハードクリップ]
  印字可能領域を設定します。
  HP-GL モードでは、用紙によって作画可能な領域が決まっています。この領域は、ハードクリップエリアと呼ばれ、ペンが移動する最大範囲を決定します。したがって、ハードクリップエリアを超えて、描画することはできません。
  候補値は次のとおりです。
  [標準]
  A4、A3、レター、レジャーのハードクリップエリアは、日本ヒューレット・パッカード株式会社の HP7550A と同じです。
  ほかの用紙サイズのハードクリップエリアは、本プリンターの印字可能エリアと同じです。
  [用紙]
  用紙と同じサイズをハードクリップエリアとします。実際に印字できる範囲は、プリンターの印字可能エリアと同じです。
- [排出コマンド]
  描画の終了を示すコマンド（SP、SP0、NR、FR、PG、AF、AH）について、[有効] または [無効] に設定します。ここで [有効] に指定したコマンドを受信すると、描画を終了し、用紙が排出されます。工場出荷時は、SP0 以外のコマンドは [無効] に設定されています。

  補足
  - 複数のコマンドが指定された場合は、どれか 1 つのコマンドを受信した時点で、描画を終了して用紙が排出されます。
- [スケール]
  原稿サイズが用紙サイズに合うように、原稿サイズを拡大 / 縮小（スケーリング）するかしないかを設定します。
- [スケールモード]

オートスケール実行時の原稿サイズを、A 系列の用紙サイズ（A0、A1、A2、A3、A4、A5 の 6 種類）とするか、エリア判定モードで選択された方法によって求められた、有効座標エリアとするかを設定します。

[用紙サイズ]

原稿サイズは、A 系列の用紙サイズ（A0、A1、A2、A3、A4、A5 の 6 種類）の中から自動的に選択されます。

[座標エリア]

原稿サイズは、[エリア判定モード] で選択された方法によって求められた、有効座標エリアから、ペーパーマージンを差し引いたエリアとします。

補足

- [原稿サイズ] で [自動] 以外が選択されている場合、[座標エリア] は選択できません。
- [座標エリア] は、[オートレイアウト] が [しない] の場合だけ設定できます。[する] の場合は、[用紙サイズ] になります。

- [エリア判定モード]

  オートスケール実行時、有効座標エリアを求める方法を設定します。

  [自動]

  有効座標エリア判定方法を、[IW] 、[IP] 、[Adapted] 、[PS] の中から自動的に選択されます。このときの優先順位は、[PS] ＞ [IW] ＞ [IP] ＞ [Adapted] となります。

  [IW]

  データ中の最後の IW コマンドで指定された領域を、有効座標エリアとします。データ中に IW コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

  [IP]

  データ中のすべての IP コマンドで指定された領域を含むエリアを、有効座標エリアとします。データ中に IP コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

  [Adapted]

  次の条件から、有効座標エリアを決定します。

  - 描画を行うコマンドがプロットする最大と最小の位置座標
  - そのページ内に指定された最大の文字サイズ
  - 最大の線幅

  [PS]

  データ中の最初の PS コマンドで指定された領域を、有効座標エリアとします。データ中に PS コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

- [ペーパーマージン]

  オートスケール実行時のペーパーマージンを設定します。

- [イメージエンハンス]

  イメージエンハンスとは、画像の境界を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。

補足

- [スケールモード] 、[エリア判定モード] 、[ペーパーマージン] の設定は、[原稿サイズ] が [自動] の場合に有効となります。

- [エミュレーション対象]

  エミュレートするプリンターを設定します。

  [HP750C]

  HP750C をエミュレートします。

  [FX4036]

  FX4036 をエミュレートします。

■ [ペン属性]

16 本のペン（[No.00] ～ [No.15] ）の属性を設定します。

作図する線の太さや色を設定できます。

パレット優先設定でメモリー登録設定をしたときに有効になります。

- ［幅］
  ペンの幅（太さ）を設定します。

補足

- 原稿サイズと用紙サイズの組み合わせによって縮小された場合、ペンの幅も最小 0.1 mm（0.01"）まで縮小します。
- 線の幅は線の中心から太くなります。
- 太さが 0.0 mm（0.00"）の場合は、何も描画されません。

- ［先端］
  ペンの先端を設定します。
  ［切断］
  l：座標指定位置
  ［丸め］
  l：座標指定位置
  ［矩形］
  l：座標指定位置
- ［連結］
  ペンの線を接続した場合の処理を設定します。

［なし］：

［切断］：

［丸め］：

［交差］：

補足

- ［なし］は、処理時間が最も短く、確認用に適しています。
- シンボルモードコマンドによってシンボルが設定されている場合、連結処理は行われません。シンボルモードコマンドとは、シンボルを指定する HP-GL コマンドです。

- ［濃度］
  ペンの濃度を設定します。
  数値が小さくなるほど、濃度が薄くなります。

補足

- ペン属性と文字書体の関係は次のとおりです。

書体 ペン属性	ストローク	明朝、ゴシック、ローマン、サンセリフ
幅	有効	無効
先端	有効	無効
連結	無効	
濃度	有効	

［メモリーメニュー］

NV メモリー（No.01 ～ 20）に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

■ ［立ち上げメモリー］

立ち上げメモリーとは、あらかじめ［メモリー登録］で登録しておいた NV メモリー（No.01 ～ 20）を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

■ ［メモリー呼び出し］

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

■ ［メモリー登録］

メモリーには、工場出荷時の設定内容を記憶している ROM と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー（No.01 ～ 20）があります。

メモリー登録では、NV メモリー（No.01 ～ 20）にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容をひとまとめにして登録します。

登録しておくと、モードメニューの設定内容を簡単に呼び出したり、電源投入時に、毎回同じ設定を繰り返したりする必要がなくなります。

登録した設定内容は、NV メモリーの初期化またはメモリー削除を行うまで保持されます。

■ ［メモリー削除］

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

補足

- メモリーに設定内容が登録されていない場合、［No.01］～［No.20］は表示されません。
- 登録中、クライアントからのコマンドによって設定値が異なってしまうことがあるため、登録は〈オンライン〉ボタンを押してオフライン状態にしてから行うことをおすすめします。

PCL エミュレーションについて

エミュレーションモードでのプリント機能

PCL エミュレーションモードで使用できる、本機のプリント機能について説明します。

PCL に関連する設定メニュー

［ネットワーク / ポート設定］

［機械管理者メニュー］＞［ネットワーク / ポート設定］で、PCL エミュレーションモードで使用するポートを設定します。

- ポートの起動（LPD/IPP/USB/Port9100）

  PCL エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- プリントモード指定（LPD/IPP/USB/Port9100）

  各ポートのプリントモード指定を、PCL エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして［PCL］または［自動］を選びます。初期値は、すべてのポートで［自動］です。

補足

- ［プリントモード指定］では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで［PCL］を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P.175) で説明している「自動切り替え」は、できなくなります。

［初期化 / データ削除］

- PCL マクロ削除

  ［機械管理者メニュー］＞［初期化 / データ削除］＞［フォーム / マクロの削除］＞［PCL マクロ削除］で、本機に登録されている PCL マクロをすべて削除します。登録されているマクロがない場合は、［マクロ登録はありません］と表示されます。
- PCL フォント削除

［機械管理者メニュー］＞［初期化 / データ削除］＞［フォント削除］＞［PCL フォント削除］で、本機に登録されている PCL フォントをすべて削除します。登録されているフォントがない場合は、［フォント登録はありません］と表示されます。

PCL 設定項目一覧

補足

- 取り付けられているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

■ ［用紙トレイ］

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

■ ［用紙サイズ］

プリントする用紙のサイズを設定します。

■ ［用紙サイズ (手差し)］

手差しトレイを使ってプリントする用紙のサイズを設定します。

■ ［排出先］

プリントした用紙の排出先トレイを設定します。

■ ［印刷方向］

用紙のプリント方向を選びます。

■ ［両面］

両面プリントをするかしないかを設定します。

■ ［フォント］

使用するフォントを設定します。

■ ［シンボルセット］

使用する記号用フォントを設定します。

■ ［フォントサイズ］

フォントサイズを設定します。

■ ［フォントピッチ］

文字間を設定します。

■ ［フォームライン］

フォームライン（1 フォームあたりの行数）を設定します。

■ ［プリント部数］

- ［部数の入力］
  プリントする部数を設定します。

  補足

  - クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。LPD ポートから指定された部数は、プリント後に操作パネルの設定を書き換えることはありません。

- ［部数の優先指定］
  プリント部数の指定方法を設定します。

■ ［ImageEnhancement］（イメージエンハンス）

イメージエンハンスとは、白黒の境めを滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

■ [HexDump]

HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを、16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントする機能です。

■ [ドラフトモード]

ドラフトモードでは、トナーを節約してプリントします。品質は低下しますが、高速でプリントできます。

■ [Line Termination]

ラインターミネーションを設定します。行末コードとして、CR、LF、FF が使用されている場合の動作を設定します。

設定値	CR の動作	LF の動作	FF の動作
しない	CR	LF	FF
Add-LF	CR + LF	LF	FF
Add-CR	CR	CR + LF	CR + FF
CR-XX	CR+LF	CR+LF	CR+FF

12.5 lpr コマンドでプリントする

PDF ファイルや DocuWorks ファイルを、lpr コマンドを使ってプリントできます。

参照

- 設定項目については、「[PDF]」(P.92) または「[XDW(DocuWorks)]」(P.94) を参照してください。

lpr コマンドを使ってプリントする場合の、コンピューター側の指定例は次のとおりです。

補足

- 空白（スペース）は、△ で表します。

指定例

Windows のコマンドプロンプトから、次のようにコマンドを入力し、〈Enter〉キーを押します。

例：本機の IP アドレスが 192.0.2.1 で、event.pdf ファイルをプリントする

```
C:\>lpr △ -S △ 192.0.2.1 △ -P △ lp △ event.pdf
```

12.6 ライセンス

ここでは、ソフトウェアライセンスについて説明します。必ずご確認ください。

本製品は、第三者が権利を有するオープンソースソフトウェア（以降、OSS と呼びます。）が含まれています。各 OSS の適用ライセンス、著作権表示および個別のライセンス条件については、インターネットサービスの［ホーム］タブ＞［サポート］＞［OSS ライセンス情報のダウンロード］から取得できます。

本製品は、GNU Library General Public License 2.0 など、OSS ライセンスに基づき許諾されるソフトウェアを含んでいます。

OSS ライセンスに基づき、対象となるソフトウェアのソースコードの入手を希望される方は、次のサイトより入手が可能です。

https://www.fujifilm.com/fb/etc/oss/mfp/apeos_7580/v1_0

参照

- インターネットサービスについては、「インターネットサービスを使う」(P.96) を参照してください。

12.7　使用権許諾条項

ご使用前に必ずお読みください

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本商品を使用される前に以下の「ソフトウェア使用権許諾条項」を必ずお読みください。各ソフトウェアは対象となる各条項にご承諾いただける場合のみご使用ください。使用を開始されたときは、各条項のすべてをご承諾いただいたものとさせていただきます。もし、「ソフトウェア使用権許諾条項」にご承諾いただけない場合は、本商品をお買い求めいただいた販売店にお問合せください。

アドビ社ソフトウェア許諾条項

第 1 条（ 使用権 ）

弊社は、お客様にお買い上げいただいた弊社製品に含まれる Adobe PostScript (ポストスクリプト) ・ソフトウェア、コード化されたフォントプログラムおよび Adobe ドライバー・ソフトウェア（以下総称して本ソフトウェアといいます）の非独占的使用権を、本許諾条項に従ってお客様に許諾いたします。

1 お客様は、Adobe PostScript ソフトウェアを搭載した複数のプリンター、複合機、プリントサーバーにおいて、本ソフトウェアを使用できます。

2 お客様は、本ソフトウェアの使用権を第三者に譲渡することができます。ただし、当該第三者が本許諾条項のすべてに同意することを条件とし、かつお客様が所持する本ソフトウェアおよびすべての複製物を当該第三者に引き渡すことを条件とします。

3 お客様は、特定の一台の機械で使用する場合に限り、本ソフトウェアを複製できるものとします。ただし、お客様は当該複製物に、本ソフトウェアに記載された著作権、商標、その他の知的財産権の表示を行うものとします。

第 2 条（ ソフトウェアの権利 ）

1 本ソフトウェア、そのドキュメンテーションおよびそれらの複製品または修正に関する著作権、商標等を含む一切の無体財産権は、Adobe (アドビ) またはアドビへの供給者に帰属します。

2 前条に定める権利を除き、お客様は本ソフトウェアに関していかなる権利または知的財産権も取得するものではありません。お客様は、本ソフトウェア、そのドキュメンテーションまたはそれらの複製品に表示されているアドビまたはアドビへの供給者の権利表示を変更することはできません。

第 3 条（ 禁止事項 ）

お客様は、本ソフトウェアについて改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルまたはソースコードの抽出を試みることを行ってはならないものとします。

第 4 条（ 責任 ）

弊社は、本ソフトウェアをお客様に現状有姿の状態で使用許諾します。弊社または弊社への供給者は、本ソフトウェアがお客様の特定の使用目的のために適切または有用であること、本ソフトウェアの実行が中断されないことおよびその実行に誤りがないことを保証しません。弊社または弊社への供給者は、法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示または黙示の保証責任および本ソフトウェアに起因するお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害、データ等に対する損害および第三者からなされた損害賠償請求に基づく賠償責任等、一切の責任を負いません。

第 5 条（ 輸出規制 ）

本ソフトウェアを外国へ輸出する場合、お客様は、日本政府の輸出許可 (さらに他国へ再輸出する場合は、当該国の再輸出許可) およびアメリカ合衆国の再輸出許可等の必要な手続、ならびに適用となる国または地域の法令を遵守するものとします。

第 6 条（ 使用権の消滅 ）

1 お客様が本許諾条項に違反した場合、本ソフトウェアの使用権は自動的に消滅します。

2　お客様の本ソフトウェアの使用権が消滅した場合、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物を必ず抹消または破壊するものとします。

第７条（一般条項）

1　アドビは、本許諾条項によってその権利および知的財産が保護されるべき本ソフトウェアの原権利者であり、本許諾条項にもとづく弊社の権利と同一の権利を独自に行使できるものとします。

2　本許諾条項は、日本国法を準拠法とします。

3　本許諾条項の一部が無効もしくは執行不能とされた場合といえども、本許諾条項のその他の部分の有効性には何ら影響を及ぼさず、当該その他の部分は規定のとおり有効かつ執行可能なまま存続するものとします。

以上

Adobe および PostScript は米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

13 操作メニュー一覧

13.1 操作パネルの基本的な使い方

• メニューの上下を切り替える	▲または▼ボタン
• メニューを選択する / 右に進む	▶またはOKボタン
• 選択を取り消す / 左に戻る	◀または〈戻る〉ボタン
• 値を確定する	OKボタン
• メニューを終了する	〈仕様設定〉ボタン
• プリントメニューを始める	〈プリントメニュー〉
• iの詳しい表示を見る	i〈インフォメーション〉ボタン
• 値を変更する（増減）	▲または▼ボタン
• 桁やフィールドを移動する	▶または◀ボタン
• 初期値を表示する（数値などの項目）	▲と▼ボタンを同時に押す

13.2 仕様設定メニュー

[プリントできます]	
┃	〈仕様設定〉ボタンを押す
┣━┓	
┃ [暗証番号を入力 [OK]]	
┣━┛	
┃	
┣[レポート / リスト]	参照：「[レポート / リスト]」(P.195)
┣[メーター確認]	参照：「[メーター確認]」(P.197)
┣[機械管理者メニュー]	参照：「[機械管理者メニュー]」(P.197)
┣[プリント言語の設定]	参照：「[プリント言語の設定]」(P.248)
┗[言語切り替え]	参照：「[言語切り替え]」(P.251)

[レポート / リスト]

[レポート / リスト]

┃

├─┐	
│　[IC カードで認証してください] *1	IC カード読み取り装置（オプション）装着時
├─┘	
│	
├[機能設定リスト]	
├[ジョブ履歴レポート]	
├[エラー履歴レポート]	
├[集計レポート]	
├[フォントリスト]	
├[PCL フォントリスト]	
├[PS フォントリスト] *1	Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）有効時
├[ユーザー定義リスト]	
├[プリント言語]	
│ ├[ART EX フォームリスト]	
│ ├[PS 登録リスト] *1	Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）有効時
│ ├[201H 設定リスト]	
│ ├[201H 登録リスト]	
│ ├[ESC/P 設定リスト]	
│ ├[ESC/P 登録リスト]	
│ ├[HP-GL/2 設定リスト]	
│ ├[HP-GL/2 登録リスト]	
│ ├[TIFF/JPEG 設定リスト]	
│ ├[TIFF/JPEG 登録リスト]	
│ ├[PDF 設定リスト]	
│ ├[PCL 設定リスト]	
│ ├[PCL マクロリスト]	
│ └[DocuWorks 設定リスト]	
├[蓄積文書リスト]	
├[ドメイン制限リスト] *1	ストレージ（オプション）装着時

├ [製品回収シート]

├ [機能別カウンターレポート]

├ [隠し印刷サンプル] *1	ストレージ（オプション）装着時、およびセキュリティ拡張キット（オプション）有効時
├ [ペーパーセキュリティーサンプル] *1	ストレージ（オプション）装着時、およびセキュリティ拡張キット（オプション）有効時

├ [バーコードサンプル]

│ ├ [A3 バーコードモード ON]

│ ├ [A3 バーコードモード OFF]

│ ├ [A4 バーコードモード ON]

│ └ [A4 バーコードモード OFF]

└ [ネットワークプロトコルレポート]

*1 :オプション構成によって表示される項目

[メーター確認]

[メーター確認]

├ [現在のカウント]

│ └ [メーター 1]

└ [締め時カウント]

├ [締め時メーター 1]

└ [締め時メーター 2]

[機械管理者メニュー]

[機械管理者メニュー]

├ [ネットワーク / ポート設定]	参照：「[ネットワーク / ポート設定]」(P.198)
├ [システム設定]	参照：「[システム設定]」(P.214)
├ [プリント設定]	参照：「[プリント設定]」(P.224)
├ [メモリー設定]	参照：「[メモリー設定]」(P.241)
├ [画質補正]	参照：「[画質補正]」(P.242)
├ [初期化 / データ削除]	参照：「[初期化 / データ削除]」(P.247)
├ [エンジンクリーニング]	参照：「[エンジンクリーニング]」(P.248)

└[トナーリフレッシュ]　参照：「[トナーリフレッシュ]」(P.248)

[ネットワーク / ポート設定]

[ネットワーク / ポート設定]

├[TCP/IP 設定]

│ ├[IP 動作モード]

│ │ ├[デュアルスタック]　＜初期値＞

│ │ ├[IPv4]

│ │ └[IPv6]

│ ├[Ethernet]

│ │ ├[IP アドレス取得方法]

│ │ │ ├[手動]

│ │ │ ├[DHCP]

│ │ │ ├[BOOTP]

│ │ │ └[DHCP/AutoIP]　＜初期値＞

│ │ ├[IP アドレス (IPv4)]

│ │ │ └[000.000.000.000]

│ │ ├[サブネットマスク]

│ │ │ └[000.000.000.000]

│ │ └[ゲートウェイアドレス]

│ │　　└[000.000.000.000]

│ ├[Ethernet1] *1　セカンダリーイーサネットキット（オプション）装着時

│ │ ├[IP アドレス取得方法 -1] *1

│ │ │ ├[手動] *1

│ │ │ ├[DHCP] *1

│ │ │ ├[BOOTP] *1

│ │ │ └[DHCP/AutoIP] *1　＜初期値＞

│ │ ├[IP アドレス (IPv4)-1] *1

│ │ │ └[000.000.000.000] *1

│ │ ├[サブネットマスク -1] *1

│ │ │ └[000.000.000.000] *1

│ │ └[ゲートウェイアドレス -1] *1

┃ ┃	└[000.000.000.000] *1	
┃ ├[Ethernet2] *1		セカンダリーイーサネットキット（オプション）装着時
┃ ┃ ├[IP アドレス取得方法 -2] *1		
┃ ┃ ┃ ├[手動] *1		
┃ ┃ ┃ ├[DHCP] *1		
┃ ┃ ┃ ├[BOOTP] *1		
┃ ┃ ┃ └[DHCP/AutoIP] *1		＜初期値＞
┃ ┃ ├[IP アドレス (IPv4)-2] *1		
┃ ┃ ┃ └[000.000.000.000] *1		
┃ ┃ ├[サブネットマスク -2] *1		
┃ ┃ ┃ └[000.000.000.000] *1		
┃ ┃ └[ゲートウェイアドレス -2] *1		
┃ ┃ └[000.000.000.000] *1		
┃ ├[Wi-Fi] *1		無線キット（オプション）装着時
┃ ┃ ├[IP アドレス取得方法] *1		
┃ ┃ ┃ ├[手動] *1		
┃ ┃ ┃ ├[DHCP] *1		
┃ ┃ ┃ ├[BOOTP] *1		
┃ ┃ ┃ └[DHCP/AutoIP] *1		＜初期値＞
┃ ┃ ├[IP アドレス (IPv4)] *1		
┃ ┃ ┃ └[000.000.000.000] *1		
┃ ┃ ├[サブネットマスク] *1		
┃ ┃ ┃ └[000.000.000.000] *1		
┃ ┃ └[ゲートウェイアドレス] *1		
┃ ┃ └[000.000.000.000] *1		
┃ ├[Wi-Fi Direct] *1		無線キット（オプション）装着時
┃ ┃ ├[IP アドレス (IPv4)] *1		
┃ ┃ ┃ └[000.000.000.000] *1		
┃ ┃ ├[サブネットマスク] *1		
┃ ┃ ┃ └[000.000.000.000] *1		
┃ ┃ └[ゲートウェイアドレス] *1		
┃ ┃ └[000.000.000.000] *1		

┃ └[Ping 接続確認 -IPv4]	
┃ └[Ethernet]	
┃ ┃ └[000.000.000.000]	
┃ ┃ └[[OK] ボタンで開始]	
┃ ├[Ethernet1] *1	セカンダリーイーサネットキット（オプション）装着時
┃ ┃ └[000.000.000.000] *1	
┃ ┃ └[[OK] ボタンで開始] *1	
┃ ├[Ethernet2] *1	セカンダリーイーサネットキット（オプション）装着時
┃ ┃ └[000.000.000.000] *1	
┃ ┃ └[[OK] ボタンで開始] *1	
┃ └[Wi-Fi] *1	無線キット（オプション）装着時
┃ └[000.000.000.000] *1	
┃ └[[OK] ボタンで開始] *1	
├[Wi-Fi 有効 / 無効] *1	無線キット（オプション）装着時
┃ ├[無効] *1	＜初期値＞
┃ └[有効] *1	
├[Wi-Fi 設定] *1	無線キット（オプション）装着時
┃ ├[Wi-Fi 接続状態] *1	
┃ ┃ ├[強い] *1	
┃ ┃ ├[良好] *1	
┃ ┃ ├[弱い] *1	
┃ ┃ └[未接続] *1	
┃ ├[リンクチャネル] *1	
┃ ┃ └[1ch] *1	
┃ ├[帯域] *1	
┃ ┃ ├[自動] *1	
┃ ┃ ├[2.4GHz] *1	
┃ ┃ ├[5GHz] *1	
┃ ┃ └[停止] *1	＜初期値＞
┃ ├[アクセスポイント検索] *1	
┃ ┃ └[アクセスポイント一覧] *1	
┃ ┃ ├[WEP キーエントリー] *1	

┃ ┃ 　 ┃ ┣ [WEP キー 1] *1	
┃ ┃ 　 ┃ ┃ ┗ [ ] *1	10 文字または 26 文字の 16 進数
┃ ┃ 　 ┃ ┣ [WEP キー 2] *1	
┃ ┃ 　 ┃ ┃ ┗ [ ] *1	10 文字または 26 文字の 16 進数
┃ ┃ 　 ┃ ┣ [WEP キー 3] *1	
┃ ┃ 　 ┃ ┃ ┗ [ ] *1	10 文字または 26 文字の 16 進数
┃ ┃ 　 ┃ ┗ [WEP キー 4] *1	
┃ ┃ 　 ┃ 　 ┗ [ ] *1	10 文字または 26 文字の 16 進数
┃ ┃ 　 ┣ [パスフレーズ入力] *1	
┃ ┃ 　 ┃ ┣ [ASCII で入力] *1	
┃ ┃ 　 ┃ ┃ ┗ [パスフレーズ (ASCII)[ ]] *1	8 ～ 63 文字（WPA3 Personal の場合は 8 ～ 128 文字）の半角英数字
┃ ┃ 　 ┃ ┗ [HEX で入力] *1	
┃ ┃ 　 ┃ 　 ┗ [パスフレーズ (HEX)[ ]] *1	64 文字の 16 進数
┃ ┃ 　 ┗ [EAP 認証方式] *1	
┃ ┃ 　 　 ┣ [PEAPv0 MS-CHAPv2] *1	
┃ ┃ 　 　 ┃ ┗ [EAP-Identity] *1	1 ～ 64 文字の半角英数字
┃ ┃ 　 　 ┃ 　 ┗ [User Name] *1	1 ～ 32 文字の半角英数字
┃ ┃ 　 　 ┃ 　 　 ┗ [Password] *1	1 ～ 32 文字の半角英数字
┃ ┃ 　 　 ┣ [EAP-TLS] *1	
┃ ┃ 　 　 ┣ [EAP-TTLS/PAP] *1	
┃ ┃ 　 　 ┣ [EAP-TTLS/CHAP] *1	
┃ ┃ 　 　 ┗ [EAP-TTLS/MS-CHAP2] *1	
┃ ┣ [SSID 直接入力] *1	
┃ ┃ ┗ [ ] *1	1 ～ 32 文字の半角英数字記号
┃ ┃ 　 ┗ [セキュリティ] *1	
┃ ┃ 　 　 ┣ [設定しない] *1	
┃ ┃ 　 　 ┣ [WEP] *1	
┃ ┃ 　 　 ┣ [WPA2 Personal] *1	
┃ ┃ 　 　 ┣ [WPA/WPA2 Personal] *1	
┃ ┃ 　 　 ┣ [WPA2 Enterprise] *1	
┃ ┃ 　 　 ┣ [WPA/WPA2 Enterp] *1	
┃ ┃ 　 　 ┣ [WPA3 Personal] *1	

```
│ │        ├[WPA2/WPA3Personal] *1
│ │        ├[WPA3 Enterprise] *1
│ │        └[WPA2/WPA3 Enterp] *1
│ ├[WPS セットアップ] *1
│ │ ├[PBC 開始] *1
│ │ │ └[[OK] キーで接続] *1
│ │ └[PINCode] *1
│ │    └[[OK] キーで接続] *1
│ └[設定解除] *1
│    ├[接続一時解除] *1
│    │ └[[OK] キーで接続一時解除] *1
│    └[ネットワーク設定を消去] *1
│       └[[OK] キーで消去] *1
├[Wi-Fi Direct] *1                          無線キット（オプション）装着時
│ ├[ポートの起動] *1
│ │ ├[起動] *1
│ │ └[停止] *1                              ＜初期値＞
│ ├[接続数] *1
│ │ └[0] *1
│ ├[グループロール] *1
│ │ ├[自動] *1
│ │ └[グループオーナー] *1                   ＜初期値＞
│ ├[デバイス名] *1
│ │ └[ ] *1                                 1 ～ 32 文字の半角英数字記号
│ ├[SSID] *1
│ │ └[[DIRECT-** ]] *1                      1 ～ 23 文字の半角英数字
│ ├[パスコード入力] *1
│ │ └[ASCII で入力] *1
│ │    └[ ] *1                              8 ～ 63 文字の英数字
│ └[接続メニュー] *1
│    ├[携帯端末から接続操作を実行してください] *1
│    ├[接続許可しますか？] *1
```

┃ ┃ ├[はい] *1	
┃ ┃ └[いいえ] *1	
┃ └[PINCode] *1	
┃ └[[OK] キーで接続] *1	
├[LPD]	
┃ ├[ポートの起動]	
┃ ┃ ├[停止]	
┃ ┃ └[起動]	＜初期値＞
┃ ├[プリントモード指定]	
┃ ┃ ├[自動]	＜初期値＞
┃ ┃ ├[ART EX]	
┃ ┃ ├[PS] *1	Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）有効時
┃ ┃ ├[ART IV]	
┃ ┃ ├[201H]	
┃ ┃ ├[ESC/P]	
┃ ┃ ├[HP-GL/2]	
┃ ┃ ├[PCL]	
┃ ┃ ├[TIFF]	
┃ ┃ └[HexDump]	
┃ ├[PJL]	
┃ ┃ ├[無効]	
┃ ┃ └[有効]	＜初期値＞
┃ ├[コネクションタイムアウト]	
┃ ┃ └[16 秒]	2 ～ 3600 秒（1 秒単位）＜初期値：16＞
┃ ├[TBCP フィルター] *1	Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）有効時
┃ ┃ ├[無効] *1	＜初期値＞
┃ ┃ └[有効] *1	
┃ ├[ポート番号]	
┃ ┃ └[515]	1 ～ 65535＜初期値：515＞

┃ ┣[セッション数]	
┃ ┃ ┗[5]	1 ～ 10< 初期値：5>
┃ ┗[プリント順序] *1	ストレージ（オプション）装着時
┃ ┣[受け付けと同時] *1	＜初期値（ストレージ（オプション）装着時）＞
┃ ┣[データ処理順] *1	＜初期値（ストレージ（オプション）が取り付けられていないとき）＞
┃ ┗[プリント受け付け順] *1	
┣[IPP]	
┃ ┣[ポートの起動]	
┃ ┃ ┣[停止]	
┃ ┃ ┗[起動]	＜初期値＞
┃ ┣[プリントモード指定]	
┃ ┃ ┣[自動]	＜初期値＞
┃ ┃ ┣[ART EX]	
┃ ┃ ┣[PS] *1	Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）有効時
┃ ┃ ┣[ART IV]	
┃ ┃ ┣[201H]	
┃ ┃ ┣[ESC/P]	
┃ ┃ ┣[HP-GL/2]	
┃ ┃ ┣[PCL]	
┃ ┃ ┣[TIFF]	
┃ ┃ ┗[HexDump]	
┃ ┣[PJL]	
┃ ┃ ┣[無効]	
┃ ┃ ┗[有効]	＜初期値＞
┃ ┣[アクセス権制御]	
┃ ┃ ┣[無効]	＜初期値＞
┃ ┃ ┗[有効]	
┃ ┣[追加ポート番号]	
┃ ┃ ┗[80]	1 ～ 65535< 初期値：80>
┃ ┣[タイムアウト]	

┃ ┃ ┗[60 秒]		0 ～ 65535 秒（1 秒単位）＜初期値：60＞
┃ ┗[TBCP フィルター] *1		Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）有効時
┃ ┣[無効] *1		＜初期値＞
┃ ┗[有効] *1		
┣[Bonjour]		
┃ ┗[ポートの起動]		
┃ ┣[停止]		
┃ ┗[起動]		＜初期値＞
┣[USB]		
┃ ┣[ポートの起動]		
┃ ┃ ┣[停止]		
┃ ┃ ┗[起動]		＜初期値＞
┃ ┣[プリントモード指定]		
┃ ┃ ┣[自動]		＜初期値＞
┃ ┃ ┣[ART EX]		
┃ ┃ ┣[PS] *1		Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）有効時
┃ ┃ ┣[ART IV]		
┃ ┃ ┣[201H]		
┃ ┃ ┣[ESC/P]		
┃ ┃ ┣[HP-GL/2]		
┃ ┃ ┣[PCL]		
┃ ┃ ┣[TIFF]		
┃ ┃ ┗[HexDump]		
┃ ┣[PJL]		
┃ ┃ ┣[無効]		
┃ ┃ ┗[有効]		＜初期値＞
┃ ┣[自動排出時間]		
┃ ┃ ┗[30 秒]		5 ～ 1275 秒（5 秒単位）＜初期値：30 秒＞

┃ ┣[Adobe 通信プロトコル] *1	Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）有効時
┃ ┃ ┣[標準] *1	＜初期値＞
┃ ┃ ┣[バイナリー] *1	
┃ ┃ ┣[TBCP] *1	
┃ ┃ ┗[RAW] *1	
┃ ┣[PS 印刷待ちタイムアウト] *1	Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）有効時
┃ ┃ ┣[無効] *1	＜初期値＞
┃ ┃ ┗[有効] *1	
┃ ┣[ポートの固定]	
┃ ┃ ┣[無効]	＜初期値＞
┃ ┃ ┗[有効]	
┣[Port9100]	
┃ ┣[ポートの起動]	
┃ ┃ ┣[停止]	
┃ ┃ ┗[起動]	＜初期値＞
┃ ┣[プリントモード指定]	
┃ ┃ ┣[自動]	＜初期値＞
┃ ┃ ┣[ART EX]	
┃ ┃ ┣[PS] *1	Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）有効時
┃ ┃ ┣[ART IV]	
┃ ┃ ┣[201H]	
┃ ┃ ┣[ESC/P]	
┃ ┃ ┣[HP-GL/2]	
┃ ┃ ┣[PCL]	
┃ ┃ ┣[TIFF]	
┃ ┃ ┗[HexDump]	
┃ ┣[PJL]	
┃ ┃ ┣[無効]	

│ │ └[有効]	＜初期値＞
│ ├[コネクションタイムアウト]	
│ │ └[60 秒]	2 ～ 65535 秒（1 秒単位）＜初期値：60＞
│ ├[ポート番号]	
│ │ └[9100]	1 ～ 65535＜初期値：9100＞
│ └[TBCP フィルター] *1	Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）有効時
│ ├[無効] *1	＜初期値＞
│ └[有効] *1	
├[UPnP]	
│ ├[ポートの起動]	
│ │ ├[停止]	＜初期値＞
│ │ └[起動]	
│ └[ポート番号]	
│ └[80]	1 ～ 65535＜初期値：80＞
├[WSD]	
│ ├[ポートの起動]	
│ │ ├[停止]	
│ │ └[起動]	＜初期値＞
│ └[ポート番号]	
│ └[80]	1 ～ 65535＜初期値：80＞
├[SOAP]	
│ ├[ポートの起動]	
│ │ ├[停止]	
│ │ └[起動]	＜初期値＞
│ └[ポート番号]	
│ └[80]	1 ～ 65535＜初期値：80＞
├[ThinPrint] *1	ストレージ（オプション）装着時
│ ├[ポートの起動] *1	
│ │ ├[停止] *1	＜初期値＞
│ │ └[起動] *1	

┃ ├[ポート番号] *1	
┃ ┃ └[4000] *1	1 ～ 65535＜初期値：4000＞
┃ └[SSL/TLS 通信] *1	
┃ ├[無効] *1	＜初期値＞
┃ └[有効] *1	
├[SNMP 設定]	
┃ └[ポートの起動]	
┃ ├[停止]	
┃ └[起動]	＜初期値＞
├[DNS サーバー]	
┃ ├[DNS サーバー設定]	
┃ ┃ ├[DHCP からアドレス取得]	
┃ ┃ ┃ ├[しない]	
┃ ┃ ┃ └[する]	＜初期値＞
┃ ┃ └[DNS サーバー IP アドレス]	
┃ ┃ └[xxx.xxx.xxx.xxx]	
┃ ├[DNS サーバー設定 -1] *1	セカンダリーイーサネットキット（オプション）装着時
┃ ┃ ├[DHCP からアドレス取得] *1	
┃ ┃ ┃ ├[しない] *1	
┃ ┃ ┃ └[する] *1	＜初期値＞
┃ ┃ └[DNS サーバー IP アドレス -1] *1	
┃ ┃ └[xxx.xxx.xxx.xxx] *1	
┃ ├[DNS サーバー設定 -2] *1	セカンダリーイーサネットキット（オプション）装着時
┃ ┃ ├[DHCP からアドレス取得] *1	
┃ ┃ ┃ ├[しない] *1	
┃ ┃ ┃ └[する] *1	＜初期値＞
┃ ┃ └[DNS サーバー IP アドレス -2] *1	
┃ ┃ └[xxx.xxx.xxx.xxx] *1	
┃ └[DNS サーバー設定 Wi-Fi] *1	無線キット（オプション）装着時
┃ ├[DHCP からアドレス取得] *1	
┃ ┃ ├[しない] *1	
┃ ┃ └[する] *1	＜初期値＞

┃　└[DNS サーバー IP アドレス] *1	
┃　　└[xxx.xxx.xxx.xxx] *1	
├[インターネットサービス]	
┃ ├[ポートの起動]	
┃ ┃ ├[停止]	
┃ ┃ └[起動]	＜初期値＞
┃ └[ポート番号]	
┃　└[80]	1 ～ 65535＜初期値：80＞
├[EP プロキシサーバー設定]	
┃ ├[サーバー指定方法]	
┃ ┃ ├[すべて同じ設定]	＜初期値＞
┃ ┃ └[プロトコルごとに設定]	
┃ ├[HTTPS サーバー名]	
┃ ┃ └[ ]	255 文字以内
┃ ├[HTTPS ポート番号]	
┃ ┃ └[8080]	1 ～ 65535＜初期値：8080＞
┃ ├[HTTPS 認証]	
┃ ┃ ├[無効]	＜初期値＞
┃ ┃ └[有効]	
┃ ├[HTTPS ログイン名]	
┃ ┃ └[ ]	31 文字以内
┃ ├[HTTPS パスワード]	
┃ ┃ └[0]	31 文字
┃ ├[HTTP サーバー名]	
┃ ┃ └[ ]	255 文字以内
┃ ├[HTTP ポート番号]	
┃ ┃ └[8080]	1 ～ 65535＜初期値：8080＞
┃ ├[HTTP 認証]	
┃ ┃ ├[無効]	＜初期値＞
┃ ┃ └[有効]	
┃ ├[HTTP ログイン名]	
┃ ┃ └[ ]	31 文字以内

┃ ┗[HTTP パスワード]	
┃ ┗[0]	31 文字
┣[Ethernet]	
┃ ┣[Ethernet 設定]	
┃ ┃ ┣[自動]	＜初期値＞
┃ ┃ ┣[自動 (100Mbps 上限)]	
┃ ┃ ┣[100M(全二重)]	
┃ ┃ ┣[100M(半二重)]	
┃ ┃ ┣[10M(全二重)]	
┃ ┃ ┣[10M(半二重)]	
┃ ┃ ┗[1000 Mbps]	
┃ ┣[Ethernet 設定 -1] *1	セカンダリーイーサネットキット（オプション）装着時
┃ ┃ ┣[自動] *1	＜初期値＞
┃ ┃ ┣[自動 (100Mbps 上限)] *1	
┃ ┃ ┣[100M(全二重)] *1	
┃ ┃ ┣[100M(半二重)] *1	
┃ ┃ ┣[10M(全二重)] *1	
┃ ┃ ┣[10M(半二重)] *1	
┃ ┃ ┗[1000 Mbps] *1	
┃ ┗[Ethernet 設定 -2] *1	セカンダリーイーサネットキット（オプション）装着時
┃ ┣[自動] *1	＜初期値＞
┃ ┣[100M(全二重)] *1	
┃ ┣[100M(半二重)] *1	
┃ ┣[10M(全二重)] *1	
┃ ┣[10M(半二重)] *1	
┃ ┗[1000 Mbps] *1	
┣[受付制限設定]	
┃ ┣[受付制限 (IPv4)]	
┃ ┃ ┣[受付 IP アドレス制限]	
┃ ┃ ┃ ┣[しない]	＜初期値＞
┃ ┃ ┃ ┗[する]	

│ │ └[受付 IP アドレス設定]	10 個まで（インターネットサービスでは 25 個まで設定可）
│ │ ├[No.1]	No.1 ～ No.10
│ │ ├[IP アドレス]	
│ │ │ └[000.000.000.000]	
│ │ └[フィルターアドレス]	
│ │ └[000.000.000.000]	
│ ├[受付制限 (IPv4)-1] *1	セカンダリーイーサネットキット（オプション）装着時
│ │ ├[受付 IP アドレス制限 -1] *1	
│ │ │ ├[しない] *1	＜初期値＞
│ │ │ └[する] *1	
│ │ └[受付 IP アドレス設定 -1] *1	10 個まで（インターネットサービスでは 25 個まで設定可）
│ │ ├[No.1] *1	No.1 ～ No.10
│ │ ├[IP アドレス -1] *1	
│ │ │ └[000.000.000.000] *1	
│ │ └[フィルターアドレス -1] *1	
│ │ └[000.000.000.000] *1	
│ ├[受付制限 (IPv4)-2] *1	セカンダリーイーサネットキット（オプション）装着時
│ │ ├[受付 IP アドレス制限 -2] *1	
│ │ │ ├[しない] *1	＜初期値＞
│ │ │ └[する] *1	
│ │ └[受付 IP アドレス設定 -2] *1	10 個まで（インターネットサービスでは 25 個まで設定可）
│ │ ├[No.1] *1	No.1 ～ No.10
│ │ ├[IP アドレス -2] *1	
│ │ │ └[000.000.000.000] *1	
│ │ └[フィルターアドレス -2] *1	
│ │ └[000.000.000.000] *1	
│ ├[Wi-Fi(IPv4)] *1	無線キット（オプション）装着時
│ │ ├[受付 IP アドレス制限] *1	
│ │ │ ├[しない] *1	＜初期値＞
│ │ │ └[する] *1	

┃ ┃ ┗[受付 IP アドレス設定] *1		10 個まで（インターネットサービスでは 25 個まで設定可）
┃ ┃ ┣[No.1] *1		No.1 ～ No.10
┃ ┃ ┣[Wi-Fi IP アドレス] *1		
┃ ┃ ┃ ┗[000.000.000.000] *1		
┃ ┃ ┗[Wi-Fi フィルターアドレス] *1		
┃ ┃ ┗[000.000.000.000] *1		
┣[SNTP 設定]		
┃ ┣[NTP サーバーとの同期]		
┃ ┃ ┣[しない]		＜初期値＞
┃ ┃ ┗[する]		
┃ ┣[接続間隔]		
┃ ┃ ┗[24 時間]		1 ～ 500 時間（1 時間単位）＜初期値：24>
┃ ┗[NTP サーバー IP アドレス]		
┃ ┗[000.000.000.000]		
┣[HTTP-SSL/TLS 通信]		
┃ ┣[HTTPS/HTTP の設定]		
┃ ┃ ┣[HTTPS/HTTP 使用可]		＜初期値＞
┃ ┃ ┗[HTTPS のみ使用可]		
┃ ┗[ポート番号]		
┃ ┗[443]		1 ～ 65535＜初期値：443>
┣[IPsec 通信]		
┃ ┣[無効]		＜初期値＞
┃ ┗[有効]		
┣[IEEE 802.1x]		
┃ ┣[IEEE 802.1x 設定]		
┃ ┃ ┣[802.1x 認証の使用]		
┃ ┃ ┃ ┣[使用する]		
┃ ┃ ┃ ┗[使用しない]		＜初期値＞
┃ ┃ ┣[認証方式]		
┃ ┃ ┃ ┣[EAP-TTLS/PAP]		＜初期値＞
┃ ┃ ┃ ┣[EAP-TTLS/CHAP]		
┃ ┃ ┃ ┣[EAP-TTLS/MS-CHAPv2]		

| | | | ├[PEAP/MS-CHAPv2]
| | | | └[EAP-TLS]
| | | └[サーバー証明書の検証]
| | | ├[しない] ＜初期値＞
| | | └[する]
| ├[IEEE 802.1x 設定 -1] *1 セカンダリーイーサネットキット（オプション）装着時
| | ├[802.1x 認証の使用 -1] *1
| | | ├[使用しない] *1 ＜初期値＞
| | | └[使用する] *1
| | ├[認証方式 -1] *1
| | | ├[EAP-TTLS/PAP] *1 ＜初期値＞
| | | ├[EAP-TTLS/CHAP] *1
| | | ├[EAP-TTLS/MS-CHAPv2] *1
| | | ├[PEAP/MS-CHAPv2] *1
| | | └[EAP-TLS] *1
| | └[サーバー証明書検証 -1] *1
| | ├[しない] *1 ＜初期値＞
| | └[する] *1
| └[IEEE 802.1x 設定 -2] *1 セカンダリーイーサネットキット（オプション）装着時
| ├[802.1x 認証の使用 -2] *1
| | ├[使用しない] *1 ＜初期値＞
| | └[使用する] *1
| ├[認証方式 -2] *1
| | ├[EAP-TTLS/PAP] *1 ＜初期値＞
| | ├[EAP-TTLS/CHAP] *1
| | ├[EAP-TTLS/MS-CHAPv2] *1
| | ├[PEAP/MS-CHAPv2] *1
| | └[EAP-TLS] *1
| └[サーバー証明書検証 -2] *1
| ├[しない] *1 ＜初期値＞
| └[する] *1
└[プライマリネット選択] *1 無線キット（オプション）装着時

├ [Ethernet] *1　　＜初期値＞

└ [Wi-Fi] *1

*1 :オプション構成によって表示される項目

[システム設定]

[システム設定]

├ [音の設定]

│ ├ [正常終了音]

│ │ └ [1]　　0（消音）～ 5（最大）＜初期値：1＞

│ ├ [異常終了音]

│ │ └ [1]　　0（消音）～ 5（最大）＜初期値：1＞

│ ├ [自動リセット通知音]

│ │ └ [1]　　0（消音）～ 5（最大）＜初期値：1＞

│ ├ [異常警告音]

│ │ └ [1]　　0（消音）～ 5（最大）＜初期値：1＞

│ ├ [用紙切れ警告音]

│ │ └ [1]　　0（消音）～ 5（最大）＜初期値：1＞

│ ├ [トナー残量警告音]

│ │ └ [1]　　0（消音）～ 5（最大）＜初期値：1＞

│ ├ [エラー解除通知音]

│ │ └ [1]　　0（消音）～ 5（最大）＜初期値：1＞

│ ├ [ログイン音]

│ │ └ [1]　　0（消音）～ 5（最大）＜初期値：1＞

│ ├ [起動 / 終了音]

│ │ └ [1]　　0（消音）～ 5（最大）＜初期値：1＞

│ ├ [モバイル端末の接続音]

│ │ └ [1]　　0（消音）～ 5（最大）＜初期値：1＞

│ └ [警告音の繰り返し]

│　　├ [する]

│　　└ [しない]　　＜初期値＞

├ [操作パネル設定]

│ ├ [操作パネル制限]

│ │ ├ [しない]

┃ ┃ ┗[する]		＜初期値＞
┃ ┣[暗証番号設定]		12 文字以内
┃ ┃ ┗[0]		
┃ ┃ ┗[もう一度入力]		
┃ ┃ ┗[0]		
┃ ┣[認証エラーアクセス拒否]		
┃ ┃ ┣[しない]		
┃ ┃ ┗[する]		＜初期値＞
┃ ┗[認証回数]		
┃ ┗[5 回]		1 ～ 10 回＜初期値：5>
┣[自動リセット]		
┃ ┣[しない]		
┃ ┗[60 分後]		1 ～ 60 分後（1 分単位）＜初期値：60>
┣[暖機運転モード]		
┃ ┣[有効]		
┃ ┗[無効]		＜初期値＞
┣[節電移行時間短縮]		
┃ ┣[有効]		＜初期値＞
┃ ┗[無効]		
┣[低電力移行時間]		
┃ ┗[1 分後]		1 ～ 60 分後（1 分単位）＜初期値：1>
┣[スリープモード移行時間]		
┃ ┗[1 分後]		1 ～ 60 分後（1 分単位）＜初期値：1>
┣[電源自動オフ設定]		
┃ ┣[自動オフ]		
┃ ┃ ┣[する]		
┃ ┃ ┗[しない]		＜初期値＞
┃ ┗[自動オフ時刻]		
┃ ┗[0:00]		時間：0 ～ 23（1 時間単位）、分：00 ～ 59（1 分単位）＜初期値（24 時間制）：0:00>
┃ ┗[12:00 AM]		時間：1 ～ 12（1 時間単位）AM/PM、分：00 ～ 59（1 分単位）＜初期値（12 時間制）：12：00 AM>

├[自動ジョブ履歴]
│ ├[プリントしない] ＜初期値＞
│ └[プリントする]
├[ジョブの表示設定]
│ ├[実行中 / 待ちジョブ]
│ │ ├[情報を制限しない] ＜初期値＞
│ │ └[情報を制限する]
│ └[完了ジョブ]
│ ├[ジョブの表示]
│ │ ├[表示しない]
│ │ ├[認証中は表示する]
│ │ └[常に表示する] ＜初期値＞
│ ├[認証中の表示対象]
│ │ ├[すべて] ＜初期値＞
│ │ └[認証ユーザーのジョブ]
│ └[表示情報の制限]
│ ├[制限しない] ＜初期値＞
│ └[制限する]
├[レポート両面プリント]
│ ├[片面]
│ └[両面] ＜初期値＞
├[プリント可能領域]
│ ├[標準] ＜初期値＞
│ └[拡張]
├[バナーシート設定]
│ ├[バナーシート出力]
│ │ ├[出力しない] ＜初期値＞
│ │ ├[スタートシート]
│ │ ├[エンドシート]
│ │ └[スタート + エンドシート]
│ ├[バナーシートトレイ]
│ │ ├[トレイ 1] ＜初期値＞

┃ ┃ ┣[トレイ 2] *1	トレイモジュール（オプション）装着時
┃ ┃ ┣[トレイ 3] *1	トレイモジュール（オプション）装着時
┃ ┃ ┗[トレイ 4] *1	トレイモジュール（オプション）装着時
┃ ┗[ドライバーの設定]	
┃ ┣[有効]	＜初期値＞
┃ ┗[無効]	
┣[セキュリティープリント操作]	
┃ ┣[無効]	
┃ ┗[有効]	＜初期値＞
┣[選択文書のプリント順]	
┃ ┣[日時の古い順]	＜初期値＞
┃ ┗[日時の新しい順]	
┣[システム時計]	
┃ ┣[日付]	
┃ ┃ ┗[日付 (yyyy/mm/dd)]	yyyy：年、2000 ～ 2034（1 年単位）
┃ ┃ ┗[日付 (mm/dd/yyyy)]	mm：月、01 ～ 12（1 月単位）
┃ ┃ ┗[日付 (dd/mm/yyyy)]	dd：日、01 ～ 31（1 日単位）
┃ ┣[時刻]	
┃ ┃ ┗[時刻 (12 時間)]	時間：01 ～ 12（1 時間単位）、分：00 ～ 59（1 分単位）
┃ ┃ ┗[時刻 (24 時間)]	時間：00 ～ 23（1 時間単位）、分：00 ～ 59（1 分単位）
┃ ┣[日付表示切替]	
┃ ┃ ┣[yyyy/mm/dd]	＜初期値＞
┃ ┃ ┣[mm/dd/yyyy]	
┃ ┃ ┗[dd/mm/yyyy]	
┃ ┣[時刻表示切り替え]	
┃ ┃ ┣[12 時間制]	
┃ ┃ ┗[24 時間制]	＜初期値＞
┃ ┣[タイムゾーン]	
┃ ┃ ┗[GMT +09:00]	-12:00 ～ +12:00＜初期値：GMT +09:00＞
┃ ┗[サマータイム設定]	
┃ ┣[しない]	＜初期値＞

```
│    ├[日付で設定]
│    │ ├[サマータイム開始日（xx/xx)]
│    │ │ └[サマータイム開始日 ( 時刻 )]
│    │ └[サマータイム終了日（xx/xx)]
│    │    └[サマータイム終了日 ( 時刻 )]
│    └[月と週で設定]
│       ├[サマータイム開始日 ( 月)]
│       │ └[サマータイム開始日 ( 週)]
│       │    └[サマータイム開始日 ( 曜日)]
│       │       └[サマータイム開始日 ( 時刻 )]
│       └[サマータイム終了日 ( 月)]
│          └[サマータイム終了日 ( 週)]
│             └[サマータイム終了日 ( 曜日)]
│                └[サマータイム終了日 ( 時刻 )]
├[紙づまり時の処理]
│ ├[除去後にプリント再開]                    ＜初期値＞
│ └[プリント中止]
├[ドラム寿命動作]
│ ├[プリント停止する]                        ＜初期値＞
│ └[プリント停止しない]
├[ミリ / インチ切り替え]
│ ├[ミリ (mm)]                              ＜初期値＞
│ └[インチ (")]
├[データ暗号化] *1                          ストレージ（オプション）装着時
│ └[暗号化処理] *1
│    ├[する] *1
│    └[しない] *1                           ＜初期値＞
├[ストレージ上書き消去]                      データ上書き消去キット（オプション）
                                            装着時
│ ├[しない]
│ ├[1 回]                                   ＜初期値＞
│ └[3 回]
├[プリントジョブの追越]
```

┃ ┣[許可]	
┃ ┗[禁止]	＜初期値＞
┣[異常終了プリント処理]	
┃ ┣[自動的に再開]	＜初期値＞
┃ ┗[ユーザー操作で再開]	
┣[ソフトウェアダウンロード]	
┃ ┣[許可]	＜初期値＞
┃ ┗[禁止]	
┣[認証 / 集計の設定]	
┃ ┣[認証しない]	＜初期値＞
┃ ┣[本体認証 / 集計]	
┃ ┣[ネット認証 / 集計]	
┃ ┗[外部認証 / 集計] *1	外部認証キット L（オプション）装着時
┣[認証の設定]	
┃ ┣[認証情報設定]	
┃ ┃ ┣[認証失敗の記録]	
┃ ┃ ┃ ┣[しない]	
┃ ┃ ┃ ┗[する]	＜初期値＞
┃ ┃ ┃ ┗[失敗回数 10 回]	1 ～ 600 回＜初期値：10>
┃ ┃ ┣[外部認証情報保存] *1	ストレージ（オプション）、外部認証キット L（オプション）装着時
┃ ┃ ┃ ┣[しない] *1	＜初期値＞
┃ ┃ ┃ ┗[する] *1	
┃ ┃ ┣[外部認証情報削除] *1	ストレージ（オプション）、外部認証キット L（オプション）装着時
┃ ┃ ┃ ┗[[OK] で削除開始] *1	
┃ ┃ ┣[IC カードの使用] *1	
┃ ┃ ┃ ┣[しない] *1	＜初期値＞
┃ ┃ ┃ ┣[する] *1	
┃ ┃ ┃ ┗[する (PKI のみ)] *1	
┃ ┃ ┗[非接触型 IC カード] *1	
┃ ┃ ┣[離れても認証継続] *1	＜初期値＞
┃ ┃ ┗[離れたら認証解除] *1	
┃ ┗[認証プリントの設定]	

```
│   ├[受信時の PJL 命令]
│   │ ├[制御しない]                          ＜初期値＞
│   │ └[制御する]
│   ├[出力時の PJL 命令]
│   │ ├[制御しない]                          ＜初期値＞
│   │ └[制御する]
│   ├[受信制御]
│   │ ├[プリントの認証に従う]                ＜初期値＞
│   │ ├[プライベートプリント保存]
│   │ └[認証プリントに保存]
│   └[ジョブ認証時の処理] *1
│     ├[認証成功のジョブ] *1
│     │ ├[プリント] *1                       ＜初期値＞
│     │ └[プライベートプリント保存] *1
│     ├[認証が不正のジョブ] *1
│     │ ├[認証プリントに保存] *1
│     │ └[ジョブを中止] *1                   ＜初期値＞
│     ├[UserID なしのジョブ] *1
│     │ ├[プリント] *1
│     │ ├[認証プリントに保存] *1
│     │ └[ジョブを中止] *1                   ＜初期値＞
│     └[PJL なしのジョブ] *1
│       ├[UserID を利用しない] *1            ＜初期値＞
│       └[UserID があれば利用] *1
│         └[UserID 利用時の動作] *1
│           ├[プリント] *1
│           ├[認証プリントに保存] *1
│           ├[プライベートプリント保存] *1   ＜初期値＞
│           └[ジョブを中止] *1
├[保存文書設定]
│ ├[文書の保存期間]
│ │ ├[設定しない]                            ＜初期値＞
```

┃ ┃ ┣[日数と削除時刻]		
┃ ┃ ┗[時間]		
┃ ┣[保存期間 (日数)]		
┃ ┃ ┗[7 日]	1 ～ 14 日（1 日単位）＜ 初期値：7>	
┃ ┣[経過後の削除時刻]		
┃ ┃ ┗[3:00AM]	時間：1 ～ 12（1 時間単位）AM/PM、分：00 ～ 59（1 分単位）＜ 初期値：3:00AM>	
┃ ┃ ┗[3:00]	時間：0 ～ 23（1 時間単位）、分：00 ～ 59（1 分単位）＜ 初期値：3:00>	
┃ ┣[保存期間 (時間)]		
┃ ┃ ┗[4 時間 00 分]	時間：0 ～ 120（1 時間単位）、分：00 ～ 59（1 分単位） 0 時間 15 分～ 120 時間 00 分 ＜ 初期値：4 時間 00 分 ＞	
┃ ┣[電源切 / 入時に削除]		
┃ ┃ ┣[削除しない]	＜ 初期値 ＞	
┃ ┃ ┗[削除する]		
┣[ソフトウェア オプション]		
┃ ┗[有効化] *1	ソフトウェアオプション（オプション）USB 装着時	
┃ ┗[[OK] で有効化開始] *1		
┣[イメージログ管理設定] *1	ストレージ（オプション）装着時、およびセキュリティ拡張キット（オプション）有効時	
┃ ┣[イメージログ管理] *1		
┃ ┃ ┣[しない] *1	＜ 初期値 ＞	
┃ ┃ ┗[する] *1		
┃ ┣[イメージログ作成] *1		
┃ ┃ ┣[しない] *1		
┃ ┃ ┗[する] *1	＜ 初期値 ＞	
┃ ┣[ログの作成保証レベル] *1		
┃ ┃ ┣[低] *1	＜ 初期値 ＞	
┃ ┃ ┗[高] *1		
┃ ┗[イメージログ転送] *1		
┃ ┣[転送機能] *1		
┃ ┃ ┣[使用しない] *1	＜ 初期値 ＞	
┃ ┃ ┗[使用する] *1		

├[転送動作] *1	
│ ├[一時停止] *1	
│ ├[ジョブ単位で転送] *1	
│ └[まとめて転送] *1	＜初期値＞
├[転送タイミング] *1	
│ ├[ジョブ終了時] *1	
│ │ ├[無効] *1	
│ │ └[有効] *1	＜初期値＞
│ ├[電源投入時] *1	
│ │ ├[無効] *1	
│ │ └[有効] *1	＜初期値＞
│ ├[一定時間経過時] *1	
│ │ ├[無効] *1	
│ │ └[有効] *1	＜初期値＞
│ ├[一定ログ数保存時] *1	
│ │ ├[無効] *1	
│ │ └[有効] *1	＜初期値＞
│ └[時刻指定] *1	
│ ├[無効] *1	＜初期値＞
│ └[有効] *1	
│ └[12:00 AM] *1	時間：1 ～ 12（1 時間単位）AM/PM、分：00 ～ 59（1 分単位）＜初期値：12:00AM>
│ └[0:00] *1	時間：0 ～ 23（1 時間単位）、分：00 ～ 59（1 分単位）＜初期値：0:00>
└[転送保証レベル] *1	
├[低] *1	＜初期値＞
└[高] *1	
├[ソフトウェア手動更新]	
│ └[[OK] でダウンロード開始]	
├[ソフトウェア日時更新]	
│ ├[無効]	＜初期値＞
│ └[有効]	
│ └[日付]	

│　　└[時刻]	
├[WEP 設定]	
│ ├[EP 診断 / 修理依頼]	
│ │ ├[EP 診断]	
│ │ └[修理依頼]	
│ └[EP 通信確認]	
└[静音モード設定]	
├[無効]	＜初期値＞
├[常に有効]	
└[時刻指定で有効]	
├[時刻指定 1]	
│ ├[設定しない]	＜初期値＞
│ └[設定する]	
│　　├[開始時刻]	
│　　│ └[12:00 AM]	時間：1 ～ 12（1 時間単位）AM/PM、分：00 ～ 59（1 分単位）
│　　│ └[0:00]	時間：0 ～ 23（1 時間単位）、分：00 ～ 59（1 分単位）
│　　└[終了時刻]	
│　　　└[12:00 AM]	時間：1 ～ 12（1 時間単位）AM/PM、分：00 ～ 59（1 分単位）
│　　　└[0:00]	時間：0 ～ 23（1 時間単位）、分：00 ～ 59（1 分単位）
└[時刻指定 2]	
├[設定しない]	＜初期値＞
└[設定する]	
├[開始時刻]	
│ └[12:00 AM]	時間：1 ～ 12（1 時間単位）AM/PM、分：00 ～ 59（1 分単位）
│ └[0:00]	時間：0 ～ 23（1 時間単位）、分：00 ～ 59（1 分単位）
└[終了時刻]	
└[12:00 AM]	時間：1 ～ 12（1 時間単位）AM/PM、分：00 ～ 59（1 分単位）
└[0:00]	時間：0 ～ 23（1 時間単位）、分：00 ～ 59（1 分単位）

*1 :オプション構成によって表示される項目

[プリント設定]

[プリント設定]

├[用紙の置き換え]

│ ├[給紙モード]

│ │ ├[しない] ＜初期値＞

│ │ ├[大きいサイズを選択]

│ │ ├[近いサイズを選択]

│ │ ├[近いサイズ (等倍)]

│ │ ├[近いサイズ (ALL)]

│ │ ├[近いサイズ (等倍 /ALL)]

│ │ ├[AB/ インチ系置き換え]

│ │ └[手差しトレイを選択]

│ └[ページレイアウト]

│ ├[標準] ＜初期値＞

│ └[中央]

├[用紙種類エラーの処理]

│ ├[設定変更表示]

│ ├[確認画面表示] ＜初期値＞

│ └[プリントする]

├[トレイの用紙種類]

│ ├[トレイ 1]

│ │ ├[普通紙] ＜初期値＞

│ │ ├[再生紙]

│ │ ├[上質紙]

│ │ ├[厚紙 1]

│ │ ├[厚紙 2]

│ │ ├[ラベル紙]

│ │ ├[封筒]

│ │ ├[はがき]

│ │ ├[1. ユーザー 1]

│ │ ├[2. ユーザー 2]

│ │ ├[3. ユーザー 3]

| | | ├[4. ユーザー 4]
| | | └[5. ユーザー 5]
| ├[トレイ 2] *1 トレイモジュール（オプション）装着時
| | ├[普通紙] *1 ＜初期値＞
| | ├[再生紙] *1
| | ├[上質紙] *1
| | ├[厚紙 1] *1
| | ├[厚紙 2] *1
| | ├[ラベル紙] *1
| | ├[封筒] *1
| | ├[はがき] *1
| | ├[1. ユーザー 1] *1
| | ├[2. ユーザー 2] *1
| | ├[3. ユーザー 3] *1
| | ├[4. ユーザー 4] *1
| | └[5. ユーザー 5] *1
| ├[トレイ 3] *1 トレイモジュール（オプション）装着時
| | ├[普通紙] *1 ＜初期値＞
| | ├[再生紙] *1
| | ├[上質紙] *1
| | ├[厚紙 1] *1
| | ├[厚紙 2] *1
| | ├[ラベル紙] *1
| | ├[封筒] *1
| | ├[はがき] *1
| | ├[1. ユーザー 1] *1
| | ├[2. ユーザー 2] *1
| | ├[3. ユーザー 3] *1
| | ├[4. ユーザー 4] *1
| | └[5. ユーザー 5] *1
| ├[トレイ 4] *1 トレイモジュール（オプション）装着時
| | ├[普通紙] *1 ＜初期値＞

┃ ┃ ┣[再生紙] *1
┃ ┃ ┣[上質紙] *1
┃ ┃ ┣[厚紙 1] *1
┃ ┃ ┣[厚紙 2] *1
┃ ┃ ┣[ラベル紙] *1
┃ ┃ ┣[封筒] *1
┃ ┃ ┣[はがき] *1
┃ ┃ ┣[1. ユーザー 1] *1
┃ ┃ ┣[2. ユーザー 2] *1
┃ ┃ ┣[3. ユーザー 3] *1
┃ ┃ ┣[4. ユーザー 4] *1
┃ ┃ ┗[5. ユーザー 5] *1
┃ ┗[手差しトレイ]
┃ ┣[普通紙] ＜初期値＞
┃ ┣[普通紙 (うら面)]
┃ ┣[再生紙]
┃ ┣[再生紙 (うら面)]
┃ ┣[上質紙]
┃ ┣[上質紙 (うら面)]
┃ ┣[厚紙 1]
┃ ┣[厚紙 1(うら面)]
┃ ┣[厚紙 2]
┃ ┣[厚紙 2(うら面)]
┃ ┣[ラベル紙]
┃ ┣[封筒]
┃ ┣[封筒 (うら面)]
┃ ┣[はがき]
┃ ┣[はがき (うら面)]
┃ ┣[1. ユーザー 1]
┃ ┣[2. ユーザー 2]
┃ ┣[3. ユーザー 3]
┃ ┣[4. ユーザー 4]

┃　　└[5. ユーザー 5]
├[トレイの用紙色]
┃ ├[トレイ 1]
┃ ┃ ├[白]　＜初期値＞
┃ ┃ ├[青]
┃ ┃ ├[黄色]
┃ ┃ ├[緑]
┃ ┃ ├[ピンク]
┃ ┃ ├[透明]
┃ ┃ ├[アイボリー]
┃ ┃ ├[グレー]
┃ ┃ ├[クリーム]
┃ ┃ ├[山吹色]
┃ ┃ ├[赤]
┃ ┃ ├[オレンジ]
┃ ┃ ├[1. ユーザー 1]
┃ ┃ ├[2. ユーザー 2]
┃ ┃ ├[3. ユーザー 3]
┃ ┃ ├[4. ユーザー 4]
┃ ┃ ├[5. ユーザー 5]
┃ ┃ └[その他]
┃ ├[トレイ 2] *1　トレイモジュール（オプション）装着時
┃ ┃ ├[白] *1　＜初期値＞
┃ ┃ ├[青] *1
┃ ┃ ├[黄色] *1
┃ ┃ ├[緑] *1
┃ ┃ ├[ピンク] *1
┃ ┃ ├[透明] *1
┃ ┃ ├[アイボリー] *1
┃ ┃ ├[グレー] *1
┃ ┃ ├[クリーム] *1
┃ ┃ ├[山吹色] *1

┃ ┃ ┣[赤] *1
┃ ┃ ┣[オレンジ] *1
┃ ┃ ┣[1. ユーザー 1] *1
┃ ┃ ┣[2. ユーザー 2] *1
┃ ┃ ┣[3. ユーザー 3] *1
┃ ┃ ┣[4. ユーザー 4] *1
┃ ┃ ┣[5. ユーザー 5] *1
┃ ┃ ┗[その他] *1
┃ ┣[トレイ 3] *1　トレイモジュール（オプション）装着時
┃ ┃ ┣[白] *1　＜初期値＞
┃ ┃ ┣[青] *1
┃ ┃ ┣[黄色] *1
┃ ┃ ┣[緑] *1
┃ ┃ ┣[ピンク] *1
┃ ┃ ┣[透明] *1
┃ ┃ ┣[アイボリー] *1
┃ ┃ ┣[グレー] *1
┃ ┃ ┣[クリーム] *1
┃ ┃ ┣[山吹色] *1
┃ ┃ ┣[赤] *1
┃ ┃ ┣[オレンジ] *1
┃ ┃ ┣[1. ユーザー 1] *1
┃ ┃ ┣[2. ユーザー 2] *1
┃ ┃ ┣[3. ユーザー 3] *1
┃ ┃ ┣[4. ユーザー 4] *1
┃ ┃ ┣[5. ユーザー 5] *1
┃ ┃ ┗[その他] *1
┃ ┣[トレイ 4] *1　トレイモジュール（オプション）装着時
┃ ┃ ┣[白] *1　＜初期値＞
┃ ┃ ┣[青] *1
┃ ┃ ┣[黄色] *1
┃ ┃ ┣[緑] *1

┃ ┃ ┣[ピンク] *1
┃ ┃ ┣[透明] *1
┃ ┃ ┣[アイボリー] *1
┃ ┃ ┣[グレー] *1
┃ ┃ ┣[クリーム] *1
┃ ┃ ┣[山吹色] *1
┃ ┃ ┣[赤] *1
┃ ┃ ┣[オレンジ] *1
┃ ┃ ┣[1. ユーザー 1] *1
┃ ┃ ┣[2. ユーザー 2] *1
┃ ┃ ┣[3. ユーザー 3] *1
┃ ┃ ┣[4. ユーザー 4] *1
┃ ┃ ┣[5. ユーザー 5] *1
┃ ┃ ┗[その他] *1
┃ ┗[手差しトレイ]
┃ ┣[白] ＜初期値＞
┃ ┣[青]
┃ ┣[黄色]
┃ ┣[緑]
┃ ┣[ピンク]
┃ ┣[透明]
┃ ┣[アイボリー]
┃ ┣[グレー]
┃ ┣[クリーム]
┃ ┣[山吹色]
┃ ┣[赤]
┃ ┣[オレンジ]
┃ ┣[1. ユーザー 1]
┃ ┣[2. ユーザー 2]
┃ ┣[3. ユーザー 3]
┃ ┣[4. ユーザー 4]
┃ ┣[5. ユーザー 5]

┃　　└[その他]
├[用紙の優先順位]
┃　├[上質紙]
┃　┃　├[8 番目]
┃　┃　├[7 番目]
┃　┃　├[6 番目]
┃　┃　├[5 番目]
┃　┃　├[4 番目]
┃　┃　├[3 番目]　＜初期値＞
┃　┃　├[2 番目]
┃　┃　├[1 番目]
┃　┃　└[設定しない]
┃　├[普通紙]
┃　┃　├[8 番目]
┃　┃　├[7 番目]
┃　┃　├[6 番目]
┃　┃　├[5 番目]
┃　┃　├[4 番目]
┃　┃　├[3 番目]
┃　┃　├[2 番目]
┃　┃　├[1 番目]　＜初期値＞
┃　┃　└[設定しない]
┃　├[再生紙]
┃　┃　├[8 番目]
┃　┃　├[7 番目]
┃　┃　├[6 番目]
┃　┃　├[5 番目]
┃　┃　├[4 番目]
┃　┃　├[3 番目]
┃　┃　├[2 番目]　＜初期値＞
┃　┃　├[1 番目]
┃　┃　└[設定しない]

┃ ┣[1. ユーザー 1]
┃ ┃ ┣[8 番目]
┃ ┃ ┣[7 番目]
┃ ┃ ┣[6 番目]
┃ ┃ ┣[5 番目]
┃ ┃ ┣[4 番目]
┃ ┃ ┣[3 番目]
┃ ┃ ┣[2 番目]
┃ ┃ ┣[1 番目]
┃ ┃ ┗[設定しない] ＜初期値＞
┃ ┣[2. ユーザー 2]
┃ ┃ ┣[8 番目]
┃ ┃ ┣[7 番目]
┃ ┃ ┣[6 番目]
┃ ┃ ┣[5 番目]
┃ ┃ ┣[4 番目]
┃ ┃ ┣[3 番目]
┃ ┃ ┣[2 番目]
┃ ┃ ┣[1 番目]
┃ ┃ ┗[設定しない] ＜初期値＞
┃ ┣[3. ユーザー 3]
┃ ┃ ┣[8 番目]
┃ ┃ ┣[7 番目]
┃ ┃ ┣[6 番目]
┃ ┃ ┣[5 番目]
┃ ┃ ┣[4 番目]
┃ ┃ ┣[3 番目]
┃ ┃ ┣[2 番目]
┃ ┃ ┣[1 番目]
┃ ┃ ┗[設定しない] ＜初期値＞
┃ ┣[4. ユーザー 4]
┃ ┃ ┣[8 番目]

| | | ├[7 番目]
| | | ├[6 番目]
| | | ├[5 番目]
| | | ├[4 番目]
| | | ├[3 番目]
| | | ├[2 番目]
| | | ├[1 番目]
| | | └[設定しない] ＜初期値＞
| | └[5. ユーザー 5]
| | ├[8 番目]
| | ├[7 番目]
| | ├[6 番目]
| | ├[5 番目]
| | ├[4 番目]
| | ├[3 番目]
| | ├[2 番目]
| | ├[1 番目]
| | └[設定しない] ＜初期値＞
├[トレイの優先順位] ＜初期値：容量の大きいトレイ順。容量が同じ場合はトレイ番号が小さい順。＞
| ├[トレイ 1]
| | ├[1 番目]
| | ├[2 番目]
| | ├[3 番目]
| | ├[4 番目]
| | └[自動トレイ切替対象外]
| ├[トレイ 2] *1 トレイモジュール（オプション）装着時
| | ├[1 番目] *1
| | ├[2 番目] *1
| | ├[3 番目] *1
| | ├[4 番目] *1
| | └[自動トレイ切替対象外] *1
| ├[トレイ 3] *1 トレイモジュール（オプション）装着時

┃ ┃ ├[1 番目] *1	
┃ ┃ ├[2 番目] *1	
┃ ┃ ├[3 番目] *1	
┃ ┃ ├[4 番目] *1	
┃ ┃ └[自動トレイ切替対象外] *1	
┃ ├[トレイ 4] *1	トレイモジュール（オプション）装着時
┃ ┃ ├[1 番目] *1	
┃ ┃ ├[2 番目] *1	
┃ ┃ ├[3 番目] *1	
┃ ┃ ├[4 番目] *1	
┃ ┃ └[自動トレイ切替対象外] *1	
┃ └[手差しトレイ]	
┃ ├[2 番目]	
┃ ├[3 番目] *1	トレイモジュール（オプション）装着時
┃ ├[4 番目] *1	トレイモジュール（オプション）装着時
┃ ├[5 番目] *1	トレイモジュール（オプション）装着時
┃ └[自動トレイ切替対象外]	＜初期値＞
├[手差し優先]	
┃ ├[する]	
┃ └[しない]	＜初期値＞
├[トレイの用紙サイズ設定]	
┃ ├[トレイ 1]	
┃ ┃ ├[自動]	＜初期値＞
┃ ┃ └[定形外]	
┃ ┃ ├[たて (Y) 方向のサイズ]	148 ～ 432 mm
┃ ┃ └[よこ (X) 方向のサイズ]	75 ～ 297 mm
┃ ├[トレイ 2] *1	
┃ ┃ ├[自動] *1	＜初期値＞
┃ ┃ └[定形外] *1	
┃ ┃ ├[たて (Y) 方向のサイズ] *1	148 ～ 432 mm
┃ ┃ └[よこ (X) 方向のサイズ] *1	75 ～ 297 mm
┃ ├[トレイ 3] *1	

┃ ┃ ┣[自動] *1　＜初期値＞

┃ ┃ ┗[定形外] *1

┃ ┃ 　┣[たて (Y) 方向のサイズ] *1　148 ～ 432 mm

┃ ┃ 　┗[よこ (X) 方向のサイズ] *1　75 ～ 297 mm

┃ ┣[トレイ 4] *1

┃ ┃ ┣[自動] *1　＜初期値＞

┃ ┃ ┗[定形外] *1

┃ ┃ 　┣[たて (Y) 方向のサイズ] *1　148 ～ 432 mm

┃ ┃ 　┗[よこ (X) 方向のサイズ] *1　75 ～ 297 mm

┃ ┗[手差しトレイ]

┃ 　┣[A3]

┃ 　┣[A4]

┃ 　┣[A4]　＜初期値＞

┃ 　┣[A5]

┃ 　┣[A6]

┃ 　┣[B4]

┃ 　┣[B5]

┃ 　┣[B6]

┃ 　┣[7.25×10.5"]

┃ 　┣[8.5×11"]

┃ 　┣[8.5×13"]

┃ 　┣[8.5×14"]

┃ 　┣[11×17"]

┃ 　┣[はがき]

┃ 　┣[往復はがき]

┃ 　┣[長形 3]

┃ 　┣[長形 4]

┃ 　┣[洋長形 3]

┃ 　┣[封筒 C5]

┃ 　┣[洋形 3]

┃ 　┣[角形 2]

┃ 　┣[角形 3]

┃ ├[角形 6⬚]	
┃ └[定形外]	
┃ ├[たて (Y) 方向のサイズ]	98 ～ 1200 mm
┃ └[よこ (X) 方向のサイズ]	70 ～ 297 mm
├[用紙の画質処理]	
┃ ├[普通紙]	
┃ ┃ ├[A]	
┃ ┃ ├[B]	＜初期値＞
┃ ┃ ├[C]	
┃ ┃ └[D]	
┃ ├[普通紙 (うら面)]	
┃ ┃ ├[A(うら面)]	
┃ ┃ ├[B(うら面)]	＜初期値＞
┃ ┃ ├[C(うら面)]	
┃ ┃ └[D(うら面)]	
┃ ├[再生紙]	
┃ ┃ ├[A]	
┃ ┃ ├[B]	
┃ ┃ ├[C]	＜初期値＞
┃ ┃ └[D]	
┃ ├[再生紙 (うら面)]	
┃ ┃ ├[A(うら面)]	
┃ ┃ ├[B(うら面)]	
┃ ┃ ├[C(うら面)]	＜初期値＞
┃ ┃ └[D(うら面)]	
┃ ├[上質紙]	
┃ ┃ ├[A]	＜初期値＞
┃ ┃ ├[B]	
┃ ┃ ├[C]	
┃ ┃ └[D]	
┃ ├[上質紙 (うら面)]	
┃ ┃ ├[A(うら面)]	＜初期値＞

┃ ┃ ┣[B(うら面)]
┃ ┃ ┣[C(うら面)]
┃ ┃ ┗[D(うら面)]
┃ ┣[ラベル紙]
┃ ┃ ┣[ラベル 1]　＜初期値＞
┃ ┃ ┗[ラベル 2]
┃ ┣[1. ユーザー 1]
┃ ┃ ┣[A]
┃ ┃ ┣[B]　＜初期値＞
┃ ┃ ┣[C]
┃ ┃ ┗[D]
┃ ┣[2. ユーザー 2]
┃ ┃ ┣[A]
┃ ┃ ┣[B]　＜初期値＞
┃ ┃ ┣[C]
┃ ┃ ┗[D]
┃ ┣[3. ユーザー 3]
┃ ┃ ┣[A]
┃ ┃ ┣[B]　＜初期値＞
┃ ┃ ┣[C]
┃ ┃ ┗[D]
┃ ┣[4. ユーザー 4]
┃ ┃ ┣[A]
┃ ┃ ┣[B]　＜初期値＞
┃ ┃ ┣[C]
┃ ┃ ┗[D]
┃ ┗[5. ユーザー 5]
┃　 ┣[A]
┃　 ┣[B]　＜初期値＞
┃　 ┣[C]
┃　 ┗[D]
┣[用紙種類名称設定]

┃ ┣[1. ユーザー 1]
┃ ┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 1＞
┃ ┣[2. ユーザー 2]
┃ ┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 2＞
┃ ┣[3. ユーザー 3]
┃ ┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 3＞
┃ ┣[4. ユーザー 4]
┃ ┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 4＞
┃ ┗[5. ユーザー 5]
┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 5＞
┣[用紙色名称設定]
┃ ┣[1. ユーザー 1]
┃ ┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 1＞
┃ ┣[2. ユーザー 2]
┃ ┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 2＞
┃ ┣[3. ユーザー 3]
┃ ┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 3＞
┃ ┣[4. ユーザー 4]
┃ ┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 4＞
┃ ┗[5. ユーザー 5]
┃ ┗[ ] ＜初期値：ユーザー 5＞
┣[ID 印字機能]
┃ ┣[しない] ＜初期値＞
┃ ┣[左上]
┃ ┣[右上]
┃ ┣[左下]
┃ ┗[右下]
┣[奇数ページの両面]
┃ ┣[両面]
┃ ┗[片面] ＜初期値＞
┣[未登録フォームへ印字]
┃ ┣[する (データのみ)] ＜初期値＞

| ┗[しない]

┣[基本の用紙サイズ]

| ┣[A4] ＜初期値＞

| ┗[8.5x11"]

┣[サイズ検知切り替え]

| ┣[AB 系] ＜初期値＞

| ┣[AB 系 (八開 / 十六開)]

| ┣[AB 系 (8x13"/8x14")]

| ┣[インチ系]

| ┗[AB 系 (8x13")]

┣[OCR フォントのグリフ]

| ┣[バックスラッシュ] ＜初期値＞

| ┗[円記号]

┣[サイズ不一致時処理]

| ┣[トレイ 1]

| | ┣[プリントする]

| | ┗[確認画面を表示する] ＜初期値＞

| ┣[トレイ 2] *1 トレイモジュール（オプション）装着時

| | ┣[プリントする] *1

| | ┗[確認画面を表示する] *1 ＜初期値＞

| ┣[トレイ 3] *1 トレイモジュール（オプション）装着時

| | ┣[プリントする] *1

| | ┗[確認画面を表示する] *1 ＜初期値＞

| ┣[トレイ 4] *1 トレイモジュール（オプション）装着時

| | ┣[プリントする] *1

| | ┗[確認画面を表示する] *1 ＜初期値＞

| ┗[手差しトレイ]

| ┣[プリントする]

| ┗[確認画面を表示する] ＜初期値＞

┗[ダイヤルスイッチ設定]

┣[トレイ 1]

| ┣[A6]

| ├ [B6]
| ├ [7.25×10.5"]
| ├ [8.5×11"]
| ├ [8.5×13"]
| ├ [8.5×14"]
| ├ [11×17"]
| ├ [はがき]
| ├ [往復はがき]
| ├ [長形 3]
| ├ [長形 4]
| ├ [角形 2]
| ├ [角形 3]
| ├ [角形 6]
| └ [封筒 C5]

├ [トレイ 2] *1　　トレイモジュール（オプション）装着時
| ├ [A6] *1
| ├ [B6] *1
| ├ [7.25×10.5"] *1
| ├ [8.5×11"] *1
| ├ [8.5×13"] *1
| ├ [8.5×14"] *1
| ├ [11×17"] *1
| ├ [はがき] *1
| ├ [往復はがき] *1
| ├ [長形 3] *1
| ├ [長形 4] *1
| ├ [角形 2] *1
| ├ [角形 3] *1
| ├ [角形 6] *1
| └ [封筒 C5] *1

├ [トレイ 3] *1　　トレイモジュール（オプション）装着時
| ├ [A6] *1

- [B6] *1
- [7.25×10.5"] *1
- [8.5×11"] *1
- [8.5×13"] *1
- [8.5×14"] *1
- [11×17"] *1
- [はがき] *1
- [往復はがき] *1
- [長形 3] *1
- [長形 4] *1
- [角形 2] *1
- [角形 3] *1
- [角形 6] *1
- [封筒 C5] *1

[トレイ 4] *1　　トレイモジュール（オプション）装着時

- [A6] *1
- [B6] *1
- [7.25×10.5"] *1
- [8.5×11"] *1
- [8.5×13"] *1
- [8.5×14"] *1
- [11×17"] *1
- [はがき] *1
- [往復はがき] *1
- [長形 3] *1
- [長形 4] *1
- [角形 2] *1
- [角形 3] *1
- [角形 6] *1
- [封筒 C5] *1

*1 :オプション構成によって表示される項目

[メモリー設定]

補足

- メモリーの空き容量は、お使いの環境によって、表示される数値が変わります。

[メモリー設定]	
├[PS 使用メモリー] *1	Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）有効時
│ └[55.00MB　空 xxx.xxMB] *1	55.00 ～ 128.00 MB（0.25 MB 単位）＜初期値：55.00＞
├[ART EX フォームメモリー]	
│ ├[2048KB　空 xxx.xxMB]	2048 ～ 16384 KB（32 KB 単位）＜初期値：2048＞
│ └[ストレージ] *1	ストレージ（オプション）装着時
├[ART IV フォームメモリー]	
│ ├[128KB　空 xxx.xxMB]	128 ～ 2048 KB（32 KB 単位）＜初期値：128＞
│ └[ストレージ] *1	ストレージ（オプション）装着時
├[ART IV ユーザ定義メモリ]	
│ └[32KB　空 xxx.xxMB]	32 ～ 2048 KB（32 KB 単位）＜初期値：32＞
├[HPGL オートレイアウトメモリー]	
│ ├[64KB　空 xxx.xxMB]	64 ～ 5120 KB（32 KB 単位）＜初期値：64＞
│ └[ストレージ] *1	ストレージ（オプション）装着時
├[ジョブチケット用メモリー]	
│ └[0.25MB　空 8.00MB]	0.25 ～ 8.00 MB（0.25 MB 単位）＜初期値：0.25＞
└[受信バッファ容量] *1	ストレージ（オプション）装着時
├[LPD スプール] *1	
│ ├[スプールしない] *1	
│ └[スプールする] *1	＜初期値＞
└[IPP スプール] *1	
├[スプールしない] *1	＜初期値＞
└[スプールする] *1	

*1 :オプション構成によって表示される項目

[画質補正]

[画質補正]	
├[ペーパーレジ補正]	
│ ├[トレイ 1]	
│ │ ├[おもて面の補正]	
│ │ │ ├[リードレジ補正]	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ │ │ ├[サイドレジ補正]	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ │ │ └[直角度補正]	-1.0 ～ +1.0 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ │ ├[うら面の補正]	
│ │ │ ├[リードレジ補正]	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ │ │ ├[サイドレジ補正]	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ │ │ └[直角度補正]	-1.0 ～ +1.0 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ │ ├[チャート出力 (片面)]	
│ │ │ └[1 部]	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
│ │ └[チャート出力 (両面)]	
│ │ └[1 部]	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
│ ├[トレイ 2] *1	トレイモジュール（オプション）装着時
│ │ ├[おもて面の補正] *1	
│ │ │ ├[リードレジ補正] *1	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ │ │ ├[サイドレジ補正] *1	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ │ │ └[直角度補正] *1	-1.0 ～ +1.0 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ │ ├[うら面の補正] *1	
│ │ │ ├[リードレジ補正] *1	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ │ │ ├[サイドレジ補正] *1	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ │ │ └[直角度補正] *1	-1.0 ～ +1.0 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ │ ├[チャート出力 (片面)] *1	
│ │ │ └[1 部] *1	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
│ │ └[チャート出力 (両面)] *1	

┃ ┃ └[1 部] *1	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
┃ ├[トレイ 3] *1	トレイモジュール（オプション）装着時
┃ ┃ ├[おもて面の補正] *1	
┃ ┃ ┃ ├[リードレジ補正] *1	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
┃ ┃ ┃ ├[サイドレジ補正] *1	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
┃ ┃ ┃ └[直角度補正] *1	-1.0 ～ +1.0 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
┃ ┃ ├[うら面の補正] *1	
┃ ┃ ┃ ├[リードレジ補正] *1	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
┃ ┃ ┃ ├[サイドレジ補正] *1	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
┃ ┃ ┃ └[直角度補正] *1	-1.0 ～ +1.0 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
┃ ┃ ├[チャート出力 (片面)] *1	
┃ ┃ ┃ └[1 部] *1	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
┃ ┃ └[チャート出力 (両面)] *1	
┃ ┃ └[1 部] *1	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
┃ ├[トレイ 4] *1	トレイモジュール（オプション）装着時
┃ ┃ ├[おもて面の補正] *1	
┃ ┃ ┃ ├[リードレジ補正] *1	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
┃ ┃ ┃ ├[サイドレジ補正] *1	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
┃ ┃ ┃ └[直角度補正] *1	-1.0 ～ +1.0 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
┃ ┃ ├[うら面の補正] *1	
┃ ┃ ┃ ├[リードレジ補正] *1	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
┃ ┃ ┃ ├[サイドレジ補正] *1	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
┃ ┃ ┃ └[直角度補正] *1	-1.0 ～ +1.0 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
┃ ┃ ├[チャート出力 (片面)] *1	
┃ ┃ ┃ └[1 部] *1	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
┃ ┃ └[チャート出力 (両面)] *1	
┃ ┃ └[1 部] *1	1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
┃ └[手差しトレイ]	

├[おもて面の補正]	
│ ├[リードレジ補正]	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ ├[サイドレジ補正]	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ └[直角度補正]	-1.0 ～ +1.0 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
├[うら面の補正]	
│ ├[リードレジ補正]	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ ├[サイドレジ補正]	-3.9 ～ +3.9 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
│ └[直角度補正]	-1.0 ～ +1.0 mm（0.1 mm 単位）＜初期値：0＞
├[用紙サイズ設定]	
│ ├[A3]	
│ ├[11×17"]	
│ ├[A4]	＜初期値＞（[基本の用紙サイズ］が［A4］の場合）
│ └[8.5×11"]	＜初期値＞（[基本の用紙サイズ］が［8.5x11"］の場合）
├[用紙種類設定]	
│ ├[普通紙]	＜初期値＞
│ ├[普通紙 (うら面)]	
│ ├[上質紙]	
│ ├[上質紙 (うら面)]	
│ ├[再生紙]	
│ ├[再生紙 (うら面)]	
│ ├[厚紙 1]	
│ ├[厚紙 1(うら面)]	
│ ├[厚紙 2]	
│ ├[厚紙 2(うら面)]	
│ ├[ラベル紙]	
│ ├[はがき]	
│ ├[はがき (うら面)]	
│ ├[封筒]	
│ ├[封筒 (うら面)]	
│ ├[1. ユーザー 1]	

| | | ├[2. ユーザー 2]
| | | ├[3. ユーザー 3]
| | | ├[4. ユーザー 4]
| | | └[5. ユーザー 5]
| | ├[チャート出力 (片面)]
| | | └[1 部] 1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
| | └[チャート出力 (両面)]
| | | └[1 部] 1 ～ 99（1 単位）＜初期値：1＞
├[転写電圧オフセット調整]
| ├[普通紙]
| | | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[上質紙]
| | | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[再生紙]
| | | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[ユーザー定義用紙 1]
| | | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[ユーザー定義用紙 2]
| | | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[ユーザー定義用紙 3]
| | | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[ユーザー定義用紙 4]
| | | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[ユーザー定義用紙 5]
| | | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[厚紙 1]
| | | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[厚紙 2]
| | | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[はがき]
| | | └[6] 1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
| ├[封筒]

│ │ └[6]	1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
│ └[ラベル紙]	
│ └[6]	1 ～ 16（1 単位）＜初期値：6＞
├[定着温度調整]	
│ ├[普通紙]	
│ │ └[0]	-6 ～ 6（1 単位）＜初期値：0＞
│ ├[上質紙]	
│ │ └[0]	-6 ～ 6（1 単位）＜初期値：0＞
│ ├[再生紙]	
│ │ └[0]	-6 ～ 6（1 単位）＜初期値：0＞
│ ├[ユーザー定義用紙 1]	
│ │ └[0]	-6 ～ 6（1 単位）＜初期値：0＞
│ ├[ユーザー定義用紙 2]	
│ │ └[0]	-6 ～ 6（1 単位）＜初期値：0＞
│ ├[ユーザー定義用紙 3]	
│ │ └[0]	-6 ～ 6（1 単位）＜初期値：0＞
│ ├[ユーザー定義用紙 4]	
│ │ └[0]	-6 ～ 6（1 単位）＜初期値：0＞
│ ├[ユーザー定義用紙 5]	
│ │ └[0]	-6 ～ 6（1 単位）＜初期値：0＞
│ ├[厚紙 1]	
│ │ └[0]	-6 ～ 6（1 単位）＜初期値：0＞
│ ├[厚紙 2]	
│ │ └[0]	-6 ～ 6（1 単位）＜初期値：0＞
│ ├[封筒]	
│ │ └[0]	-6 ～ 6（1 単位）＜初期値：0＞
│ ├[はがき]	
│ │ └[0]	-6 ～ 6（1 単位）＜初期値：0＞
│ └[ラベル紙]	
│ └[0]	-6 ～ 6（1 単位）＜初期値：0＞
├[高地使用設定]	
│ ├[海抜 0 ～ 999m]	＜初期値＞

| ├[海抜 1000m ～ 1999m]

| ├[海抜 2000m ～ 2999m]

| └[海抜 3000m 以上]

└[画像濃度補正]

└[0]　　-3 ～ 3（1 単位）＜初期値：0>

*1 :オプション構成によって表示される項目

[初期化 / データ削除]

[初期化 / データ削除]

├[NV メモリー初期化]

| └[[OK] で初期化開始]

|　└[[OK] で NV メモリーを初期化します]

├[ストレージ初期化] *1　　ストレージ（オプション）装着時

| └[パーティション A] *1

|　└[[OK] で初期化開始] *1

|　　└[[OK] でパーティション A を初期化します] *1

├[証明書初期化]

| └[[OK] で初期化開始]

├[データ一括削除]

| └[[OK] で初期化開始]

|　└[[OK] でデータを一括削除します]

|　　└[初期化処理中 [中止] でストップ]

├[集計レポート初期化]

| └[[OK] で初期化開始]

├[機能別カウンター初期化]

| └[[OK] で初期化開始]

├[フォーム / マクロの削除]

| ├[ART EX フォーム削除]

| | └[0001.abcdefgh]　　最大登録数は 64（ストレージ無）/ 2048（ストレージ有）

| ├[ART IV フォーム削除]

| | └[0001.abcdefgh]　　最大登録数は 64（ストレージ無）/ 2048（ストレージ有）

| ├[201H フォーム削除]

| | └[0001.abcdefgh]　最大登録数は 64（ストレージ無）/64（ストレージ有）

| ├[ESC/P フォーム削除]

| | └[0001.abcdefgh]　最大登録数は 64（ストレージ無）/64（ストレージ有）

| └[PCL マクロ削除]

| 　└[[OK] で PCL マクロをすべて削除します]

├[フォント削除]

| └[PCL フォント削除]

| 　└[[OK] で PCL フォントをすべて削除します]

├[セキュリティー文書削除]　プライベートプリントを使用していないとき

| └[ユーザー ID を選択]

| 　└[1001.xxxx　[OK] で削除開始]

└[プライベート文書削除] *1　IC カード読み取り装置（オプション）装着時で、プライベートプリント使用時

　└[ユーザー ID を選択] *1

　　└[1001.xxxx　[OK] で削除開始] *1

*1 :オプション構成によって表示される項目

[エンジンクリーニング]

[エンジンクリーニング]

└[[OK] で開始]

[トナーリフレッシュ]

[トナーリフレッシュ]

└[[OK] で開始]

[プリント言語の設定]

[プリント言語の設定]

├[201H]　参照：「PC-PR201H エミュレーションについて」(P.181)

├[ESCP]　参照：「ART IV、ESC/P エミュレーションについて」(P.175)

├[HPGL]　参照：「HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」(P.185)

├[PDF]

┃ ┣[プリント処理モード] *1	Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）と PDF Bridge 有効時
┃ ┃ ┣[PDF Bridge] *1	＜初期値＞
┃ ┃ ┗[PS] *1	
┃ ┣[部数]	
┃ ┃ ┗[1 部]	1 ～ 999 部（1 部単位）＜初期値：1＞
┃ ┣[両面]	
┃ ┃ ┣[しない]	＜初期値＞
┃ ┃ ┣[長辺とじ]	
┃ ┃ ┗[短辺とじ]	
┃ ┣[印刷モード]	
┃ ┃ ┣[高速]	
┃ ┃ ┣[標準]	＜初期値＞
┃ ┃ ┗[高画質]	
┃ ┣[パスワード]	
┃ ┃ ┗[0]	1 ～ 32 文字の半角英数字記号
┃ ┣[ソート]	
┃ ┃ ┣[しない]	＜初期値＞
┃ ┃ ┗[する]	
┃ ┣[用紙サイズ]	
┃ ┃ ┣[A4]	[基本の用紙サイズ] が [A4] の場合
┃ ┃ ┗[自動]	＜初期値＞
┃ ┃ ┣[8.5x11"]	[基本の用紙サイズ] が [8.5x11"] の場合
┃ ┃ ┗[自動]	＜初期値＞
┃ ┗[レイアウト]	Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）無効時。または [プリント処理モード] が [PDF Bridge] の場合
┃ ┣[自動倍率]	＜初期値＞
┃ ┣[100%(等倍)]	
┃ ┣[カタログ (小冊子)]	

┃　　┣[2 アップ]	
┃　　┗[4 アップ]	
┣[PCL]	参照：「PCL エミュレーションについて」(P.190)
┣[PostScript] *1	Adobe® PostScript® 3™ キット（平成 3 書体）（オプション）または Adobe® PostScript® 3™ キット（モリサワ 2 書体）（オプション）有効時
┃　┣[用紙選択モード] *1	
┃　┃　┣[トレイから選択] *1	
┃　┃　┗[自動] *1	＜初期値＞
┃　┣[フォント未搭載時処理] *1	
┃　┃　┣[プリントを中止] *1	
┃　┃　┗[フォントを置き換え] *1	＜初期値＞
┃　┗[フォント置き換え] *1	
┃　　┣[ATCx を使用しない] *1	
┃　　┗[ATCx を使用する] *1	＜初期値＞
┣[XPS]	
┃　┗[PrintTicket 処理]	
┃　　┣[無効]	
┃　　┣[標準モード]	＜初期値＞
┃　　┗[準拠モード]	
┗[XDW(DocuWorks)]	
┣[部数]	
┃　┗[1 部]	1 ～ 999 部（1 部単位）＜初期値：1＞
┣[両面]	
┃　┣[しない]	＜初期値＞
┃　┣[長辺とじ]	
┃　┗[短辺とじ]	
┣[印刷モード]	
┃　┣[高速]	
┃　┣[標準]	＜初期値＞
┃　┗[高画質]	
┣[パスワード]	

| └[0] 1 ～ 32 文字の半角英数字記号

├[ソート]

| ├[しない] ＜初期値＞

| └[する]

├[レイアウト]

| ├[100% 等倍]

| ├[自動倍率] ＜初期値＞

| ├[2 アップ]

| └[4 アップ]

└[用紙サイズ]

├[A4] [基本の用紙サイズ] が [A4] の場合

└[自動] ＜初期値＞

├[8.5x11"] [基本の用紙サイズ] が [8.5x11"] の場合

└[自動] ＜初期値＞

*1 :オプション構成によって表示される項目

[言語切り替え]

[言語切り替え]

├[日本語] ＜初期値＞

└[English]

13.3 プリントメニュー

プリントメニューで認証を行った場合、[プリントできます] に戻るまで認証状態が継続されます。

[プリントできます]

| 〈プリントメニュー〉ボタンを押す

├[セキュリティープリント]

| └[ユーザー ID を選択 xxxx.xxxxxxxx]

| ├─┐

| | [暗証番号を入力 [OK] [0]] 暗証番号設定時

| ├─┘

| ├[文書を選択 全ての文書]

| | | ├[プリント後削除する]
| | | | └[[OK] でプリント開始]
| | | ├[プリント後削除しない]
| | | | └[[OK] でプリント開始]
| | | └[削除する]
| | | └[[OK] で削除開始]
| | └[文書を選択 1.xxxxx]
| | ├[プリント後削除する]
| | | └[1 部] 1 ～ 9999
| | | └[[OK] でプリント開始]
| | ├[プリント後削除しない]
| | | └[1 部] 1 ～ 9999
| | | └[[OK] でプリント開始]
| | └[削除する]
| | └[[OK] で削除開始]
├[認証プリント] IC カード読み取り装置（オプション）装着時
| ├─┐
| | [IC カードで認証してください] *1
| ├─┘
| └[ユーザー ID を選択 7001.xxxxx]
| ├─┐
| | [暗証番号を入力 [OK] [0]]
| ├─┘
| ├[文書を選択 全ての文書]
| | ├[プリント後削除する]
| | | └[[OK] でプリント開始]
| | ├[プリント後削除しない]
| | | └[[OK] でプリント開始]
| | └[削除する]
| | └[[OK] で削除開始]
| └[文書を選択 1.xxxxx]
| ├[プリント後削除する]

┃　　　┃ ┗[1 部]	1 ～ 9999
┃　　　┃　 ┗[[OK] でプリント開始]	
┃　　　┣[プリント後削除しない]	
┃　　　┃ ┗[1 部]	1 ～ 9999
┃　　　┃　 ┗[[OK] でプリント開始]	
┃　　　┗[削除する]	
┃　　　　 ┗[[OK] で削除開始]	
┣[サンプルプリント]	
┃ ┗[ユーザー ID を選択 xxxx.xxxxxxxxx]	
┃　 ┣[文書を選択 全ての文書]	
┃　 ┃ ┣[プリントする]	
┃　 ┃ ┃ ┗[[OK] でプリント開始]	
┃　 ┃ ┗[削除する]	
┃　 ┃　 ┗[[OK] で削除開始]	
┃　 ┗[文書を選択 1.xxxxx]	
┃　　　┣[プリントする]	
┃　　　┃ ┗[1 部]	1 ～ 9999
┃　　　┃　 ┗[[OK] でプリント開始]	
┃　　　┗[削除する]	
┃　　　　 ┗[[OK] で削除開始]	
┣[時刻指定プリント]	
┃　 ┗[文書を選択 1.xxxxx]	
┃　　　┣[すぐにプリントする]	
┃　　　┃ ┗[[OK] でプリント開始]	
┃　　　┗[削除する]	
┃　　　　 ┗[[OK] で削除開始]	
┣[メール受信プリント]	
┃ ┗[[OK] で受信開始]	
┣[プライベートプリント削除] *1	IC カード読み取り装置（オプション）装着時
┃ ┗[IC カードで認証してください] *1	
┃　 ┣[削除する文書を選択 すべての文書] *1	
┃　 ┃ ┗[[OK] で削除開始] *1	

┃　　└[削除する文書を選択 1.xxxxx] *1

┃　　└[[OK] で削除開始] *1

└[強制印字解除プリント] *1　　IC カード読み取り装置（オプション）装着時

　└[[OK] で認証開始] *1

　　└[IC カードで認証してください] *1

*1 :オプション構成によって表示される項目

13.4　消耗品メニュー

[プリントできます]

┃　　▼+OKボタンを押す

├[シリアル番号]

┃　└[XXXXXXXXXX]

└[カスタムモード]

　├[オン]

　┃　└[カスタムモードの設定を [OK] で変更します]

　└[オフ]　　＜初期値＞

　　└[カスタムモードの設定を [OK] で変更します]

14 商品のお問い合わせ先について

- この商品の保守、操作、修理（内容、期間、費用）のお問い合わせ、および消耗品をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるカストマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、弊社プリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル：0120-66-2209

FAX：0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間：土・日・祝日 および弊社指定休業日を除く 9 時～ 17 時 30 分

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部の IP 電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。

担当営業が不明な場合には、弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

TEL：0120-27-4100

受付時間：9 時～ 12 時、13 時～ 17 時（土・日・祝日および弊社指定休業日を除く）

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機種 No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER #」を事前にご確認ください。

- 弊社に対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

  フリーダイヤル：0120-27-4100

  フリーダイヤル受付時間：土・日・祝日および弊社指定休業日を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時

  フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部の IP 電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

- 公式サイトで弊社の商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。

  https://www.fujifilm.com/fb/